

調査①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（速報版）

①調査の目的

要介護状態になる前の高齢者リスクや社会参加状況を把握することで地域課題を特定し、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合いの体制づくり、介護予防の推進等について検討する。

認知症、権利擁護などに対する意識やニーズを把握し、高齢者施策の推進について検討する。

②調査対象

・ 65歳以上の市民で要支援・要介護認定を受けていない者：2,600人

・ 65歳以上の市民で要支援1、2の認定者：1,000人

※令和元年11月1日現在の住民基本台帳及び要支援認定者から無作為抽出

③調査方法

・ 郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

④調査時期

・ 令和元年11月22日～12月9日

⑤回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
要介護認定を受けていない高齢者及び 要支援1・2の高齢者	3,600	2,572	71.4（%）	2,571	71.4（%）

⑥調査項目

項目	設問No.	設問
A 基本属性		
	F1	性別
	F2	年齢
	F3	居住地域
	F4	家族構成／世帯の状況
B 就労意欲		
	問 1	収入のある仕事の有無
	問 1-1	何歳まで仕事をしたいか
	問 1-2	仕事を続けるうえで重視する点
C 生活状況		
	問 2	要支援認定の状況
	問 3	介護・介助の状況
	問 3-1	主な介護・介助者
	問 4	介護が必要になった時に生活したい場所
	問 5	経済的にみた暮らしの状況
	問 6	住まい（一戸建て、集合住宅など）
	問 7	住まいや住環境で困っていること
D からだを動かすこと		
	問 8	手すりを使わずに階段を昇降すること
	問 9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること
	問 10	15分位続けて歩くこと
	問 11	過去1年間に転んだ経験
	問 12	転倒に対する不安
	問 13	外出状況
	問 14	昨年と比べた外出の回数
E 食べること		
	問 15	身長・体重（BMI）
	問 16	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか
	問 17	歯の数と入れ歯の利用状況
	問 17-1	毎日入れ歯の手入れをしているか
	問 18	誰かと食事をともにする機会
F 毎日の生活		
	問 19	物忘れの様子
	問 20	バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）
	問 21	自分で食品・日用品の買物をする事
	問 22	自分で食事の用意をする事
	問 23	自分で請求書の支払いをする事
	問 24	自分で預貯金の出し入れをする事

G 地域生活と日ごろの活動	
問 25	会・グループ等への参加状況
問 26	地域づくり活動への参加者としての参加意向
問 27	地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向
問 28	これから参加したい活動
問 29	敬老の日記念大会の参加状況
問 29-1	その理由（自由回答）
問 30	敬老の日記念大会の参加意向
問 30-1	その理由（自由回答）
問 31	高齢者保養所利用助成の利用状況
問 32	生きがいの有無
問 33	生きがいづくり事業として望む支援（自由記述）
問 34	友人・知人と会う頻度
H 認知症	
問 35	本人又は家族に認知症の症状があるか
問 36	認知症に関する相談窓口を知っているか
問 36-1	知っている相談窓口
問 37	認知症に対するイメージ
問 38	認知症について知っていること
問 39	認知症予防啓発活動への参加状況
問 40	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと
I たすけあい	
問 41	心配事や愚痴を聞いてくれる人
問 42	心配事や愚痴を聞いてあげる人
問 43	看病や世話をしてくれる人
問 44	看病や世話をしてあげる人
問 45	近所づきあいの程度
問 46	地域からの役割の期待
問 47	地域の支え合い（手助けできること、過去に手助けをしたこと、手助けしてほしいこと）
J 健康づくりや介護予防など	
問 48	主観的健康観
問 49	主観的幸福度
問 50	1か月間にゆううつな気持ちになったりしたことがあったか
問 51	1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか
問 52	喫煙の状況
問 53	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無
問 54	治療中の病気
問 55	介護予防に対する考え
問 56	介護予防事業の参加状況
問 56-1	介護予防事業の成果
K 災害時の対応	
問 57	災害時に助けてくれる人
問 58	災害に備えて取り組んでいること
問 59	災害時に手助けが必要な人にできること

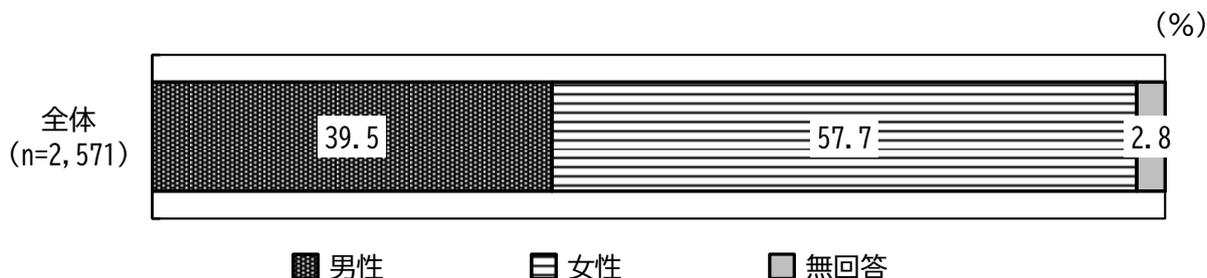
L 情報	
問 60	健康や介護、福祉サービス、地域活動の情報入手先
問 61	暮らしの問題や福祉に関する相談先
問 61-1	地域包括支援センターの利用状況
M 介護保険	
問 62	介護保険サービスの認知度
N 高齢者保健福祉サービス	
問 63	高齢者保健福祉サービスに対する利用意向
O 在宅療養	
問 64	自宅で療養を続けたいと思うか
問 64-1	療養は可能だと思うか
問 64-2	そう思わない、難しいと思う理由は
P 権利擁護	
問 65	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度
Q 意見・要望	
問 66	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望

⑦ 調査結果の概要

(1) 回答者について

あなたの性別をお答えください。(1つに○) (F1)

- ・「男性」が39.5%、「女性」が57.7%となっている。



あなたの年齢をお答えください。(令和元年11月1日現在) (1つに○) (F2)

- ・「75～79歳」(22.3%)が最も多く、次いで「70～74歳」(22.0%)、「65～69歳」(19.6%)、「80～84歳」(18.0%)と続いている。



あなたがお住まいの町名及び丁目を教えてください。(1) 町名 (1つに○) (F3)

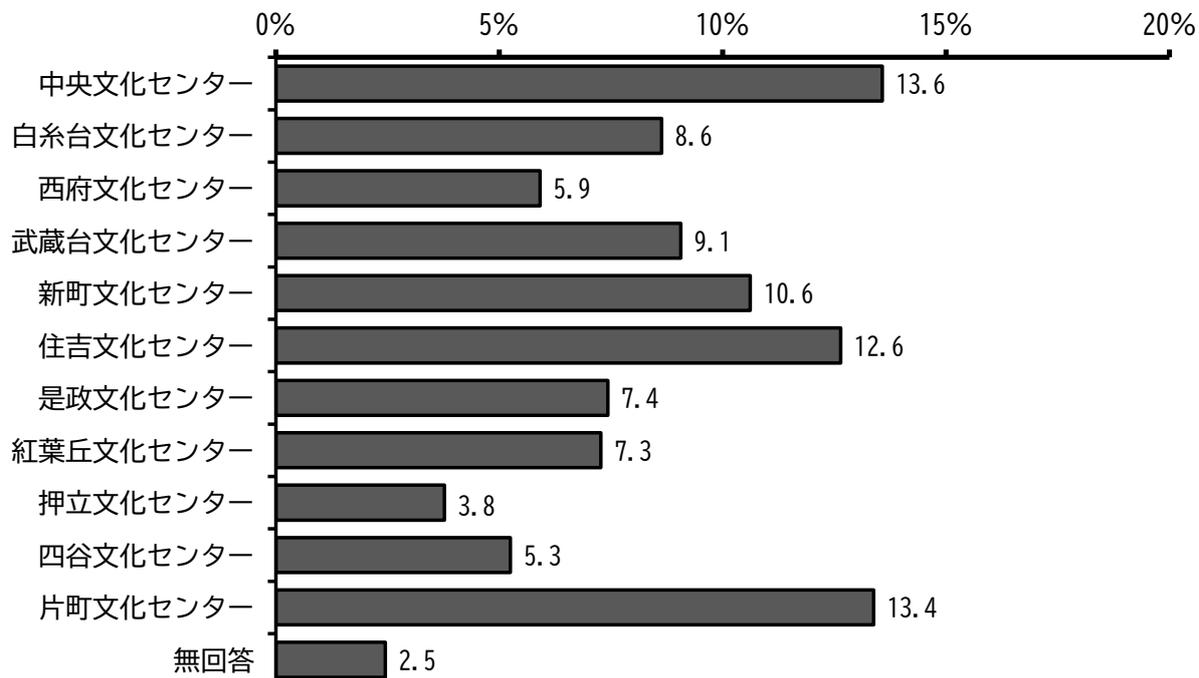
○ 日常生活圏域 (6区分)

- ・日常生活圏域では、「第一地区」(16.9%)が最も多く、次いで「第四地区」(16.3%)、「第二地区」「第五地区」「第六地区」(ともに16.2%)、「第三地区」(15.9%)と続いている。



○文化センター圏域（11 区分）

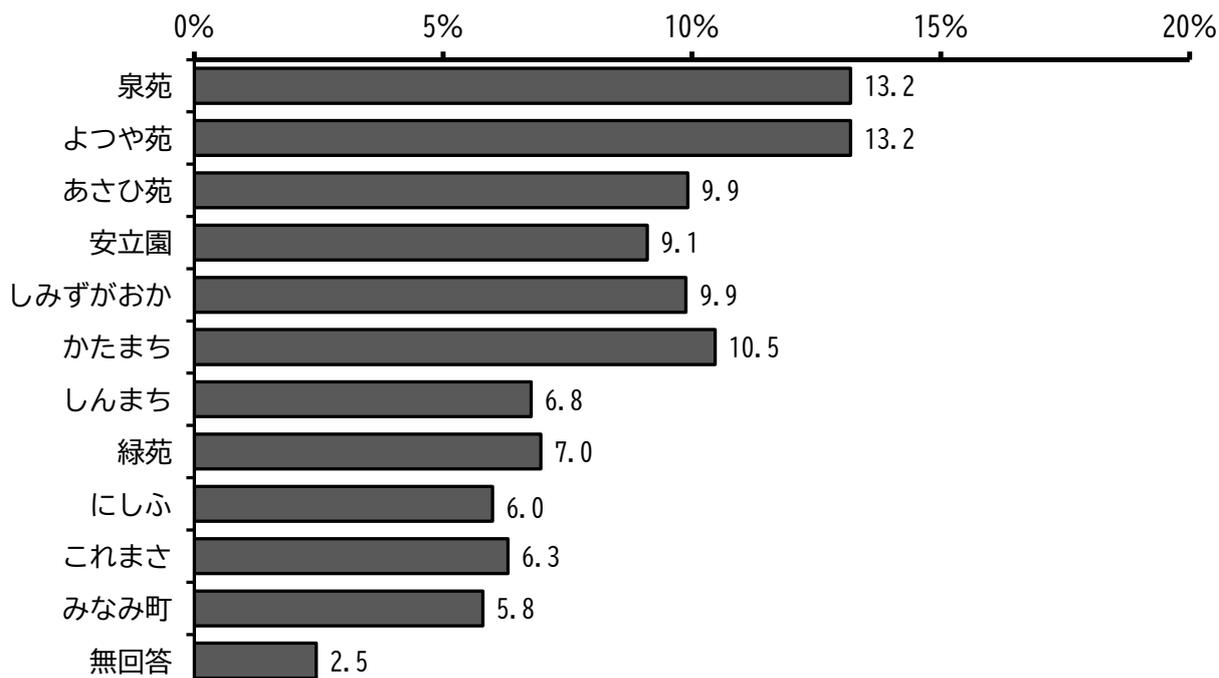
・文化センター圏域では、「中央文化センター」(13.6%)が最も多く、次いで「片町文化センター」(13.4%)、「住吉文化センター」(12.6%)、「新町文化センター」(10.6%)と続いている。



全体 (n=2,571)

○地域包括支援センター圏域（11 区分）

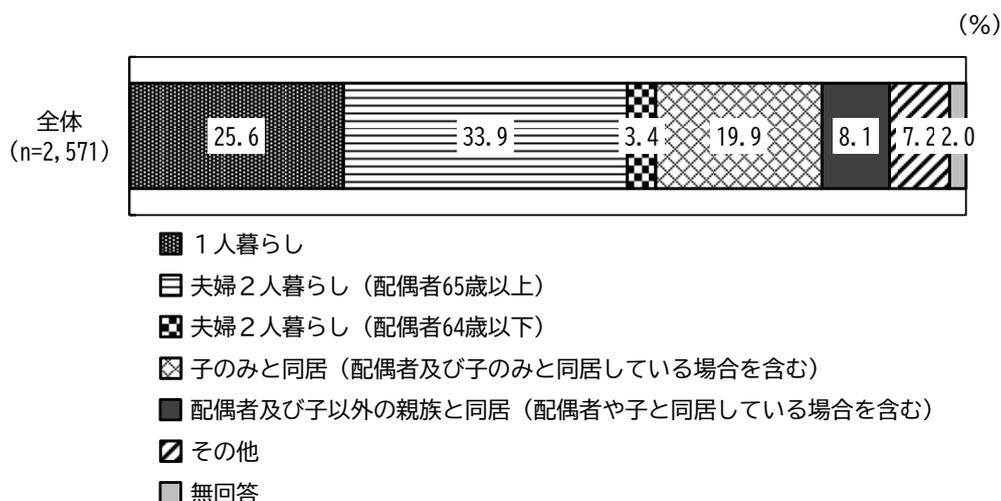
・地域包括支援センター圏域では、「泉苑」「よつや苑」(ともに 13.2%)が最も多く、次いで「かたまち」(10.5%)、「あさひ苑」「しみずがおか」(ともに 9.9%)、「安立園」(9.1%)と続いている。



全体 (n=2,571)

家族構成をお教えてください。(1つに○) (F4)

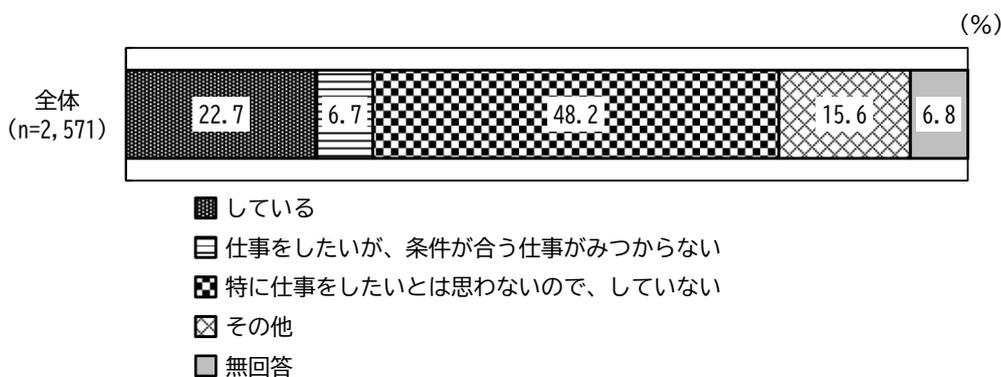
- ・「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(33.9%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(25.6%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(19.9%)と続いている。



(2) 就労状況について

問1 現在収入のある仕事についていますか。(1つに○)

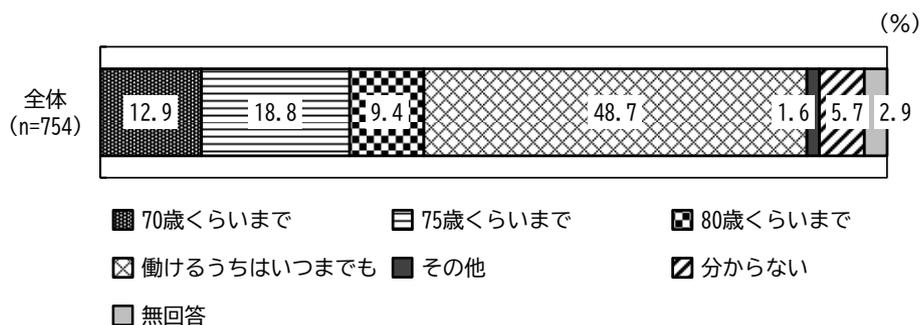
- ・「している」が22.7%、「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」が6.7%で、合わせた割合は29.4%となっている。
- ・一方、「特に仕事をしたいとは思わないので、していない」が48.2%となっている。



«問1で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします»

問1-1 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいですか。(1つに○)

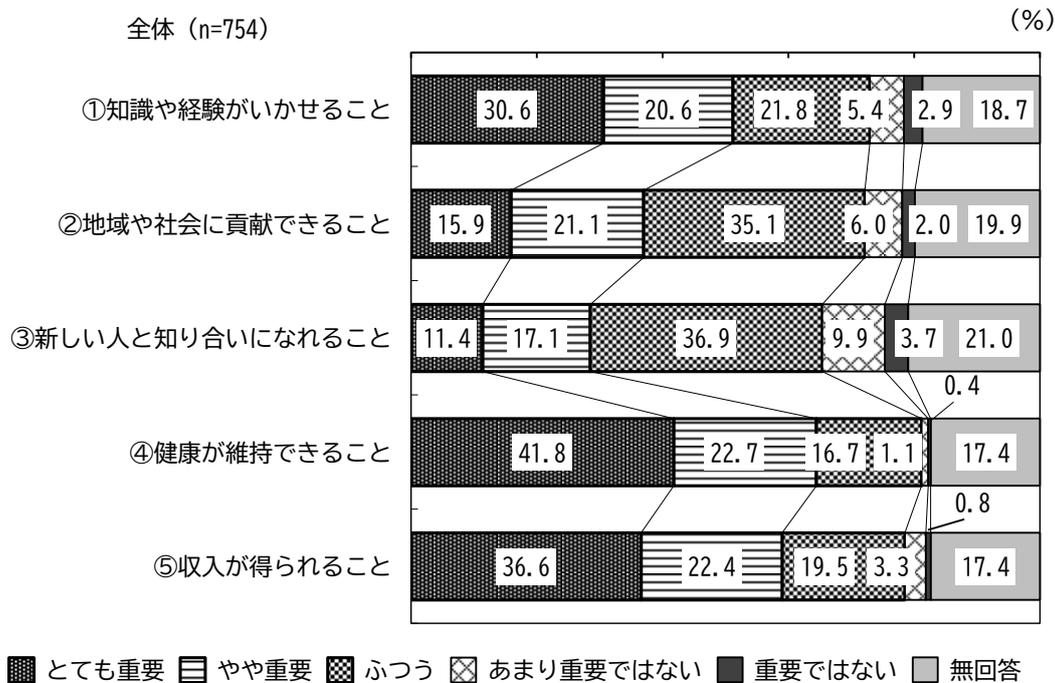
- ・「働けるうちはいつまでも」(48.7%)が最も多く、次いで「75歳くらいまで」(18.8%)、「70歳くらいまで」(12.9%)、「80歳くらいまで」(9.4%)と続いている。



《問1で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします》

問1-2 働くうえで、次にあげたことをどの程度重視しますか。(それぞれ1つに○)

- ・「とても重要」と「やや重要」を合わせた割合は、『④健康が維持できること』(64.5%)が最も多く、次いで『⑤収入が得られること』(59.0%)、『①知識や経験がいかせること』(51.2%)となっている。
- ・一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた割合は、『③新しい人と知り合いになれること』(13.6%)が最も多く、次いで『①知識や経験がいかせること』(8.3%)となっている。

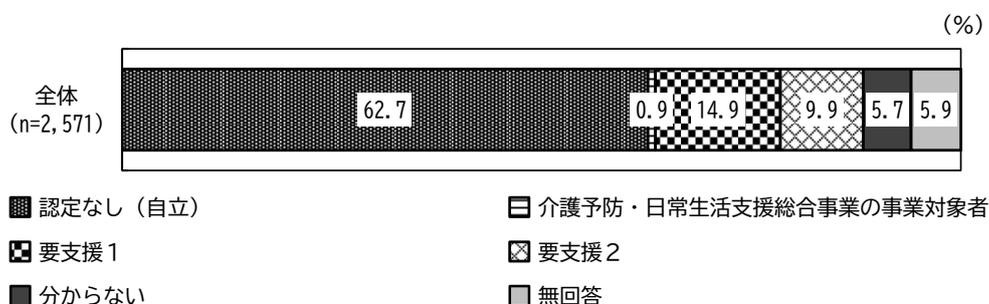


(3) 生活状況について

問2 あなたの介護保険における要支援認定の状況についてお答えください。

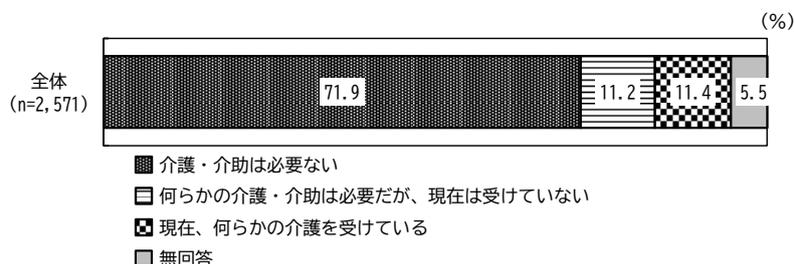
(令和元年10月1日現在) (1つに○)

- ・「認定なし(自立)」(62.7%)が最も多く、次いで「要支援1」(14.9%)、「要支援2」(9.9%)、「介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者」(0.9%)となっている。



問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つに○）

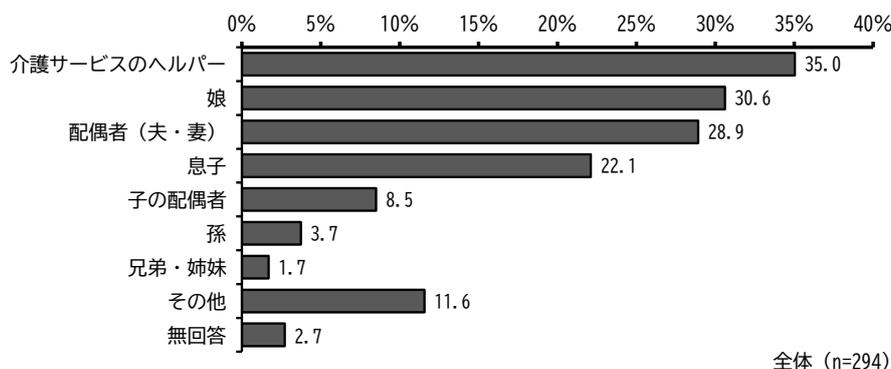
- ・「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.2%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が11.4%で、合わせた割合は22.6%となっている。
- ・一方、「介護・介助は必要ない」が71.9%となっている。



《問3で「3」を選択した方におたずねします》

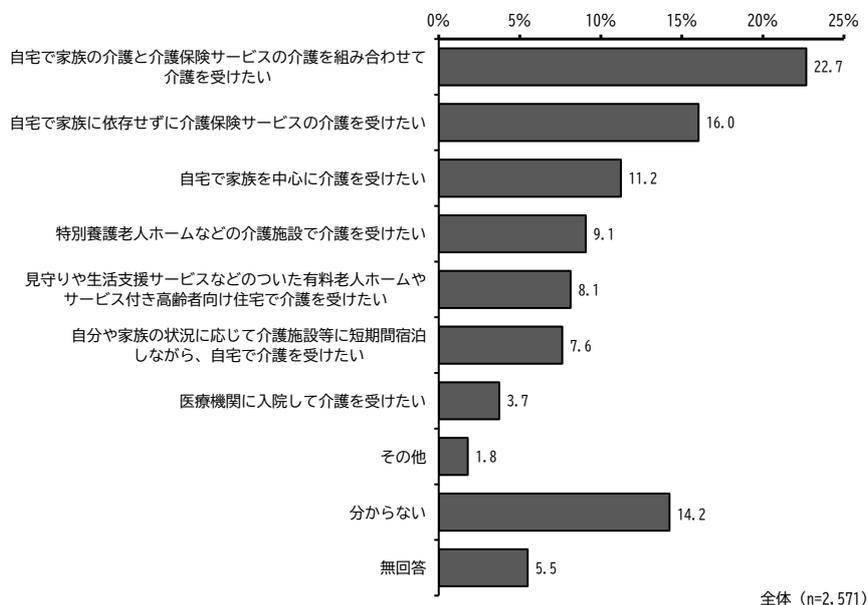
問3-1 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（いくつでも○）

- ・「介護サービスのヘルパー」(35.0%)が最も多く、次いで「娘」(30.6%)、「配偶者(夫・妻)」(28.9%)、「息子」(22.1%)と続いている。



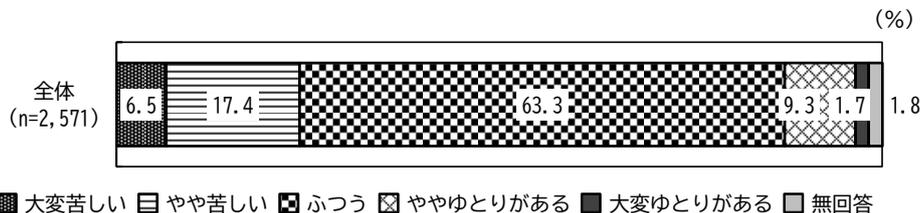
問4 今後、介護が必要になったら、どこで生活したいとお考えですか。（1つに○）

- ・「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(22.7%)が最も多く、次いで「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」(16.0%)、「自宅で家族を中心に介護を受けたい」(11.2%)と続いている。
- ・一方、「わからない」は14.2%となっている。



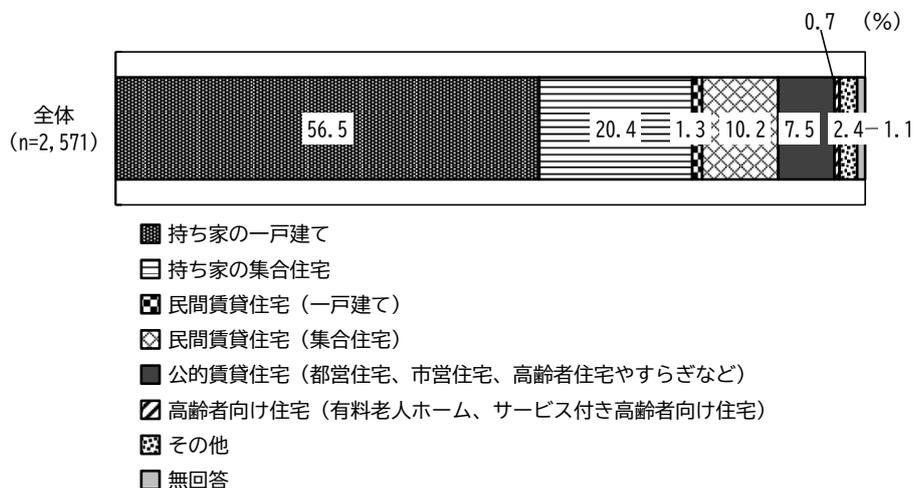
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- ・「ふつう」の割合が最も多く 63.3%となっている。
- ・「大変苦しい」(6.5%)と「やや苦しい」(17.4%)を合わせた割合は 23.9%となっている。
- ・一方、「ややゆとりがある」(9.3%)と「大変ゆとりがある」(1.7%)を合わせた割合は 11.0%となっている。



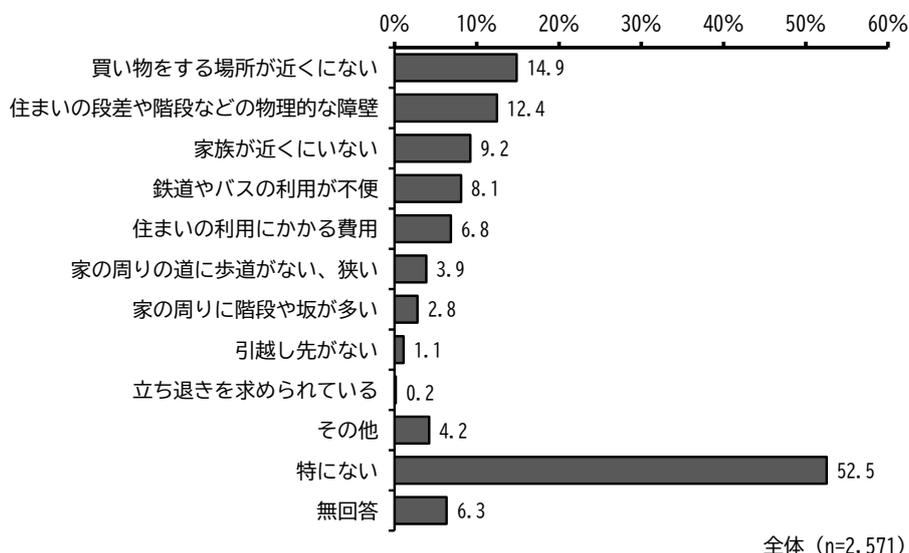
問6 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

- ・「持ち家の一戸建て」(56.5%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(20.4%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(10.2%)となっている。



問7 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○)

- ・「買い物をする場所が近くにない」(14.9%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(12.4%)、「家族が近くにいない」(9.2%)、「鉄道やバスの利用が不便」(8.1%)、「住まいの利用にかかる費用(家賃など)」(6.8%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は 52.5%となっている。

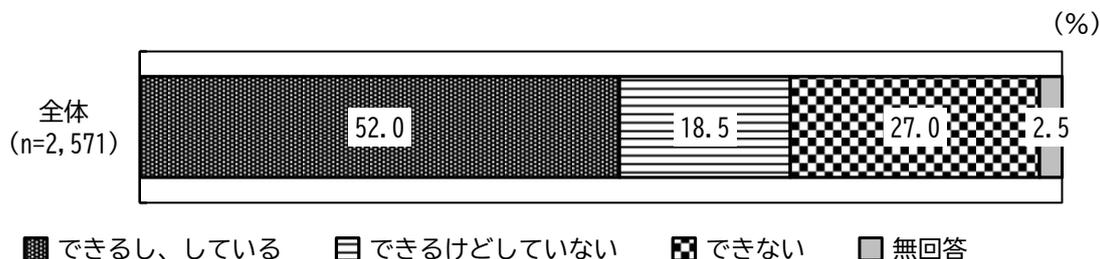


全体 (n=2,571)

(4) からだを動かすことについて

問 8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が52.0%、「できるけどしていない」が18.5%で、合わせた割合は70.5%、一方、「できない」が27.0%となっている。



問 9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が68.1%、「できるけどしていない」が11.4%で、合わせた割合は79.5%、一方、「できない」が18.8%となっている。



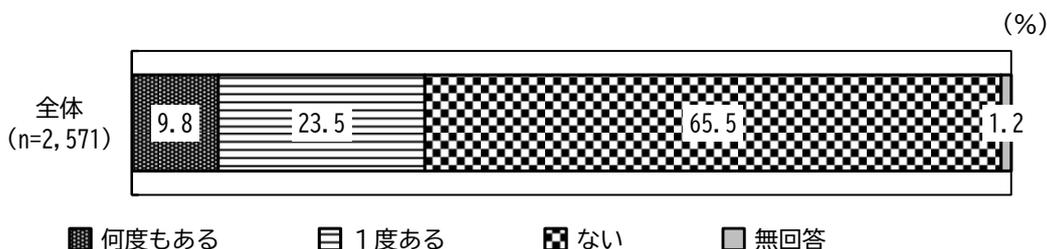
問 10 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が75.5%、「できるけどしていない」が10.3%で、合わせた割合は85.8%、一方、「できない」が11.9%となっている。



問 11 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- ・「何度もある」が9.8%、「1度ある」が23.5%で、合わせた割合は33.3%、一方、「ない」が65.5%となっている。



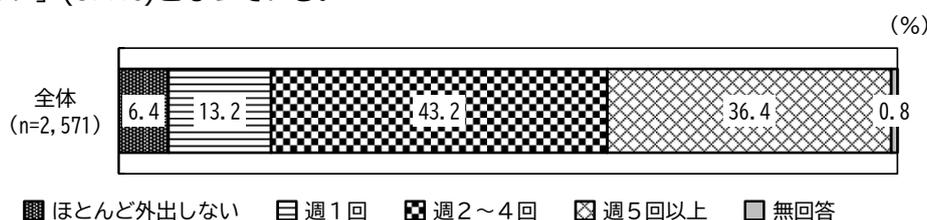
問 12 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- ・「とても不安である」(21.5%)と「やや不安である」(36.1%)を合わせた割合は57.6%となっている。
- ・一方、「あまり不安でない」(24.4%)と「不安でない」(16.8%)を合わせた割合は41.2%となっている。



問 13 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- ・「週2～4回」(43.2%)が最も多く、次いで「週5回以上」(36.4%)、「週1回」(13.2%)、「ほとんど外出しない」(6.4%)となっている。



問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- ・「とても減っている」(5.9%)と「減っている」(26.1%)を合わせた割合は32.0%となっている。
- ・一方、「あまり減っていない」(29.6%)と「減っていない」(37.2%)を合わせた割合は66.8%となっている。



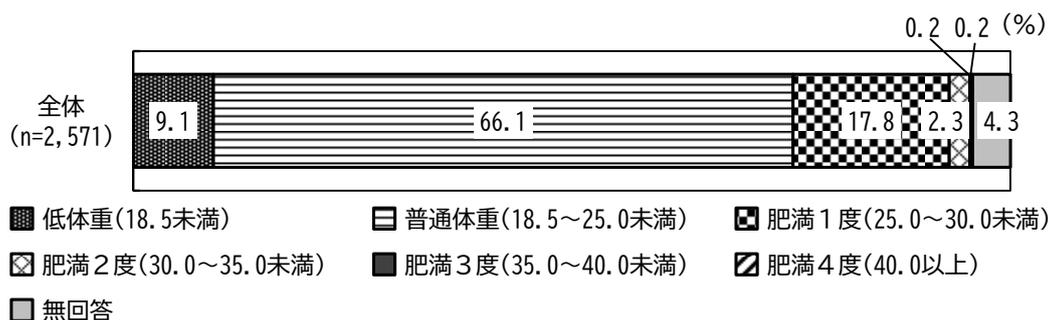
(5) 食べることについて

問 15 身長・体重をお教えてください。(BMI※)

- ・「普通体重(18.5～25.0未満)」(66.1%)で、肥満の「1度」～「4度」を合わせた「肥満(25.0以上)」の割合は20.5%、一方、「低体重(18.5未満)」は9.1%となっている。

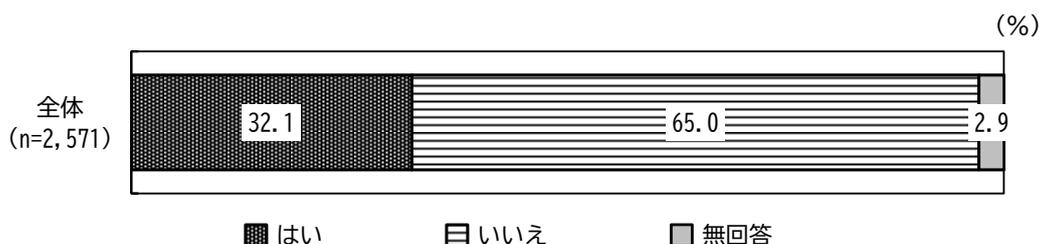
※BMI (Body mass index)

[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる。



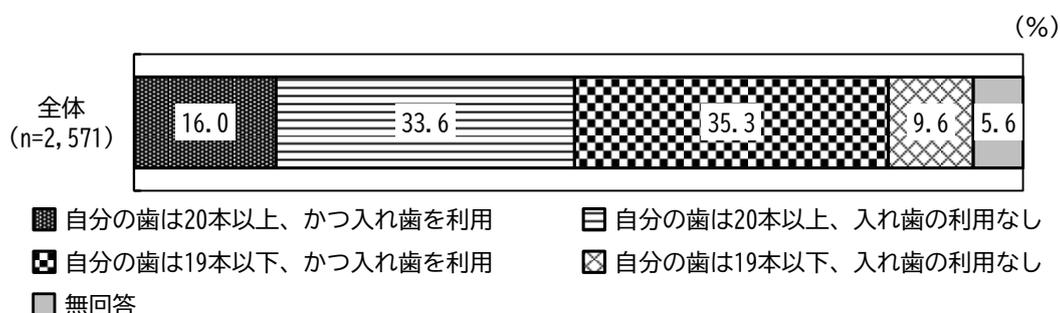
問 16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

- ・「はい」が32.1%、「いいえ」が65.0%となっている。



問 17 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)(1つに○)

- ・「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(35.3%)が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(33.6%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(16.0%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(9.6%)となっている。
- ・「入れ歯を利用している」割合は51.3%、「自分の歯が19本以下」の割合は44.9%となっている。



《問 17 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ》

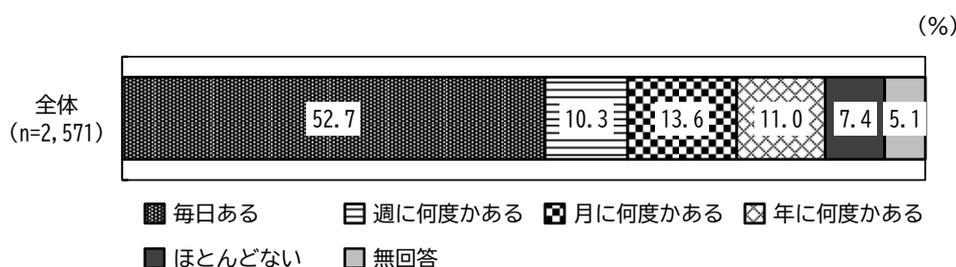
問 17-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

- ・「はい」が87.4%、「いいえ」が6.9%となっている。



問 18 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

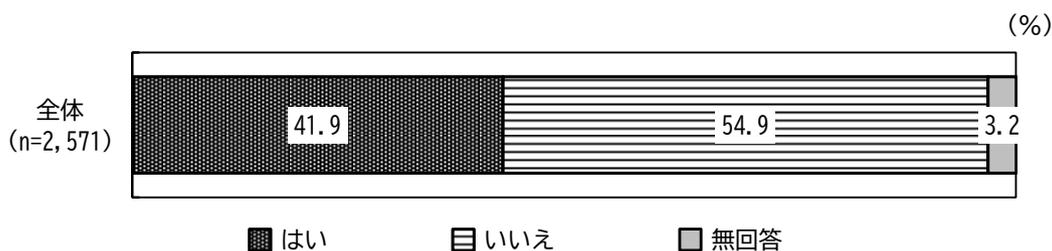
- ・「毎日ある」(52.7%)と「週に何度かある」(10.3%)を合わせた割合は63.0%、一方、「ほとんどない」(7.4%)と「年に何度かある」(11.0%)と「月に何度かある」(13.6%)を合わせた割合は32.0%となっている。



(6) 毎日の生活について

問 19 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

・「はい」が41.9%、「いいえ」が54.9%となっている。



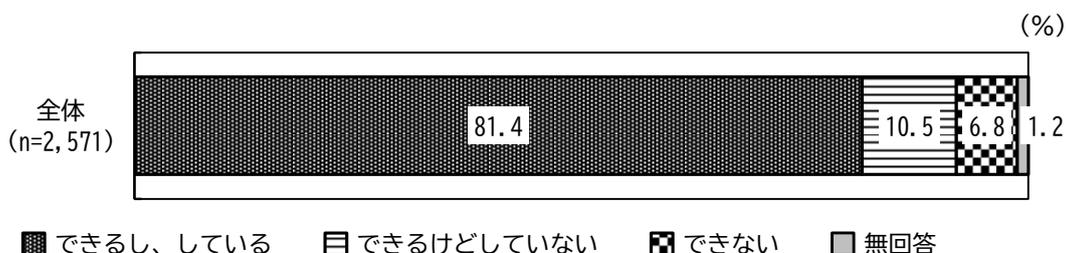
問 20 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つに○)

・「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が8.8%で、合わせた割合は90.2%、一方、「できない」が8.2%となっている。



問 21 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに○)

・「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が10.5%で、合わせた割合は91.9%、一方、「できない」が6.8%となっている。



問 22 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

・「できるし、している」が72.9%、「できるけどしていない」が17.3%で、合わせた割合は90.2%、一方、「できない」が8.0%となっている。



問 23 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が82.0%、「できるけどしていない」が11.9%で、合わせた割合は93.9%、一方、「できない」が4.2%となっている。



問 24 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が82.2%、「できるけどしていない」が11.3%で、合わせた割合は93.5%、一方、「できない」が4.8%となっている。

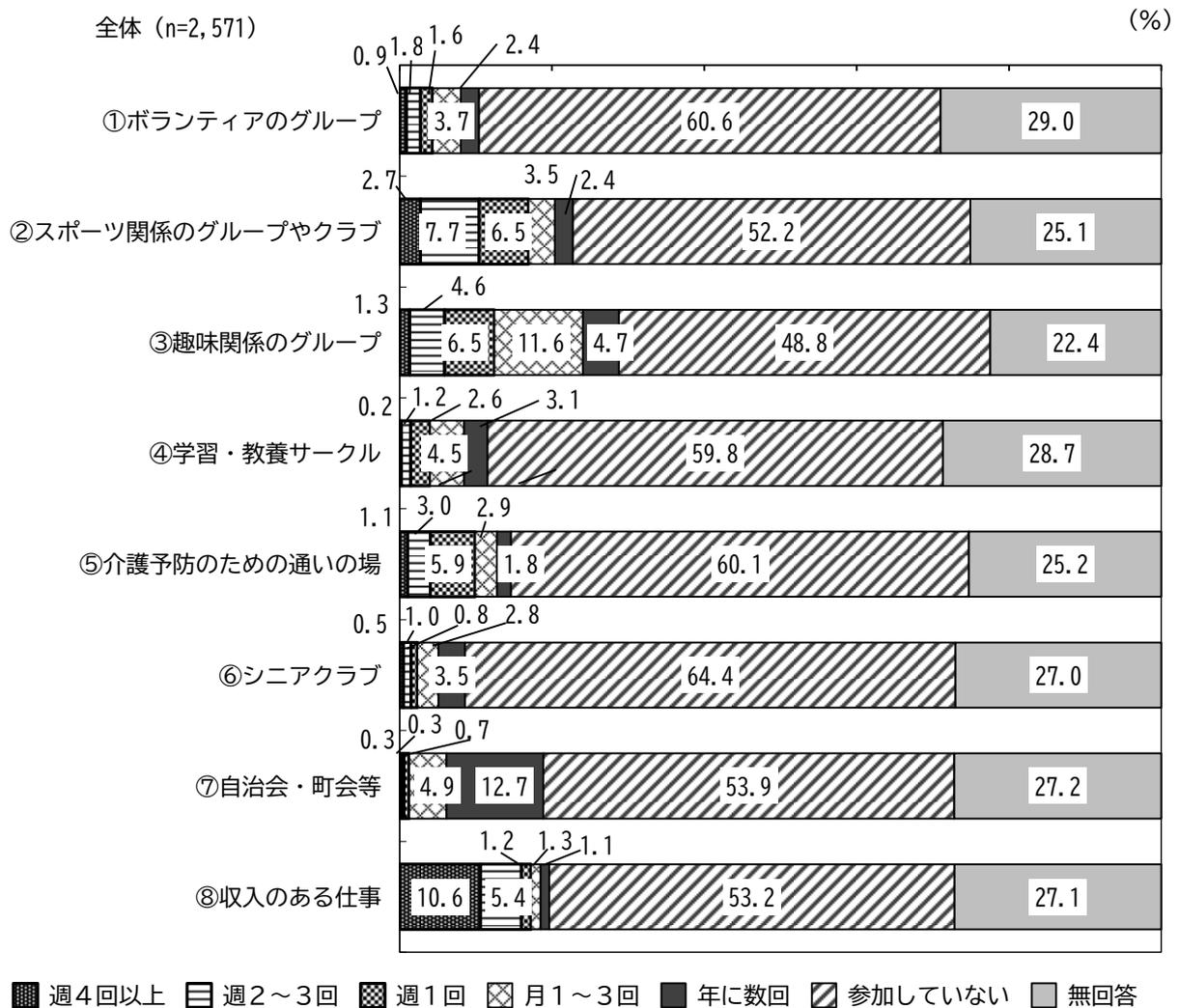


(7) 地域生活と日ごろの活動について

問 25 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(① ~⑧それぞれ1つに○)

- ・「参加している(年に数回~週4回以上)」割合は、『③趣味関係のグループ』(28.7%)が最も高く、次いで、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(22.8%)、『⑧収入のある仕事』(19.6%)、『⑦自治会・町会等』(18.9%)、『⑤介護予防のための通いの場』(14.7%)、『④学習・教養サークル』(11.6%)、『①ボランティアのグループ』(10.4%)、『⑥シニアクラブ』(8.6%)となっている。
- ・「週1回以上(「1~4回以上)」の割合は、『⑧収入のある仕事』(17.2%)が最も高く、次いで、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(16.9%)、『③趣味関係のグループ』(12.4%)、『⑤介護予防のための通いの場』(10.0%)、『①ボランティアのグループ』(4.3%)、『④学習・教養サークル』(4.0%)、『⑥シニアクラブ』(2.3%)、『⑦自治会・町会等』(1.3%)となっている。
- ・一方、「参加していない」割合は、『⑥シニアクラブ』(64.4%)が最も多く、次いで『①ボランティアのグループ』(60.6%)、『⑤介護予防のための通いの場』(60.1%)となっている。

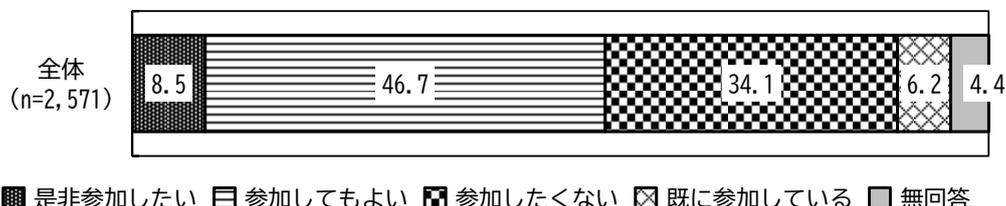


問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

(1つに○)

- ・「是非参加したい」が8.5%、「参加してもよい」が46.7%、「既に参加している」が6.2%で、これらを合わせた参加意向のある割合は61.4%、一方、「参加したくない」が34.1%となっている。

(%)



問 27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

(1つに○)

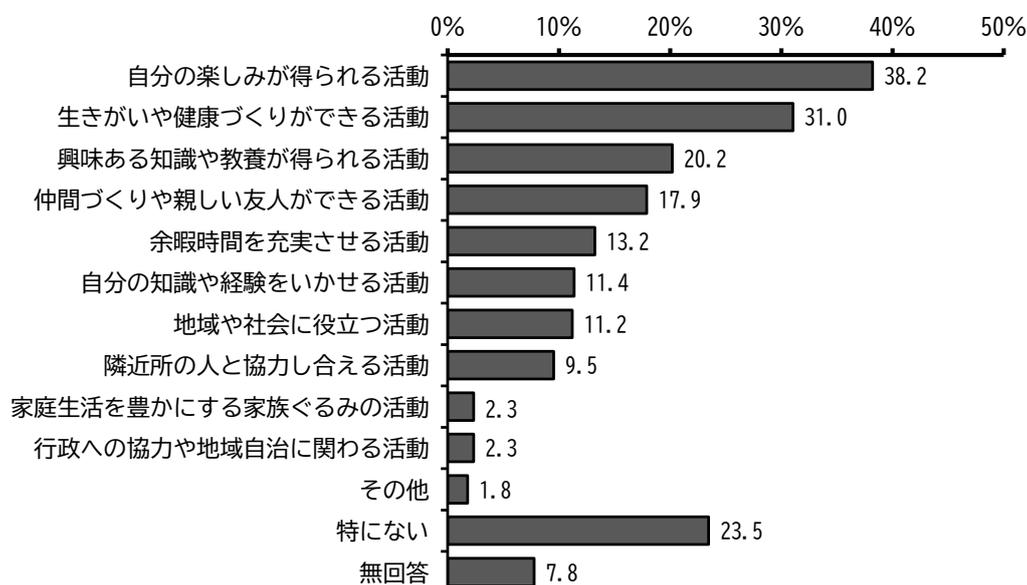
- ・「是非参加したい」が2.4%、「参加してもよい」が29.9%、「既に参加している」が3.5%で、これらを合わせた参加意向のある割合は35.8%、一方、「参加したくない」が57.4%となっている。

(%)



問 28 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。（3つまでに○）

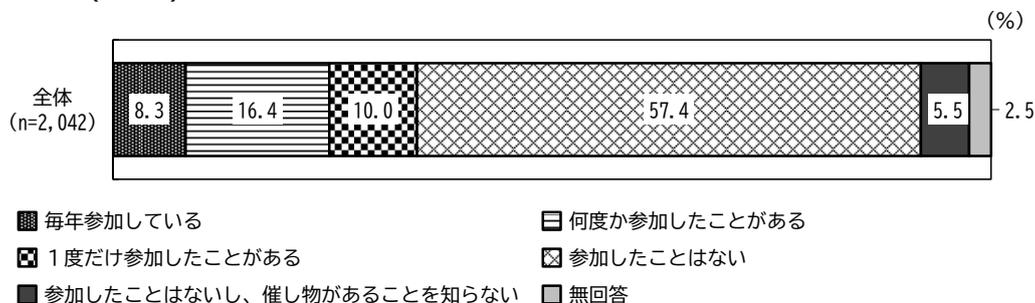
- ・「自分の楽しみが得られる活動」(38.2%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(31.0%)、「興味ある知識や教養が得られる活動」(20.2%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(17.9%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は23.5%となっている。



全体 (n=2,571)

問 29 市では各種生きがいづくり事業を行っています。あなたは、「敬老の日記念大会」に参加したことはありますか。70 歳以上の方のみお答えください。（1つに○）

- ・「参加したことはない」(57.4%)が最も多く、「参加したことはないし、催し物があることを知らない」(5.5%)を合わせた割合は、62.9%となっている。
- ・一方、「何度か参加したことがある」(16.4%)、「1度だけ参加したことがある」(10.0%)、「毎年参加している」(8.3%)を合わせた割合は34.7%となっている。



《問 29 で「1」～「4」とお答えの方におたずねします》

問 29-1 その理由を具体的にお書きください。

※集計中

問 30 あなたは、「敬老の日記念大会」に今後も参加したいと思いますか。70 歳未満の方は、70 歳を迎えた場合を想定してお答えください。（1つに○）

- ・「参加したい」が27.6%、「参加するつもりはない」が52.6%となっている。



《問 30 で「1」、「2」とお答えの方におたずねします》

問 30-1 その理由を具体的にお書きください。

※集計中

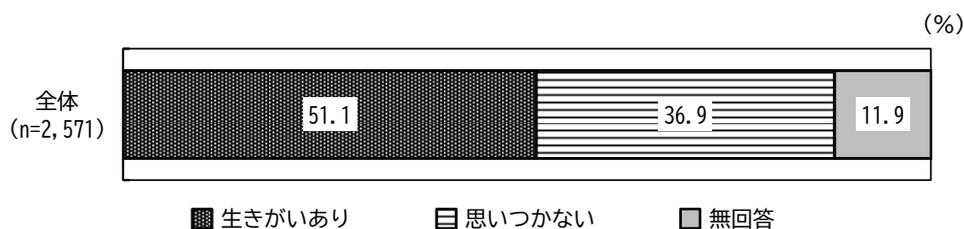
問 31 「高齢者保養施設利用助成」を利用したことがありますか。（1つに○）

- ・「利用したことがある」が5.6%、「知っているが利用したことはない」が31.3%で、合わせた割合は36.9%、一方、「知らないし、利用したことがない」が58.8%となっている。



問 32 生きがいがありますか。(1つに○)

・「生きがいあり」が51.1%、「思いつかない」が36.9%となっている。

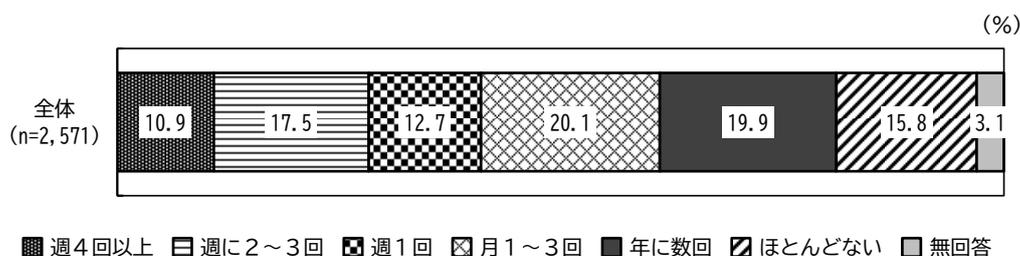


問 33 「生きがいづくり」に関して、市はどのような支援をすべきだと思いますか。具体的にお書きください。

※集計中

問 34 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

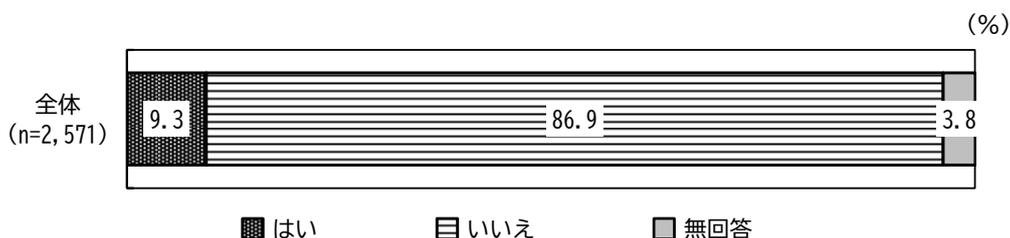
・「月1～3回」(20.1%)が最も多く、次いで「年に数回」(19.9%)、「週に2～3回」(17.5%)、「ほとんどない」(15.8%)、「週1回」(12.7%)と続いている。



(8) 認知症について

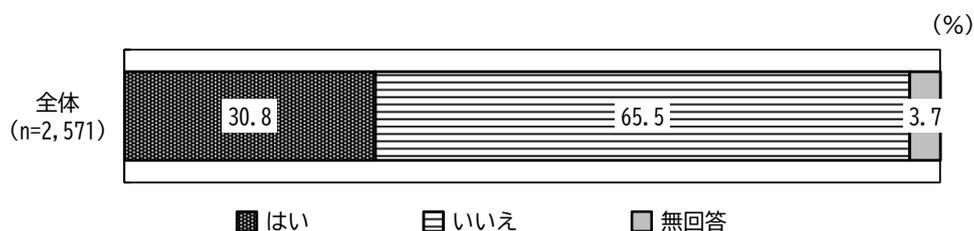
問 35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

・「はい」が9.3%、「いいえ」が86.9%となっている。



問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

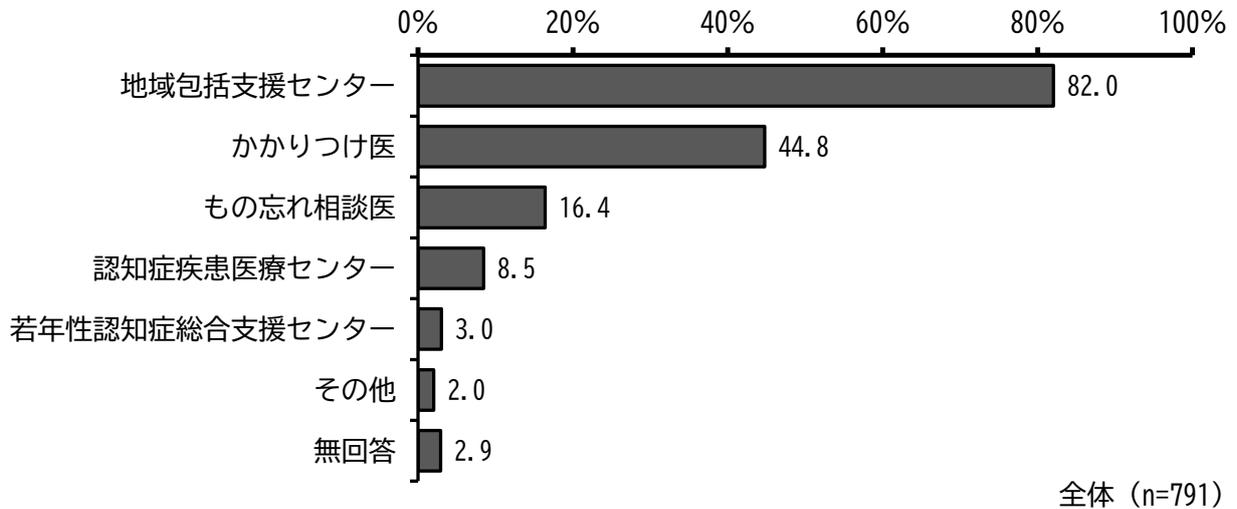
・「はい」が30.8%、「いいえ」が65.5%となっている。



「問 36 で「1」を選択した方におたずねします」

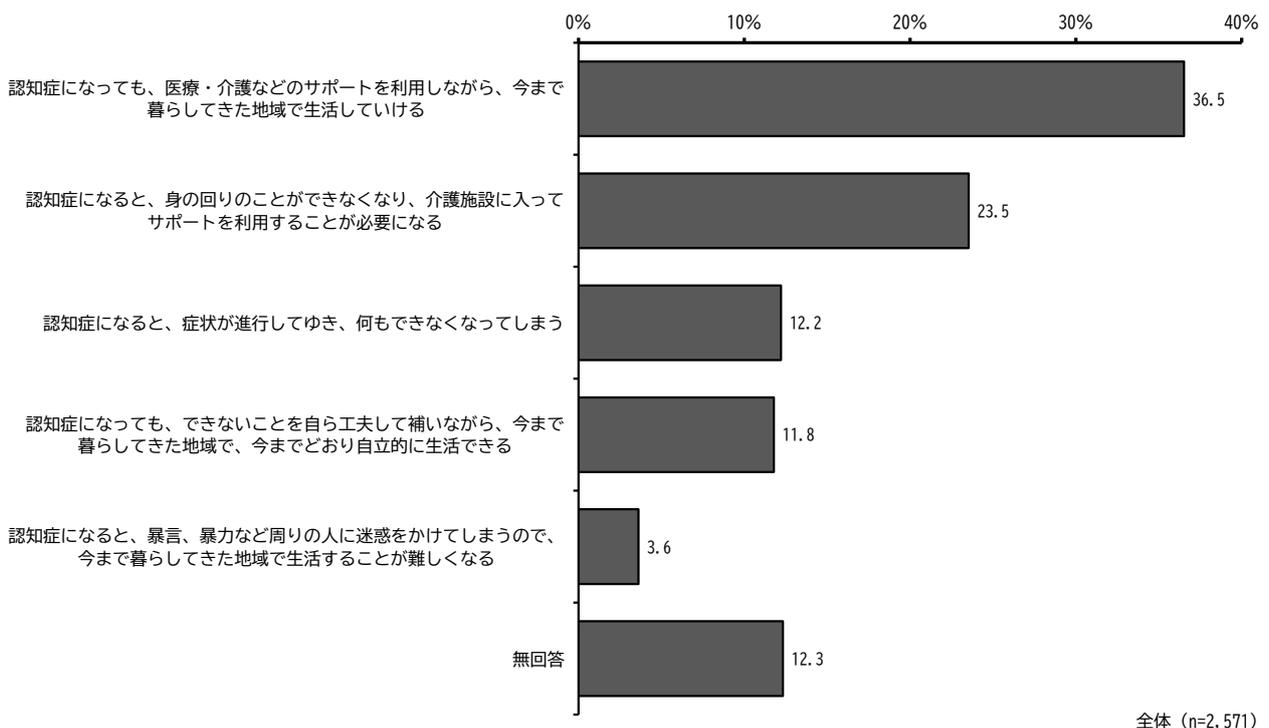
問 36 - 1 あなたが知っている相談窓口はどれですか。（いくつでも○）

- ・「地域包括支援センター」(82.0%)が最も多く、次いで「かかりつけ医」(44.8%)、「もの忘れ相談医」(16.4%)、「認知症疾患医療センター」(8.5%)と続いている。



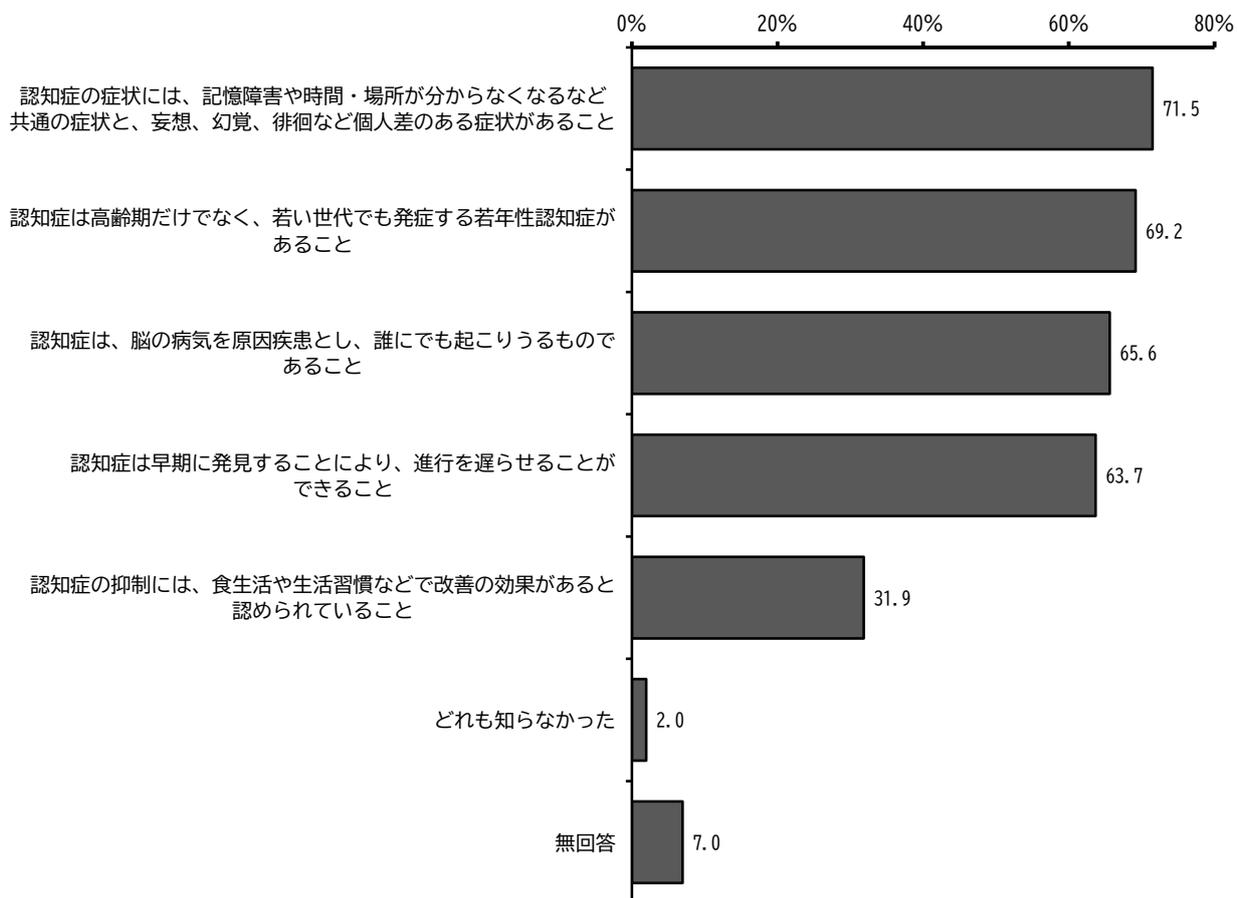
問 37 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。（1つに○）

- ・「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(36.5%)が最も多く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」(23.5%)、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」(12.2%)、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」(11.8%)と続いている。



問 38 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)

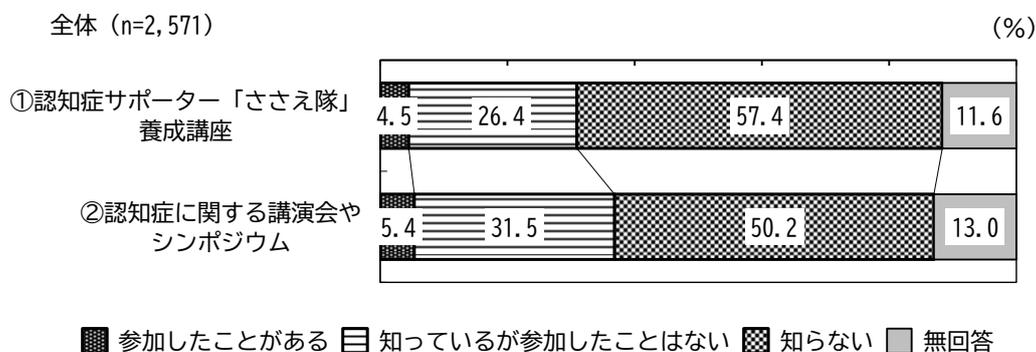
- ・「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(71.5%)が最も多く、次いで「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(69.2%)、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(65.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(63.7%)と続いている。
- ・一方、「どれも知らなかった」は2.0%となっている。



全体 (n=2,571)

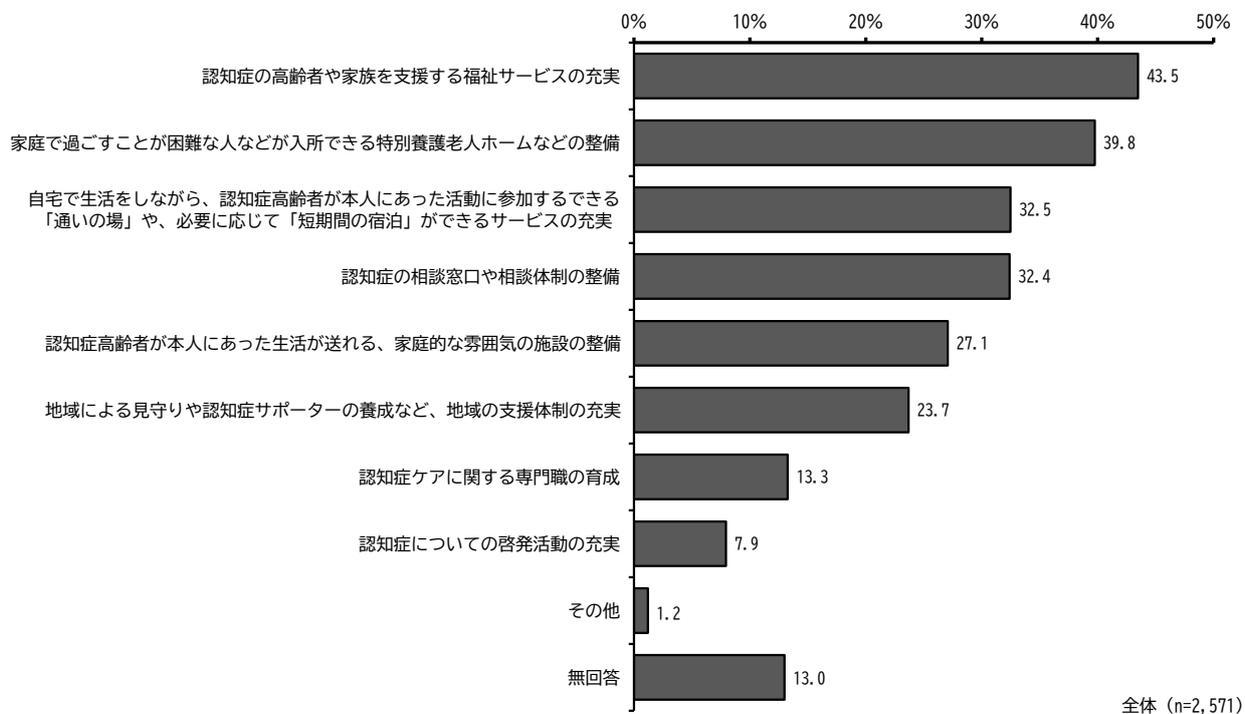
問 39 府中市では、次のような認知症予防の啓発活動を実施しています。あなたの参加状況について①・②のそれぞれ1つに○をつけてください。

- ・『①認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』は、「参加したことがある」が4.5%、「知っているが参加したことはない」が26.4%、「知らない」が57.4%となっている。
- ・『②認知症に関する講演会やシンポジウム』は、「参加したことがある」が5.4%、「知っているが参加したことはない」が31.5%、「知らない」が50.2%となっている。



問 40 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。(3つまでに○)

- ・「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(43.5%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(39.8%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加することができる『通いの場』や、必要に応じて『短期間の宿泊』ができるサービスの充実」(32.5%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(32.4%)と続いている。

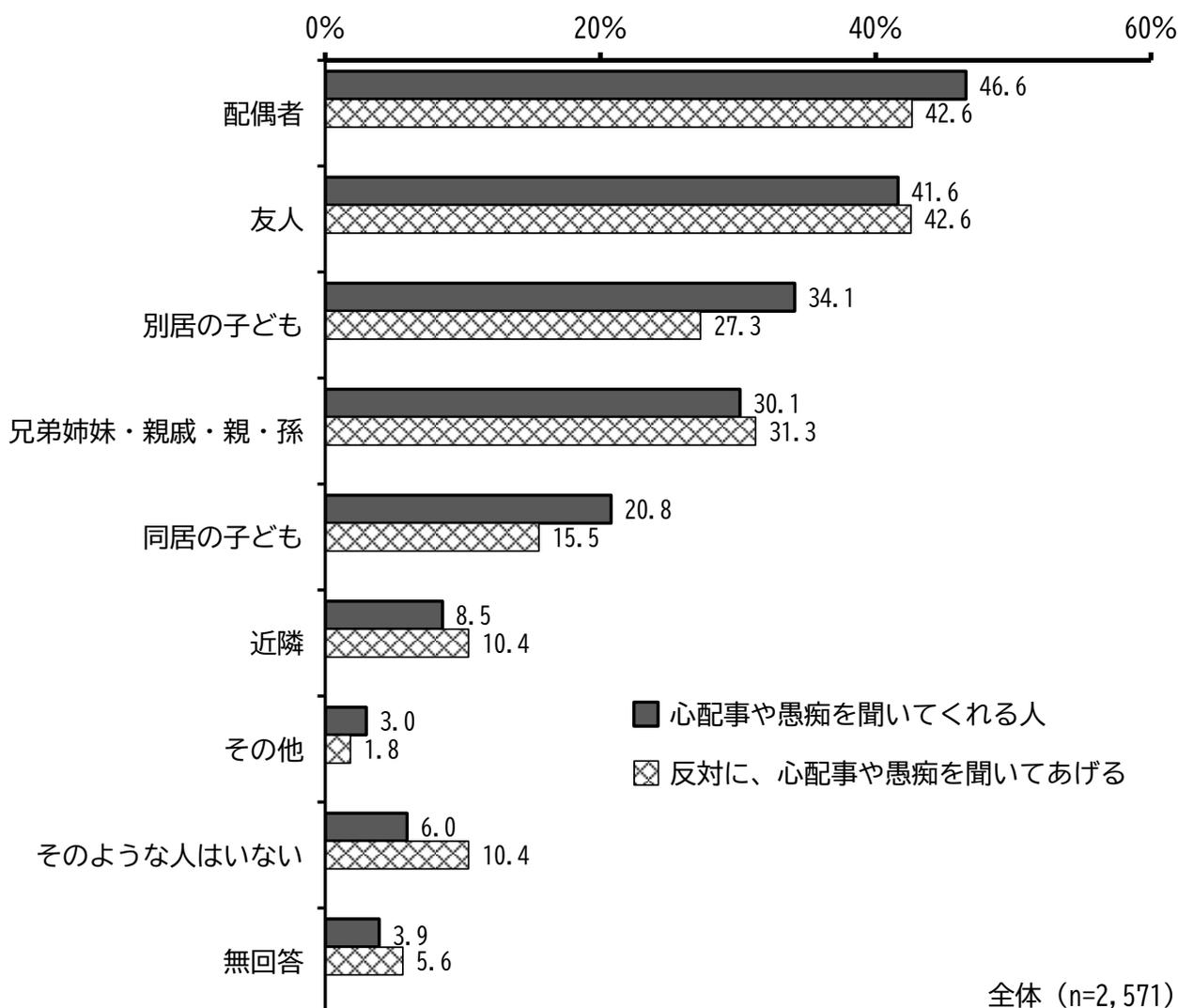


(9) たすけあいについて

問 41 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも○）

問 42 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（いくつでも○）

- ・『心配事や愚痴を聞いてくれる人』は、「配偶者」(46.6%)が最も多く、次いで「友人」(41.6%)、「別居の子ども」(34.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.1%)、「同居の子ども」(20.8%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は6.0%となっている。なお、「別居の子ども」(34.1%)と「同居の子ども」(20.8%)を合わせた割合は54.9%となっている。
- ・反対に『心配事や愚痴を聞いてあげる人』は、「配偶者」「友人」(ともに42.6%)が最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.3%)、「別居の子ども」(27.3%)、「同居の子ども」(15.5%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は10.4%となっている。なお、「別居の子ども」(27.3%)と「同居の子ども」(15.5%)を合わせた割合は42.8%となっている。

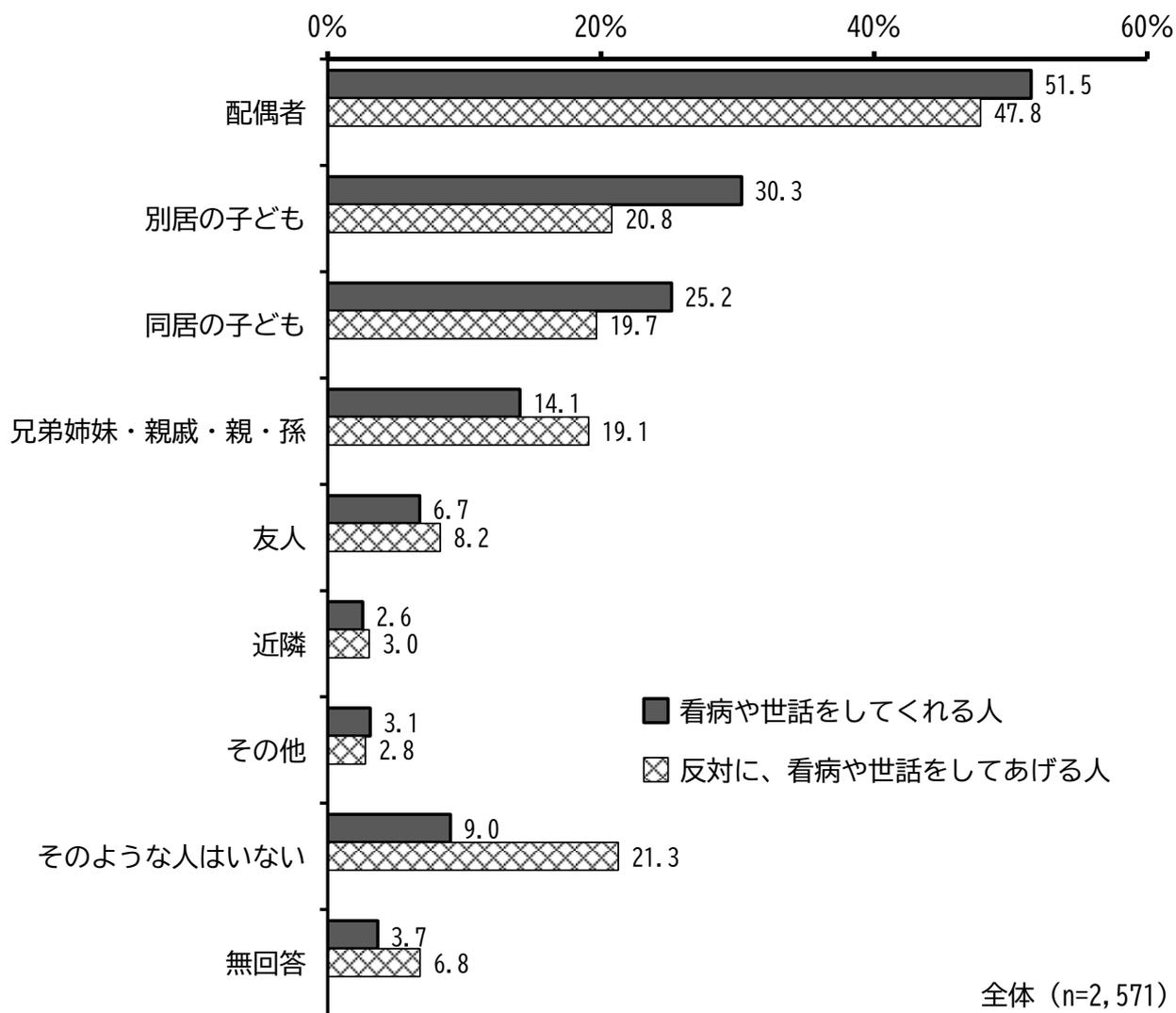


問 43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

問 44 反対に、看病や世話をしあげる人はいますか。

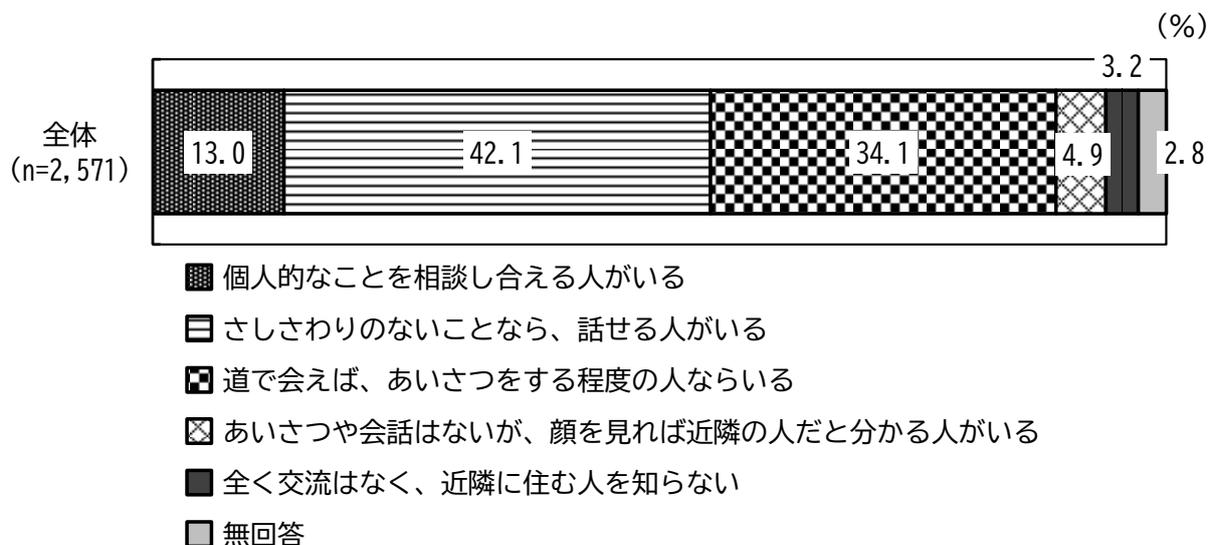
(いくつでも○)

- ・『看病や世話をしてくれる人』は、「配偶者」(51.5%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(30.3%)、「同居の子ども」(25.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(14.1%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は9.0%となっている。なお、「別居の子ども」(30.3%)と「同居の子ども」(25.2%)を合わせた割合は55.5%となっている。
- ・反対に『看病や世話をしあげる人』は、「配偶者」(47.8%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(20.8%)、「同居の子ども」(19.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.1%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は21.3%となっている。なお、「別居の子ども」(20.8%)と「同居の子ども」(19.7%)を合わせた割合は40.5%となっている。



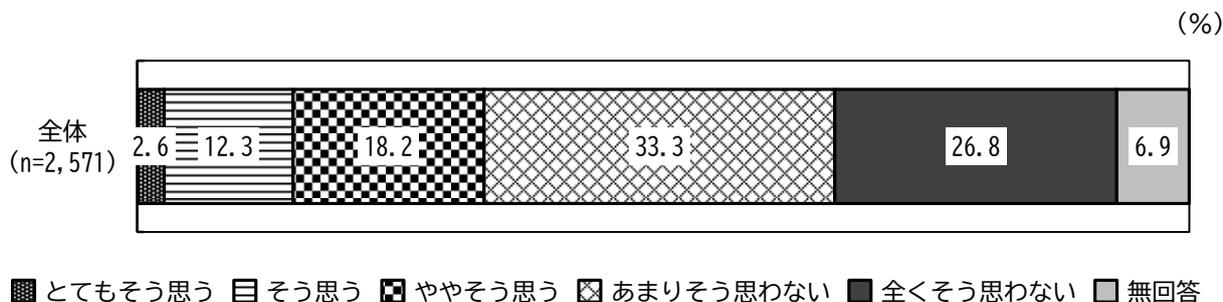
問 45 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

- ・「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(42.1%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(34.1%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(13.0%)と続いている。



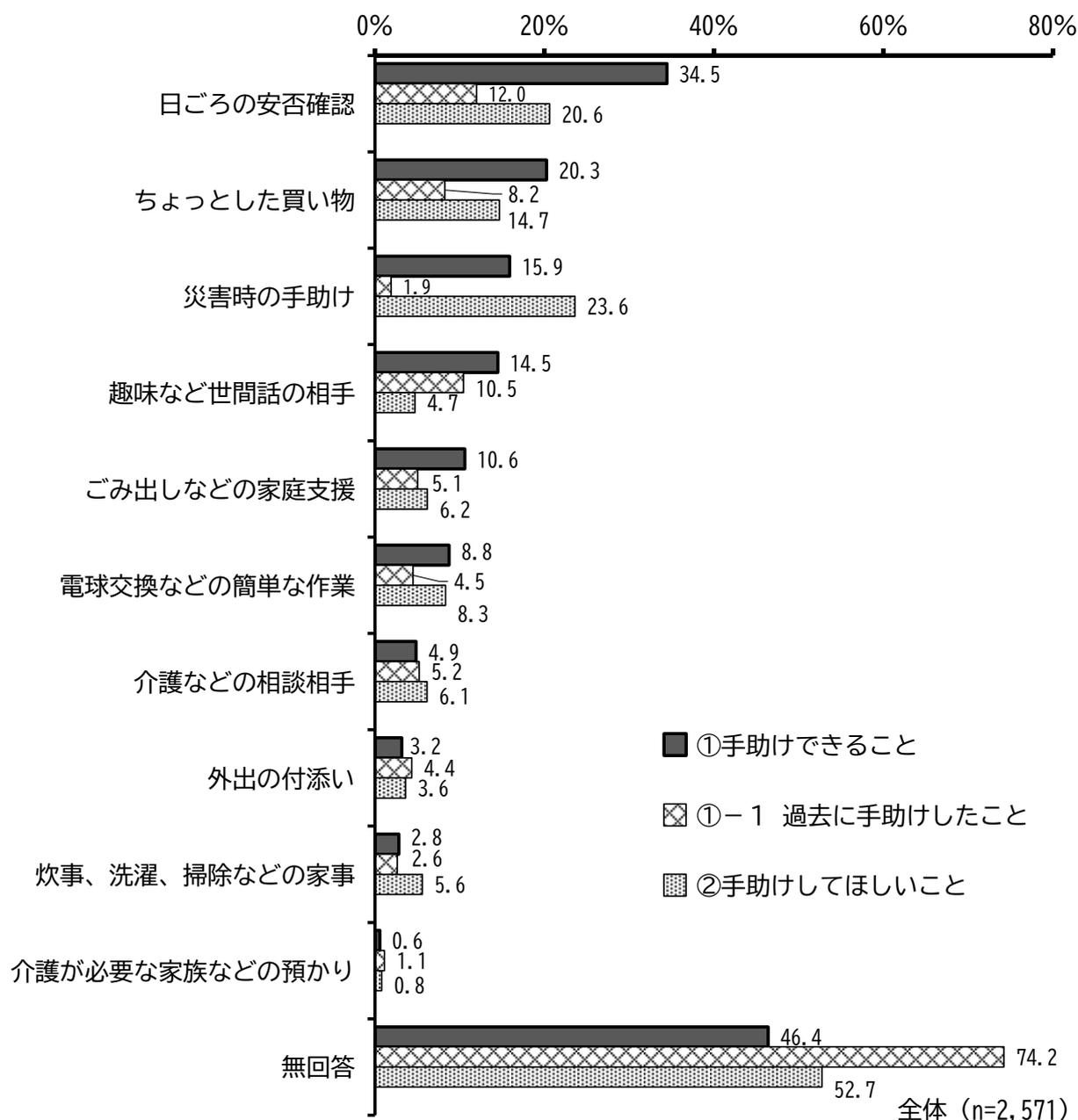
問 46 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど) (1つに○)

- ・「とてもそう思う」(2.6%)、「そう思う」(12.3%)、「ややそう思う」(18.2%)を合わせた割合は 33.1% となっている。
- ・一方、「あまりそう思わない」(33.3%)、「全くそう思わない」(26.8%)を合わせた割合は 60.1% となっている。



問 47 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になったときに隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてほしいですか。(1)～(10)の項目のうち、①、②については3つまでに、①-1についてはあてはまるものに○をつけてください。

- ・『手助けできること』は、「日ごろの安否確認」(34.5%)が最も多く、次いで「ちょっとした買い物」(20.3%)、「災害時の手助け」(15.9%)、「趣味など世間話の相手」(14.5%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(10.6%)と続いている。
- ・『過去に手助けしたこと』は、「日ごろの安否確認」(12.0%)が最も多く、次いで「趣味など世間話の相手」(10.5%)、「ちょっとした買い物」(8.2%)と続いている。
- ・『手助けしてほしいこと』では、「災害時の手助け」(23.6%)が最も多く、次いで「日ごろの安否確認」(20.6%)、「ちょっとした買い物」(14.7%)と続いている。



(10) 健康づくりや介護予防などについて

問 48 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

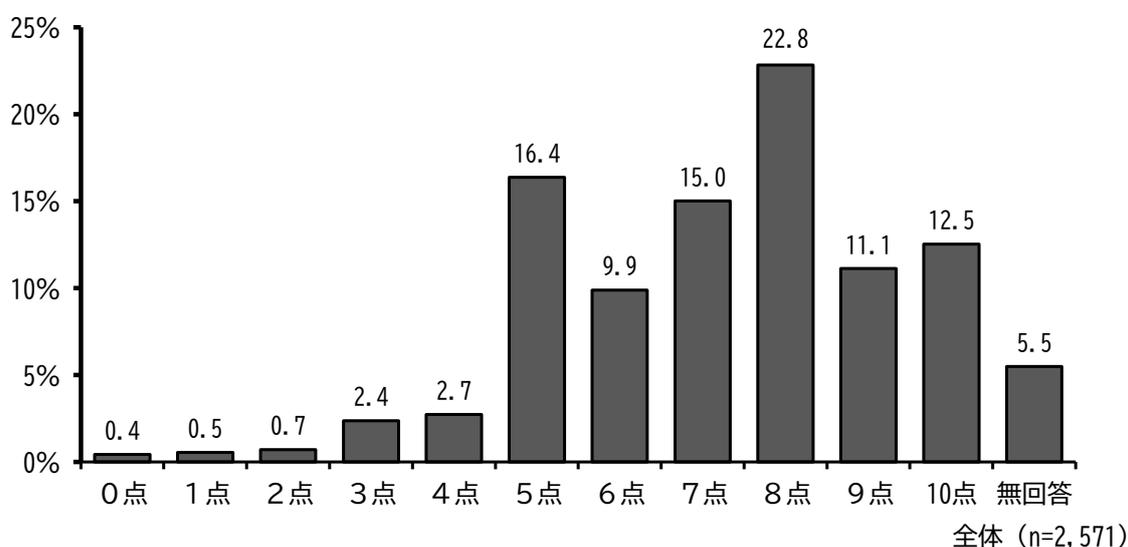
- ・「とてもよい」(12.1%)と「まあよい」(58.7%)を合わせた割合は70.8%となっている。
- ・一方、「あまりよくない」(21.2%)と「よくない」(5.0%)を合わせた割合は26.2%となっている。



問 49 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれぐらいになるとお思いますか。最も近いものをお選びください。

(1つに○)

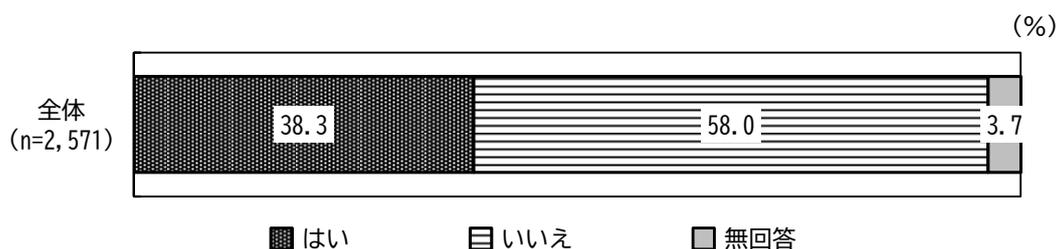
- ・「8点」(22.8%)が最も多く、次いで「5点」(16.4%)、「7点」(15.0%)、「10点」(12.5%)、「9点」(11.1%)と続いている。
- ・「8点以上」の割合は46.4%、一方、「2点以下」の割合は1.6%となっている。
- ・平均点は7.13点である。



問 50 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

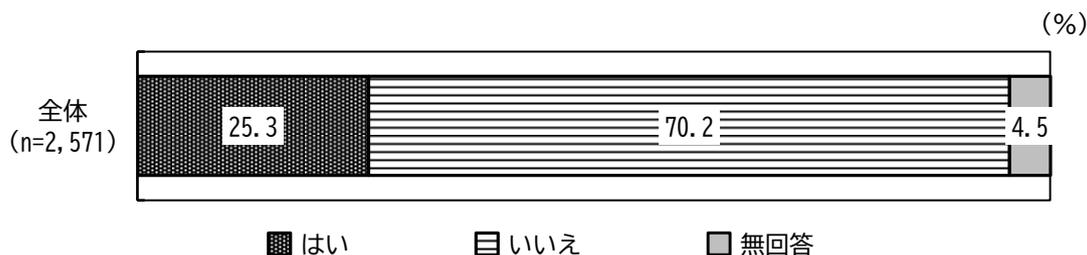
(1つに○)

- ・「はい」が38.3%、「いいえ」が58.0%となっている。



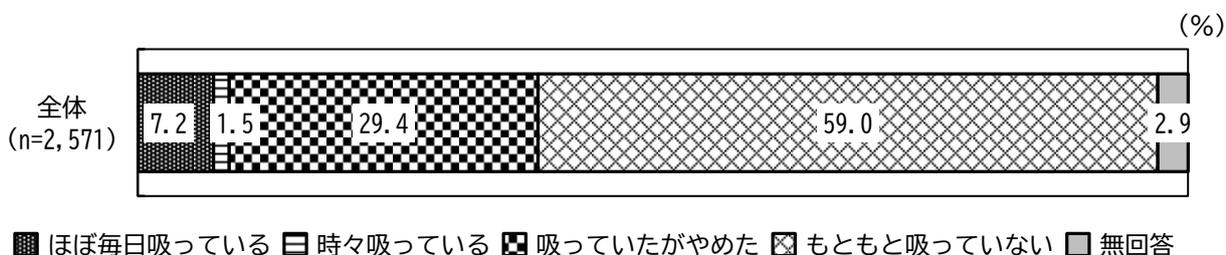
問 51 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

- ・「はい」が25.3%、「いいえ」が70.2%となっている。



問 52 タバコは吸っていますか。(1つに○)

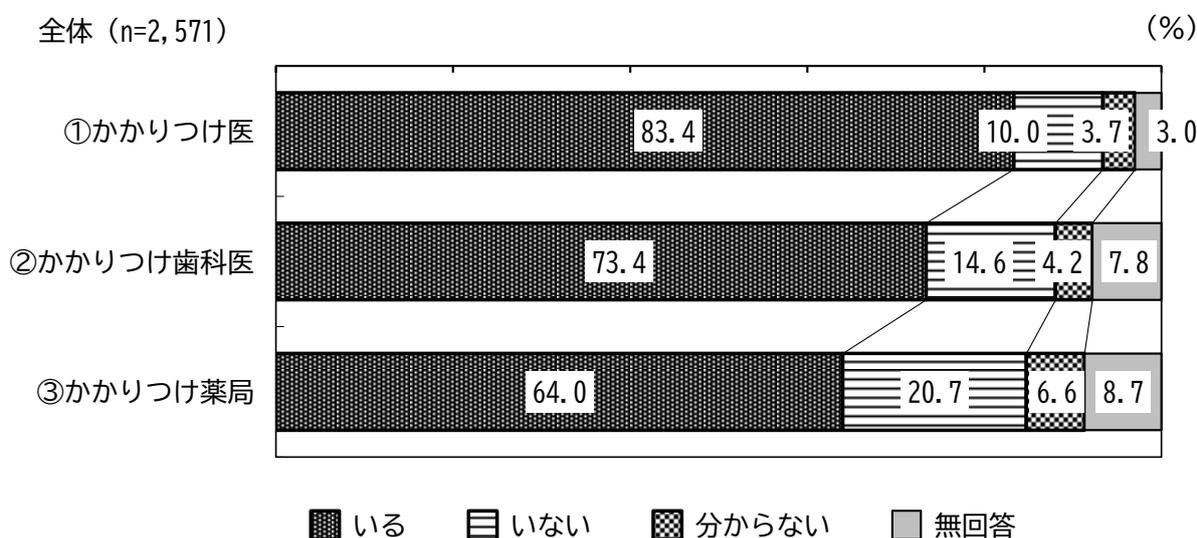
- ・「もともと吸っていない」(59.0%)が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(29.4%)となっている。
- ・「ほぼ毎日吸っている」(7.2%)と「時々吸っている」(1.5%)を合わせた割合は8.7%となっている。



問 53 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

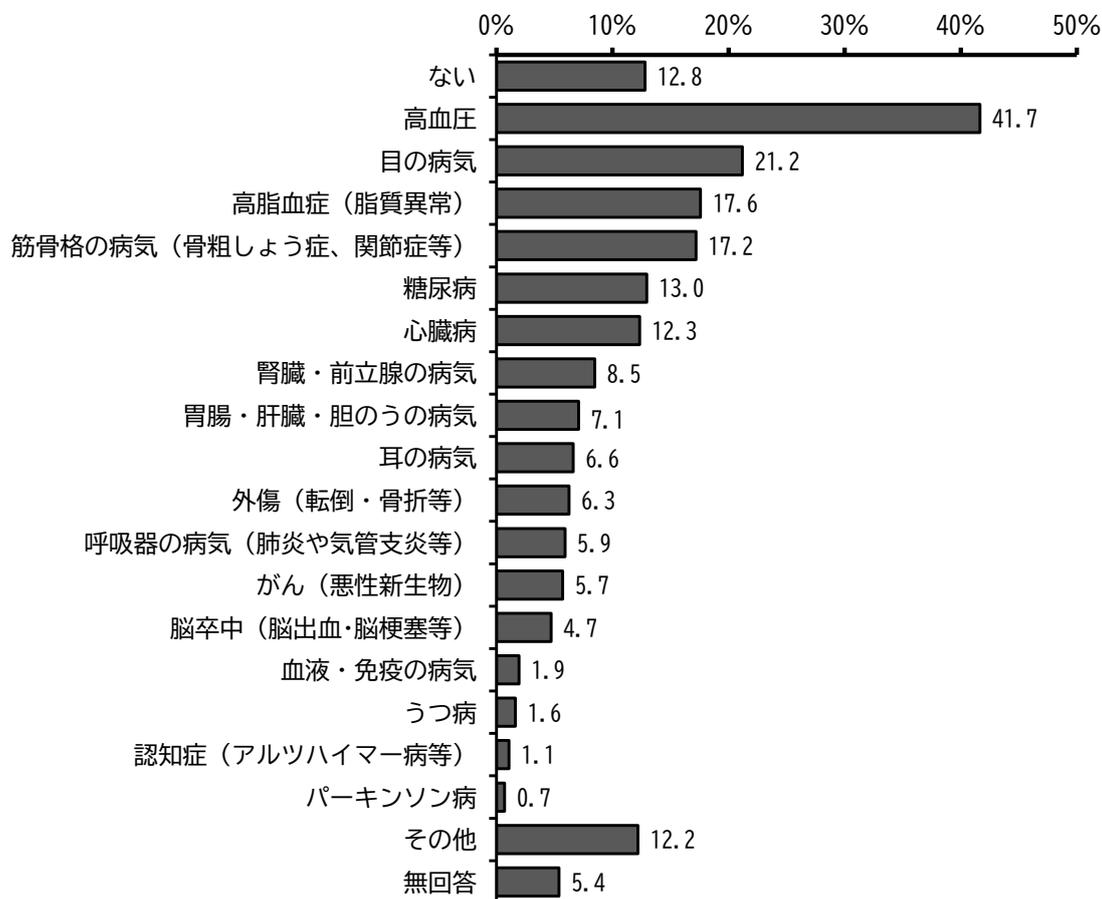
(それぞれ1つに○)

- ・「いる」割合は、『①かかりつけ医』(83.4%)が最も多く、次いで『②かかりつけ歯科医』(73.4%)、『③かかりつけ薬局』(64.0%)となっている。



問 54 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

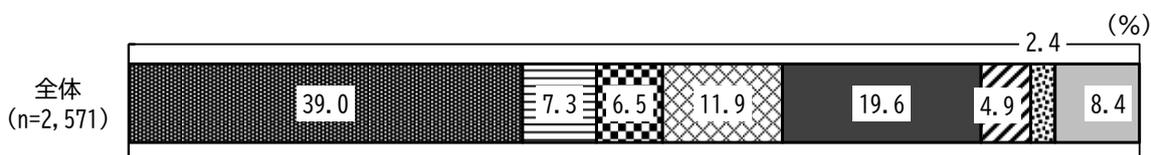
- ・「高血圧」(41.7%)が最も多く、次いで「目の病気」(21.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(17.6%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(17.2%)、「糖尿病」(13.0%)、「心臓病」(12.3%)と続いている。
- ・一方、「ない」は12.8%となっている。



全体 (n=2,571)

問 55 あなたの介護予防に対するお考えをお答えください。(1つに○)

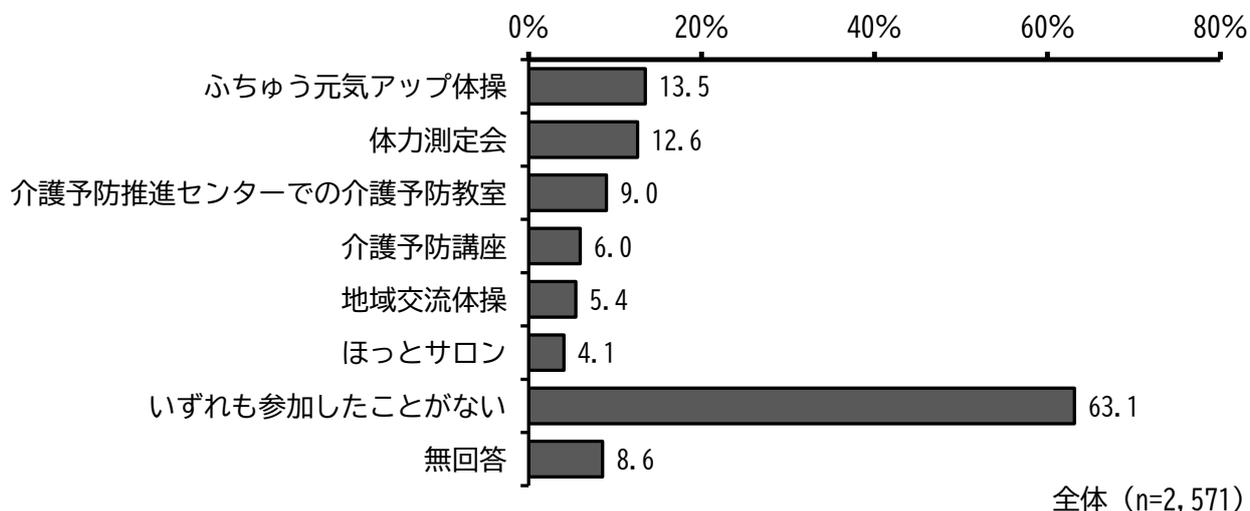
- ・「意識して取り組んでいる」(39.0%)が最も多く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない」(19.6%)、「きっかけがあれば取り組みたい」(11.9%)、「体力が落ちてきたら取り組みたい」(7.3%)、「もう少し歳をとってから取り組みたい」(6.5%)と続いている。



- 意識して取り組んでいる
- 興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない
- きっかけがあれば取り組みたい
- 体力が落ちてきたら取り組みたい
- もう少し歳をとってから取り組みたい
- 興味・関心がない
- その他
- 無回答

問 56 府中市では、いつまでも元気で暮らせるための介護予防事業を行っています。下記の事業に「参加したことがある」、又は「参加している」ものはありますか。（いくつでも○）

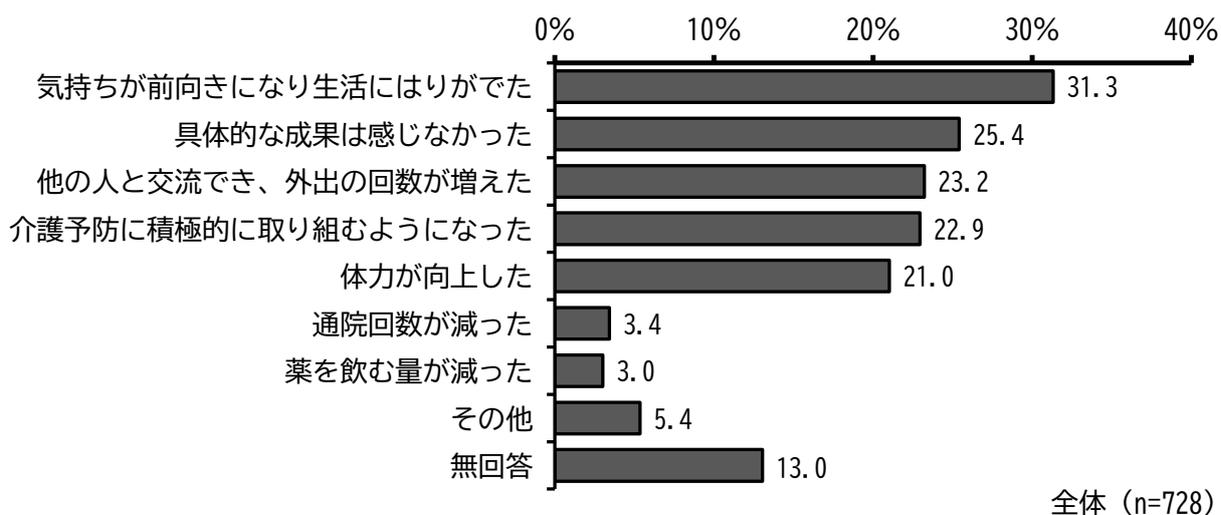
- ・「ふちゅう元気アップ体操（各地域での介護予防教室）」(13.5%)が最も多く、次いで「体力測定会」(12.6%)、「介護予防推進センターでの介護予防教室」(9.0%)、「介護予防講座」(6.0%)、「地域交流体操」(5.4%)と続いている。
- ・一方、「いずれも参加したことがない」は63.1%となっている。



《問 56 で介護予防事業に1つでも「参加したことがある」、又は「参加している」とお答えの方におたずねします》

問 56-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。（いくつでも○）

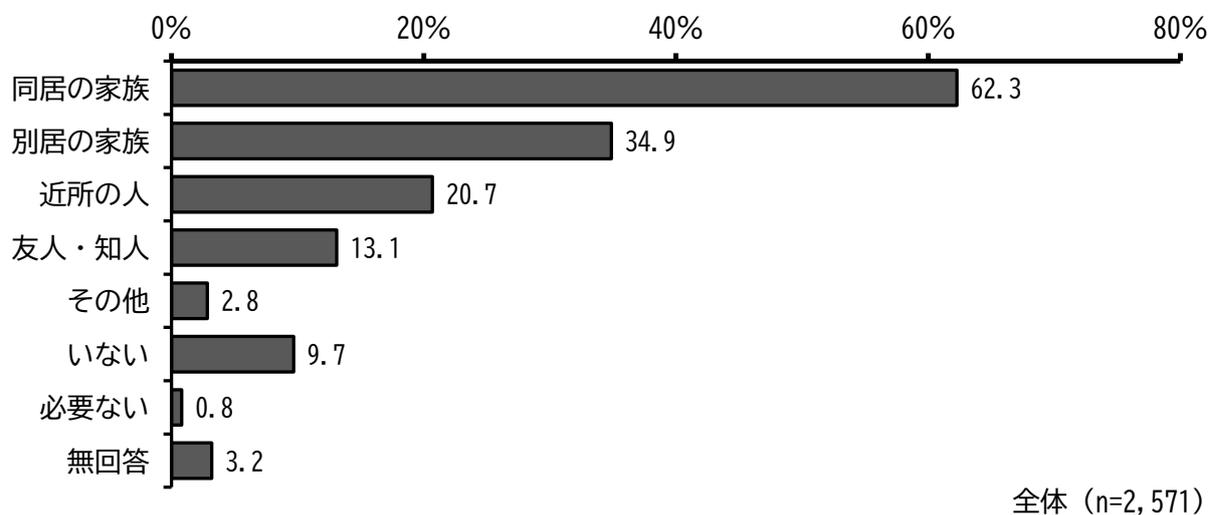
- ・「気持ちが前向きになり生活にはりがでた」(31.3%)が最も多く、次いで「具体的な成果は感じなかった」(25.4%)、「他の人と交流でき、外出の回数が増えた」(23.2%)、「介護予防に積極的に取り組むようになった」(22.9%)、「体力が向上した」(21.0%)と続いている。



(11) 災害時の対応について

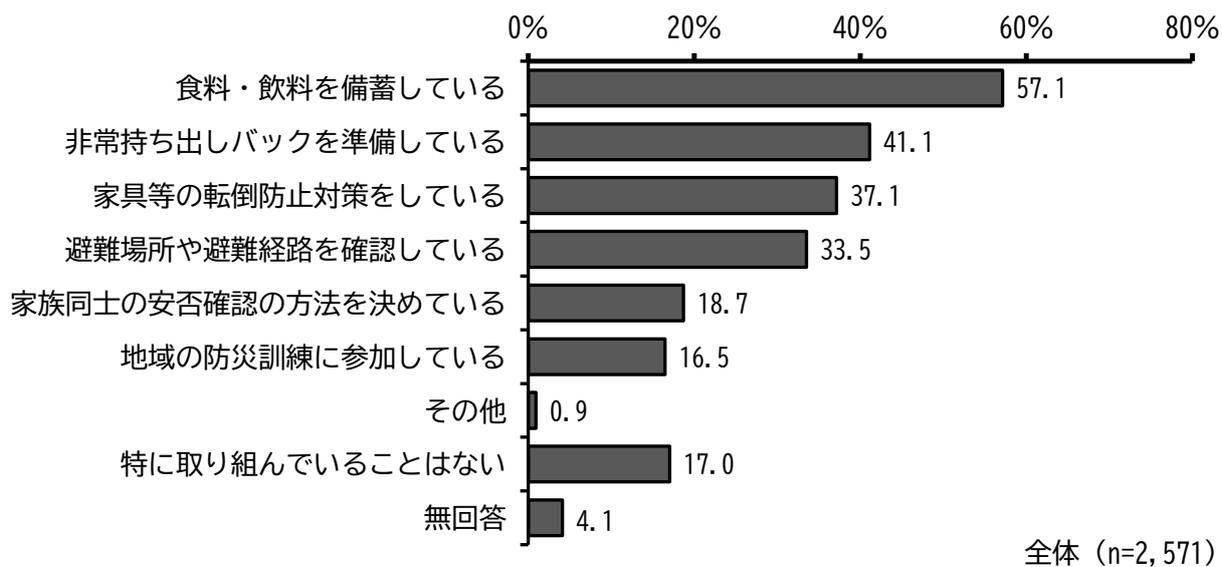
問 57 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- ・「同居の家族」(62.3%)が最も多く、次いで「別居の家族」(34.9%)、「近所の人」(20.7%)、「友人・知人」(13.1%)と続いている。
- ・一方、「いない」は9.7%、「必要ない」は0.8%となっている。



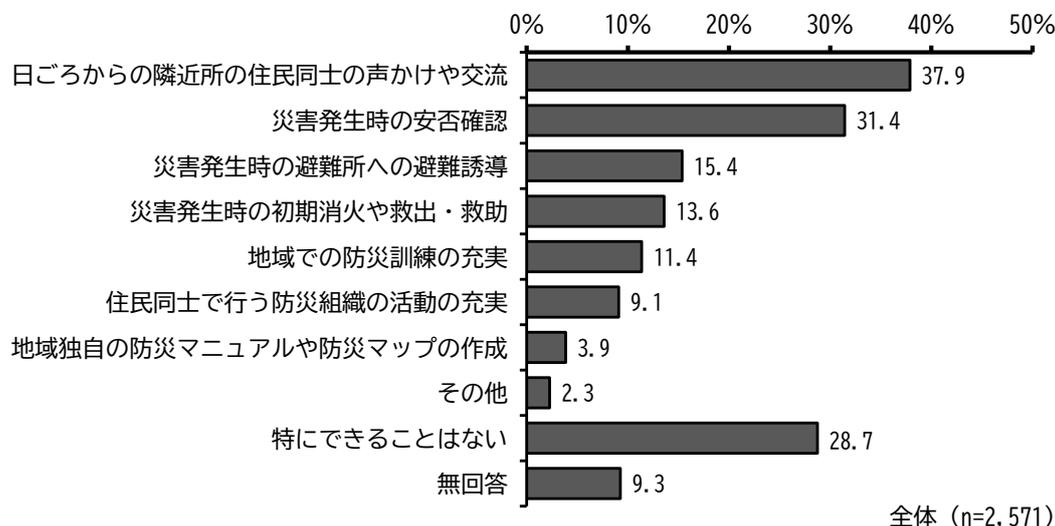
問 58 災害に備えて、あなたやご家族で取り組んでいることは何ですか。(いくつでも○)

- ・「食料・飲料を備蓄している」(57.1%)が最も多く、次いで「非常持ち出しバックを準備している」(41.1%)、「家具等の転倒防止対策をしている」(37.1%)、「避難場所や避難経路を確認している」(33.5%)と続いている。
- ・一方、「特に取り組んでいることはない」は17.0%となっている。



問 59 災害に備えて、又は、災害が発生したときに近所の手助けが必要な高齢者等に対してあなたができるのはどのようなことですか。（いくつでも○）

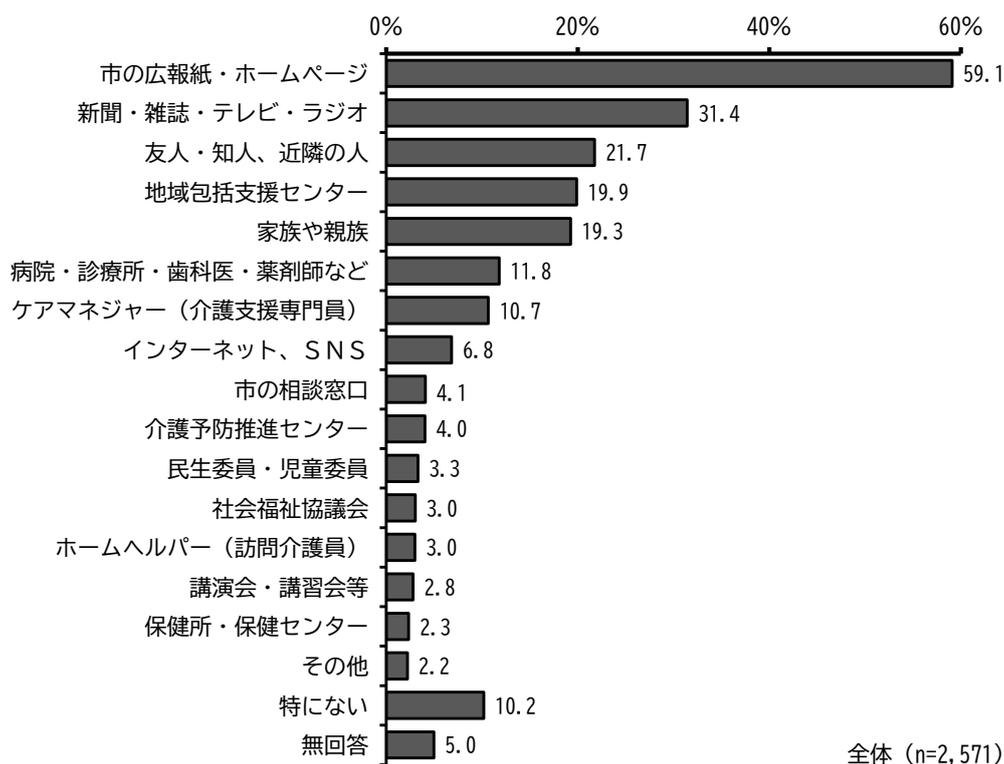
- ・「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(37.9%)が最も多く、次いで「災害発生時の安否確認」(31.4%)、「災害発生時の避難所への避難誘導」(15.4%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(13.6%)、「地域での防災訓練の充実」(11.4%)と続いている。
- ・一方、「特にできることはない」は28.7%となっている。



(12) 情報について

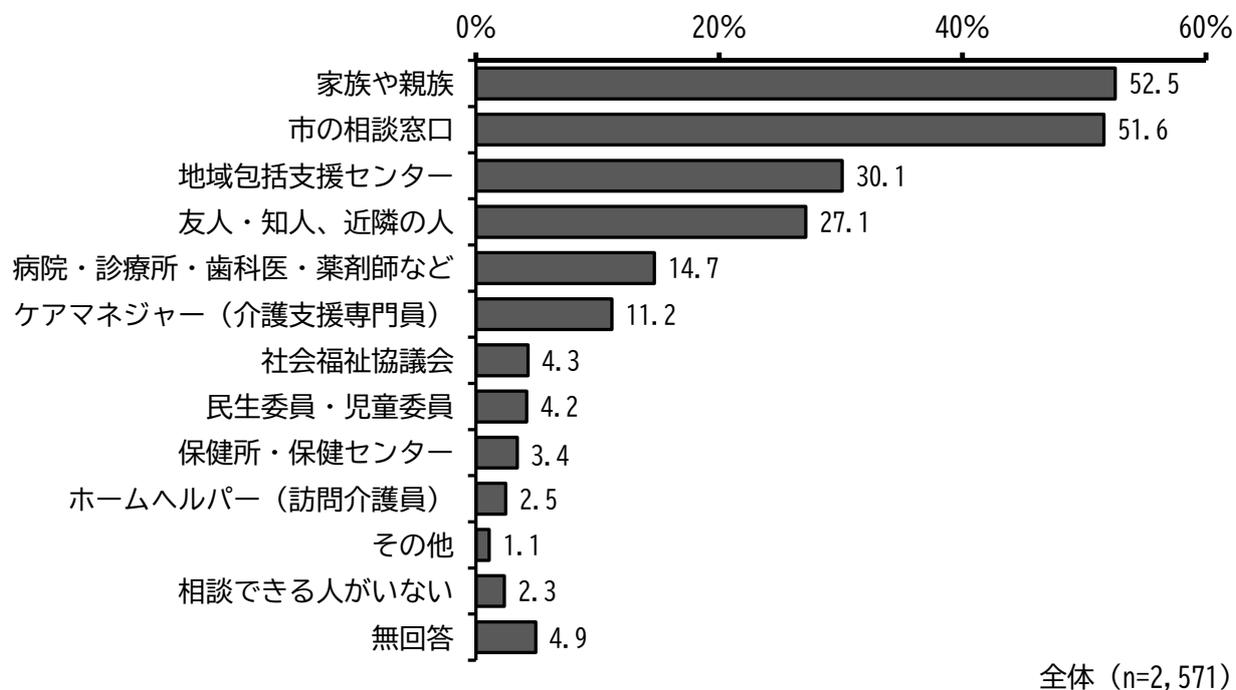
問 60 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動等に関する情報をどこから（誰から）入手していますか。（いくつでも○）

- ・「市の広報紙・ホームページ」(59.1%)が最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(31.4%)、「友人・知人、近隣の人」(21.7%)、「地域包括支援センター」(19.9%)、「家族や親族」(19.3%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は10.2%となっている。



問 61 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）

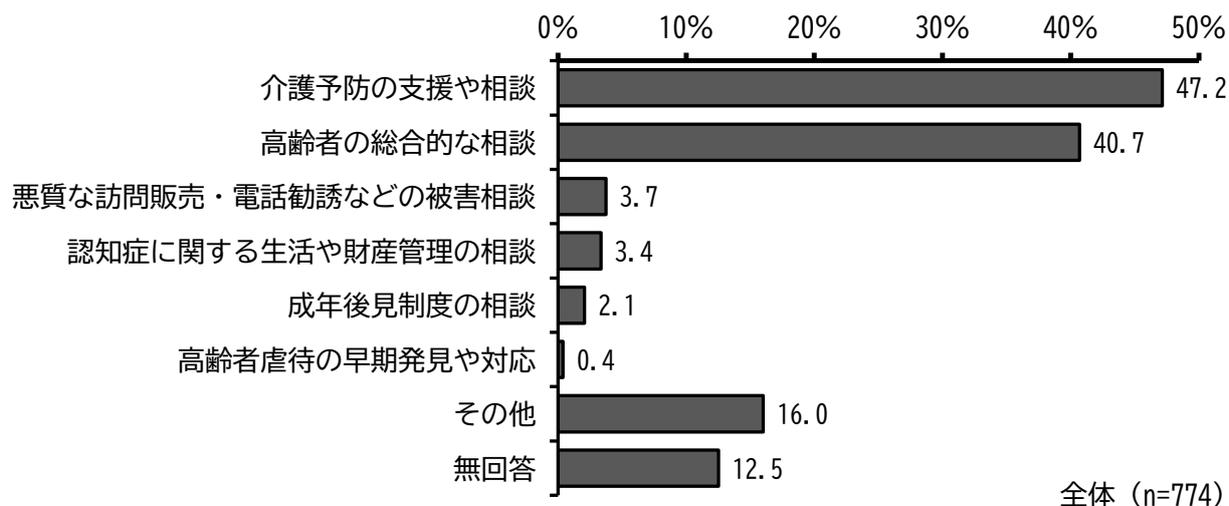
- ・「家族や親族」(52.5%)が最も多く、次いで「市の相談窓口」(51.6%)、「地域包括支援センター」(30.1%)、「友人・知人、近隣の人」(27.1%)と続いている。
- ・一方、「相談できる人がいない」は2.3%となっている。



《問 61 で「2. 地域包括支援センター」とお答えの方におたずねします》

問 61-1 具体的にどのような目的で利用したことがありますか。（いくつでも○）

- ・「介護予防の支援や相談」(47.2%)が最も多く、次いで「高齢者の総合的な相談」(40.7%)となっている。



(13) 介護保険について

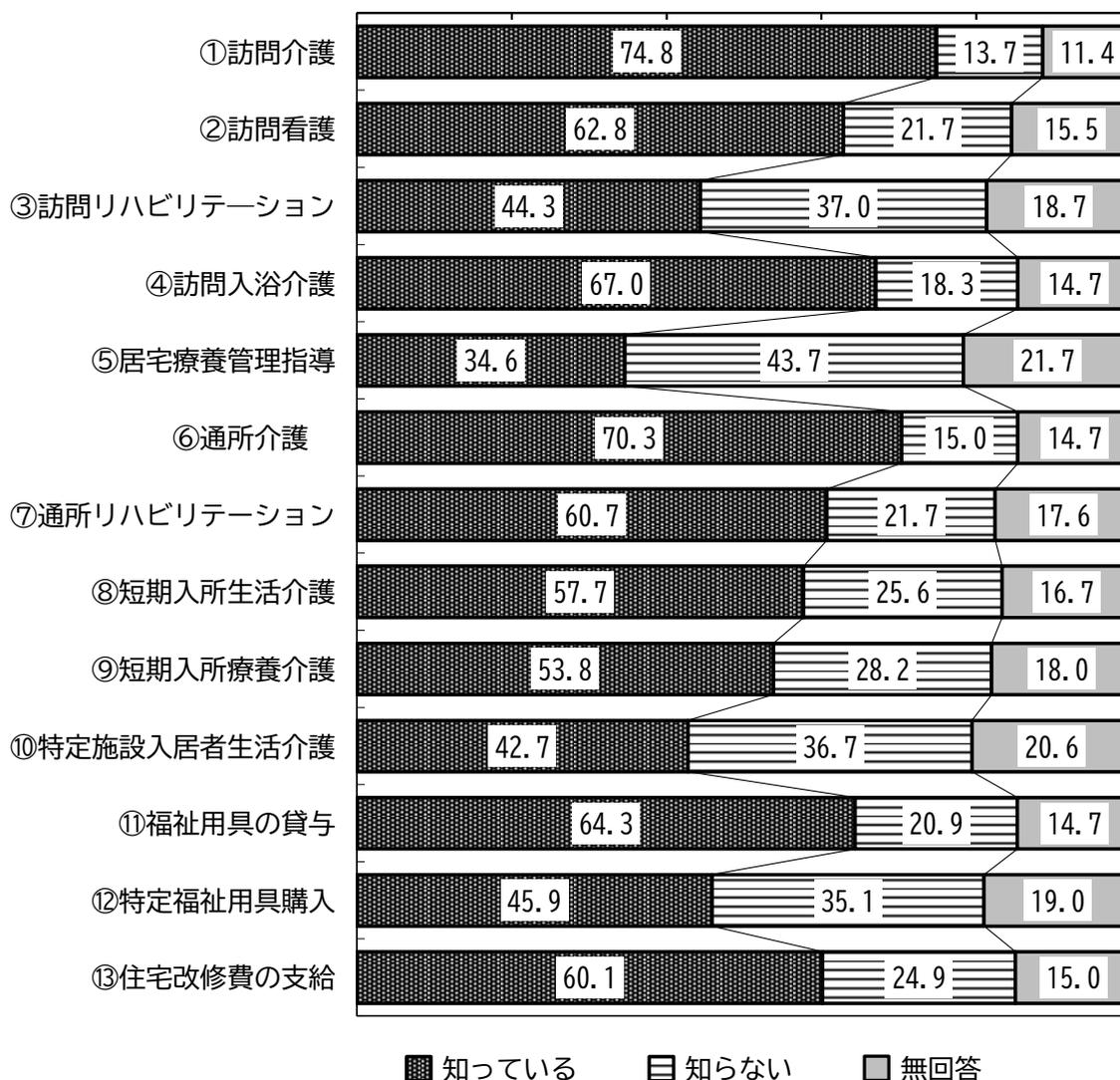
問 62 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っていますが、これらの サービスを知っていますか。(サービスごとに1つずつ○)

○居宅サービス

- ・「知っている」割合が高い居宅サービスは、『①訪問介護』(74.8%)が最も多く、次いで『⑥通所介護』(70.3%)、『④訪問入浴介護』(67.0%)、『⑪福祉用具の貸与』(64.3%)、『②訪問看護』(62.8%)と続いている。
- ・一方、「知らない」割合が高い居宅サービスは、『⑤居宅療養管理指導』(43.7%)が最も多く、次いで『③訪問リハビリテーション』(37.0%)、『⑩特定施設入居者生活介護』(36.7%)、『⑫特定福祉用具購入』(35.1%)と続いている。

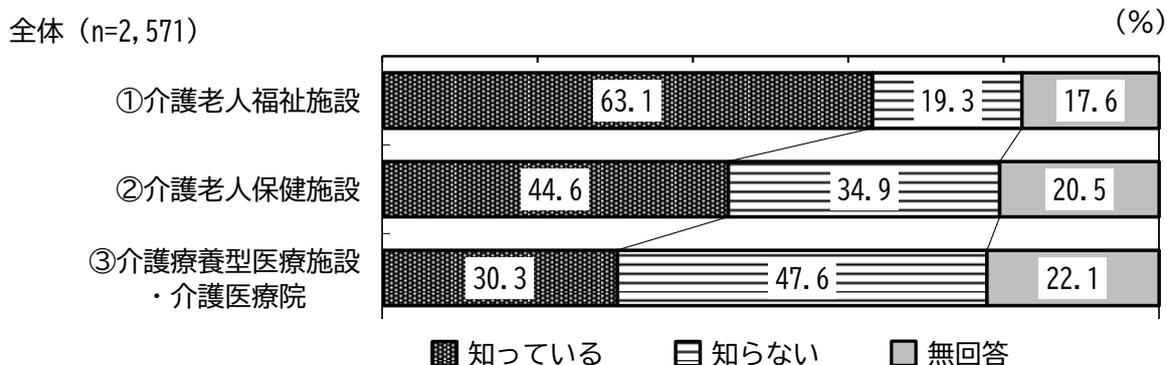
全体 (n=2,571)

(%)



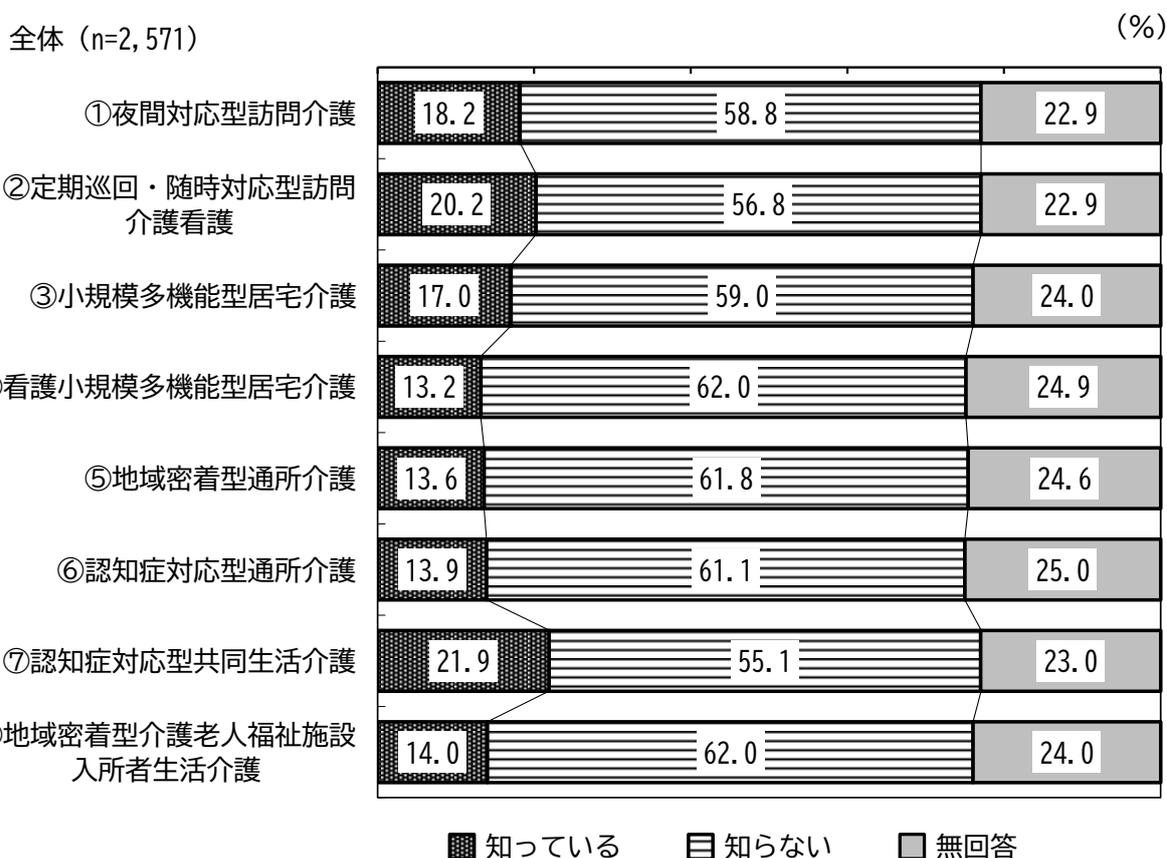
○施設サービス

- ・「知っている」割合が高い施設サービスは、『①介護老人福祉施設』(63.1%)が最も多く、次いで『②介護老人保健施設』(44.6%)、『③介護療養型医療施設・介護医療院』(30.3%)と続いている。
- ・一方、「知らない」割合が高い施設サービスは、『③介護療養型医療施設・介護医療院』(47.6%)が最も多く、次いで『②介護老人保健施設』(34.9%)となっている。



○地域密着型サービス

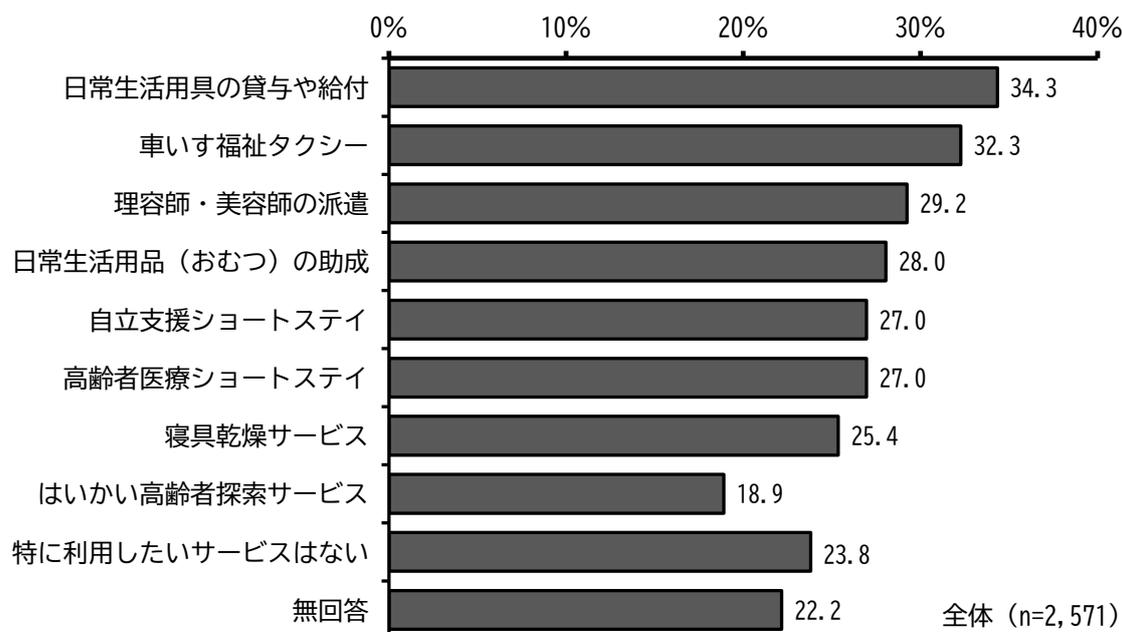
- ・「知っている」割合が高い地域密着型サービスは、『⑦認知症対応型共同生活介護』(21.9%)が最も多く、次いで『②定期巡回・随時対応型訪問介護看護』(20.2%)となっている。
- ・一方、「知らない」割合が高い地域密着型サービスは、『④看護小規模多機能型居宅介護』『⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護』(ともに62.0%)が最も多く、次いで『⑤地域密着型通所介護』(61.8%)、『⑥認知症対応型通所介護』(61.1%)、『③小規模多機能型居宅介護』(59.0%)と続いている。



(14) 高齢者保健福祉サービスについて

問 63 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。あなたは、以下のサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも○)

- ・「日常生活用具の貸与や給付」(34.3%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(32.3%)、「理容師・美容師の派遣」(29.2%)、「日常生活用品(おむつ)の助成」(28.0%)、「自立支援ショートステイ」「高齢者医療ショートステイ」(ともに27.0%)、「寝具乾燥サービス」(25.4%)と続いている。
- ・一方、「特に利用したいサービスはない」は23.8%となっている。



(15) 在宅療養について

問 64 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○)

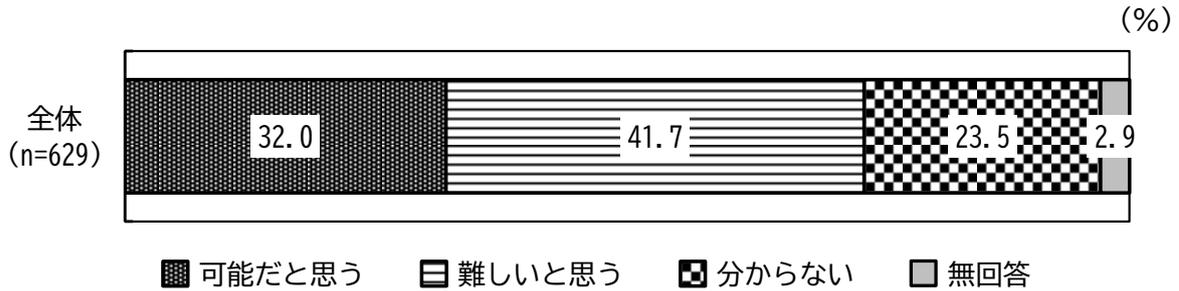
- ・「分からない」が36.8%、「そう思わない」が31.0%、「そう思う」が24.5%となっている。



《問 64 で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします》

問 64-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○)

・「難しいと思う」が41.7%、「可能だと思う」が32.0%、「分からない」が23.5%となっている。

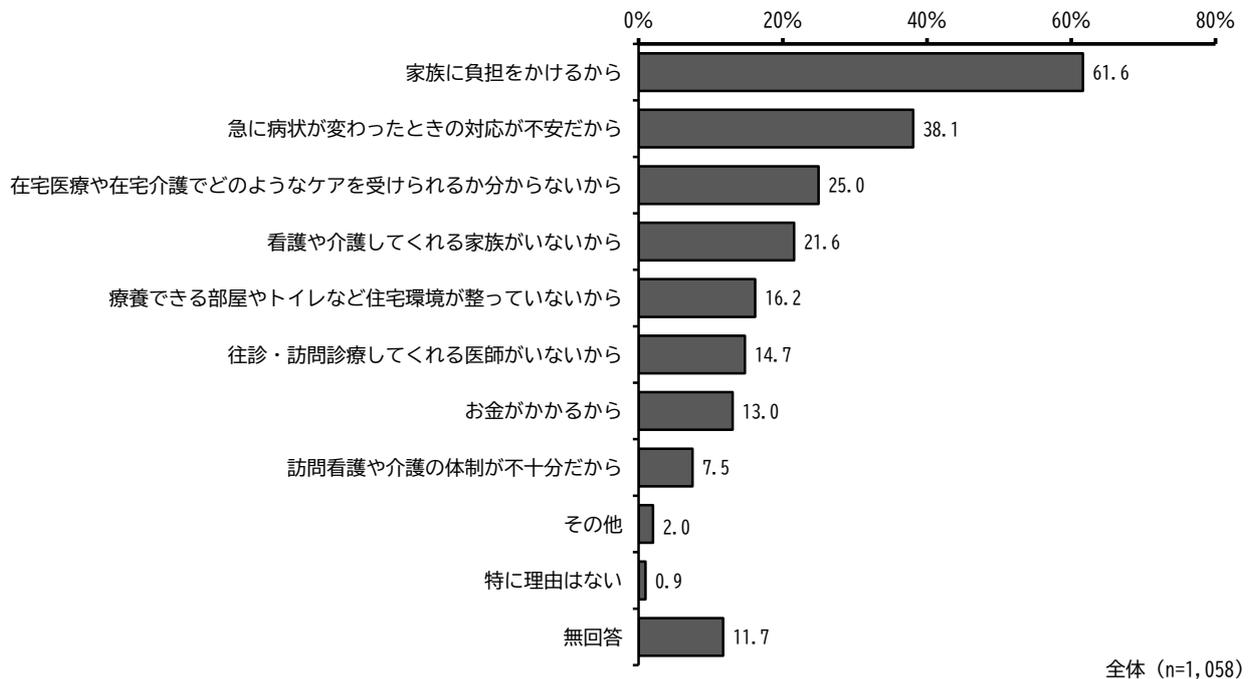


《問 64 で「2. そう思わない」又は問 64-1 で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします》

問 64-2 それはなぜですか。(3つまでに○)

・「家族に負担をかけるから」(61.6%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(38.1%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから」(25.0%)、「看護や介護してくれる家族がないから」(21.6%)と続いている。

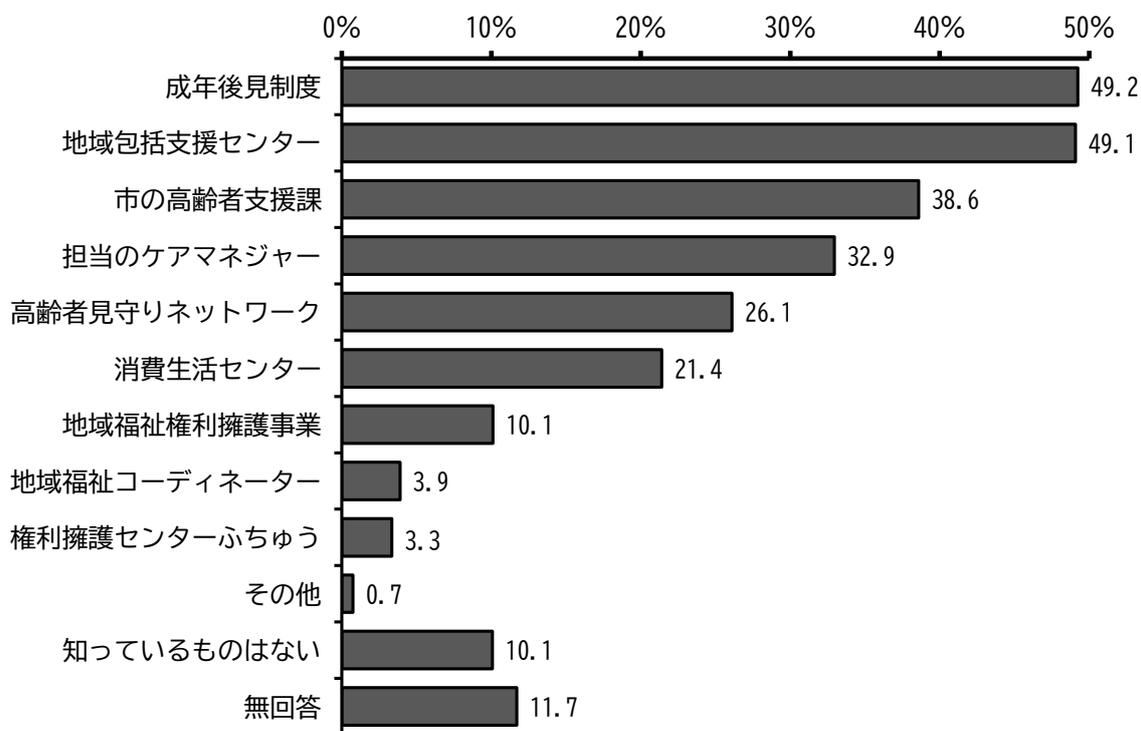
・一方、「特に理由はない」は0.9%となっている。



(16) 高齢者の権利擁護について

問 65 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。(いくつでも○)

- ・「成年後見制度」(49.2%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(49.1%)、「市の高齢者支援課」(38.6%)、「担当のケアマネジャー(介護支援専門員)」(32.9%)と続いている。
- ・一方、「知っているものはない」は10.1%となっている。



全体 (n=2,571)

問 66 最後に、市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

※集計中

調査②要支援・要介護認定者調査結果（速報版）

①調査の目的

要支援・要介護認定者のサービス利用状況や利用意向を把握することで、サービス水準の設定やサービス提供体制のあり方について検討する。

主な介護者の介護状況や意向を把握することで、介護者支援策の充実について検討する。

②調査対象

- ・認定を受けている65歳以上の市民で居宅サービス利用者：1,800人
- ・認定を受けている65歳以上の市民で施設サービス利用者：800人
- ・認定を受けている65歳以上の市民でサービス未利用者：600人

※令和元年10月1日現在の住民基本台帳尾及び要支援・要介護認定者から無作為抽出

③調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

④調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

⑤回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
居宅サービス利用者	1,800	1,236	(68.7%)	1,223	(67.9%)
施設サービス利用者	800	396	(49.5%)	361	(45.1%)
サービス未利用者	600	427	(71.2%)	418	(69.7%)
合計	3,200	2,059	(64.3%)	2,002	(62.6%)

⑥調査項目

項目	設問No.	設問
A 基本属性		
	F1	性別
	F2	年齢
	F3	世帯の状況
	F4	居住地域
B 住まい		
	問 1	住まい（一戸建て、集合住宅など）
	問 1-1	住まいや住環境で困っていること
C 医療		
	問 2	現在治療中の病気の有無
	問 3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無
	問 4	現在受けている医療処置
	問 5	訪問診療の有無
D 介護保険		
	問 6	要介護度
	問 7	最初に要介護認定を受けた時期
	問 8	要介護認定を受けたきっかけ
	問 9	介護保険サービス利用の有無
	問 9-1	介護保険サービスを利用していない理由
	問 9-2 (1)	介護保険サービスの利用状況／施設・居住系サービス
	問 9-2 (2)	介護保険サービスの利用状況／自宅で生活をしながら利用するサービス
	問 9-3 (1)	介護保険サービスの総合的な満足度
	問 9-3 (2)	総合的な満足度の基準
	問 10	今後生活したいところ
	問 11	施設入所の検討状況
	問 11-1	その理由
E 利用者本位のサービスのあり方		
	問 12	現在のケアプランの満足度
	問 12-1	ケアプランの不満の内容
	問 13	ケアマネジャーの評価
F 権利擁護		
	問 14	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度

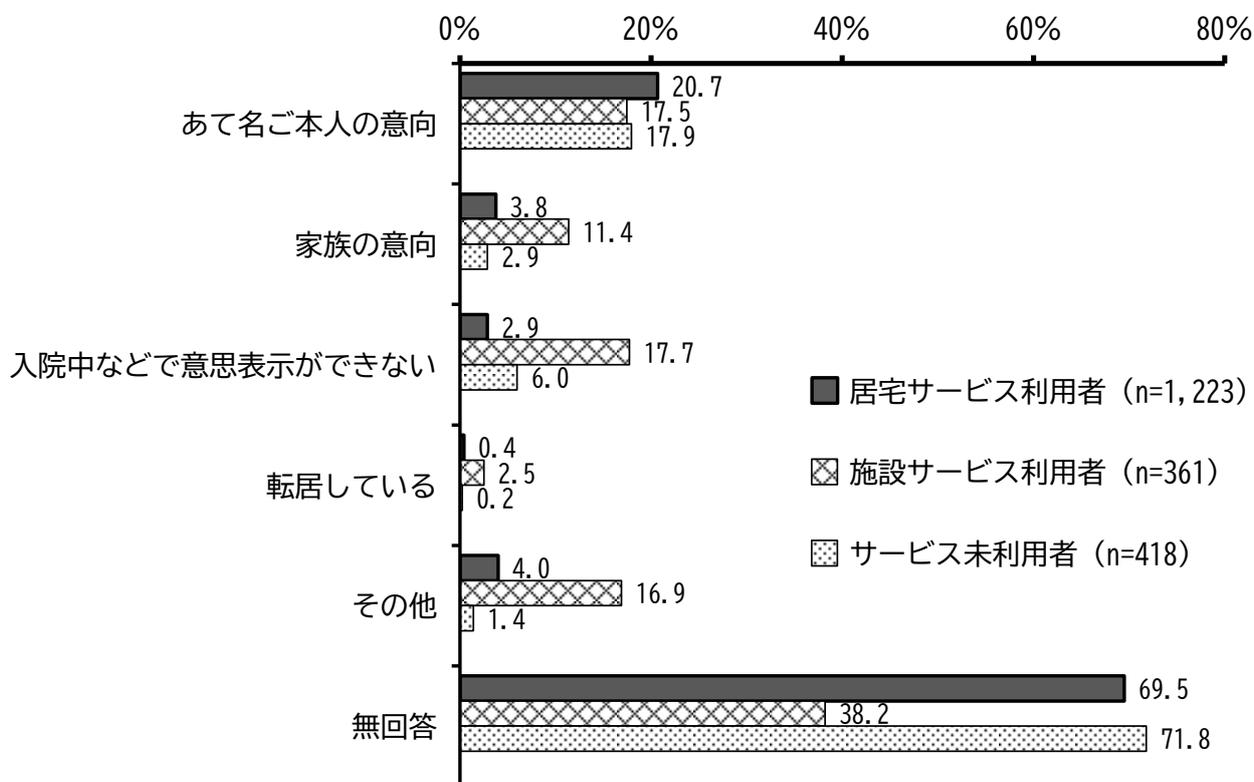
G 高齢者保健福祉サービス	
問 15	高齢者保健福祉サービスに対する利用意向
問 16	民間サービスの利用状況
H 認知症	
問 17	認知症について知っていること
問 18	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと
I 地域生活と日ごろの活動	
問 19	主観的幸福度
問 20	隣近所の人とのつきあいの程度
問 21	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け
問 22	生きがいの有無
問 23	これから参加したい活動
J 災害時の対応	
問 24	災害時に手助けをしてくれる人
問 25	災害時に手助けをしてもらいたいこと
K 在宅療養	
問 26	自宅で療養を続けたいと思うか
問 25-1	療養は可能だと思うか
問 25-2	そう思わない、難しいと思う理由
L 意見・要望	
問 27	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望
M 主な介護者の状況や意向	
問 28	主な介護者
問 29	主な介護者の年齢
問 30	主な介護者の居住地
問 31	介護している期間
問 32	1日に介護している平均時間
問 33	被介護者が生活するのによいところ
問 34	介護をしていくうえでの問題点
問 35	介護をしていて良かったと思うこと
問 36	介護者支援として必要と思うもの
問 37	市への要望（自由回答）

⑦ 調査結果の概要

(1) 回答者について

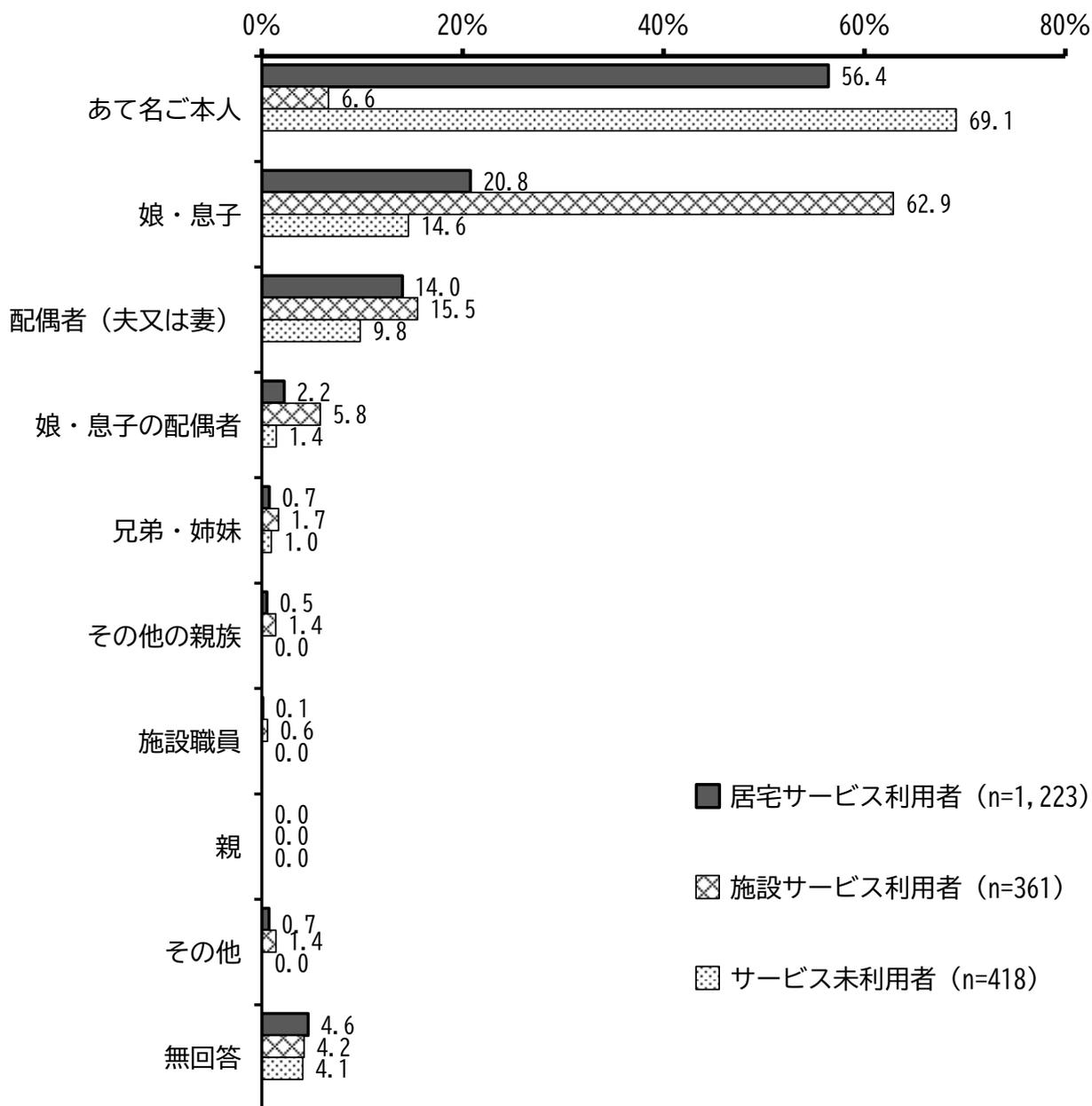
◎ あて名ご本人やご家族が何らかの事情により回答できない場合は、その理由にあてはまる番号に○をつけて、ご返送ください。

- ・ 居宅サービス利用者では、「あて名ご本人の意向」(20.7%)が最も多く、次いで「家族の意向」(3.8%)、「入院中などで意思表示ができない」(2.9%)となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「入院中などで意思表示ができない」(17.7%)が最も多く、次いで「あて名ご本人の意向」(17.5%)、「家族の意向」(11.4%)となっている。
- ・ サービス未利用者では、「あて名ご本人の意向」(17.9%)が最も多く、次いで「入院中などで意思表示ができない」(6.0%)、「家族の意向」(2.9%)となっている。



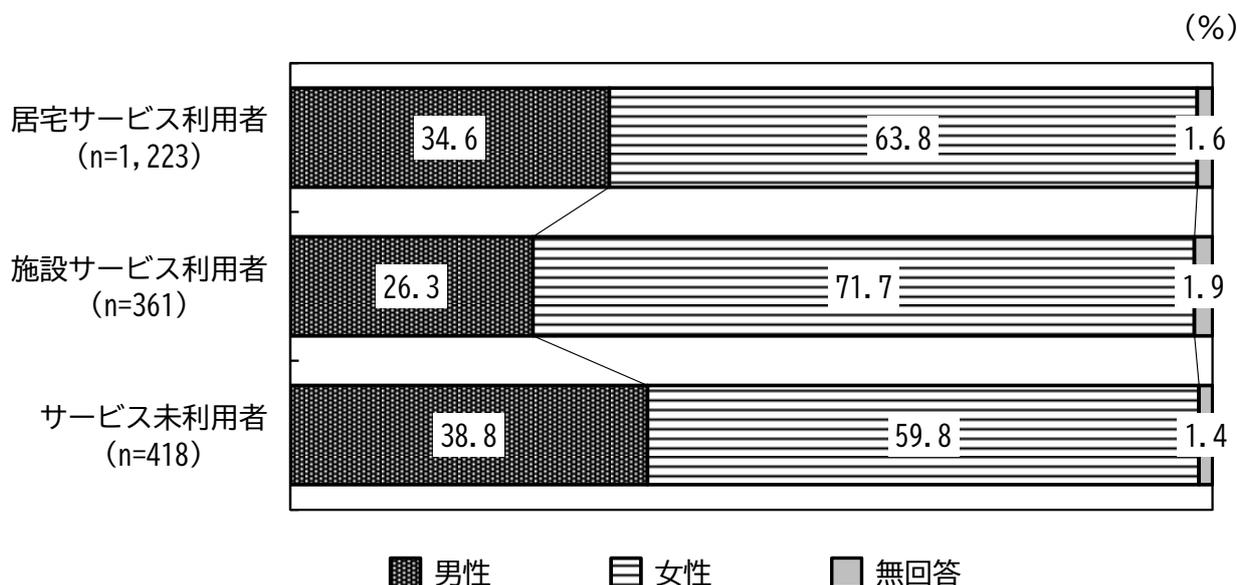
◎ この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「あて名ご本人」(56.4%)が最も多く、次いで「娘・息子」(20.8%)、「配偶者(夫又は妻)」(14.0%)、「娘・息子の配偶者」(2.2%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「娘・息子」(62.9%)が最も多く、次いで「配偶者(夫又は妻)」(15.5%)、「あて名ご本人」(6.6%)、「娘・息子の配偶者」(5.8%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「あて名ご本人」(69.1%)が最も多く、次いで「娘・息子」(14.6%)、「配偶者(夫又は妻)」(9.8%)、「娘・息子の配偶者」(1.4%)と続いている。



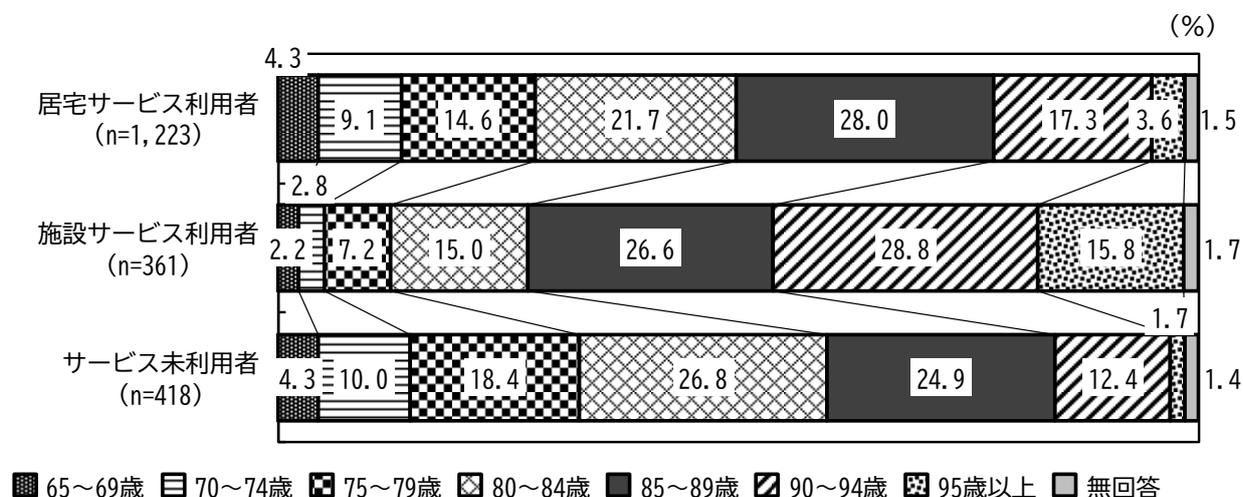
F 1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- ・居宅サービス利用者では、「男性」が34.6%、「女性」が63.8%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「男性」が26.3%、「女性」が71.7%となっている。
- ・サービス未利用者では、「男性」が38.8%、「女性」が59.8%となっている。



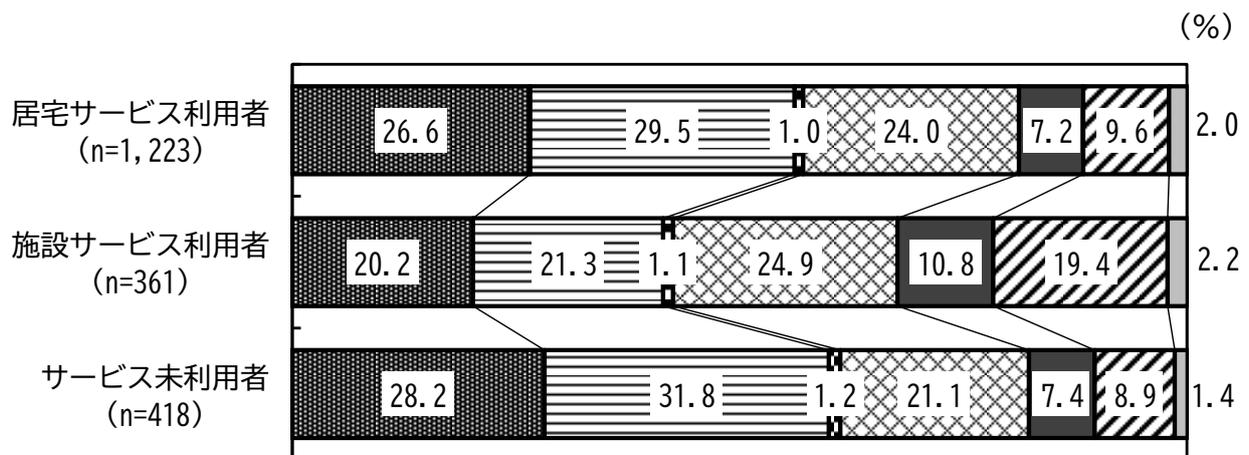
F 2 あなたの年齢をお答えください。（令和元年10月1日現在）（1つに○）

- ・居宅サービス利用者では、「85～89歳」(28.0%)が最も多く、次いで「80～84歳」(21.7%)、「90～94歳」(17.3%)、「75～79歳」(14.6%)、「70～74歳」(9.1%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「90～94歳」(28.8%)が最も多く、次いで「85～89歳」(26.6%)、「95歳以上」(15.8%)、「80～84歳」(15.0%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「80～84歳」(26.8%)が最も多く、次いで「85～89歳」(24.9%)、「75～79歳」(18.4%)、「90～94歳」(12.4%)と続いている。



F3 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。なお、施設等に入所(居)されている方は、入所(居)する前の状況をお答えください。(1つに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(29.5%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(26.6%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(24.0%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(24.9%)が最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(21.3%)、「1人暮らし」(20.2%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(31.8%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(28.2%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(21.1%)と続いている。

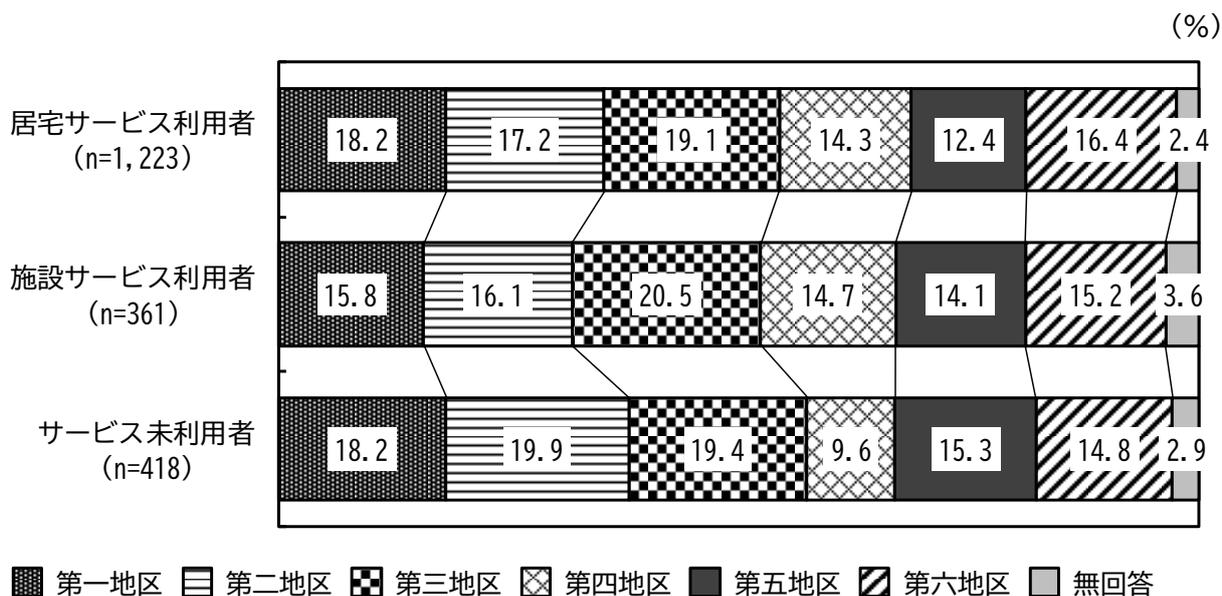


- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- 子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)
- 配偶者及び子以外の親族と同居(配偶者や子と同居している場合を含む)
- その他
- 無回答

F 4 あなたがお住まいの町名及び丁目を教えてください。(1つに○)

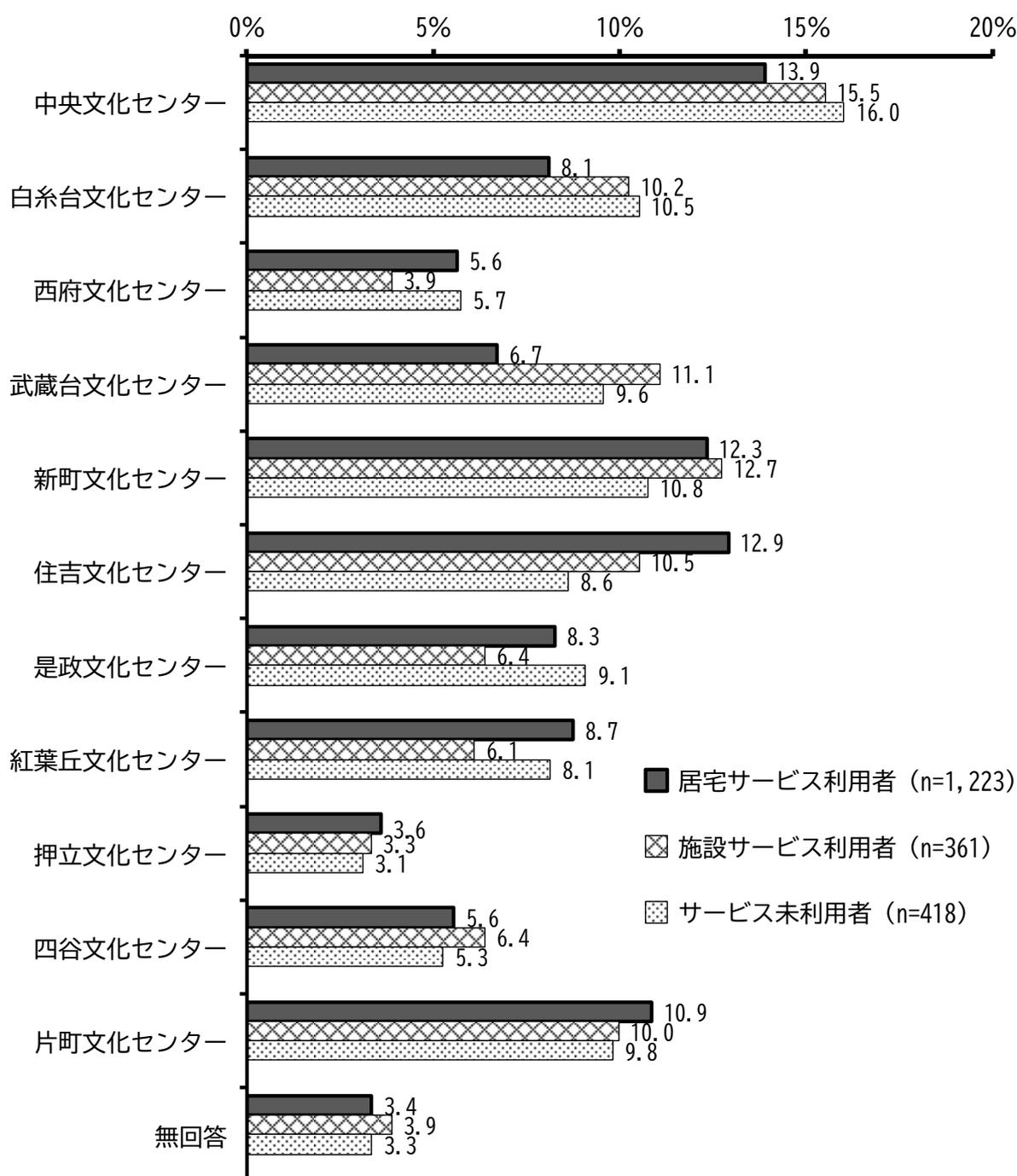
○日常生活圏域（6区分）

- ・ 居宅サービス利用者では、「第三地区」(19.1%)が最も多く、次いで「第一地区」(18.2%)、「第二地区」(17.2%)、「第六地区」(16.4%)、「第四地区」(14.3%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「第三地区」(20.5%)が最も多く、次いで「第二地区」(16.1%)、「第一地区」(15.8%)、「第六地区」(15.2%)、「第四地区」(14.7%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「第二地区」(19.9%)が最も多く、次いで「第三地区」(19.4%)、「第一地区」(18.2%)、「第五地区」(15.3%)、「第六地区」(14.8%)と続いている。



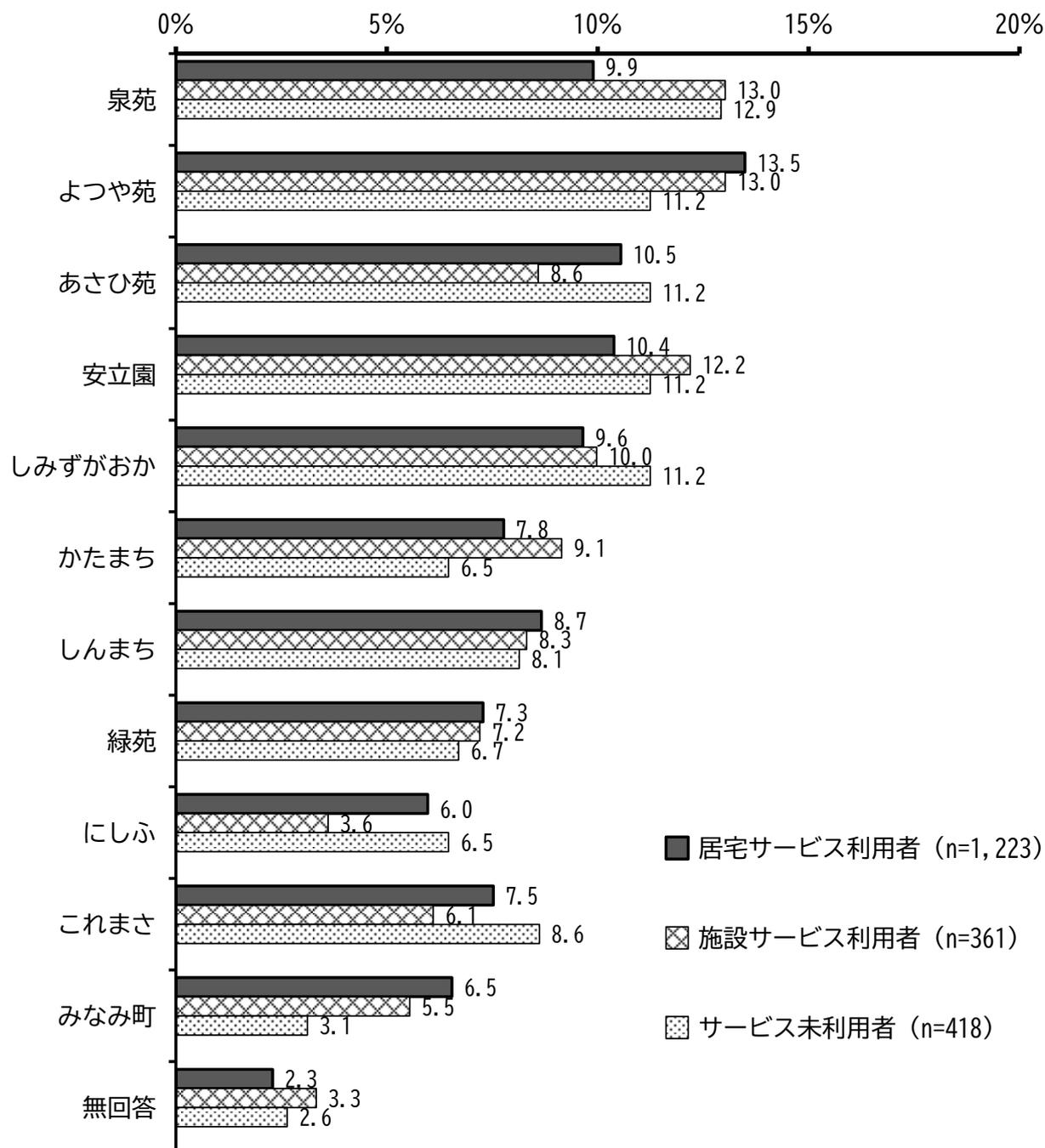
○文化センター圏域（11区分）

- ・居宅サービス利用者では、「中央文化センター」(13.9%)が最も多く、次いで「住吉文化センター」(12.9%)、「新町文化センター」(12.3%)、「片町文化センター」(10.9%)、「紅葉丘文化センター」(8.7%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「中央文化センター」(15.5%)が最も多く、次いで「新町文化センター」(12.7%)、「武蔵台文化センター」(11.1%)、「住吉文化センター」(10.5%)、「白糸台文化センター」(10.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「中央文化センター」(16.0%)が最も多く、次いで「新町文化センター」(10.8%)、「白糸台文化センター」(10.5%)、「片町文化センター」(9.8%)、「武蔵台文化センター」(9.6%)と続いている。



○地域包括支援センター圏域（11区分）

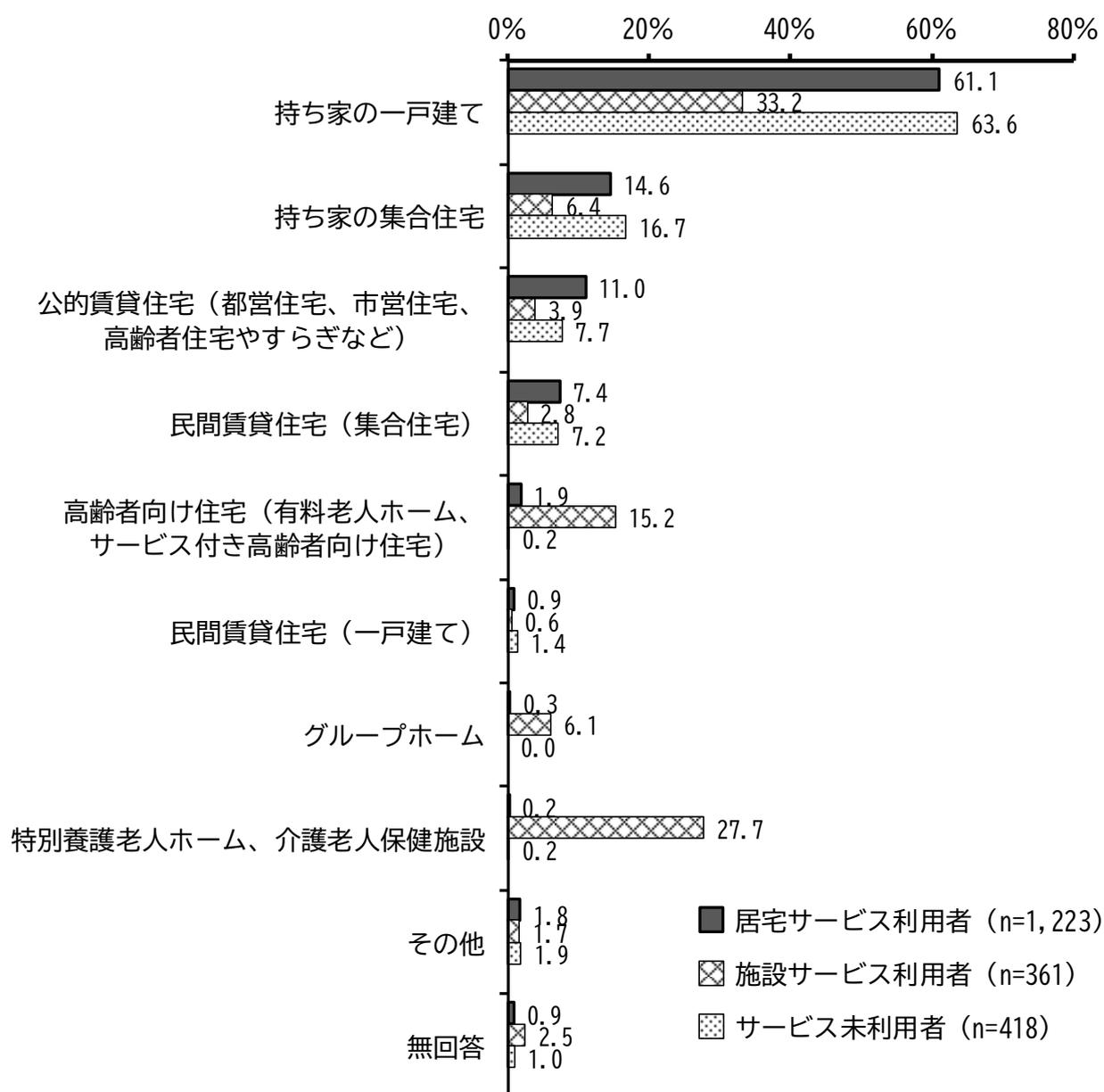
- ・居宅サービス利用者では、「よつや苑」（13.5%）が最も多く、次いで「あさひ苑」（10.5%）、「安立園」（10.4%）、「泉苑」（9.9%）、「しみずがおか」（9.6%）と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「泉苑」と「よつや苑」（ともに13.0%）が最も多く、次いで「安立園」（12.2%）、「しみずがおか」（10.0%）、「かたまち」（9.1%）と続いている。
- ・サービス未利用者では、「泉苑」（12.9%）が最も多く、次いで「よつや苑」（11.2%）、「あさひ苑」（11.2%）、「安立園」「しみずがおか」（ともに11.2%）と続いている。



(2) 住まいについて

問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

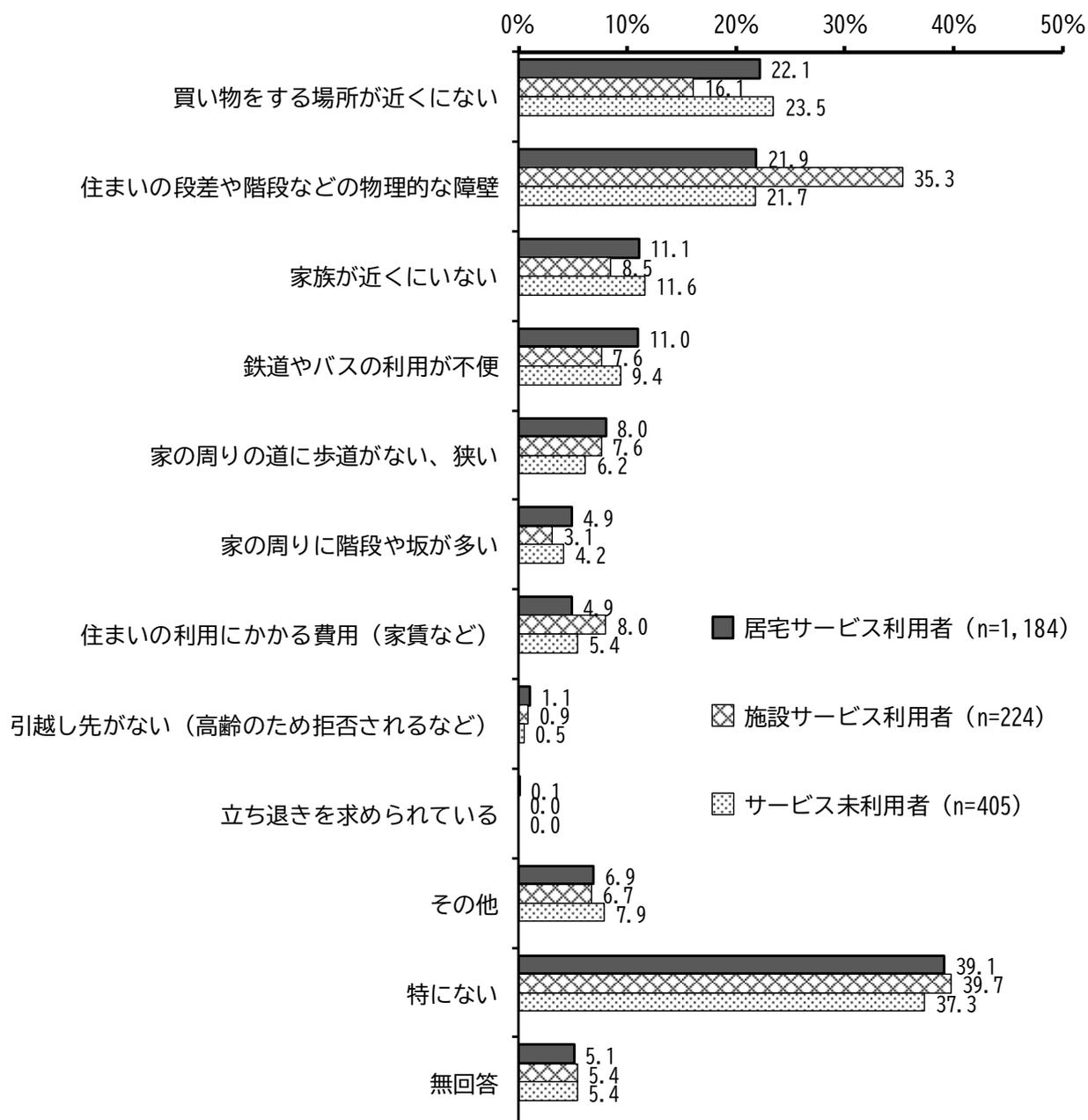
- ・居宅サービス利用者では、「持ち家の一戸建て」(61.1%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(14.6%)、「公的賃貸住宅（都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど）」(11.0%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(7.4%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「持ち家の一戸建て」(33.2%)が最も多く、次いで「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設」(27.7%)、「高齢者向け住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）」(15.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「持ち家の一戸建て」(63.6%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(16.7%)、「公的賃貸住宅（都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど）」(7.7%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(7.2%)と続いている。



「問1で「1」～「6」とお答えの方におたずねします」

問1-1 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○)

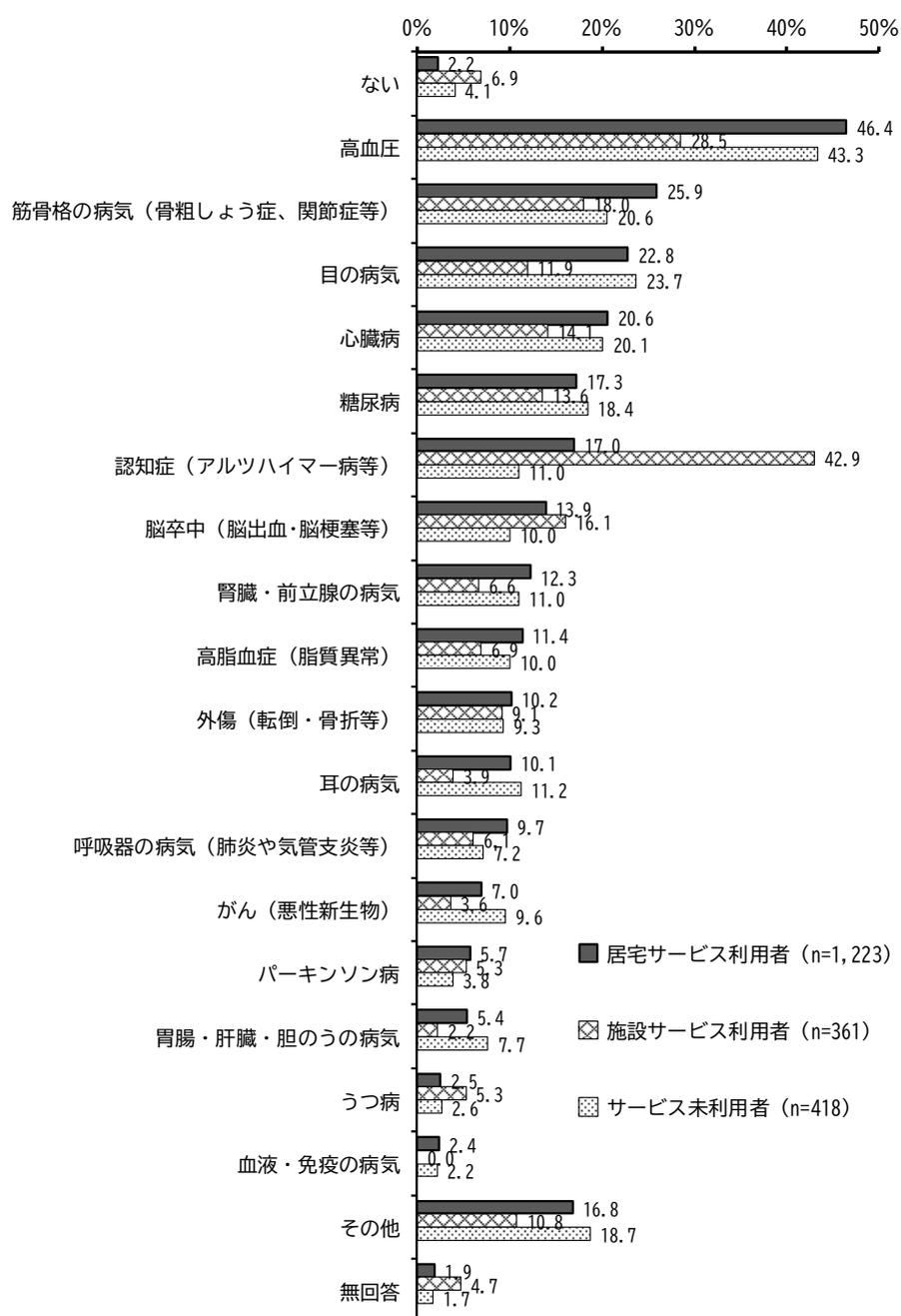
- ・ 居宅サービス利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(22.1%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.9%)、「家族が近くにいない」(11.1%)、「鉄道やバスの利用が不便」(11.0%)と続いている。一方、「特にない」は39.1%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(35.3%)が最も多く、次いで「買い物をする場所が近くにない」(16.1%)、「家族が近くにいない」(8.5%)、「住まいの利用にかかる費用(家賃など)」(8.0%)、「家の周りの道に歩道がない、狭い」と「鉄道やバスの利用が不便」(7.6%)と続いている。一方、「特にない」は39.7%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(23.5%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.7%)、「家族が近くにいない」(11.6%)、「鉄道やバスの利用が不便」(9.4%)、「家の周りの道に歩道がない、狭い」(6.2%)と続いている。一方、「特にない」は37.3%となっている。



(3) 医療について

問2 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「高血圧」(46.4%)が最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(25.9%)、「目の病気」(22.8%)、「心臓病」(20.6%)、「糖尿病」(17.3%)と続いている。一方、「ない」は2.2%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「認知症(アルツハイマー病等)」(42.9%)が最も多く、次いで「高血圧」(28.5%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(18.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(16.1%)、「心臓病」(14.1%)と続いている。一方、「ない」は6.9%となっている。
- ・サービス未利用者では、「高血圧」(43.3%)が最も多く、次いで「目の病気」(23.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(20.6%)、「心臓病」(20.1%)、「糖尿病」(18.4%)と続いている。一方、「ない」は4.1%となっている。

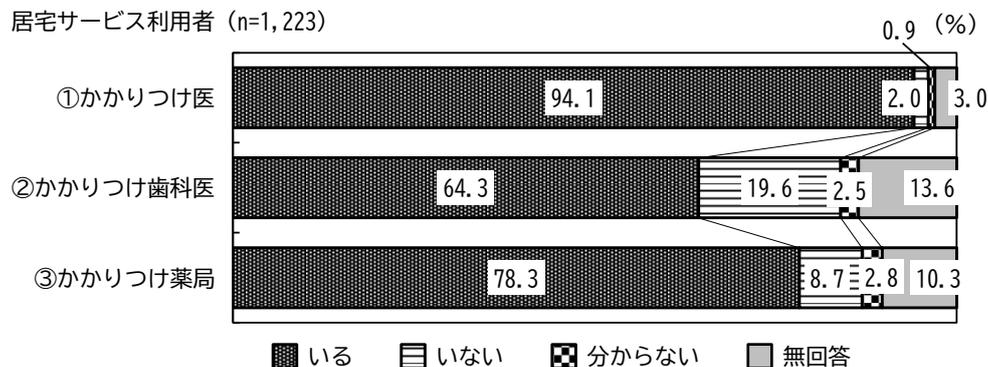


問3 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

(それぞれ1つに○)

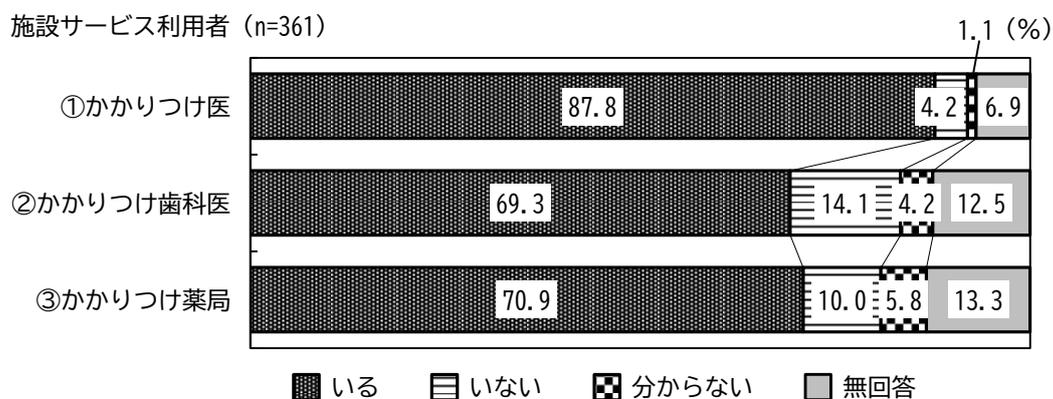
○居宅サービス利用者

・「いる」割合は、『かかりつけ医』が94.1%、『かかりつけ歯科医』が64.3%、『かかりつけ薬局』が78.3%となっている。



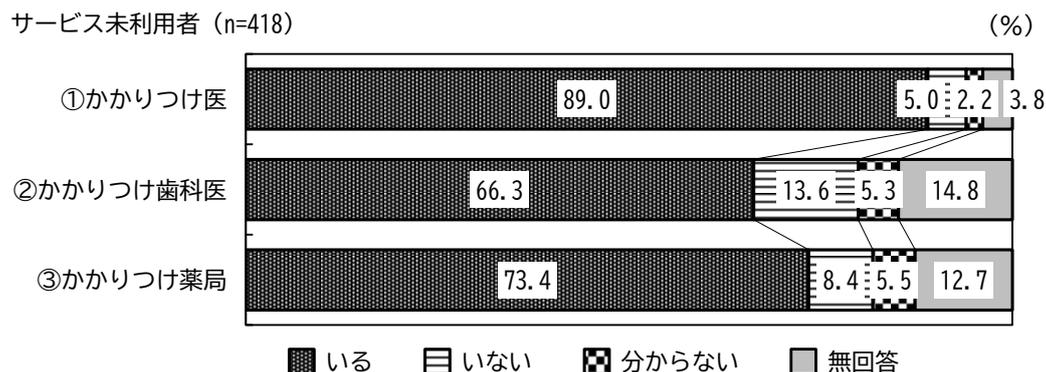
○施設サービス利用者

・「いる」割合は、『かかりつけ医』が87.8%、『かかりつけ歯科医』が69.3%、『かかりつけ薬局』が70.9%となっている。



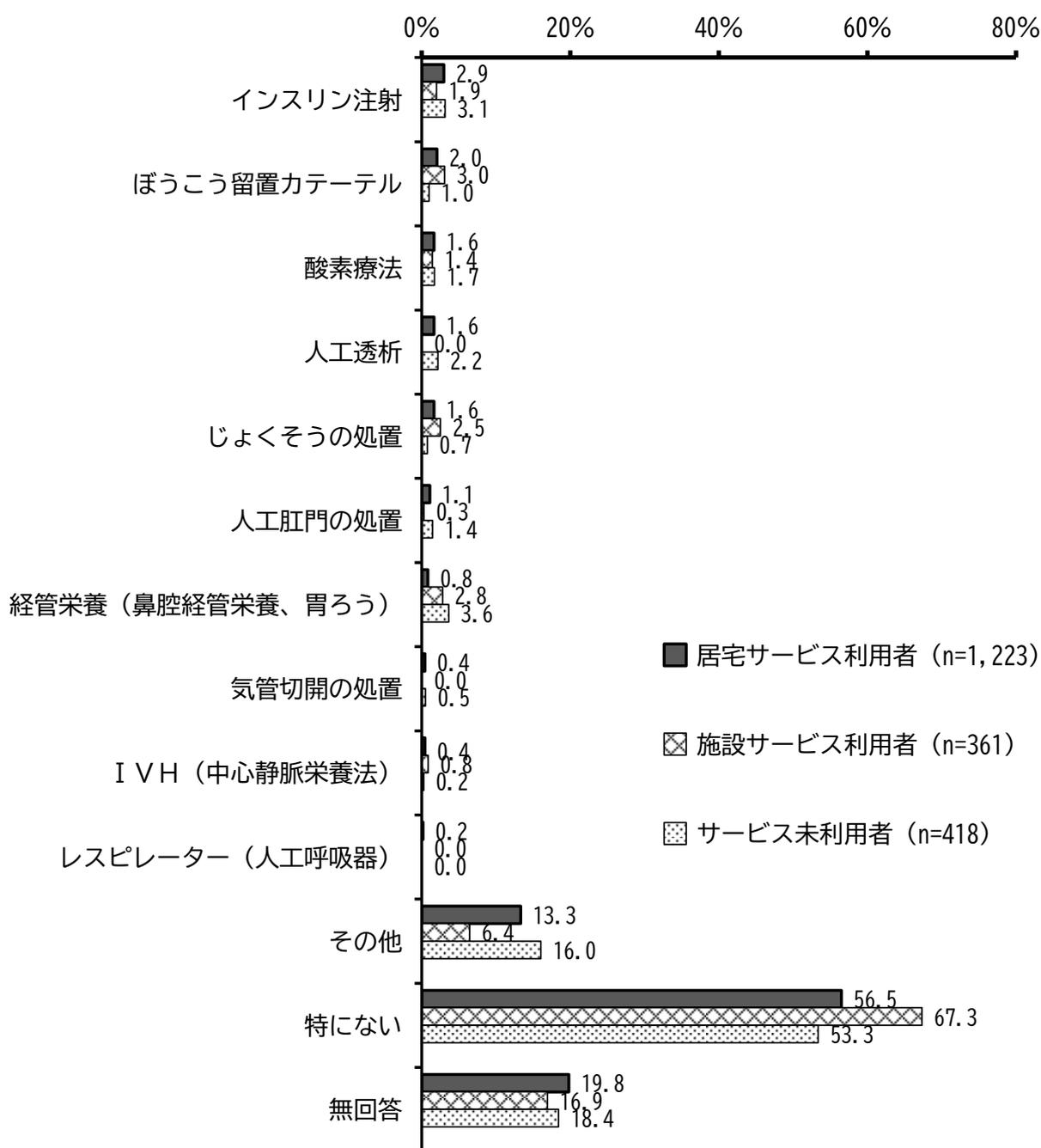
○サービス未利用者

・「いる」割合は、『かかりつけ医』が89.0%、『かかりつけ歯科医』が66.3%、『かかりつけ薬局』が73.4%となっている。



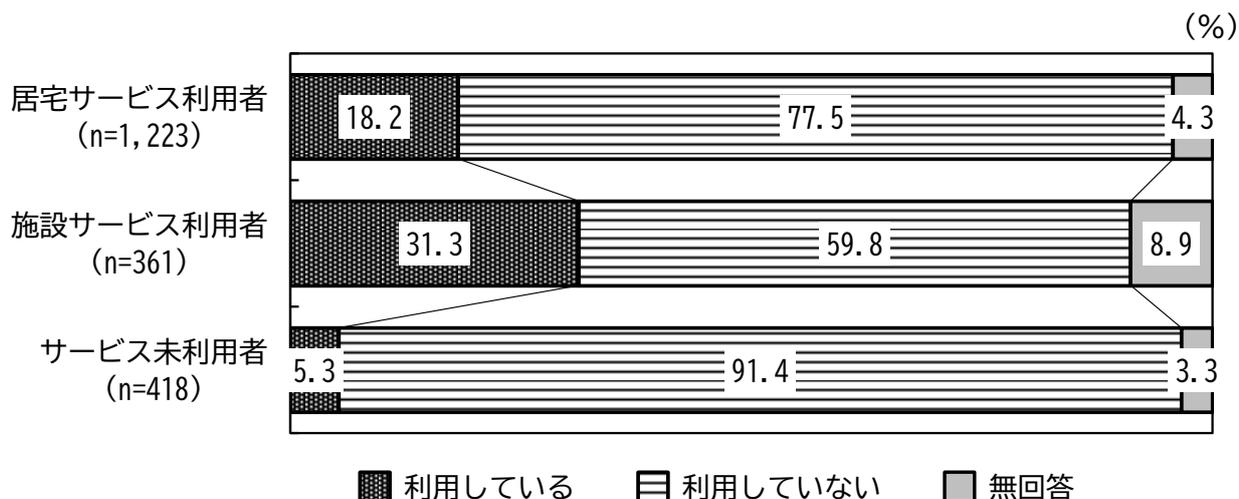
問4 あなたが現在受けている医療処置はありますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「インスリン注射」(2.9%)が最も多く、次いで「ぼうこう留置カテーテル」(2.0%)、「酸素療法」「人工透析」「じょくそうの処置」(それぞれ1.6%)と続いている。一方、「特にない」は56.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「ぼうこう留置カテーテル」(3.0%)が最も多く、次いで「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(2.8%)、「じょくそうの処置」(2.5%)、「インスリン注射」(1.9%)、「酸素療法」(1.4%)と続いている。一方、「特にない」は67.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(3.6%)が最も多く、次いで「インスリン注射」(3.1%)、「人工透析」(2.2%)、「酸素療法」(1.7%)、「人工肛門の処置」(1.4%)と続いている。一方、「特にない」は53.3%となっている。



問5 現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

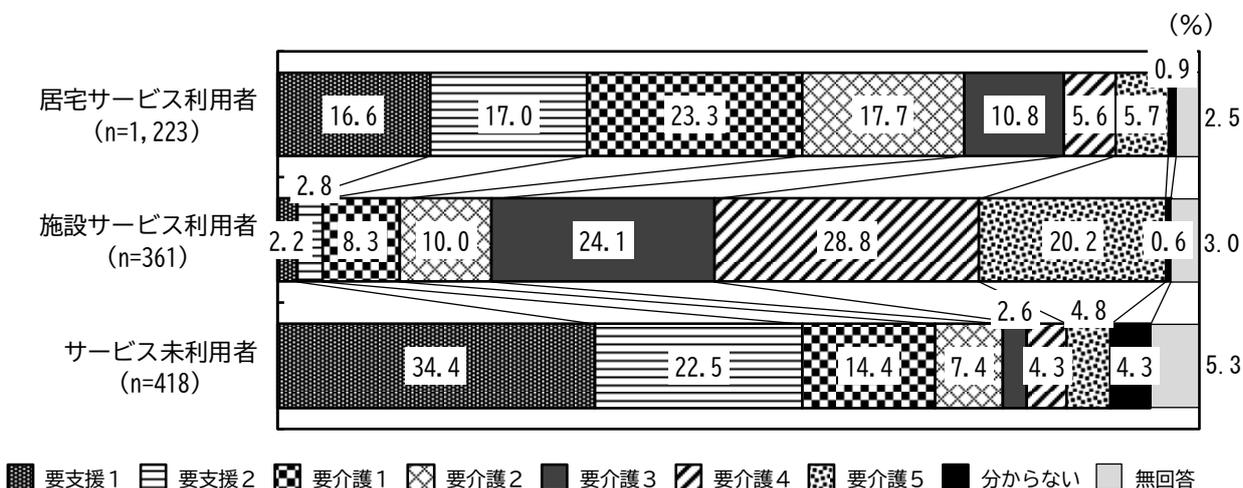
- ・「利用している」割合は、居宅サービス利用者では18.2%、施設サービス利用者では31.3%、サービス未利用者では5.3%となっている。



(4) 介護保険について

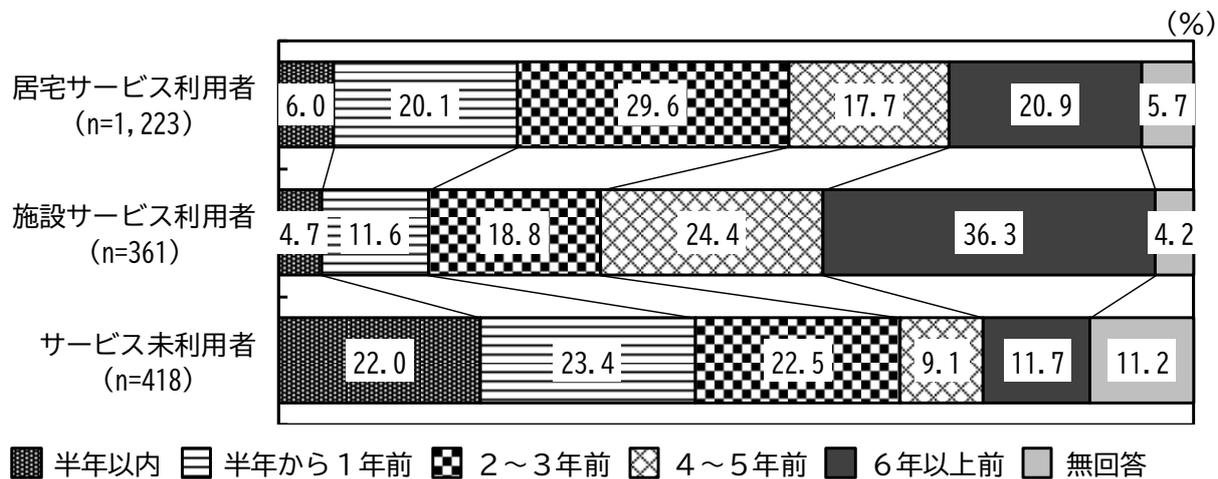
問6 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○) ※令和元年10月1日現在の要介護度でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、分かっている介護度でお答えください。

- ・居宅サービス利用者では、「要介護1」(23.3%)が最も多く、次いで「要介護2」(17.7%)、「要支援2」(17.0%)、「要支援1」(16.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「要介護4」(28.8%)が最も多く、次いで「要介護3」(24.1%)、「要介護5」(20.2%)、「要介護2」(10.0%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「要支援1」(34.4%)が最も多く、次いで「要支援2」(22.5%)、「要介護1」(14.4%)と続いている。



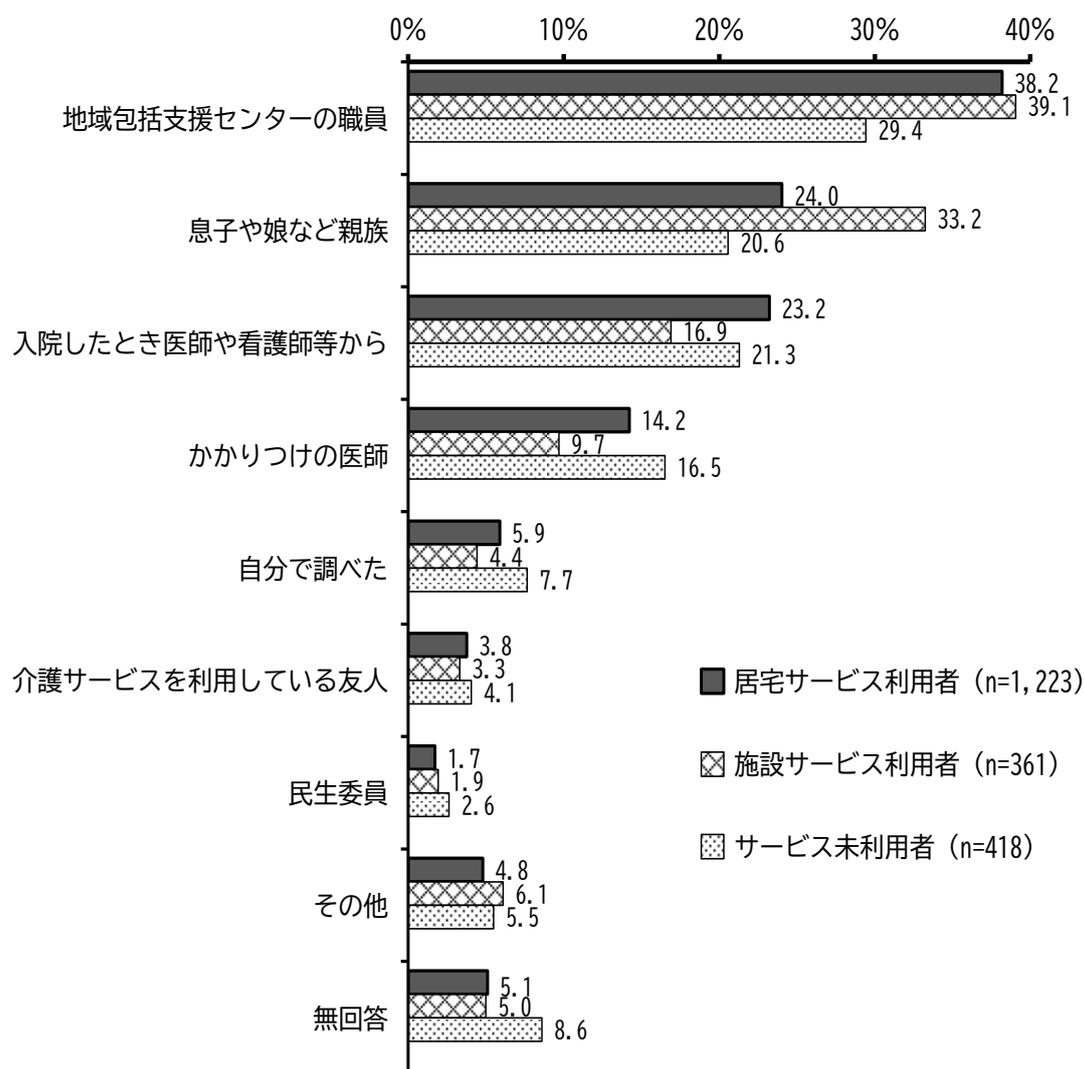
問7 最初に要介護認定を受けた時期はいつ頃ですか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「2～3年前」(29.6%)が最も多く、次いで「6年以上前」(20.9%)、「半年から1年前」(20.1%)、「4～5年前」(17.7%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「6年以上前」(36.3%)が最も多く、次いで「4～5年前」(24.4%)、「2～3年前」(18.8%)、「半年から1年前」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「半年から1年前」(23.4%)が最も多く、次いで「2～3年前」(22.5%)、「半年以内」(22.0%)、「6年以上前」(11.7%)、「4～5年前」(9.1%)と続いている。



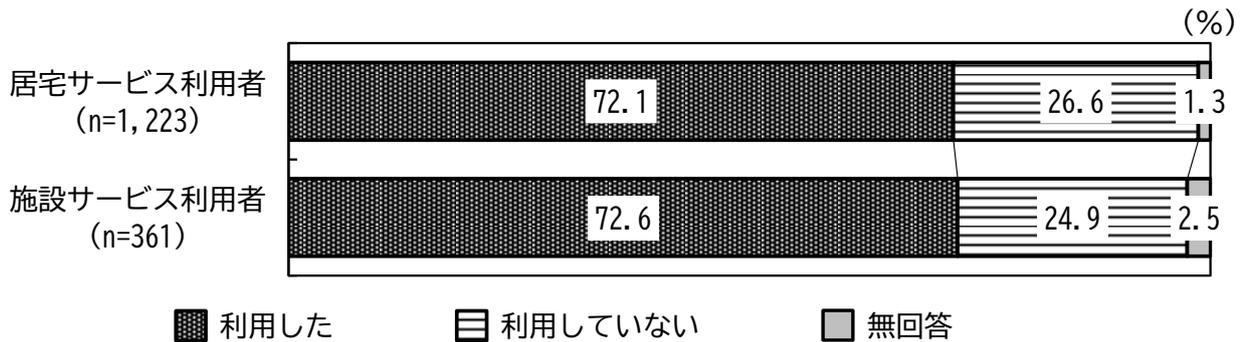
問8 最初に要介護認定を受けたとき、どなたから申請を勧められましたか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「地域包括支援センターの職員」(38.2%)が最も多く、次いで「息子や娘など親族」(24.0%)、「入院したとき医師や看護師等から」(23.2%)、「かかりつけの医師」(14.2%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「地域包括支援センターの職員」(39.1%)が最も多く、次いで「息子や娘など親族」(33.2%)、「入院したとき医師や看護師等から」(16.9%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「地域包括支援センターの職員」(29.4%)が最も多く、次いで「入院したとき医師や看護師等から」(21.3%)、「息子や娘など親族」(20.6%)、「かかりつけの医師」(16.5%)と続いている。



問9 令和元年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。(1つに○)

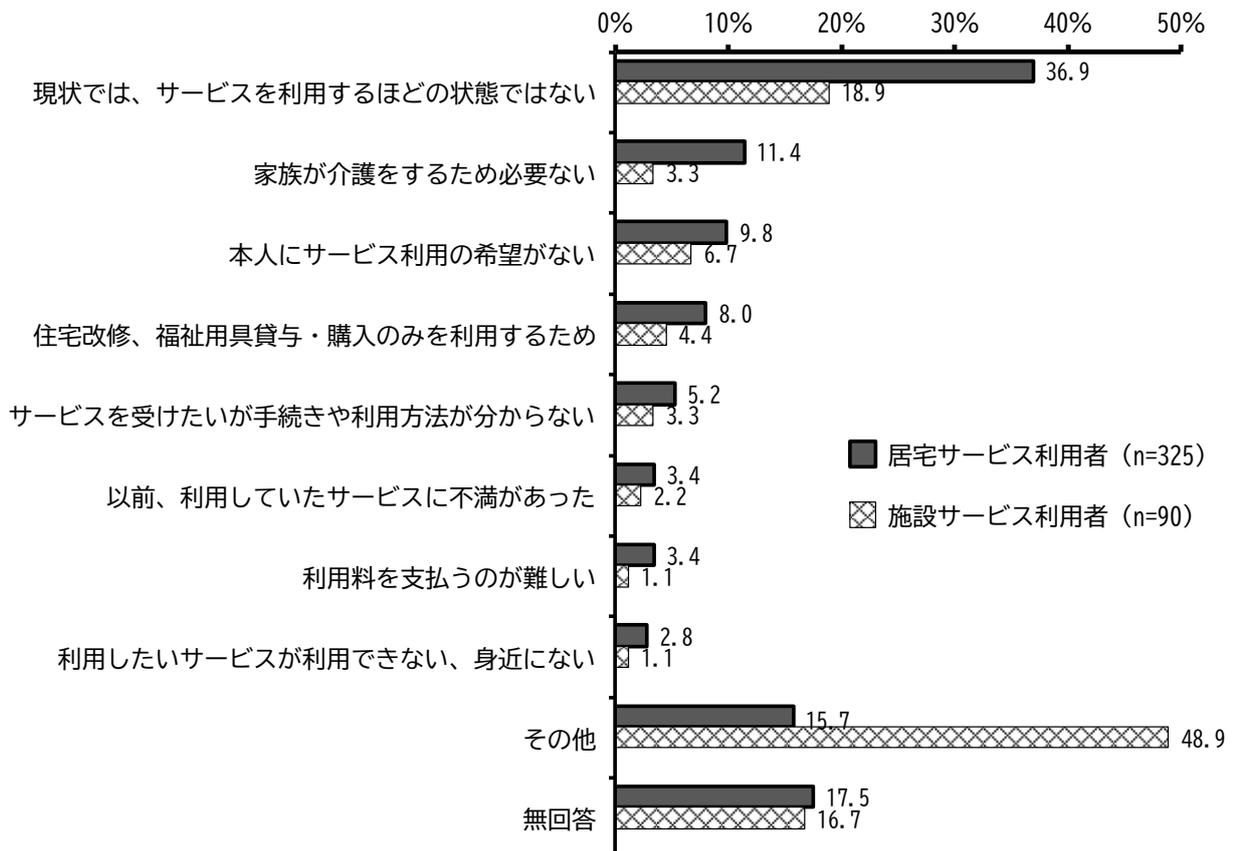
・「利用した」は、居宅サービス利用者では72.1%、施設サービス利用者では72.6%となっている。



「問9で「2. 利用していない」と回答した方におたずねします」

問9-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(36.9%)が最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(11.4%)、「本人にサービス利用の希望がない」(9.8%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(8.0%)、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(5.2%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(18.9%)が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(6.7%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(4.4%)、「家族が介護をするため必要ない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(ともに3.3%)と続いている。

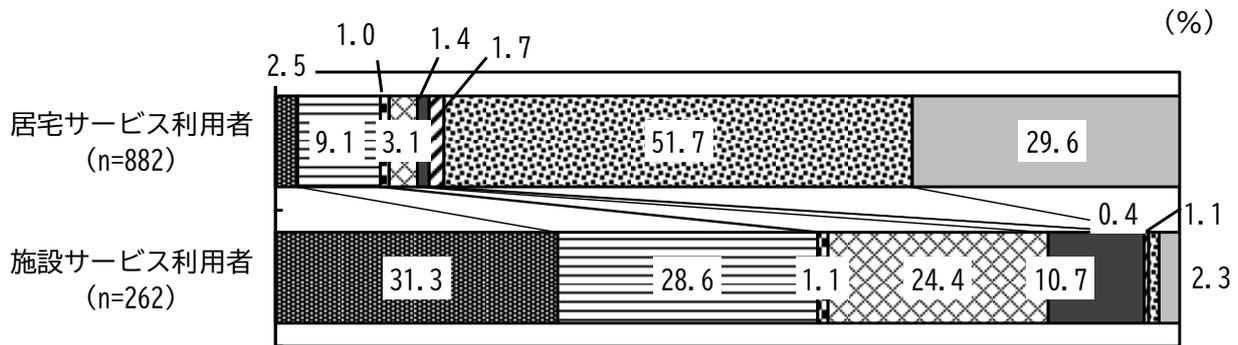


「問9で「1. 利用した」と回答した方におたずねします」

問9-2 介護保険サービスについて、令和元年9月の1か月間で下記のサービスを利用しましたか。（※要支援1、2の方は、それぞれ介護予防サービスと読みかえてお答えください。）

(1) 施設・居住系サービス（1つに○）

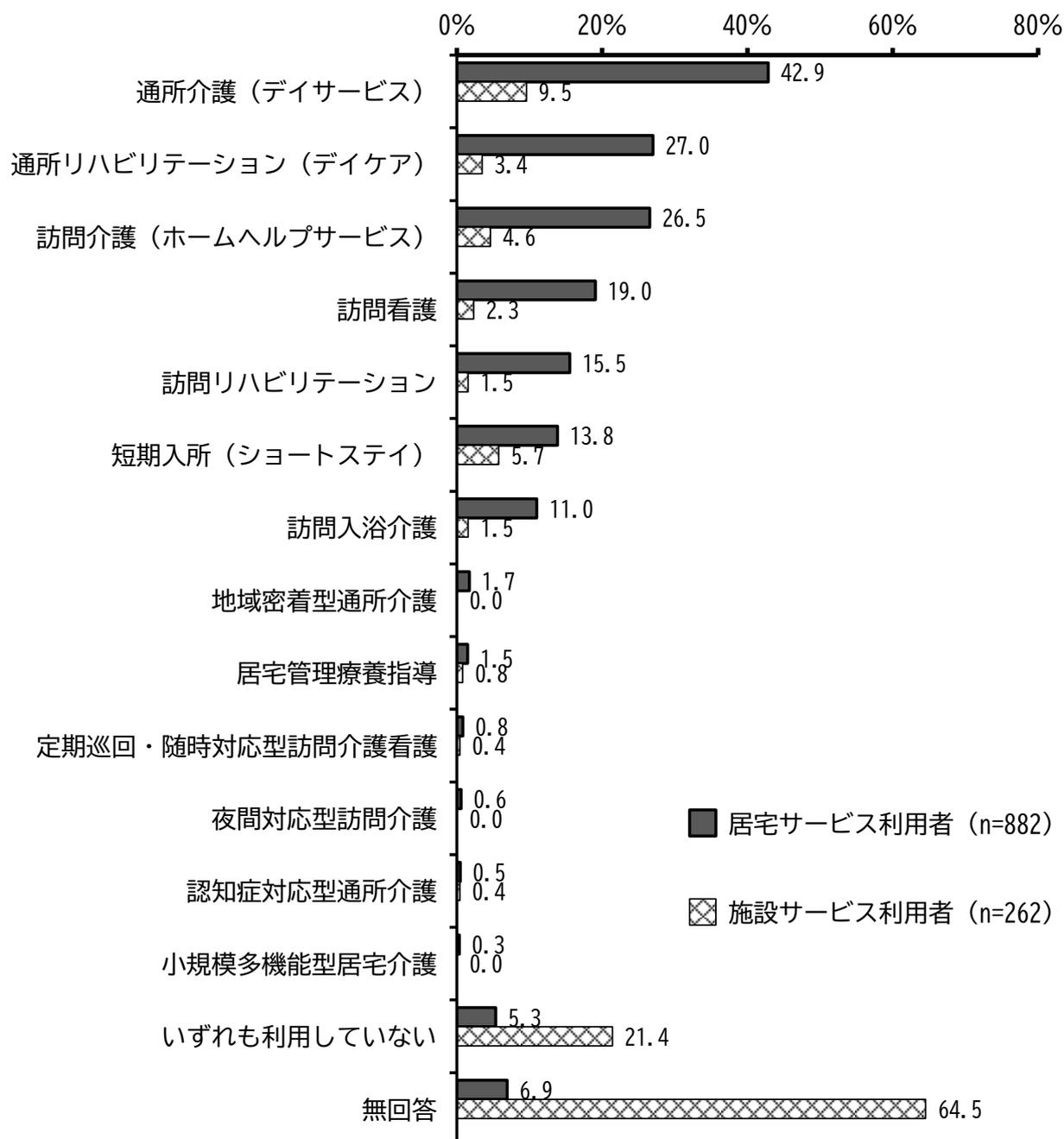
- ・ 居宅サービス利用者では、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(9.1%)が最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」(3.1%)、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(2.5%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は51.7%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(31.3%)が最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」(28.6%)、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」(24.4%)、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」(10.7%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は1.1%となっている。



- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 介護老人保健施設（老人保健施設）
- 介護医療院（介護療養型医療施設）
- 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- いずれも利用していない
- 無回答

問9-2 (2) 自宅で生活をしながら利用するサービス (いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「通所介護 (デイサービス) 」(42.9%)が最も多く、次いで「通所リハビリテーション (デイケア) 」(27.0%)、「訪問介護 (ホームヘルプサービス) 」(26.5%)、「訪問看護」(19.0%)、「訪問リハビリテーション」(15.5%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は5.3%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「通所介護 (デイサービス) 」(9.5%)が最も多く、次いで「短期入所 (ショートステイ) 」(5.7%)、「訪問介護 (ホームヘルプサービス) 」(4.6%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は21.4%となっている。

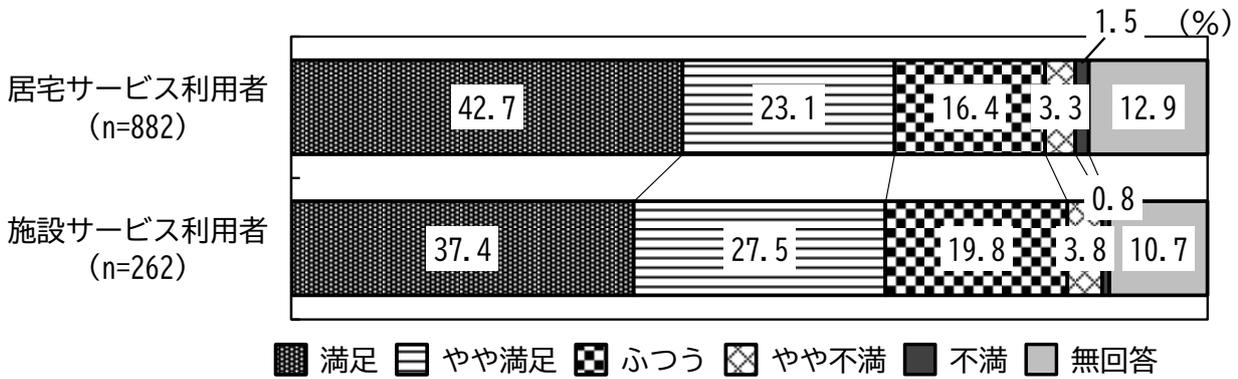


「問9で「1. 利用した」と回答した方におたずねします」

問9-3 利用中のサービスの「総合的な満足度」についてお答えください。

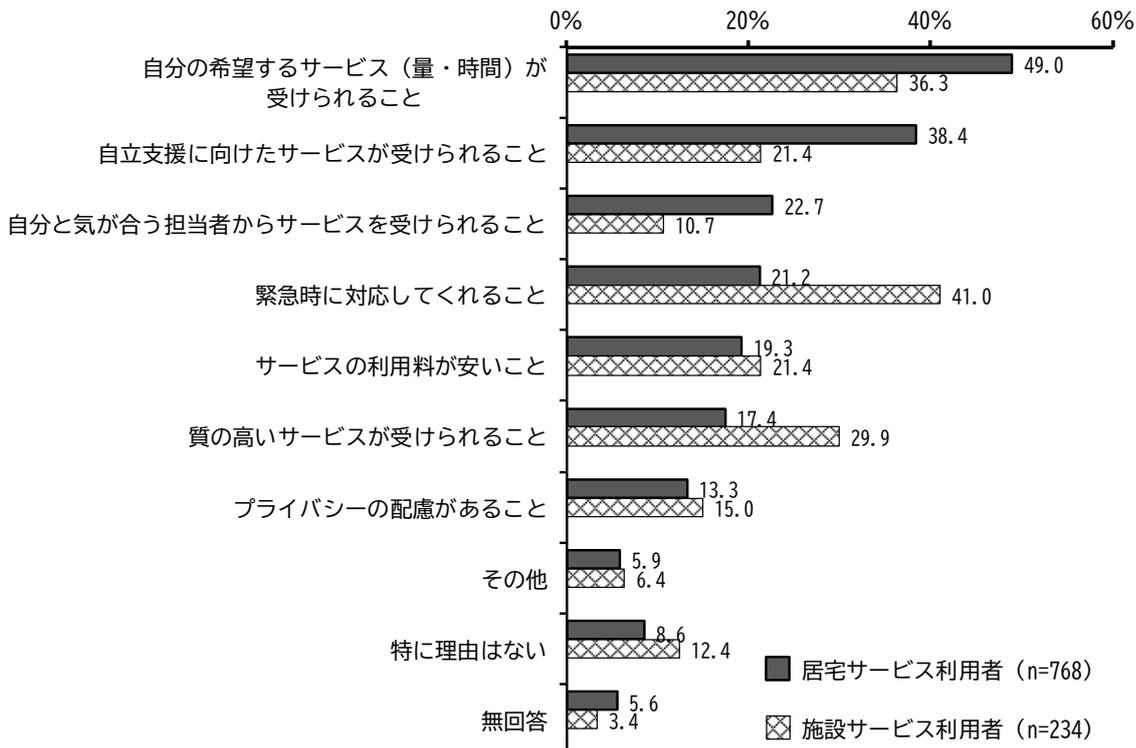
(1) 総合的な満足度 (1つに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「満足」(42.7%)、「やや満足」(23.1%)を合わせた割合は65.8%となっている。一方、「やや不満」(3.3%)、「不満」(1.5%)を合わせた割合は4.8%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「満足」(37.4%)、「やや満足」(27.5%)を合わせた割合は64.9%となっている。一方、「やや不満」(3.8%)、「不満」(0.8%)を合わせた割合は4.6%となっている。



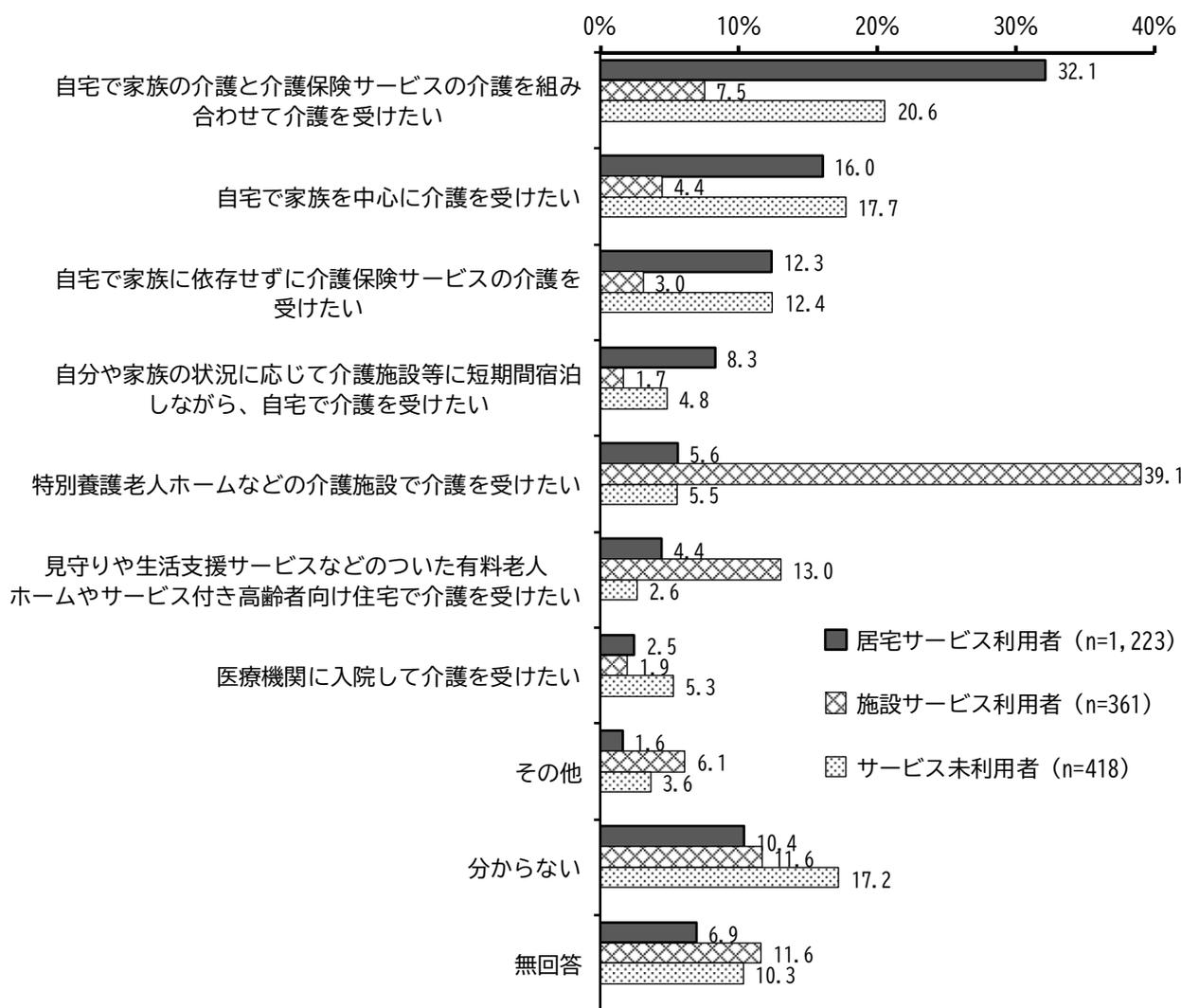
問9-3 (2) 「総合的な満足度」について、○をつけた基準についてお教えてください。(いくつでも○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(49.0%)が最も多く、次いで「自立支援に向けたサービスが受けられること」(38.4%)、「自分と気が合う担当者からサービスを受けられること」(22.7%)、「緊急時に対応してくれること」(21.2%)、「サービスの利用料が安いこと」(19.3%)と続いている。一方、「特に理由はない」は8.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「緊急時に対応してくれること」(41.0%)が最も多く、次いで「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(36.3%)、「質の高いサービスが受けられること」(29.9%)、「自立支援に向けたサービスが受けられること」と「サービスの利用料が安いこと」(ともに21.4%)と続いている。一方、「特に理由はない」は12.4%となっている。



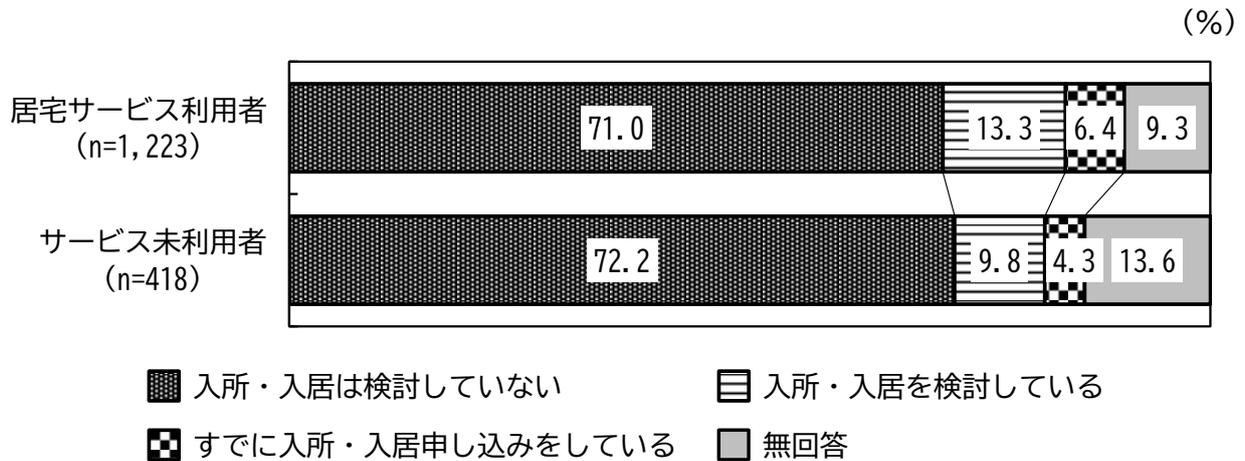
問 10 あなたは、今後、どこで生活したいと考えていますか。（1つに○）

- ・居宅サービス利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせる介護を受けたい」（32.1%）が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護を受けたい」（16.0%）、「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」（12.3%）と続いている。一方、「分からない」は10.4%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい」（39.1%）が最も多く、次いで「見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で介護を受けたい」（13.0%）、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせる介護を受けたい」（7.5%）と続いている。一方、「分からない」は11.6%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせる介護を受けたい」（20.6%）が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護を受けたい」（17.7%）、「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」（12.4%）と続いている。一方、「分からない」は17.2%となっている。



問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてうかがいます。（1つに○）

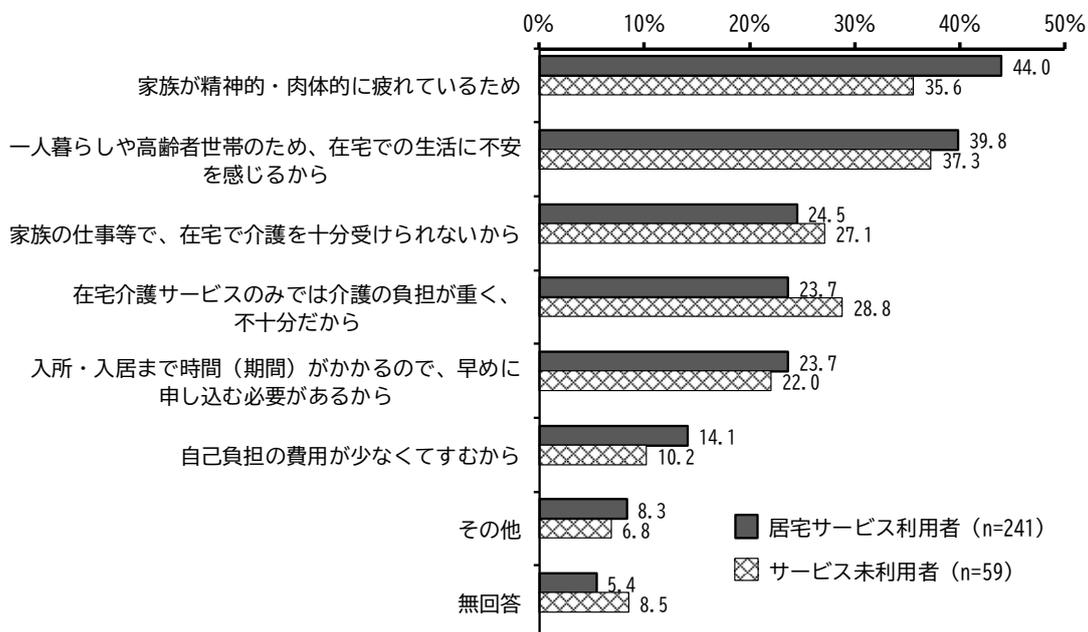
- ・居宅サービス利用者では、「入所・入居は検討していない」が71.0%、「入所・入居を検討している」が13.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.4%となっている。
- ・サービス未利用者では、「入所・入居は検討していない」が72.2%、「入所・入居を検討している」が9.8%となっている。



「問 11 で「2」又は「3」と回答した方におたずねします」

問 11-1 申し込みをしている又は検討している理由は何ですか。（いくつでも○）

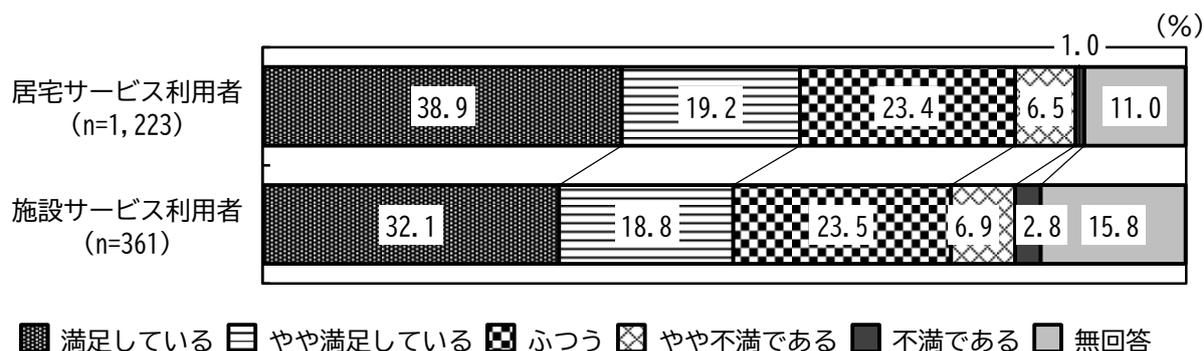
- ・居宅サービス利用者では、「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(44.0%)が最も多く、次いで「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」(39.8%)、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」(24.5%)、「在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから」「入所・入居まで時間（期間）がかかるので、早めに申し込む必要があるから」(ともに 23.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」(37.3%)が最も多く、次いで「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(35.6%)、「在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから」(28.8%)、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」(27.1%)、「入所・入居まで時間（期間）がかかるので、早めに申し込む必要があるから」(22.0%)と続いている。



(4) 利用者本位のサービスのあり方について

問 12 あなたは、現在の（介護予防）ケアプランに満足していますか。（1つに○）

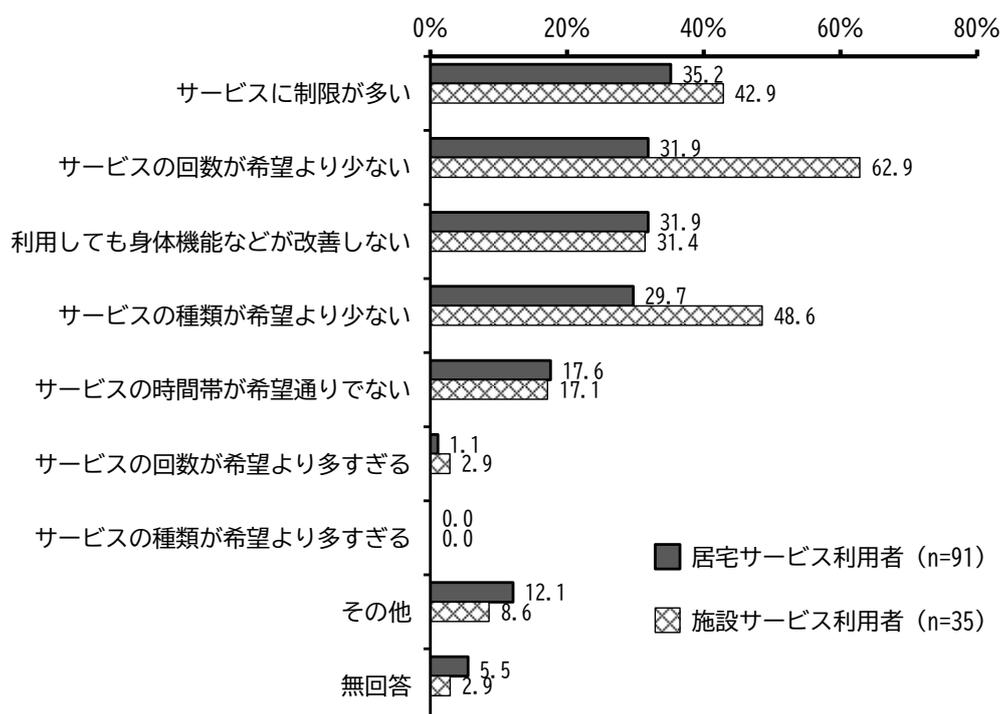
- ・居宅サービス利用者では、「満足している」(38.9%)、「やや満足している」(19.2%)を合わせた割合は58.1%となっている。一方、「やや不満である」(6.5%)、「不満である」(1.0%)を合わせた割合は7.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「満足している」(32.1%)、「やや満足している」(18.8%)を合わせた割合は50.9%となっている。一方、「やや不満である」(6.9%)、「不満である」(2.8%)を合わせた割合は9.7%となっている。



「問 12 で「4」又は「5」と答えた方におたずねします」

問 12-1 不満の内容は次のどれですか。（いくつでも○）

- ・居宅サービス利用者では、「サービスに制限が多い」(35.2%)が最も多く、次いで「サービスの回数が希望より少ない」(31.9%)、「サービスの種類が希望より少ない」(29.7%)、「サービスの時間帯が希望通りでない」(17.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「サービスの回数が希望より少ない」(62.9%)が最も多く、次いで「サービスの種類が希望より少ない」(48.6%)、「サービスに制限が多い」(42.9%)、「利用しても身体機能などが改善しない」(31.4%)と続いている。



問 13 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）についてどのように感じていますか。

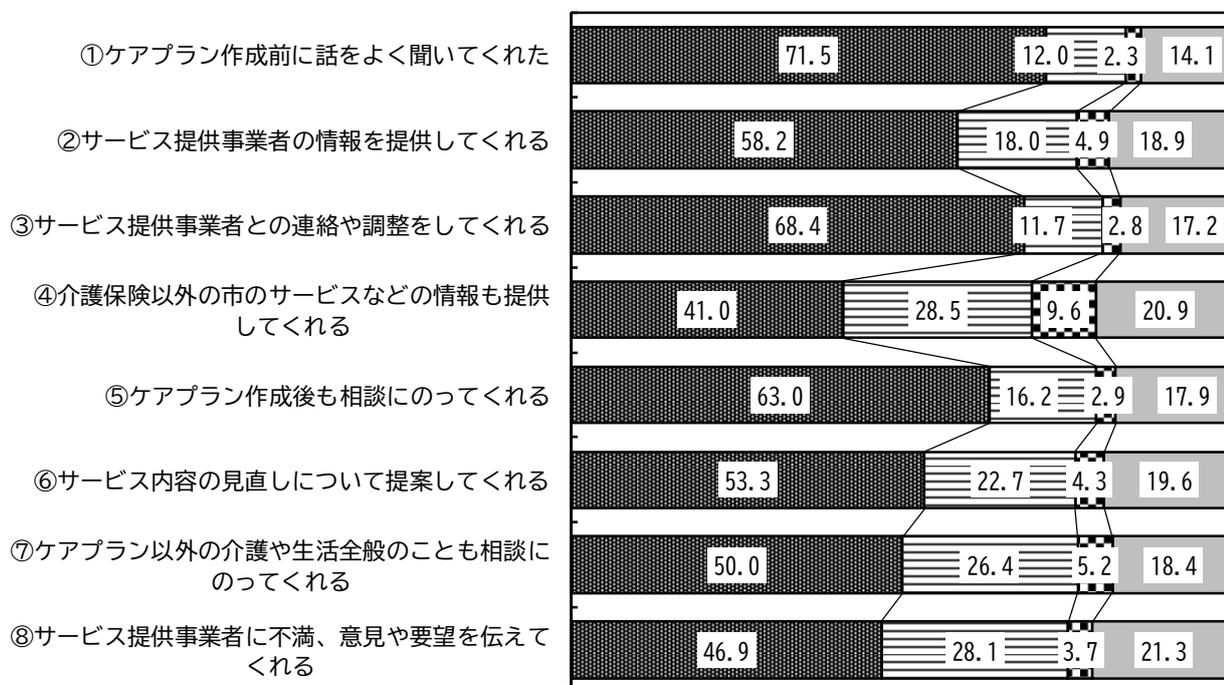
（①～⑧のそれぞれについて、1つずつ○）

○居宅サービス利用者

- ・「そう思う」の割合は、「①ケアプラン作成前に話をよく聞いてくれた」（71.5%）が最も多く、次いで「③サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる」（68.4%）、「⑤ケアプラン作成後も相談にのってくれる」（63.0%）、「②サービス提供事業者の情報を提供してくれる」（58.2%）、「⑥サービス内容の見直しについて提案してくれる」（53.3%）と続いている。
- ・一方、「そう思わない」の割合は、「④介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる」（28.5%）が最も多く、次いで「⑧サービス提供事業者に不満、意見や要望を伝えてくれる」（28.1%）、「⑦ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる」（26.4%）、「⑥サービス内容の見直しについて提案してくれる」（22.7%）と続いている。

居宅サービス利用者（n=1,223）

（%）



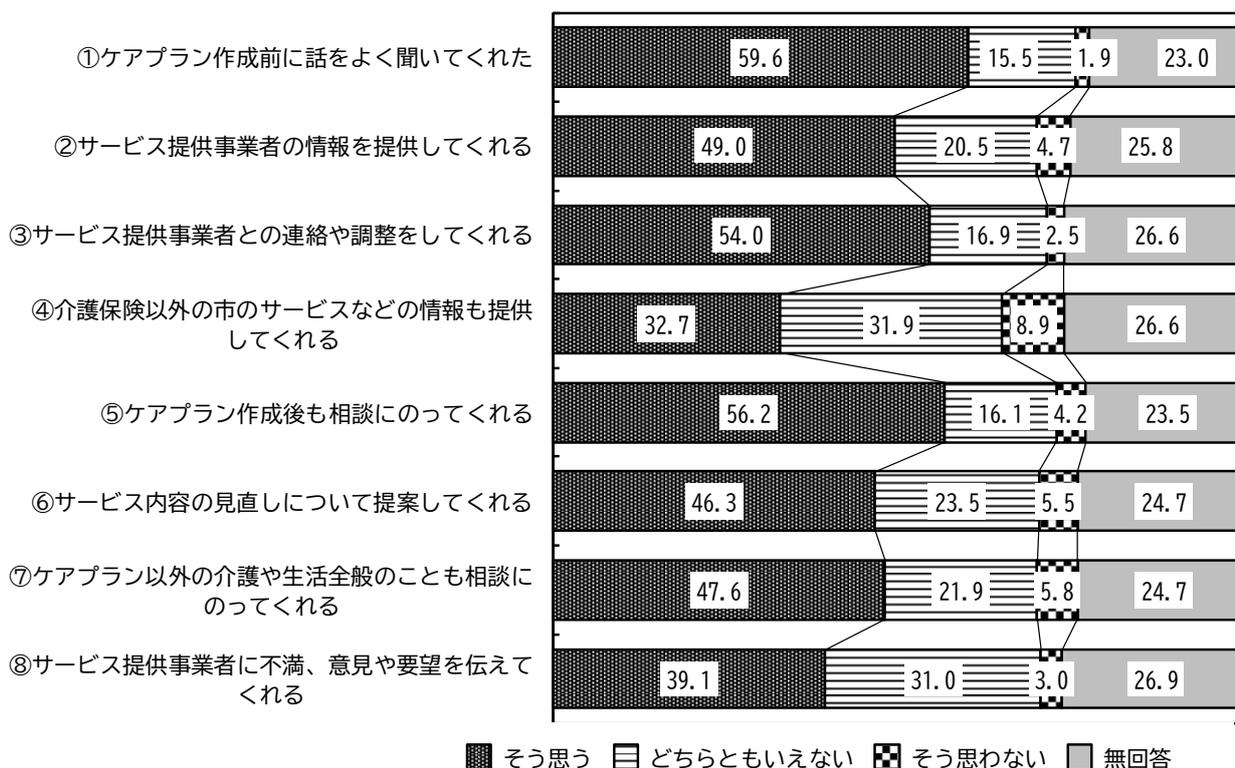
■ そう思う ▨ どちらともいえない ▩ そう思わない □ 無回答

○施設サービス利用者

- ・「そう思う」の割合は、「①ケアプラン作成前に話をよく聞いてくれた」(59.6%)が最も多く、次いで「⑤ケアプラン作成後も相談にのってくれる」(56.2%)、「③サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる」(54.0%)、「②サービス提供事業者の情報を提供してくれる」(49.0%)、「⑦ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる」(47.6%)と続いている。
- ・一方、「そう思わない」の割合は、「④介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる」(8.9%)が最も多く、次いで「⑦ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる」(5.8%)、「⑥サービス内容の見直しについて提案してくれる」(5.5%)、「②サービス提供事業者の情報を提供してくれる」(4.7%)、「⑤ケアプラン作成後も相談にのってくれる」(4.2%)と続いている。

施設サービス利用者 (n=361)

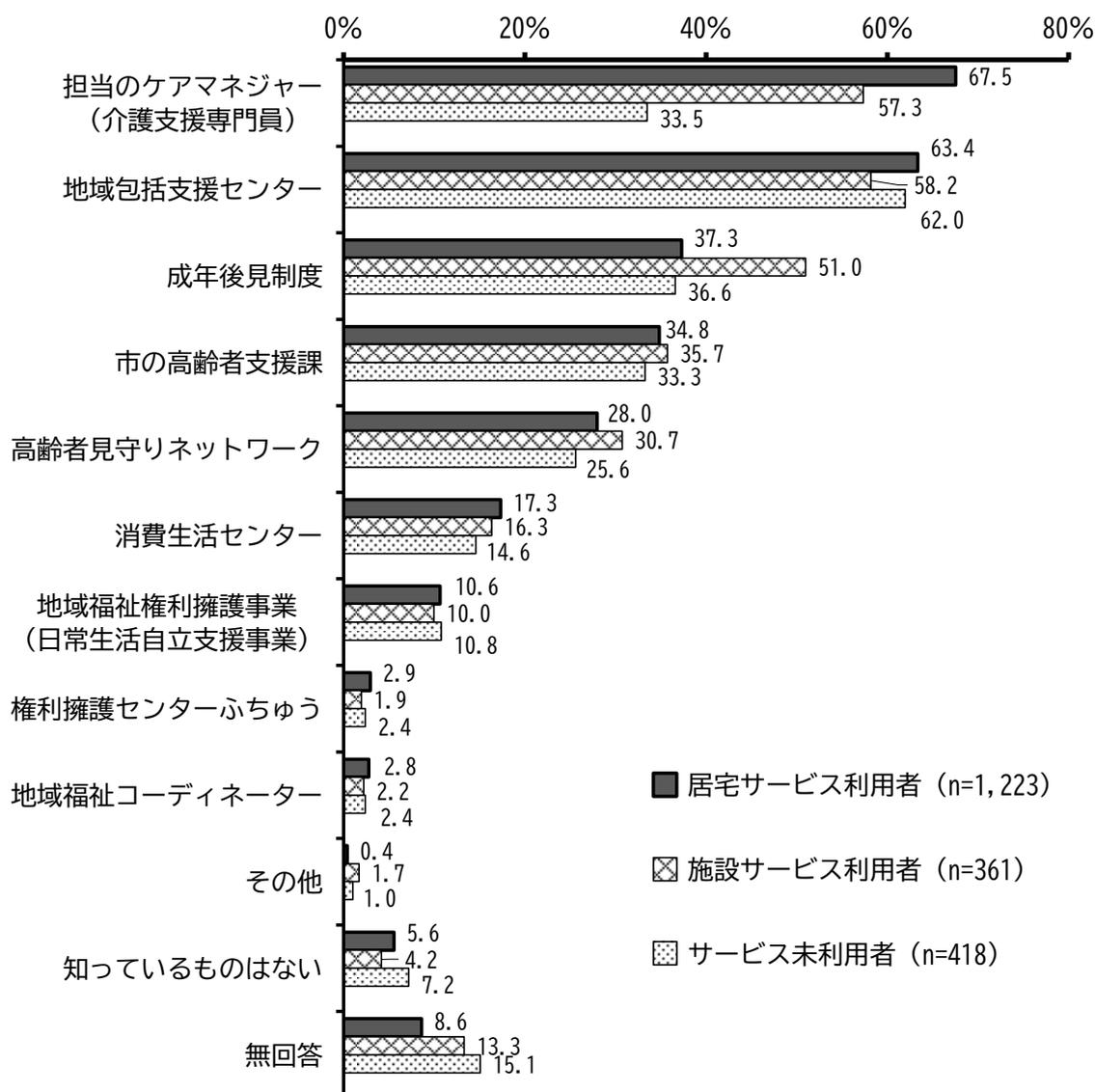
(%)



(5) 高齢者の権利擁護について

問 14 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。(いくつでも○)

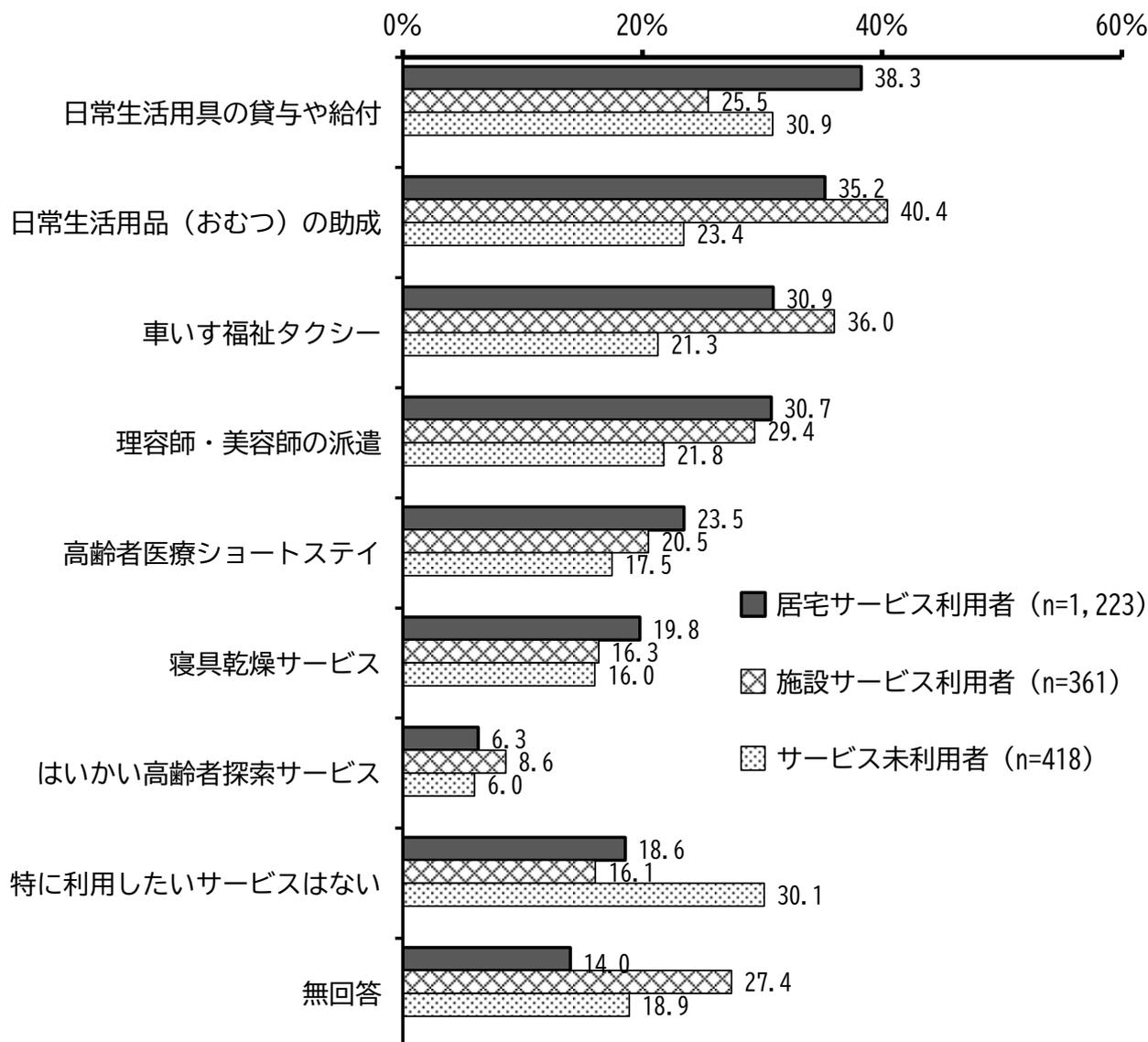
- ・ 居宅サービス利用者では、「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(67.5%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(63.4%)、「成年後見制度」(37.3%)、「市の高齢者支援課」(34.8%)、「高齢者見守りネットワーク」(28.0%)と続いている。一方、「知っているものはない」は5.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「地域包括支援センター」(58.2%)が最も多く、次いで「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(57.3%)、「成年後見制度」(51.0%)、「市の高齢者支援課」(35.7%)、「高齢者見守りネットワーク」(30.7%)と続いている。一方、「知っているものはない」は4.2%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「地域包括支援センター」(62.0%)が最も多く、次いで「成年後見制度」(36.6%)、「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(33.5%)、「市の高齢者支援課」(33.3%)、「高齢者見守りネットワーク」(25.6%)と続いている。一方、「知っているものはない」は7.2%となっている。



(6) 高齢者保健福祉サービスについて

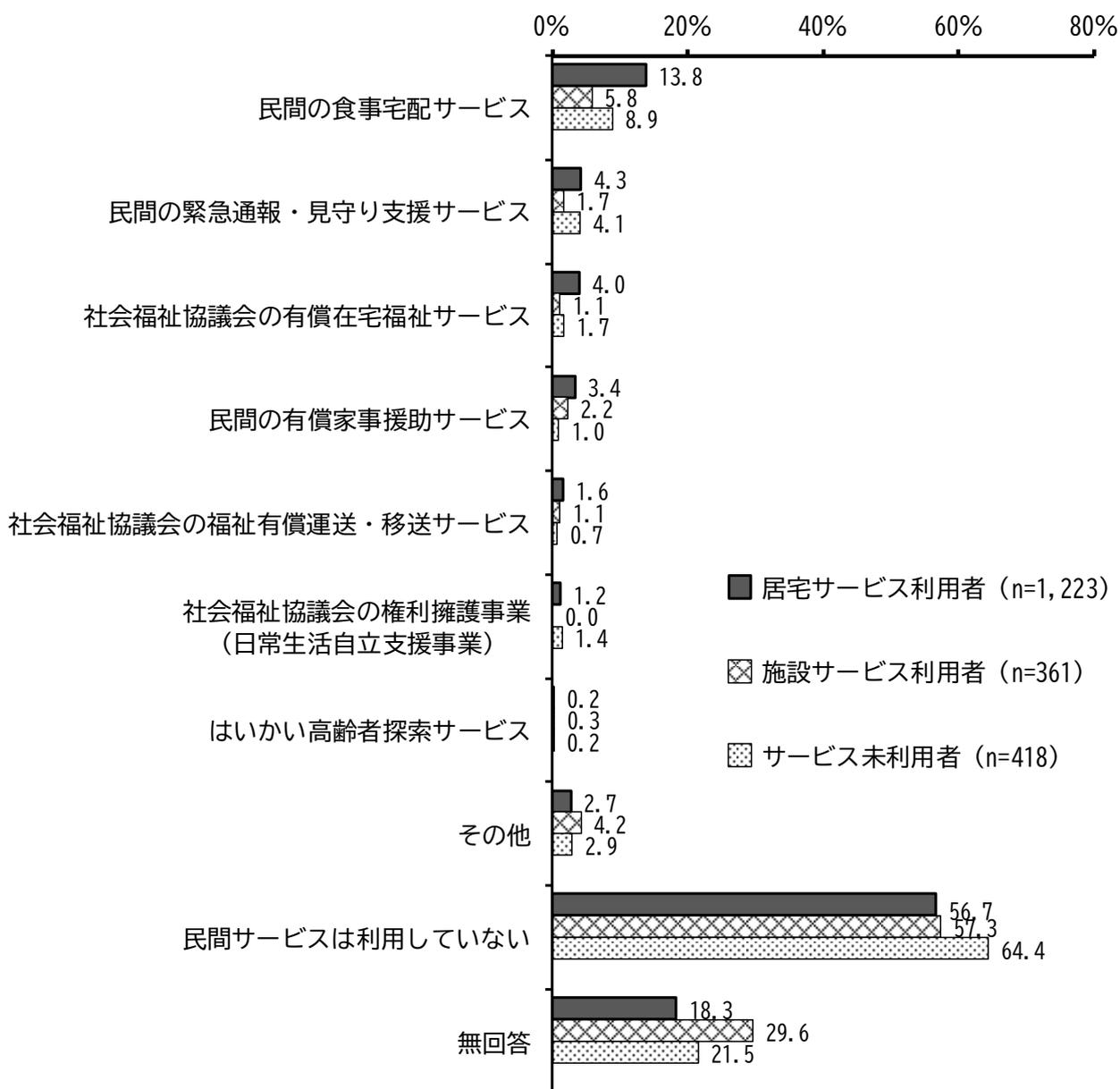
問 15 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。あなたは、以下のサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「日常生活用具の貸与や給付」(38.3%)が最も多く、次いで「日常生活用品(おむつ)の助成」(35.2%)、「車いす福祉タクシー」(30.9%)、「理容師・美容師の派遣」(30.7%)、「高齢者医療ショートステイ」(23.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は18.6%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「日常生活用品(おむつ)の助成」(40.4%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(36.0%)、「理容師・美容師の派遣」(29.4%)、「日常生活用具の貸与や給付」(25.5%)、「高齢者医療ショートステイ」(20.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は16.1%となっている。
- ・サービス未利用者では、「日常生活用具の貸与や給付」(30.9%)が最も多く、次いで「日常生活用品(おむつ)の助成」(23.4%)、「理容師・美容師の派遣」(21.8%)、「車いす福祉タクシー」(21.3%)、「高齢者医療ショートステイ」(17.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は30.1%となっている。



問 16 あなたは、以下のような民間サービスを利用していますか。(いくつでも○)

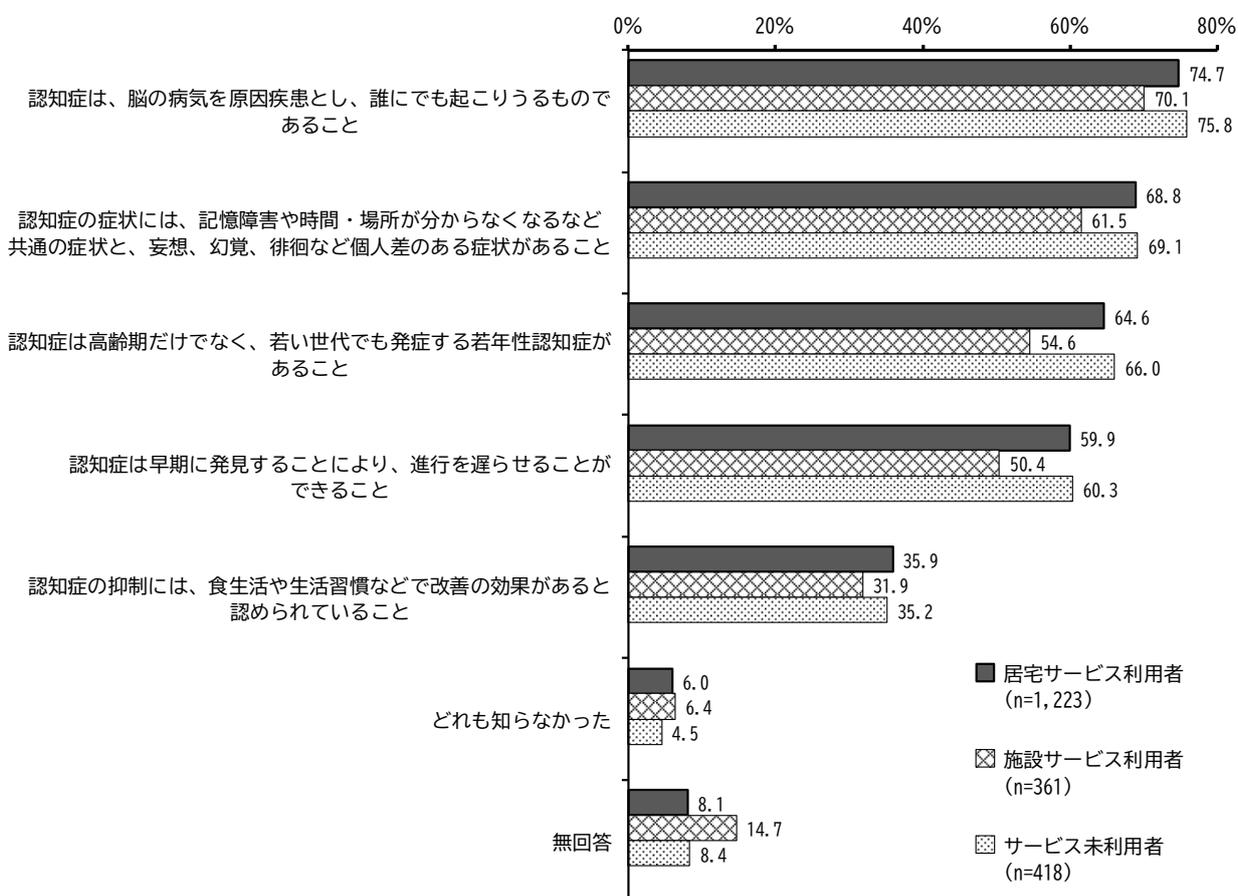
- ・居宅サービス利用者では、「民間の食事宅配サービス」(13.8%)が最も多く、次いで「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(4.3%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(4.0%)、「民間の有償家事援助サービス」(3.4%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は56.7%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「民間の食事宅配サービス」(5.8%)が最も多く、次いで「民間の有償家事援助サービス」(2.2%)、「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(1.7%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は57.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「民間の食事宅配サービス」(8.9%)が最も多く、次いで「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(4.1%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(1.7%)、「社会福祉協議会の権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」(1.4%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は64.4%となっている。



(7) 認知症について

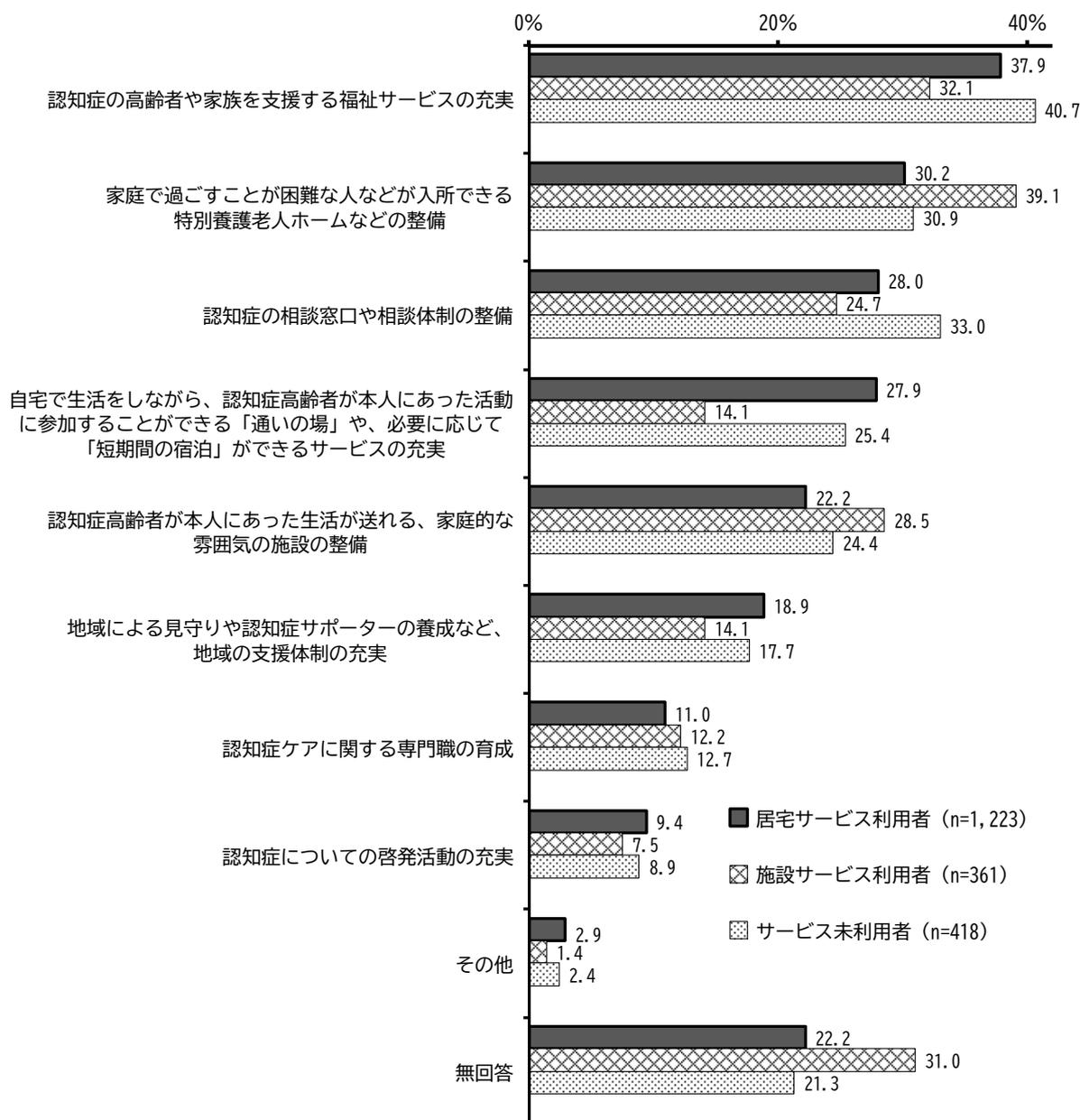
問 17 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(74.7%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(68.8%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(64.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(59.9%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は6.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(70.1%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(61.5%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(54.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(50.4%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は6.4%となっている。
- ・サービス未利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(75.8%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(69.1%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(66.0%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(60.3%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は4.5%となっている。



問 18 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。(3 つまでに○)

- ・居宅サービス利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(37.9%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.2%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(28.0%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加することができる「通いの場」や、必要に応じて「短期間の宿泊」ができるサービスの充実」(27.9%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(39.1%)が最も多く、次いで「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(32.1%)、「認知症高齢者が本人にあった生活が送れる、家庭的な雰囲気施設の整備」(28.5%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(24.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(40.7%)が最も多く、次いで「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(33.0%)、「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.9%)と続いている。

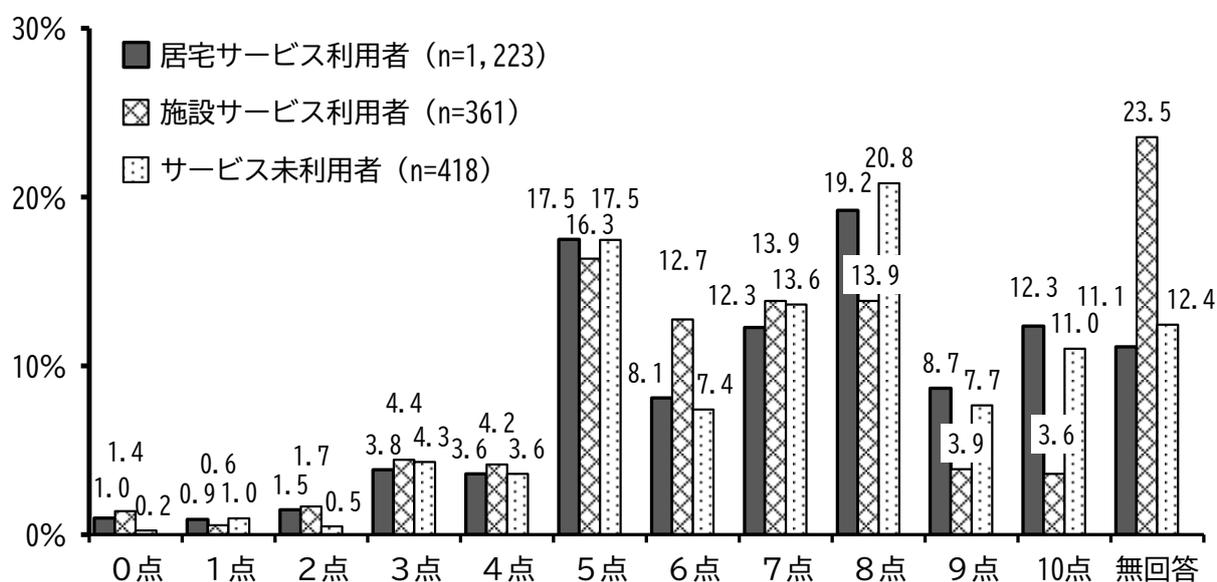


(8) 地域生活と日ごろの活動について

問 19 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらいになると思いますか。最も近いものをお選びください。

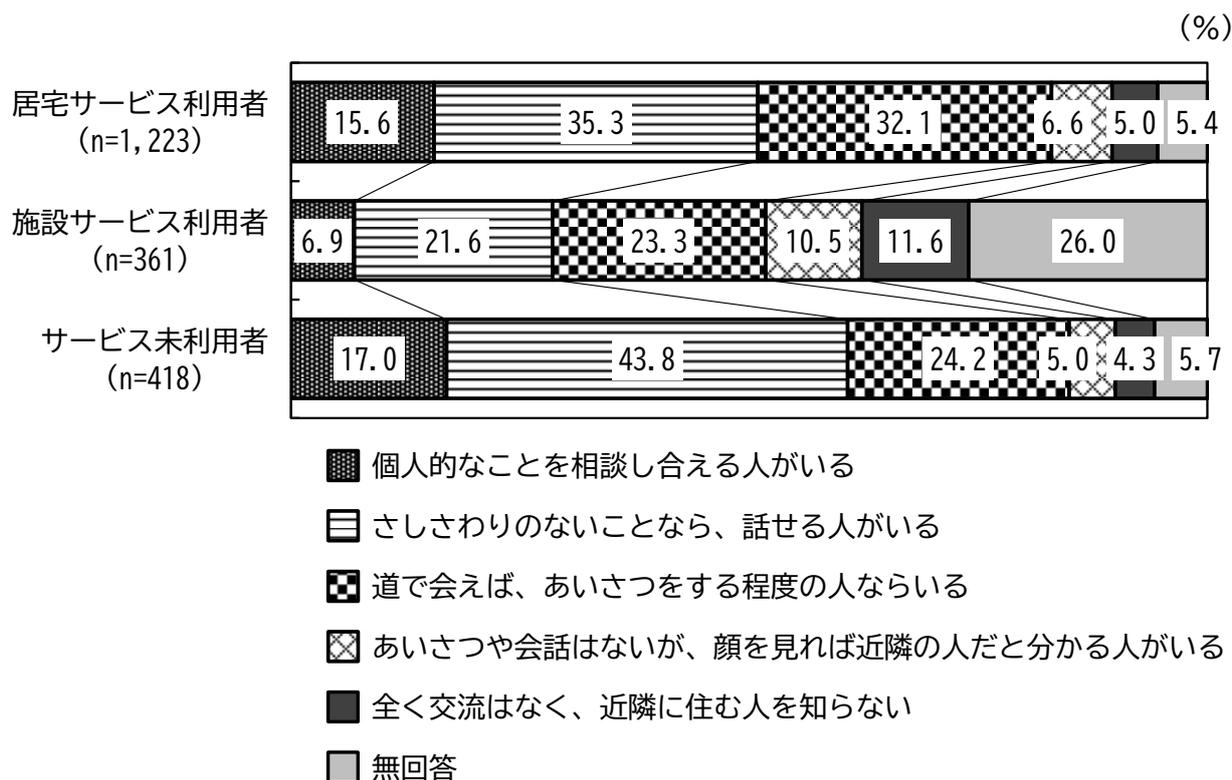
(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「8点」(19.2%)が最も多く、次いで「5点」(17.5%)、「10点」(12.3%)、「7点」(12.3%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「5点」(16.3%)が最も多く、次いで「7点」(13.9%)、「8点」(13.9%)、「6点」(12.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「8点」(20.8%)が最も多く、次いで「5点」(17.5%)、「7点」(13.6%)、「10点」(11.0%)と続いている。



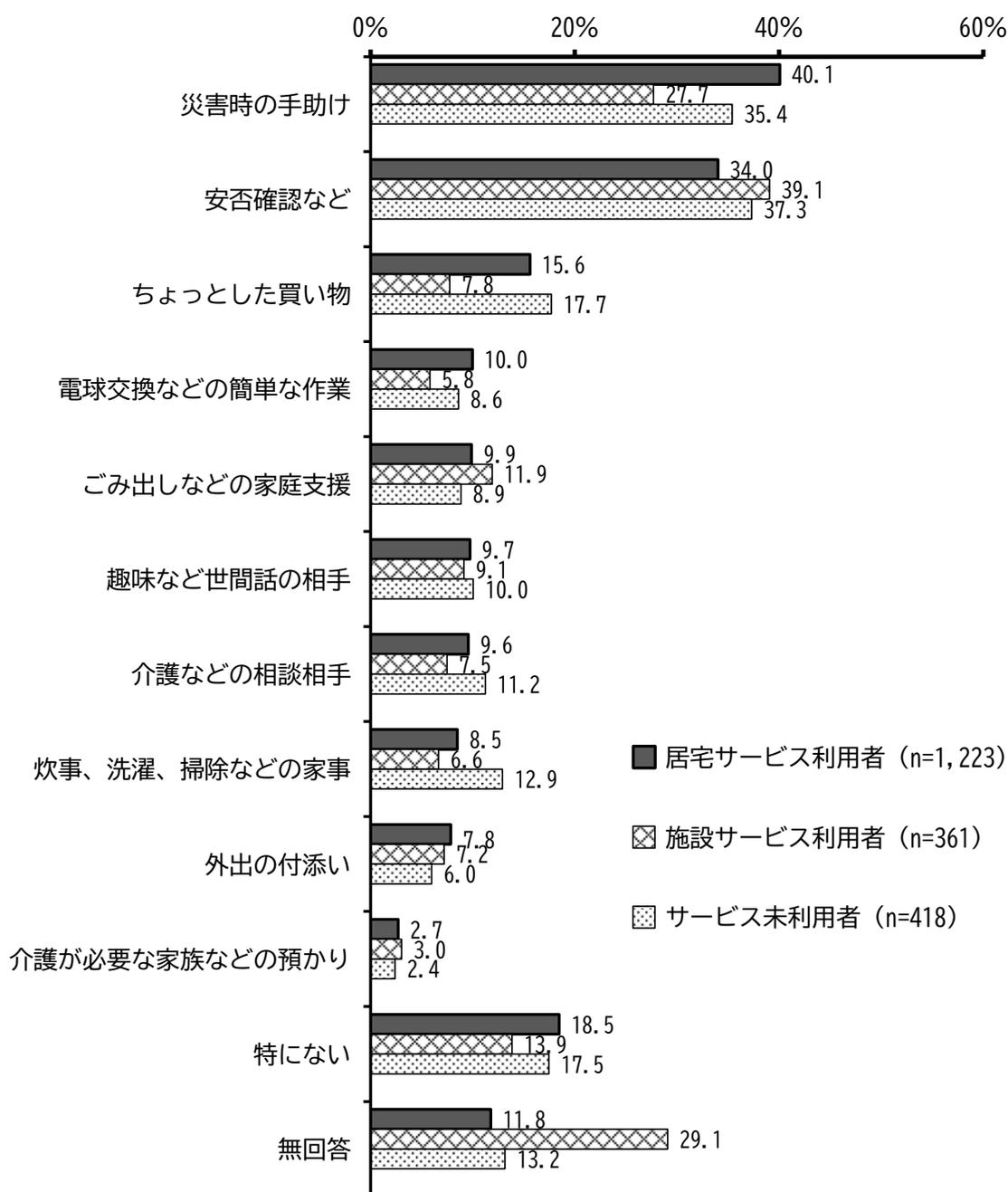
問 20 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(35.3%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(32.1%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(15.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(23.3%)が最も多く、次いで「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(21.6%)、「全く交流はなく、近隣に住む人知らない」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(43.8%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(24.2%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(17.0%)と続いている。



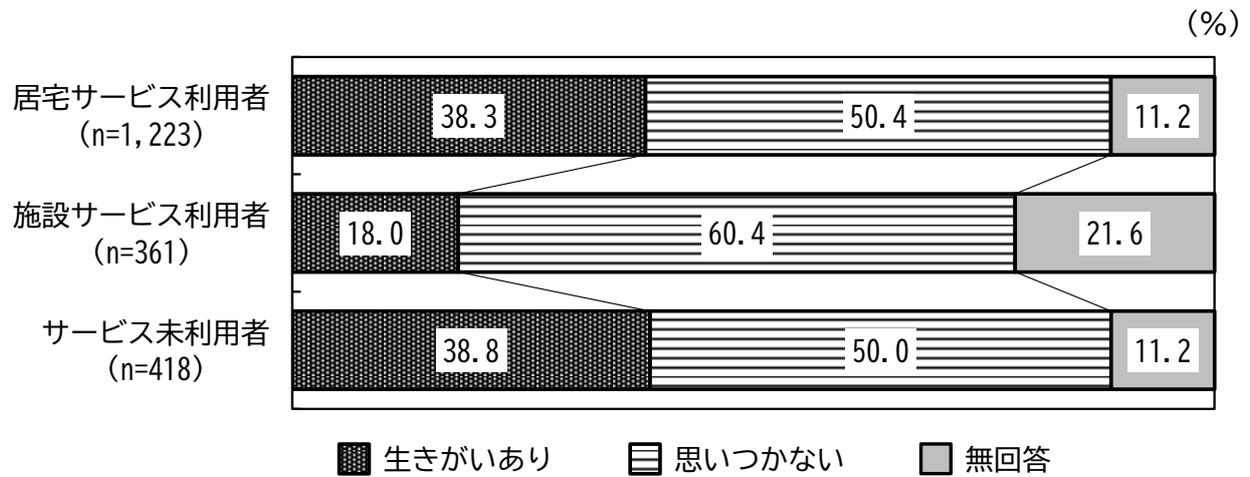
問 21 あなたが、高齢や病気などで日常生活が不自由になったとき、隣近所の人に手助けしてもらったらどんなことをしてほしいですか。（3つまでに○）

- ・居宅サービス利用者では、「災害時の手助け」(40.1%)が最も多く、次いで「安否確認など」(34.0%)、「ちょっとした買い物」(15.6%)、「電球交換などの簡単な作業」(10.0%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(9.9%)と続いている。一方、「特にない」は18.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「安否確認など」(39.1%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(27.7%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(11.9%)、「趣味など世間話の相手」(9.1%)と続いている。一方、「特にない」は13.9%となっている。
- ・サービス未利用者では、「安否確認など」(37.3%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(35.4%)、「ちょっとした買い物」(17.7%)、「炊事、洗濯、掃除などの家事」(12.9%)、「介護などの相談相手」(11.2%)と続いている。一方、「特にない」は17.5%となっている。



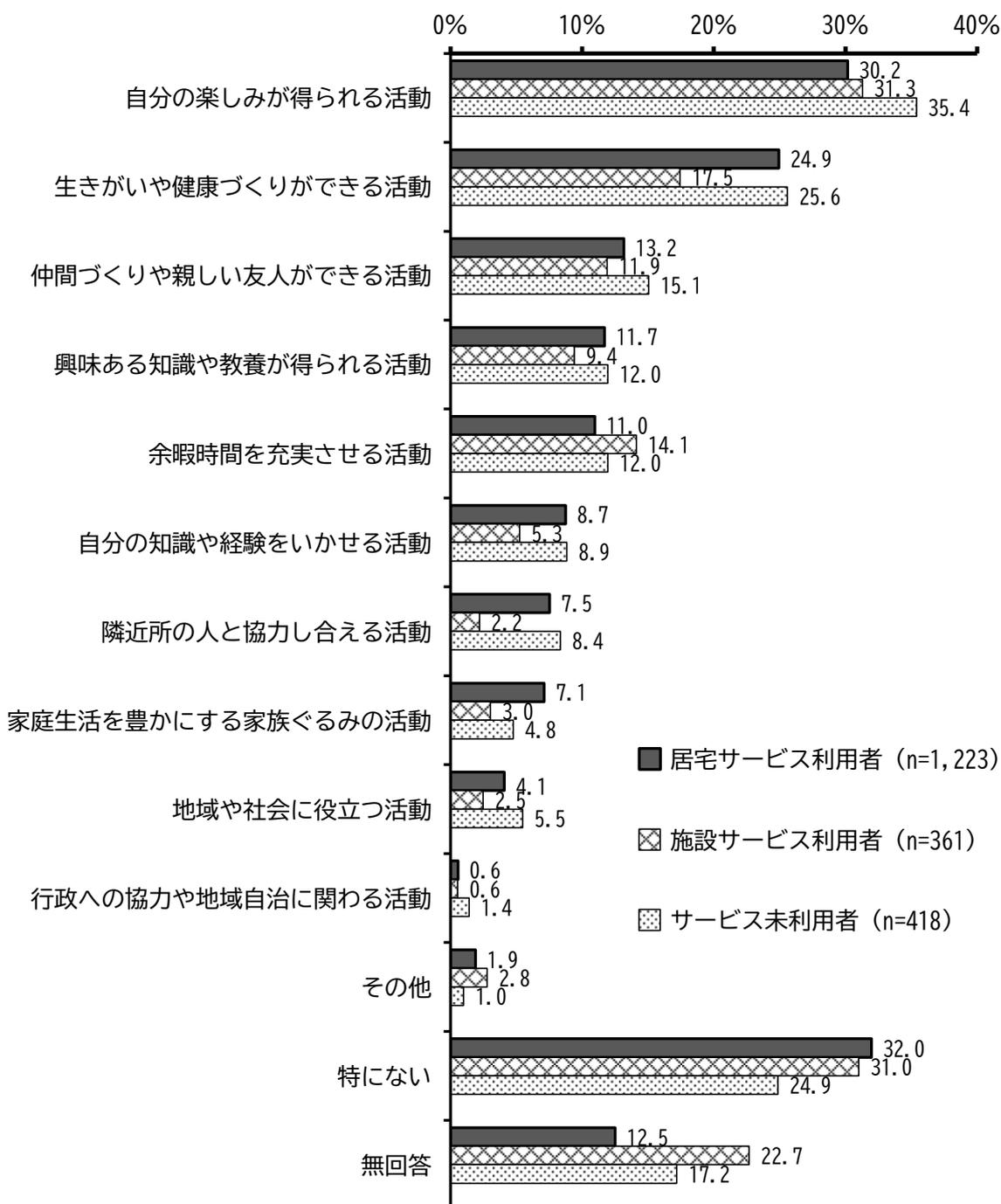
問 22 生きがいがありますか。(1つに○)

- ・「生きがいあり」の割合は、居宅サービス利用者では38.3%、施設サービス利用者では18.0%、サービス未利用者では38.8%となっている。



問 23 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。（3つまでに○）

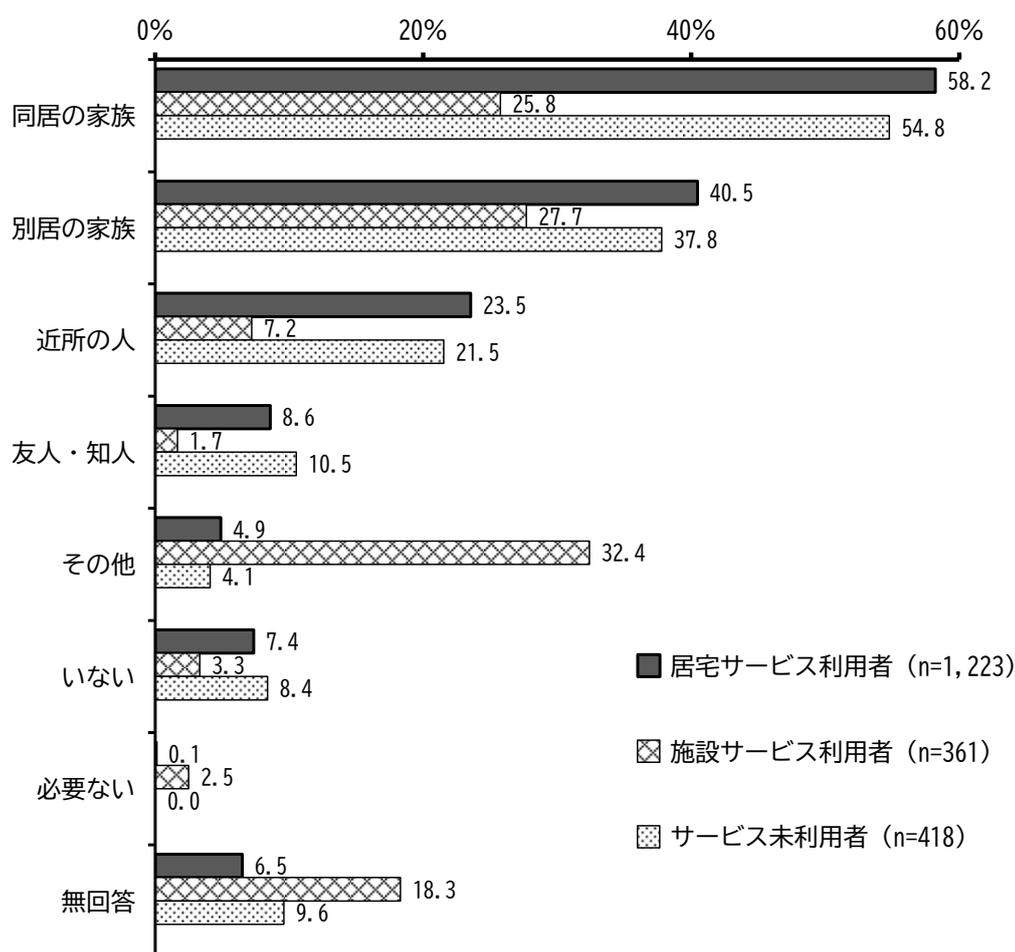
- ・居宅サービス利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(30.2%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(24.9%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(13.2%)、「興味ある知識や教養が得られる活動」(11.7%)、「余暇時間を充実させる活動」(11.0%)と続いている。一方、「特にない」は32.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(31.3%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(17.5%)、「余暇時間を充実させる活動」(14.1%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(11.9%)と続いている。一方、「特にない」は31.0%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(35.4%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(25.6%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(15.1%)と続いている。一方、「特にない」は24.9%となっている。



(9) 災害時の対応について

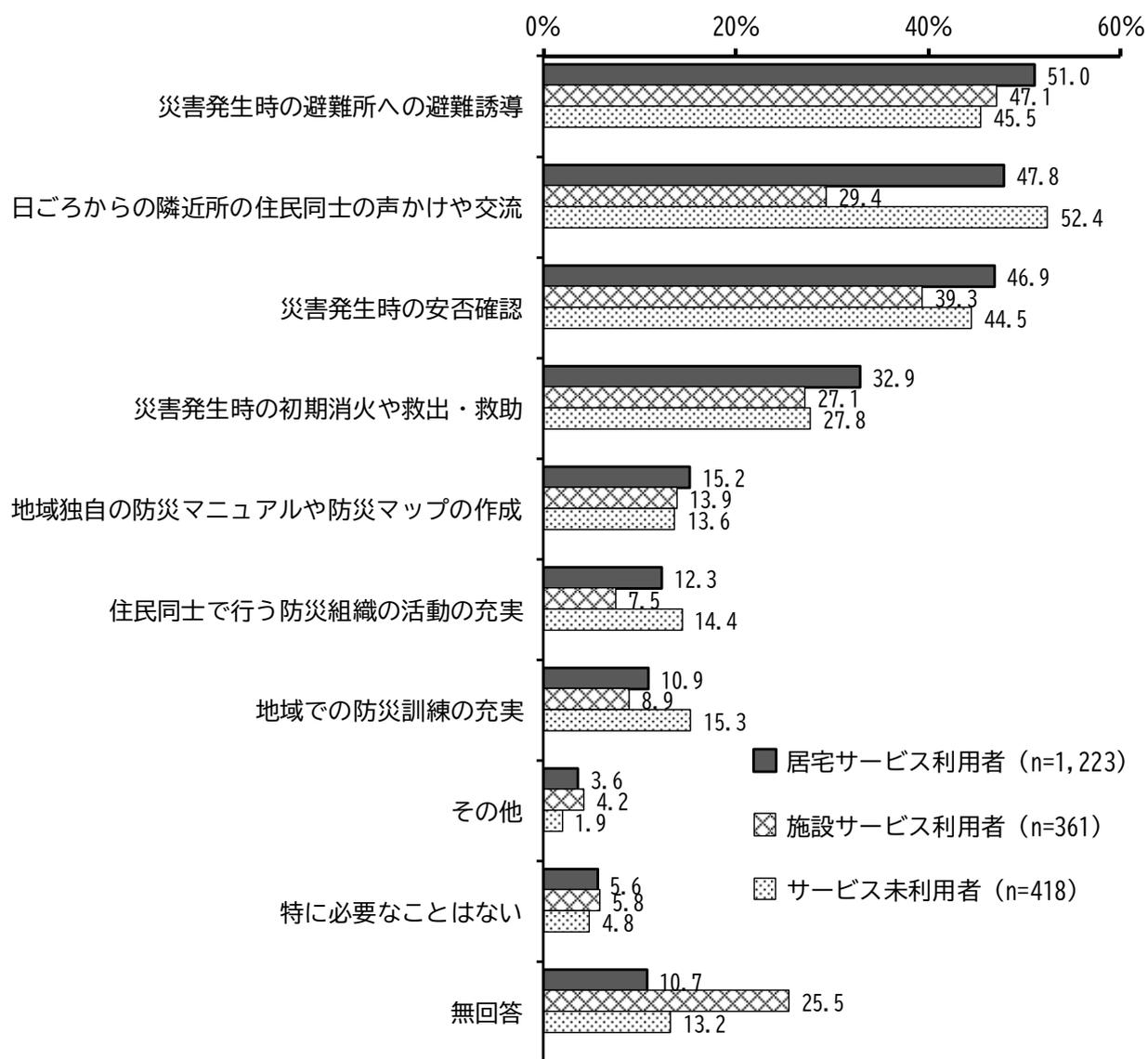
問 24 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「同居の家族」(58.2%)が最も多く、次いで「別居の家族」(40.5%)、「近所の人」(23.5%)、「友人・知人」(8.6%)と続いている。一方、「いない」は7.4%、「必要ない」は0.1%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「別居の家族」(27.7%)が最も多く、次いで「同居の家族」(25.8%)、「近所の人」(7.2%)と続いている。一方、「いない」は3.3%、「必要ない」は2.5%となっている。
- ・サービス未利用者では、「同居の家族」(54.8%)が最も多く、次いで「別居の家族」(37.8%)、「近所の人」(21.5%)、「友人・知人」(10.5%)と続いている。一方、「いない」は8.4%、「必要ない」は0.0%となっている。



問 25 災害に備えて、又は災害が発生したときに、あなたに対してどのような手助けがあれば安心できると思いますか。(いくつでも○)

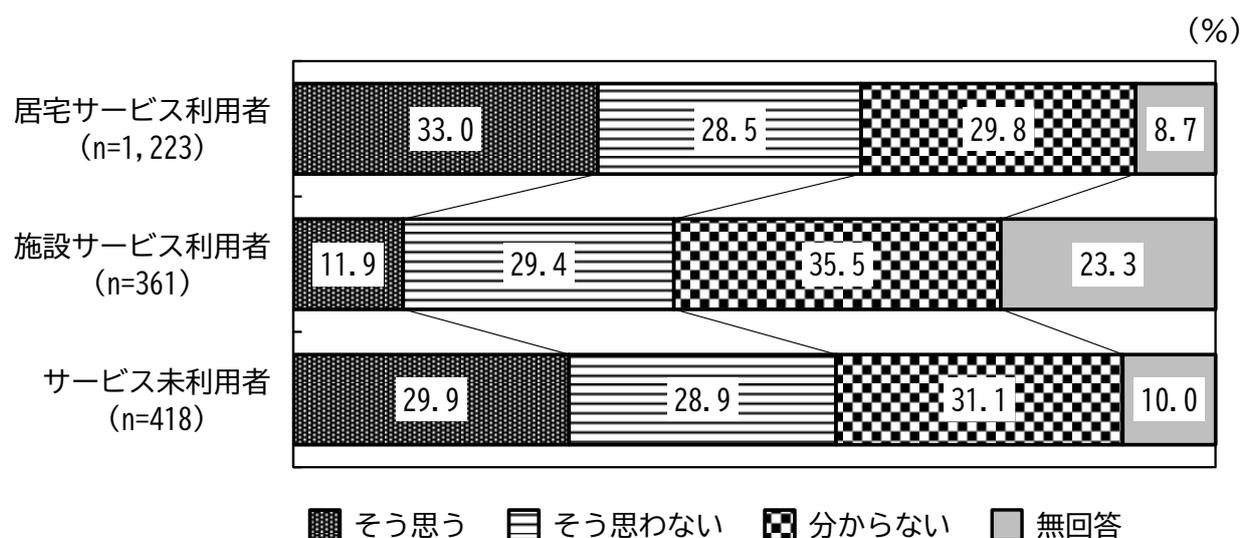
- ・ 居宅サービス利用者では、「災害発生時の避難所への避難誘導」(51.0%)が最も多く、次いで「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(47.8%)、「災害発生時の安否確認」(46.9%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(32.9%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は5.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「災害発生時の避難所への避難誘導」(47.1%)が最も多く、次いで「災害発生時の安否確認」(39.3%)、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(29.4%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(27.1%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は5.8%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(52.4%)が最も多く、次いで「災害発生時の避難所への避難誘導」(45.5%)、「災害発生時の安否確認」(44.5%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(27.8%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は4.8%となっている。



(10) 在宅療養について

問 26 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○)

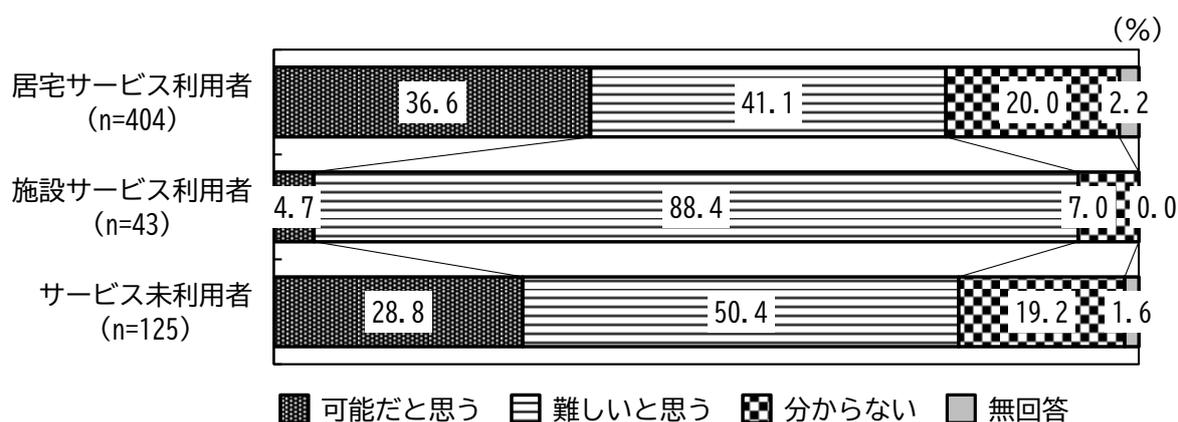
- ・居宅サービス利用者では、「そう思う」が 33.0%、「そう思わない」が 28.5%、「分からない」が 29.8% となっている。
- ・施設サービス利用者では、「そう思う」が 11.9%、「そう思わない」が 29.4%、「分からない」が 35.5% となっている。
- ・サービス未利用者では、「そう思う」が 29.9%、「そう思わない」が 28.9%、「分からない」が 31.1% となっている。



«問 26 で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします»

問 26-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○)

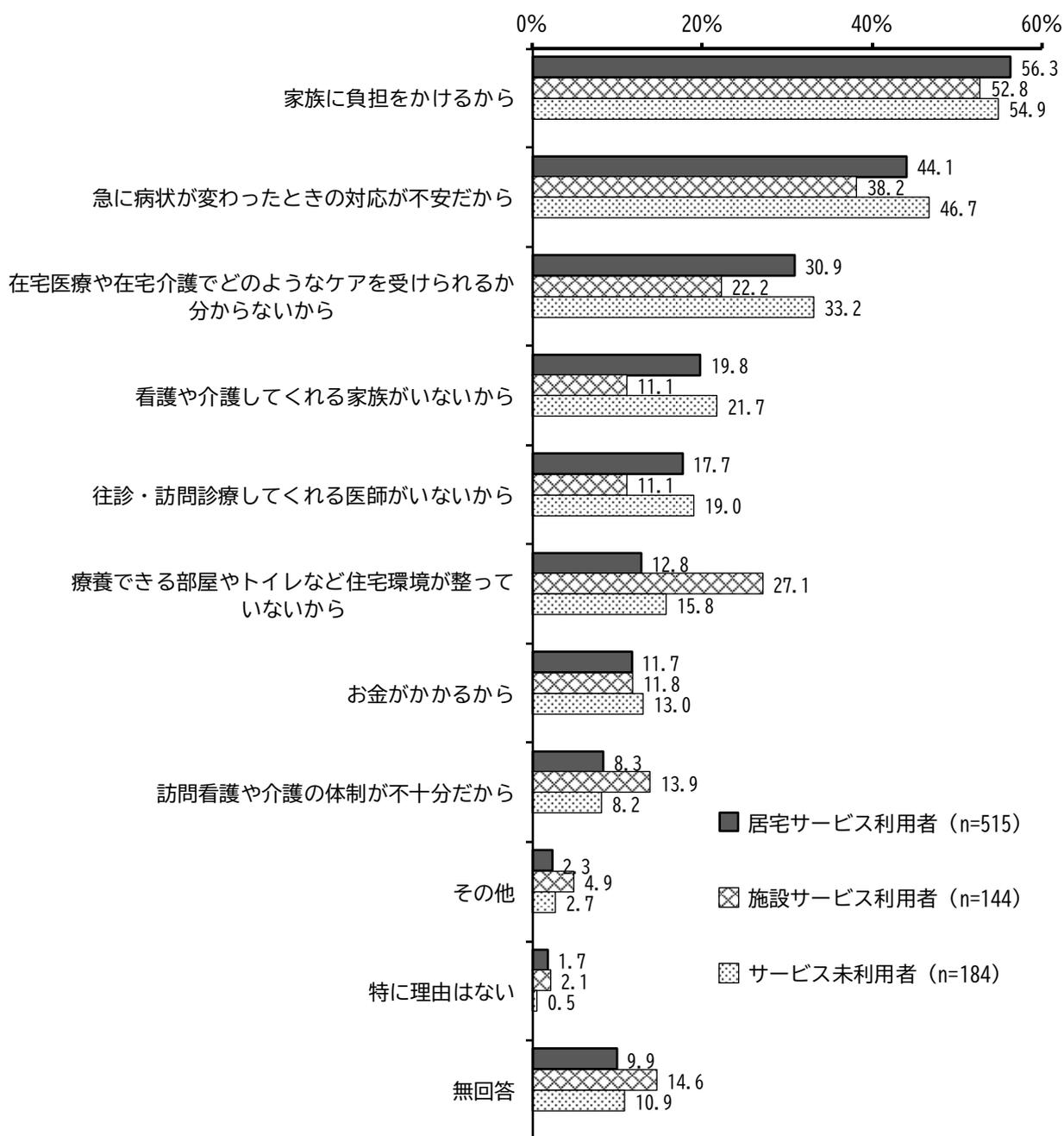
- ・居宅サービス利用者では、「可能だと思う」が 36.6%、「難しいと思う」が 41.1%、「分からない」が 20.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「可能だと思う」が 4.7%、「難しいと思う」が 88.4%、「分からない」が 7.0%となっている。
- ・サービス未利用者では、「可能だと思う」が 28.8%、「難しいと思う」が 50.4%、「分からない」が 19.2%となっている。



「問 26 で「2. そう思わない」 又は 問 26-1 で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします」

問 26-2 それなぜですか。(3つまでに○)

- ・居宅サービス利用者では、「家族に負担をかけるから」(56.3%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(44.1%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(30.9%)と続いている。一方、「特に理由はない」は1.7%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「家族に負担をかけるから」(52.8%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(38.2%)、「療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから」(27.1%)と続いている。一方、「特に理由はない」は2.1%となっている。
- ・サービス未利用者では、「家族に負担をかけるから」(54.9%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(46.7%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(33.2%)と続いている。一方、「特に理由はない」は0.5%となっている。



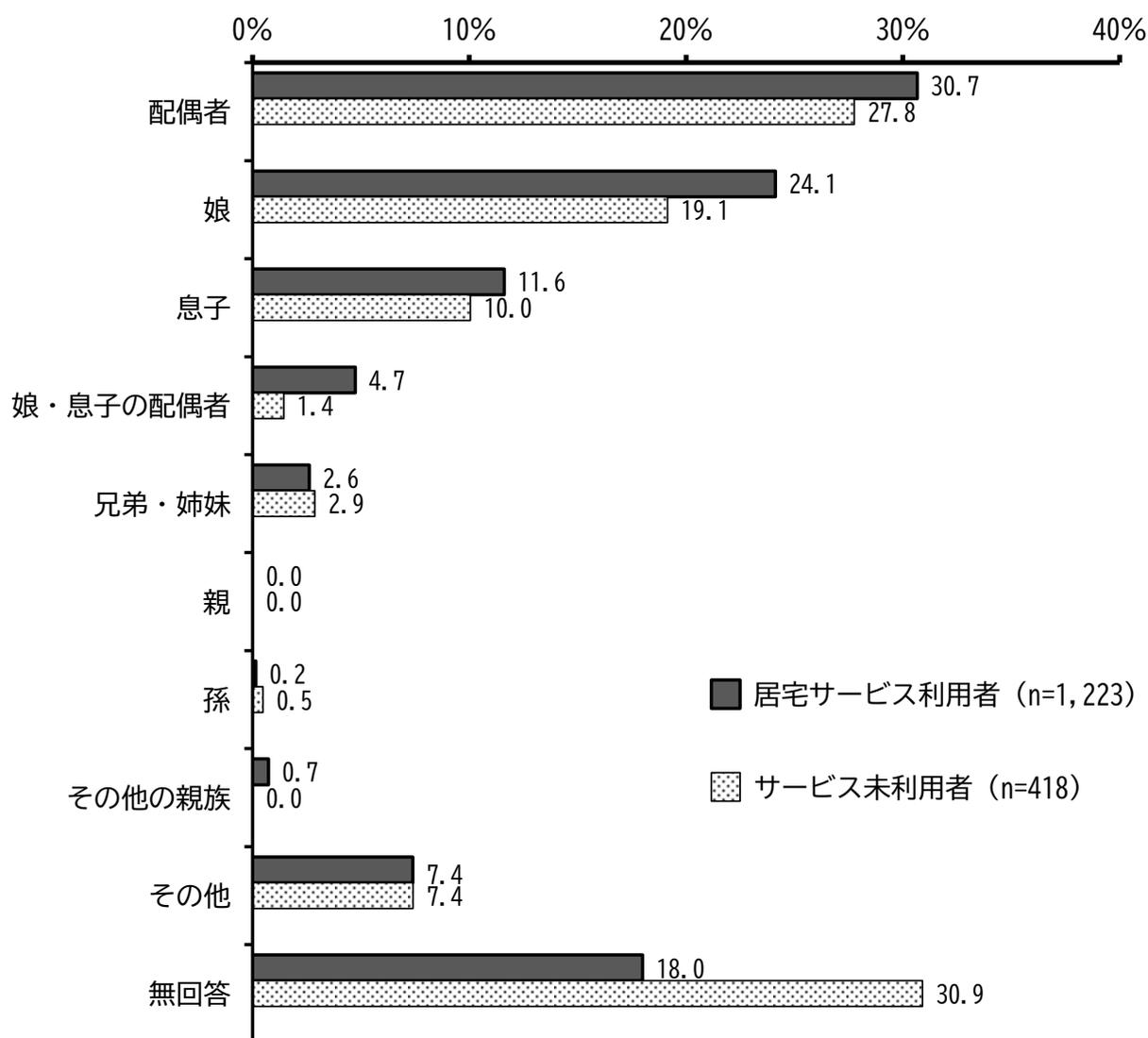
問 27 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

集計中

(11) 主な介護者の状況や意向について

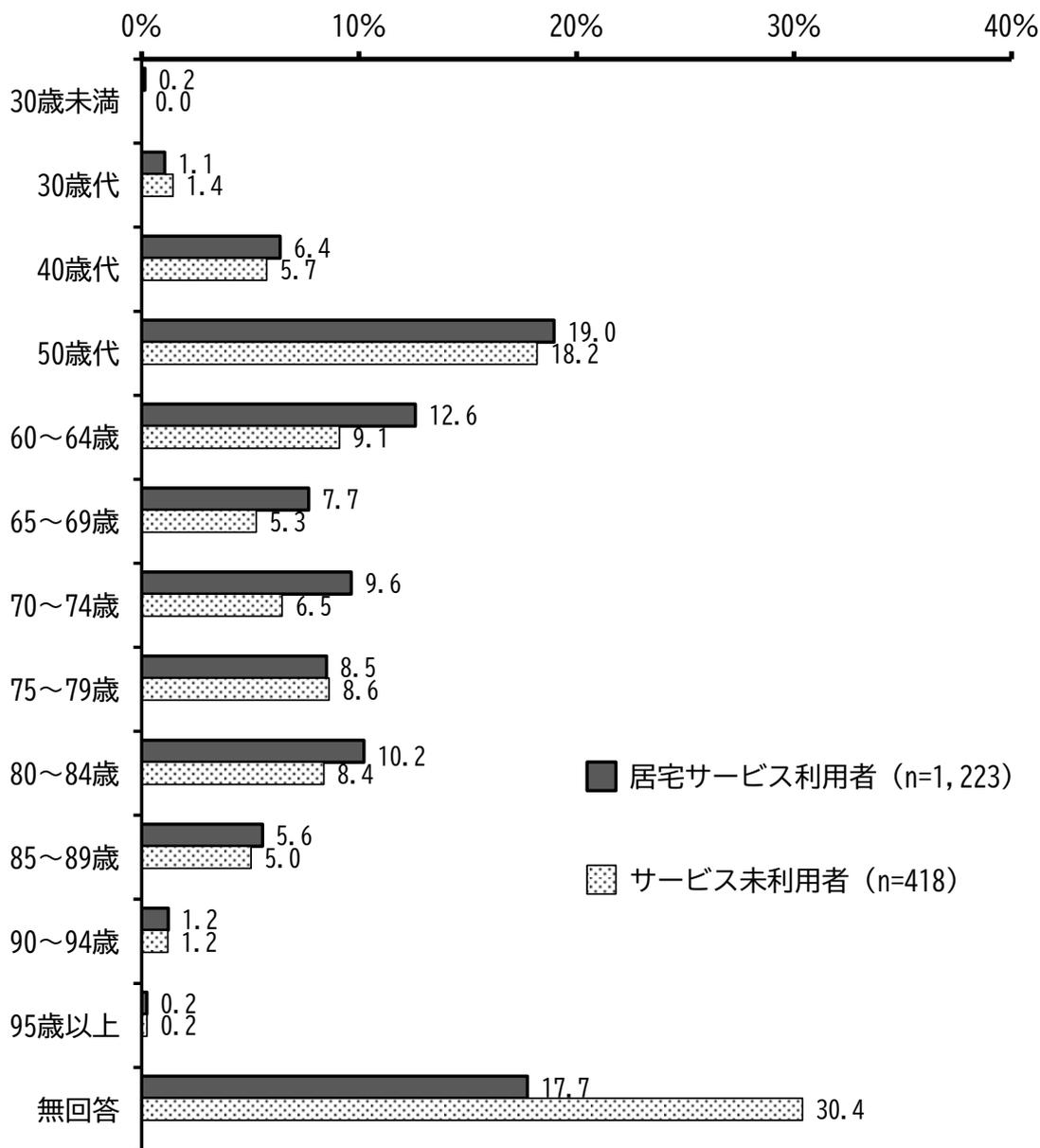
問 28 あて名のご本人を主に介護しているのは、どなたですか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「配偶者」(30.7%)が最も多く、次いで「娘」(24.1%)、「息子」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「配偶者」(27.8%)が最も多く、次いで「娘」(19.1%)、「息子」(10.0%)と続いている。



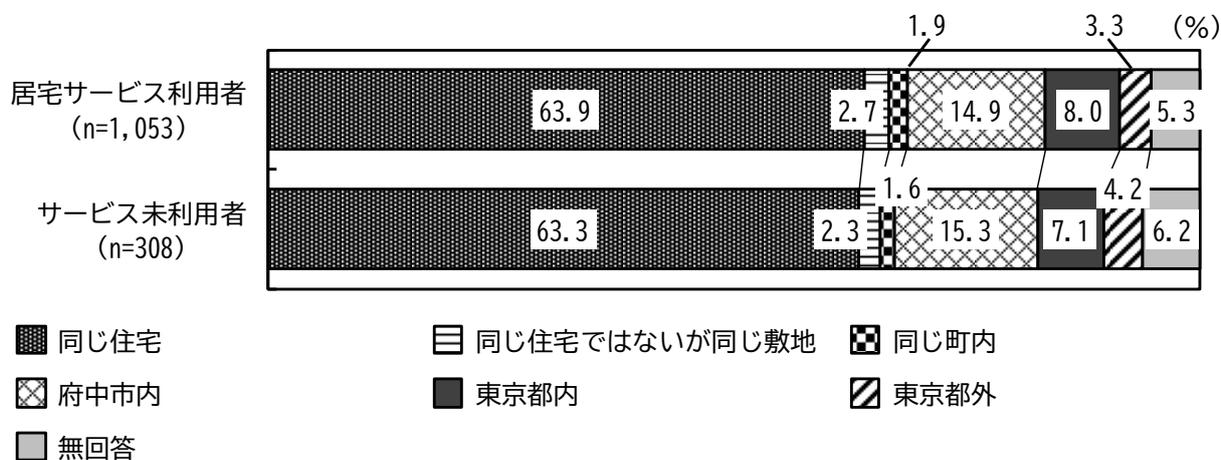
問 29 あて名のご本人を主に介護している方の年齢はおいくつですか。（1つに○）

- ・ 居宅サービス利用者では、「50 歳代」(19.0%)が最も多く、次いで「60～64 歳」(12.6%)、「80～84 歳」(10.2%)、「70～74 歳」(9.6%)、「75～79 歳」(8.5%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「50 歳代」(18.2%)が最も多く、次いで「60～64 歳」(9.1%)、「75～79 歳」(8.6%)、「80～84 歳」(8.4%)、「70～74 歳」(6.5%)と続いている。



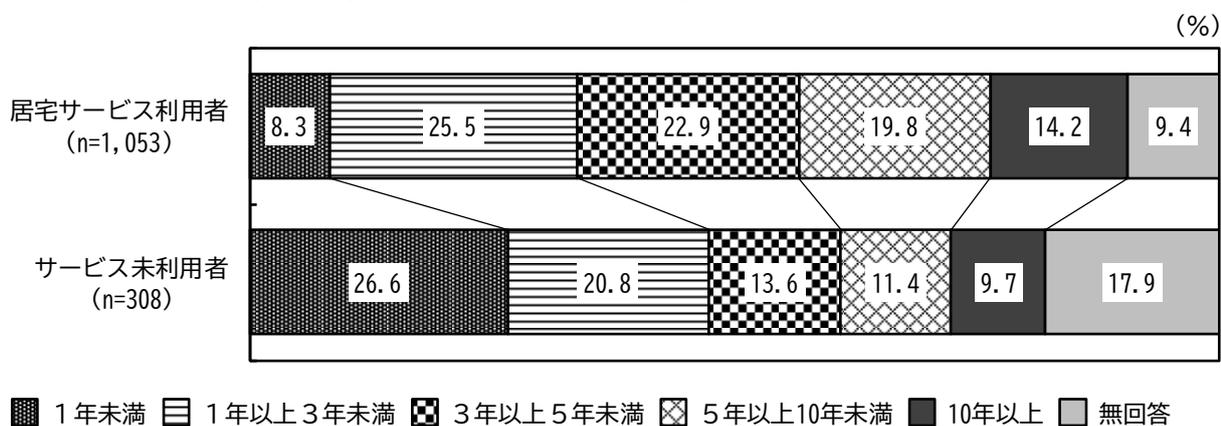
問 30 あて名のご本人を主に介護している方はどこに住んでいますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「同じ住宅」(63.9%)が最も多く、次いで「府中市内」(14.9%)、「東京都内」(8.0%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「同じ住宅」(63.3%)が最も多く、次いで「府中市内」(15.3%)、「東京都内」(7.1%)と続いている。



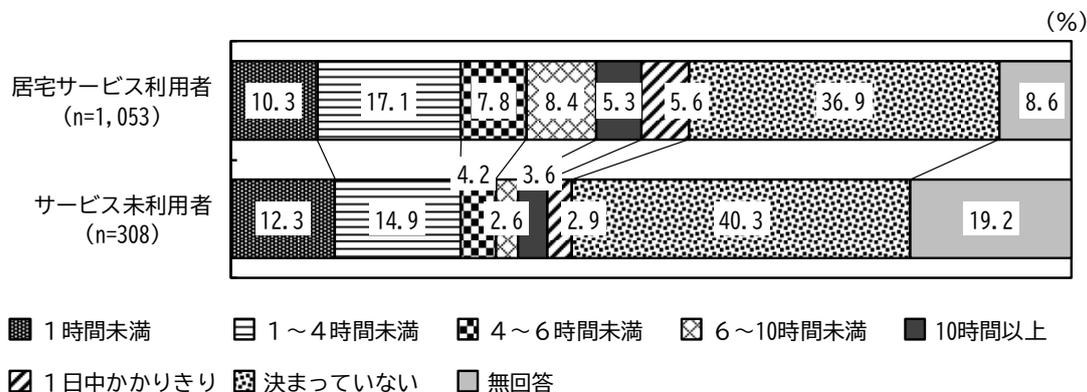
問 31 あて名のご本人を介護している期間はどのくらいですか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「1年以上3年未満」(25.5%)が最も多く、次いで「3年以上5年未満」(22.9%)、「5年以上10年未満」(19.8%)、「10年以上」(14.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「1年未満」(26.6%)が最も多く、次いで「1年以上3年未満」(20.8%)、「3年以上5年未満」(13.6%)、「5年以上10年未満」(11.4%)と続いている。



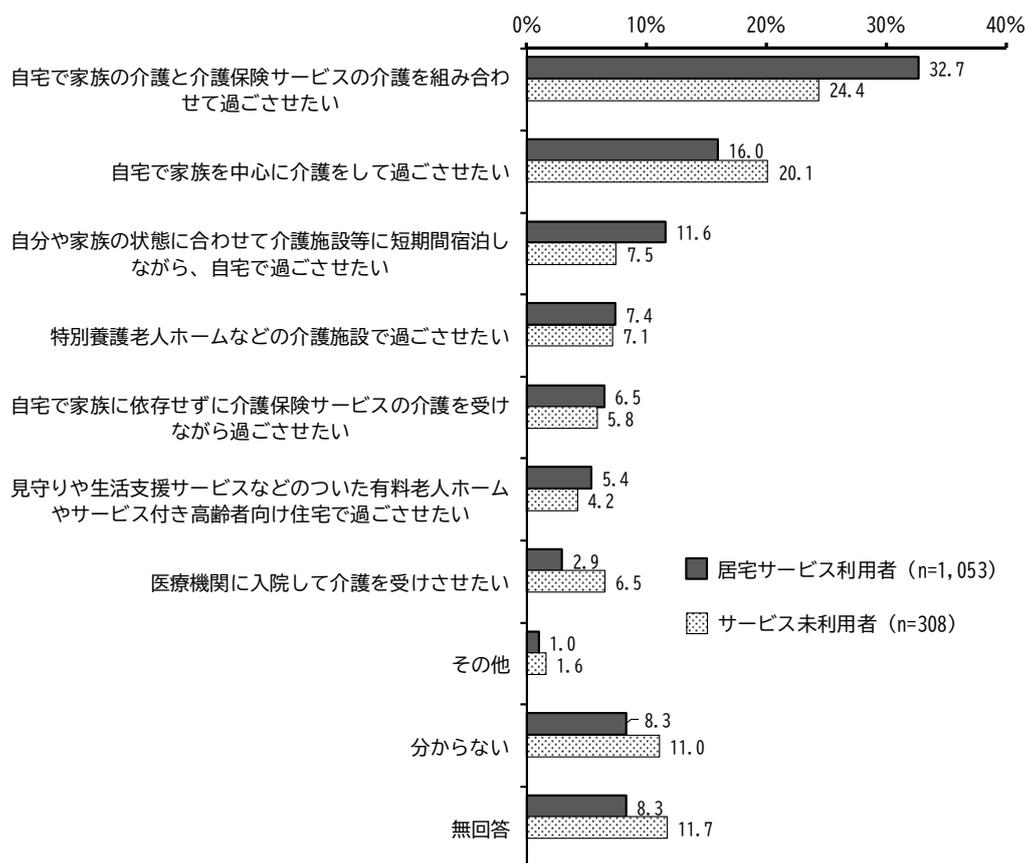
問 32 あて名のご本人の介護に1日に平均してどのくらい関わっていますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「決まっていない」(36.9%)が最も多く、次いで、「1～4時間未満」(17.1%)、「1時間未満」(10.3%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「決まっていない」(40.3%)が最も多く、次いで「1～4時間未満」(14.9%)、「1時間未満」(12.3%)と続いている。



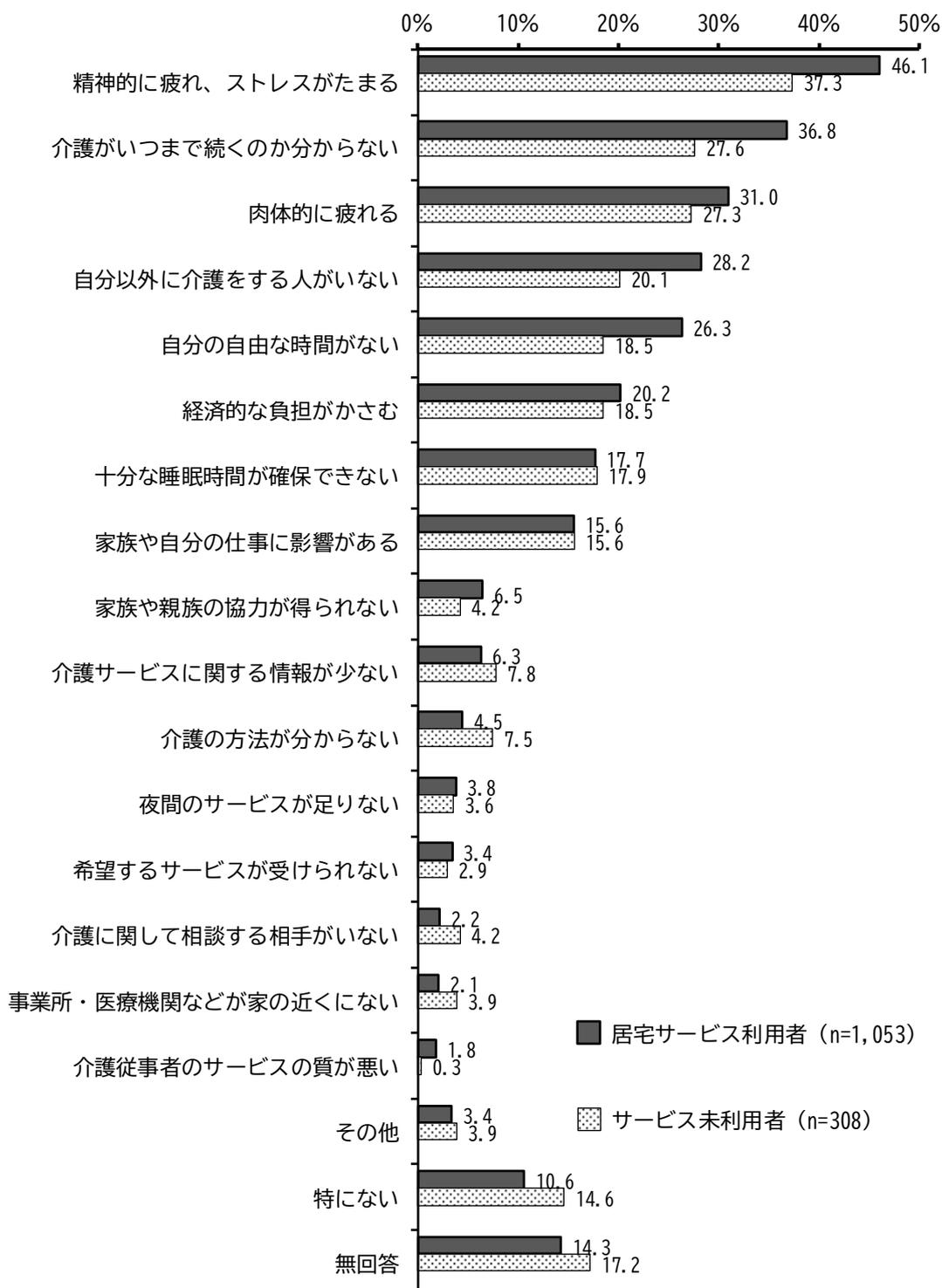
問 33 今後、あて名のご本人がどこで生活するのが良いと考えていますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせさせて過ごさせたい」(32.7%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい」(16.0%)、「自分や家族の状態に合わせて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で過ごさせたい」(11.6%)と続いている。一方、「分からない」は8.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせさせて過ごさせたい」(24.4%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい」(20.1%)と続いている。一方、「分からない」は11.0%となっている。



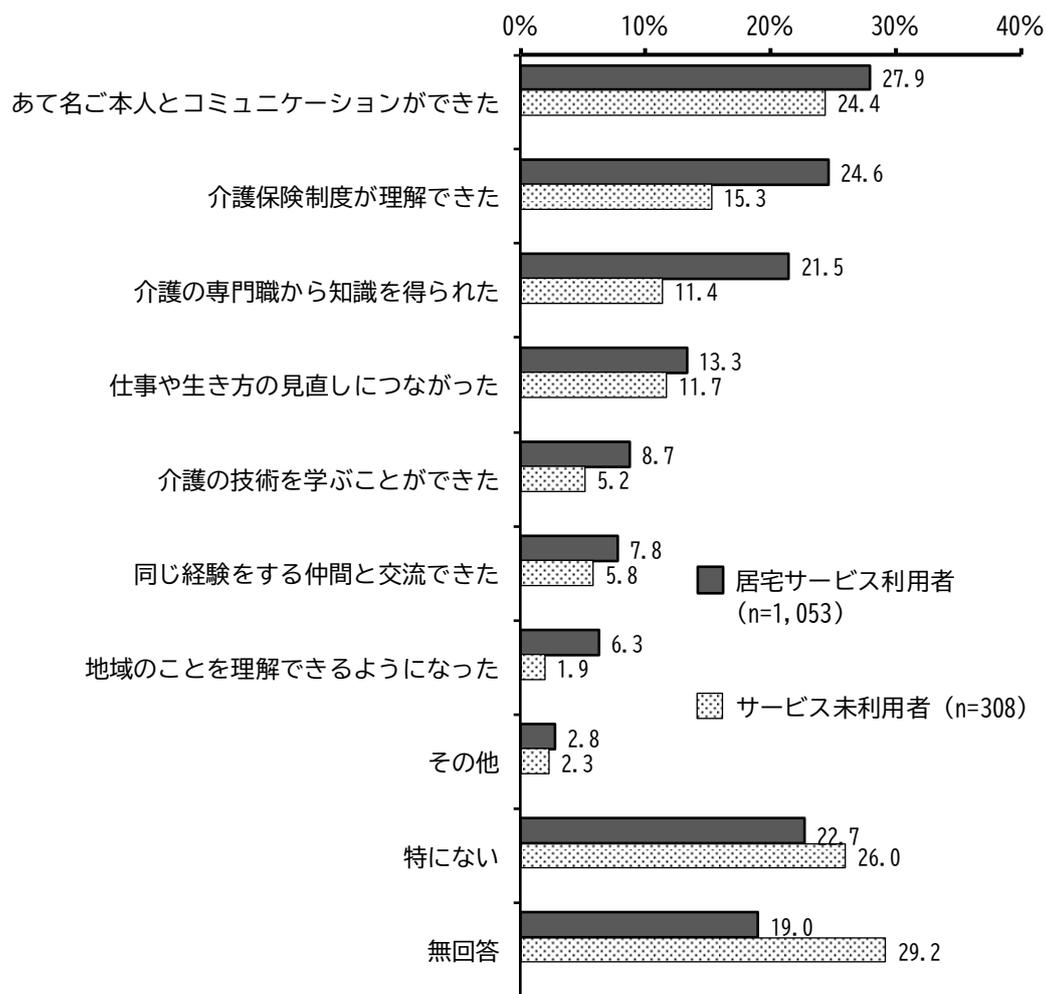
問 34 介護をしていくうえで、どのようなことに問題がありますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(46.1%)が最も多く、次いで「介護がいつまで続くのか分からない」(36.8%)、「肉体的に疲れる」(31.0%)、「自分以外に介護をする人がいない」(28.2%)、「自分の自由な時間がない」(26.3%)と続いている。一方、「特にない」は10.6%となっている。
- ・サービス未利用者では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(37.3%)が最も多く、次いで「介護がいつまで続くのか分からない」(27.6%)、「肉体的に疲れる」(27.3%)、「自分以外に介護をする人がいない」(20.1%)、「自分の自由な時間がない」と「経済的な負担がかさむ」(18.5%)と続いている。一方、「特にない」は14.6%となっている。



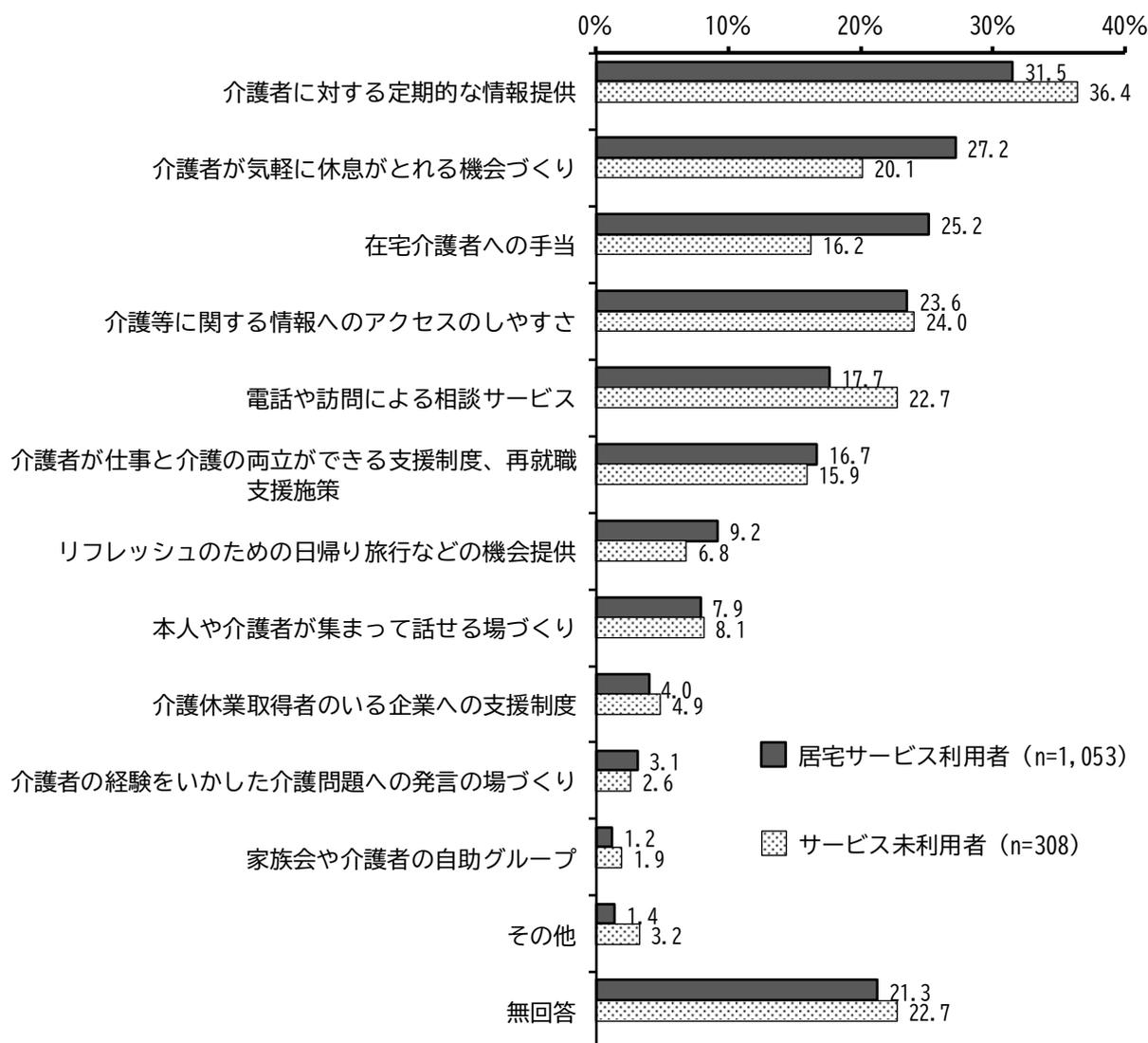
問 35 介護をしていて良かったと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(27.9%)が最も多く、次いで「介護保険制度が理解できた」(24.6%)、「介護の専門職から知識を得られた」(21.5%)と続いている。一方、「特にない」は22.7%となっている。
- ・サービス未利用者では、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(24.4%)が最も多く、次いで「介護保険制度が理解できた」(15.3%)、「仕事や生き方の見直しにつながった」(11.7%)、「介護の専門職から知識を得られた」(11.4%)と続いている。一方、「特にない」は26.0%となっている。



問 36 介護者支援策として必要だと思うのはどれですか。（3つまでに○）

- ・居宅サービス利用者では、「介護者に対する定期的な情報提供」(31.5%)が最も多く、次いで「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(27.2%)、「在宅介護者への手当」(25.2%)、「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ」(23.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「介護者に対する定期的な情報提供」(36.4%)が最も多く、次いで「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ」(24.0%)、「電話や訪問による相談サービス」(22.7%)、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(20.1%)と続いている。



問 37 介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市へのご意見・ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

※集計中

調査③介護保険サービス提供事業者調査結果（速報版）

①調査の目的

介護保険サービスを提供している事業所の運営状況や今後の事業展開、市への意見や要望等を把握することで、介護職員の離職防止や人材確保の取組、医療介護連携の推進などについて検討する。

②調査対象

- ・市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所 278 事業所

③調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

④調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

⑤回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
介護保険サービス提供事業者	278	199	(71.6%)	199	(71.6%)

⑥調査項目

項目	設問No.	設問
A 基本属性		
	問 1 (1)	提供しているサービス
	問 1 (2)	他に提供しているサービス
	問 1 (3)	介護保険以外のサービスの提供の有無
B 事業運営		
	問 2	昨年度の事業採算
	問 3 (1)	職員の離職状況
	問 3 (2)	離職理由
	問 3 (3)	離職防止策
	問 4	介護従業員の処遇改善について
C サービス提供における課題		
	問 5	サービス提供時の困難ケースの有無
	問 5-1	困難ケースの内容
	問 5-2	困難ケース対応にあたり必要な行政支援（自由回答）
	問 6	介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの提供の有無
	問 6-1	(提供していない場合)総合事業を提供しない理由
	問 6-2	(提供している場合)総合事業を進めていくうえでの課題
D サービスの質の向上と人材確保に向けた取組		
	問 7	サービスの質の向上に対する取組
	問 8	確保困難な職種
	問 9	人材を確保するための取組
	問 10	人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために有効と考える支援策
	問 11	職員の研修・教育等に関して困っていること
	問 12	事業所内での研修の実施状況
	問 13	外部の研修等への参加支援の状況
	問 14	福祉サービス第三者評価の受審の有無
	問 14-1	受審していない理由
E 認知症患者のサービス利用		
	問 15	認知症の利用者の状況で実際にあること
	問 16	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法
	問 17	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携
	問 18	認知症患者の支援に必要となること

F 医療と介護の連携の状況	
問 19	市内の在宅療養者への医療と介護の連携の状況
問 19-1	医療と介護が連携していないと思う理由
問 20	退院前(時)カンファレンスへの出席状況
問 21	医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化について
問 22	医療関係機関との間での問題やトラブルの有無
問 22-1	医療関係機関との間で発生した問題やトラブルの内容 (自由回答)
問 23	関係機関、職種との連携状況
問 24	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職
問 25	利用者の医学的な情報の把握状況
問 26	医療と介護の連携を図るために必要なこと
問 27	医療と介護の連携で苦労していること (自由回答)
問 28	医療関係機関に期待すること (自由回答)
G 共生型サービス	
問 29	共生型サービスへの参入意向
問 29-1	準備又は検討している共生型のサービスの種類
問 29-2	サービスを実施していくうえでの課題<自由回答>
H 災害時等の体制	
問 30	災害時のマニュアルの作成の有無
問 30-1	マニュアルの内容
問 31	BCP の策定の有無
問 32	避難訓練や安否確認の訓練の有無
問 33	災害時に備えた地域との連携の程度
問 34	災害発生時における課題 (自由回答)
問 35	感染防止のため取り組んでいること (自由回答)
I 地域との関わり	
問 36	地域団体や組織とのかかわり
問 36-1	かかわりの内容
問 37	地域ケア会議への出席
問 37-1	地域ケア会議を活発にするために必要なこと
J 事故やトラブルの対応策	
問 38	ヒヤリハット報告書の様式の有無
問 39	ヒヤリハットの報告基準や報告手順のマニュアルの有無
問 40	ヒヤリハット報告書が提出される頻度
問 41	ヒヤリハット報告書の活用状況
問 42	事故に関する情報共有や再発防止への取組
K 意見・要望	
問 43	事業者として市に望むこと
問 44	介護保険制度に対する要望 (自由回答)

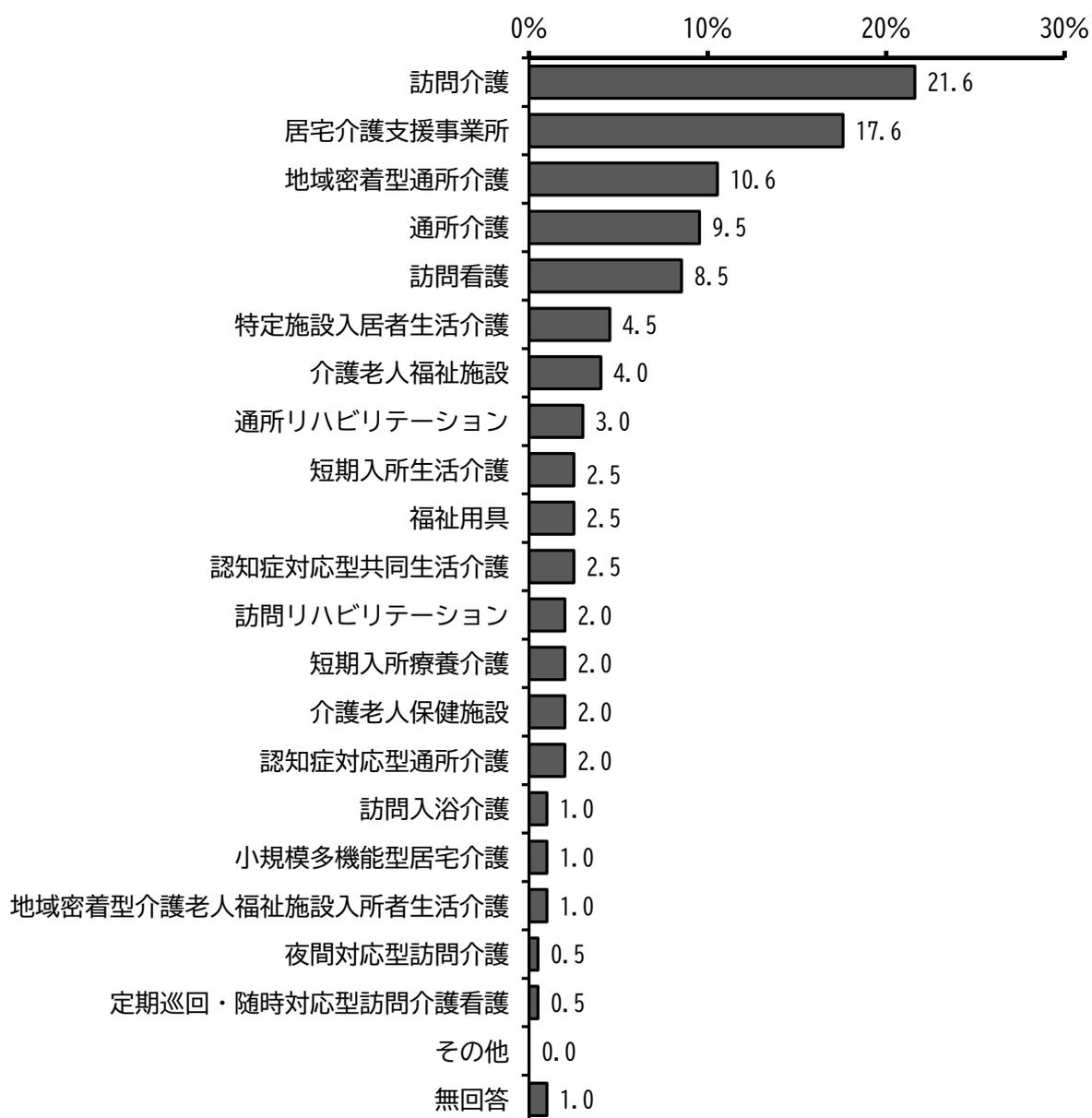
⑦調査結果の概要

(1) 事業所の概要

問1 貴事業所が府中市内で提供しているサービス（予防を含む）は次のうちどれですか。

(1) 封筒の宛名に記載されているサービス名の種別に○をつけてください。（1つに○）

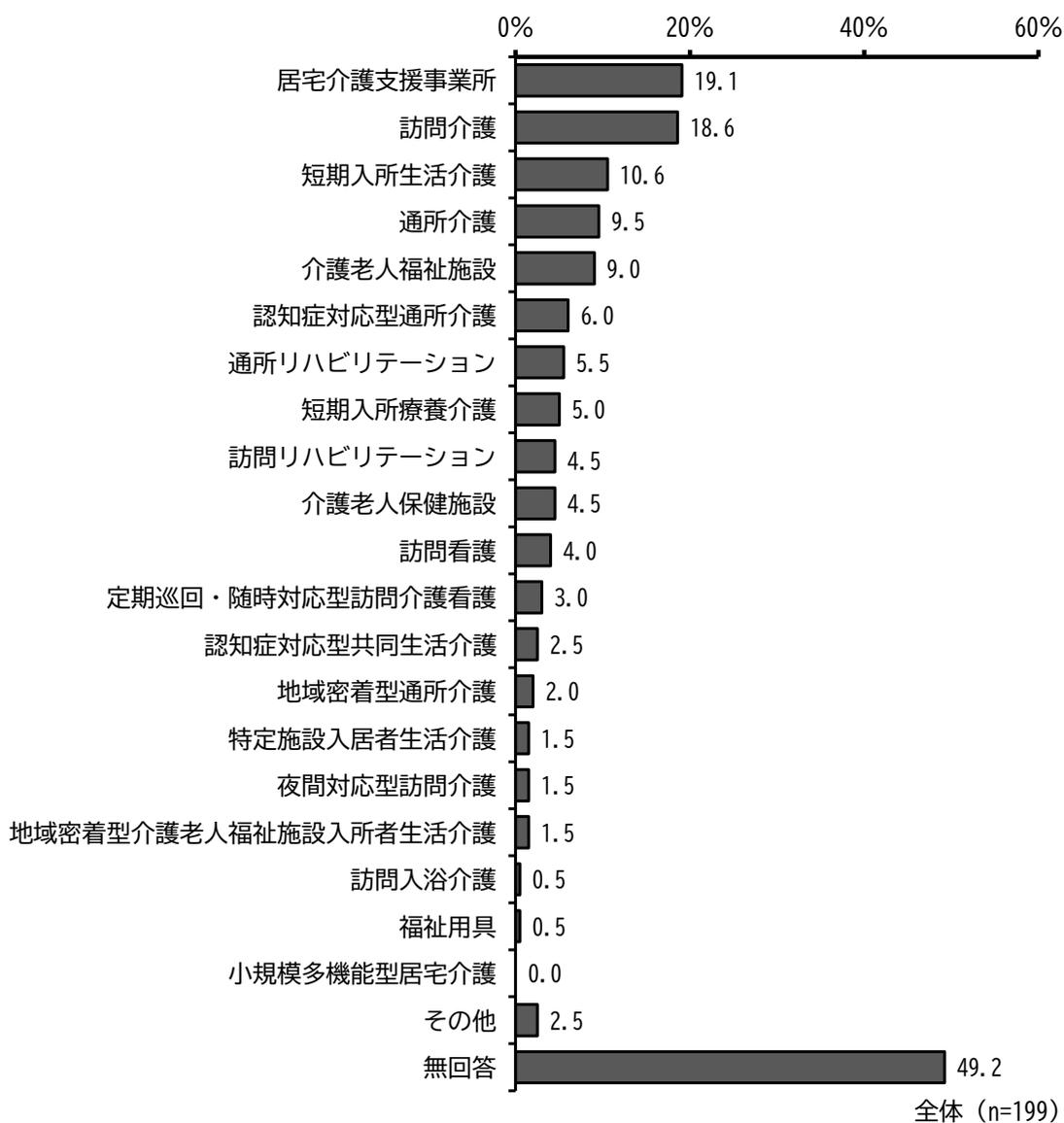
- ・「訪問介護」(21.6%)が最も多く、次いで「居宅介護支援事業所」(17.6%)、「地域密着型通所介護」(10.6%)、「通所介護」(9.5%)、「訪問看護」(8.5%)と続いている。



全体 (n=199)

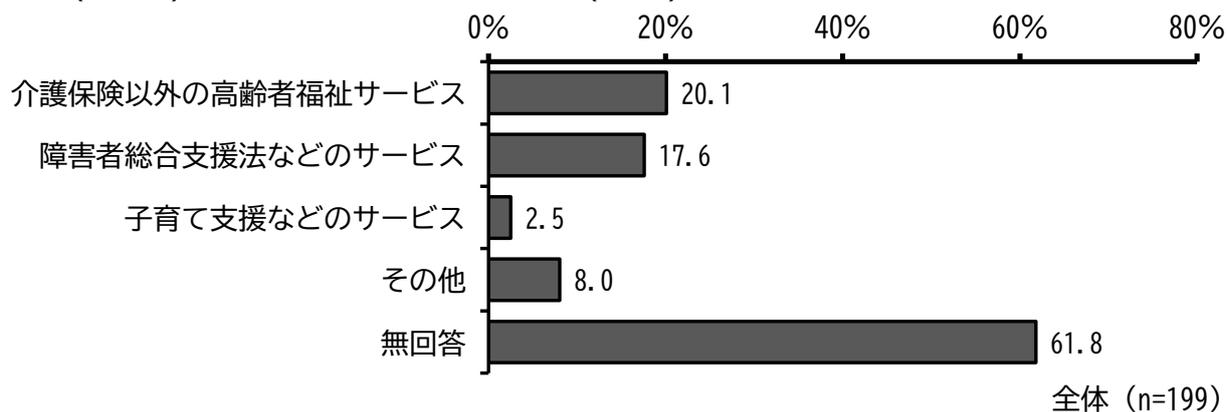
問 1 (2) 上記以外の介護保険サービスを提供していますか。(いくつでも○)

・「居宅介護支援事業所」(19.1%)が最も多く、次いで「訪問介護」(18.6%)、「短期入所生活介護」(10.6%)、「通所介護」(9.5%)、「介護老人福祉施設」(9.0%)と続いている。



問 1 (3) 介護保険以外のサービスを提供されていますか。(いくつでも○)

・「介護保険以外の高齢者福祉サービス」(20.1%)が最も多く、次いで「障害者総合支援法などのサービス」(17.6%)、「子育て支援などのサービス」(2.5%)となっている。

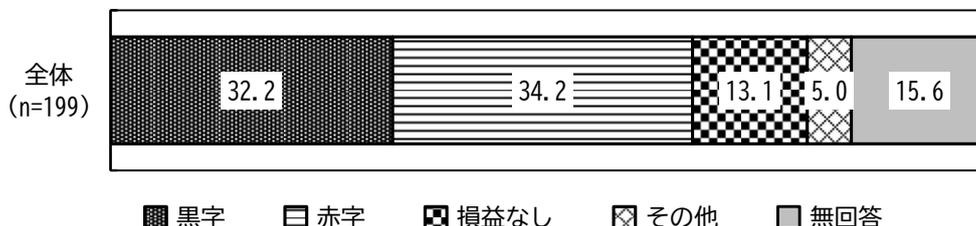


(2) 事業運営について

問2 貴事業所の昨年度の事業採算について、お答えなければお答えください。(1つに○)

- ・「黒字」が32.2%、「赤字」が34.2%、「損益なし」が13.1%となっている。

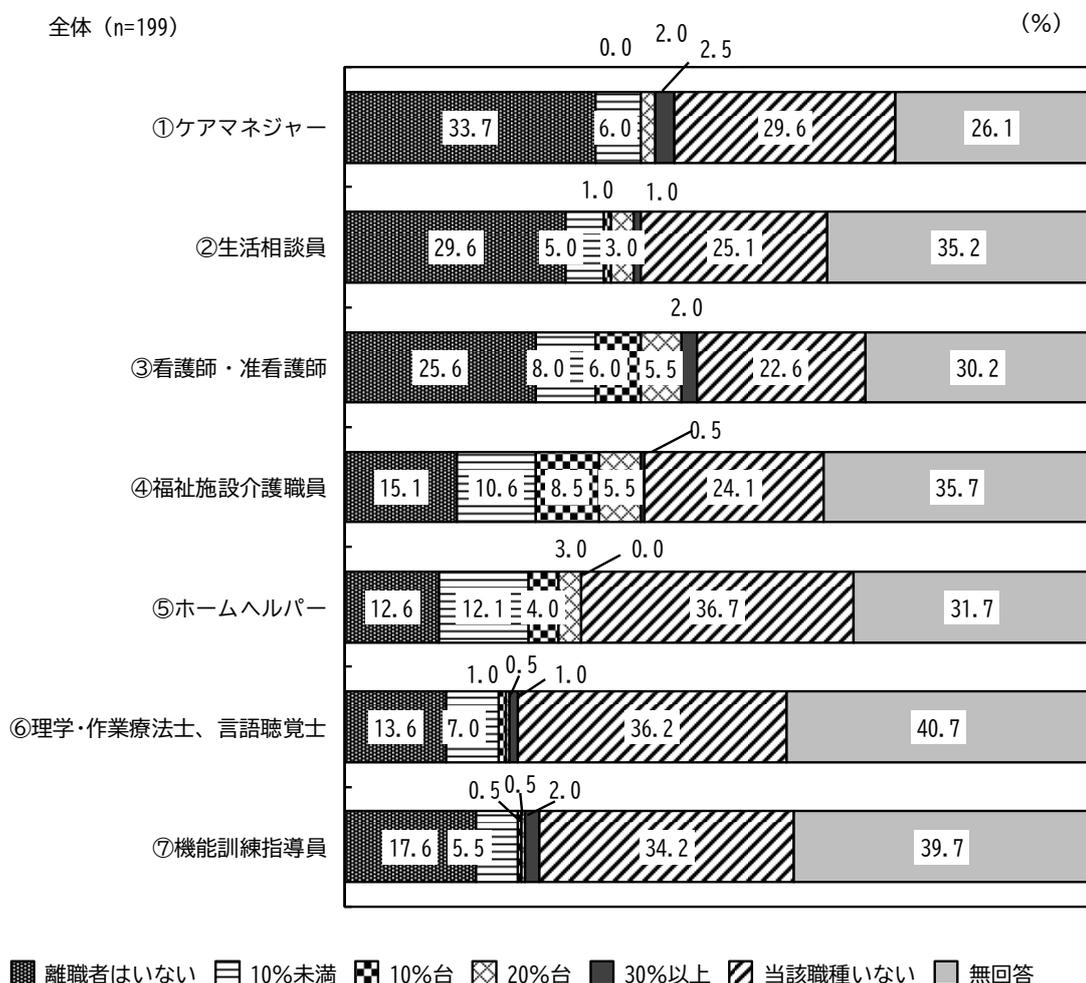
(%)



問3 貴事業所における職員の離職状況などについてお答えください。

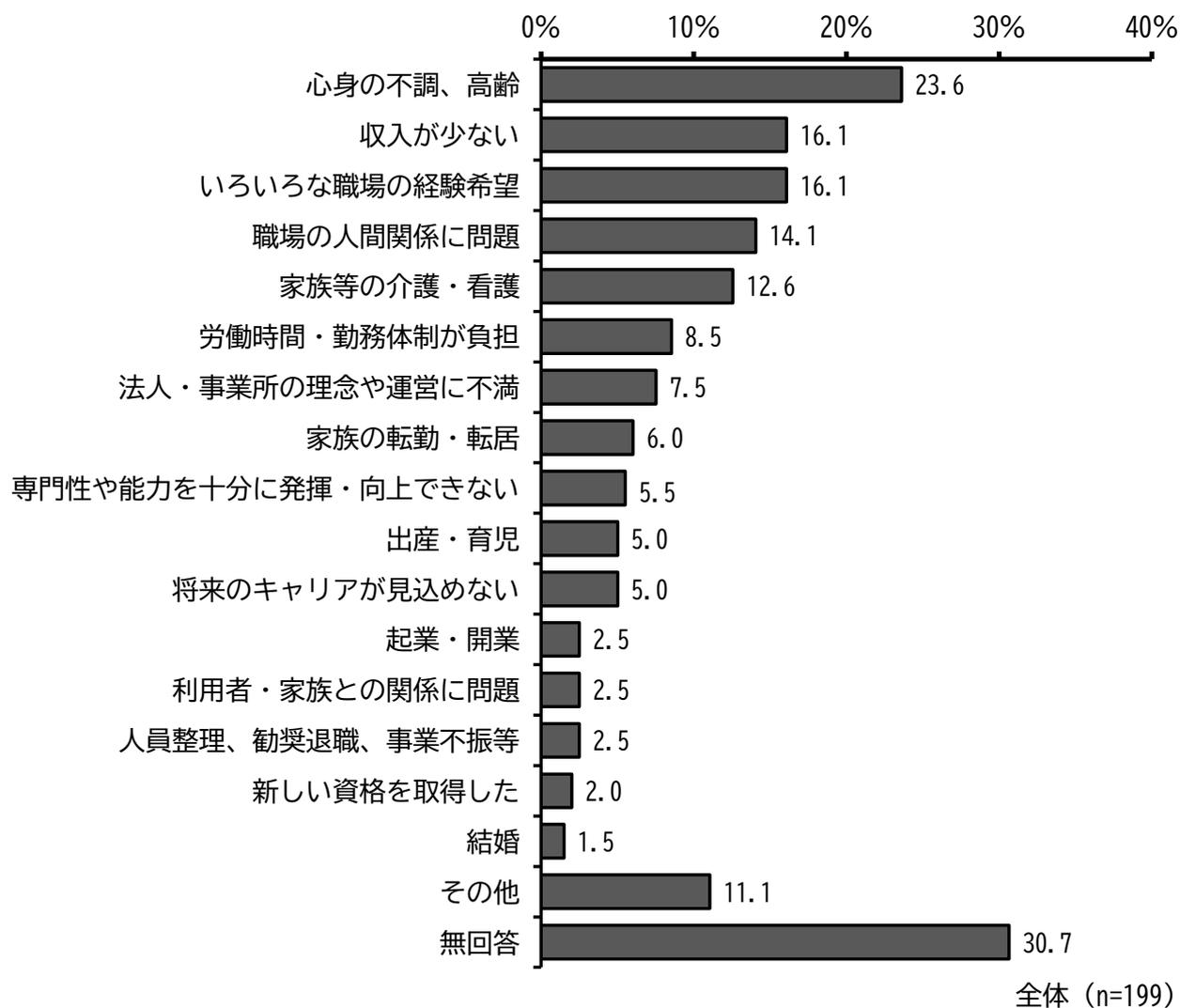
(1) 昨年1年間(平成30年10月1日~令和元年9月30日)の職種(業務区分)別の離職状況

- ・「離職者はいない」の割合は、『①ケアマネジャー』(33.7%)が最も多く、次いで『②生活相談員』(29.6%)、『③看護師・准看護師』(25.6%)、『⑦機能訓練指導員』(17.6%)、『④福祉施設介護職員』(15.1%)と続いている。
- ・一方、離職率が10%以上(「10%台」「20%台」「30%以上」を合わせたもの)の割合は、『④福祉施設介護職員』(14.6%)が最も多く、次いで『③看護師・准看護師』(13.6%)、『⑤ホームヘルパー』(7.0%)、『②生活指導員』(5.0%)となっている。



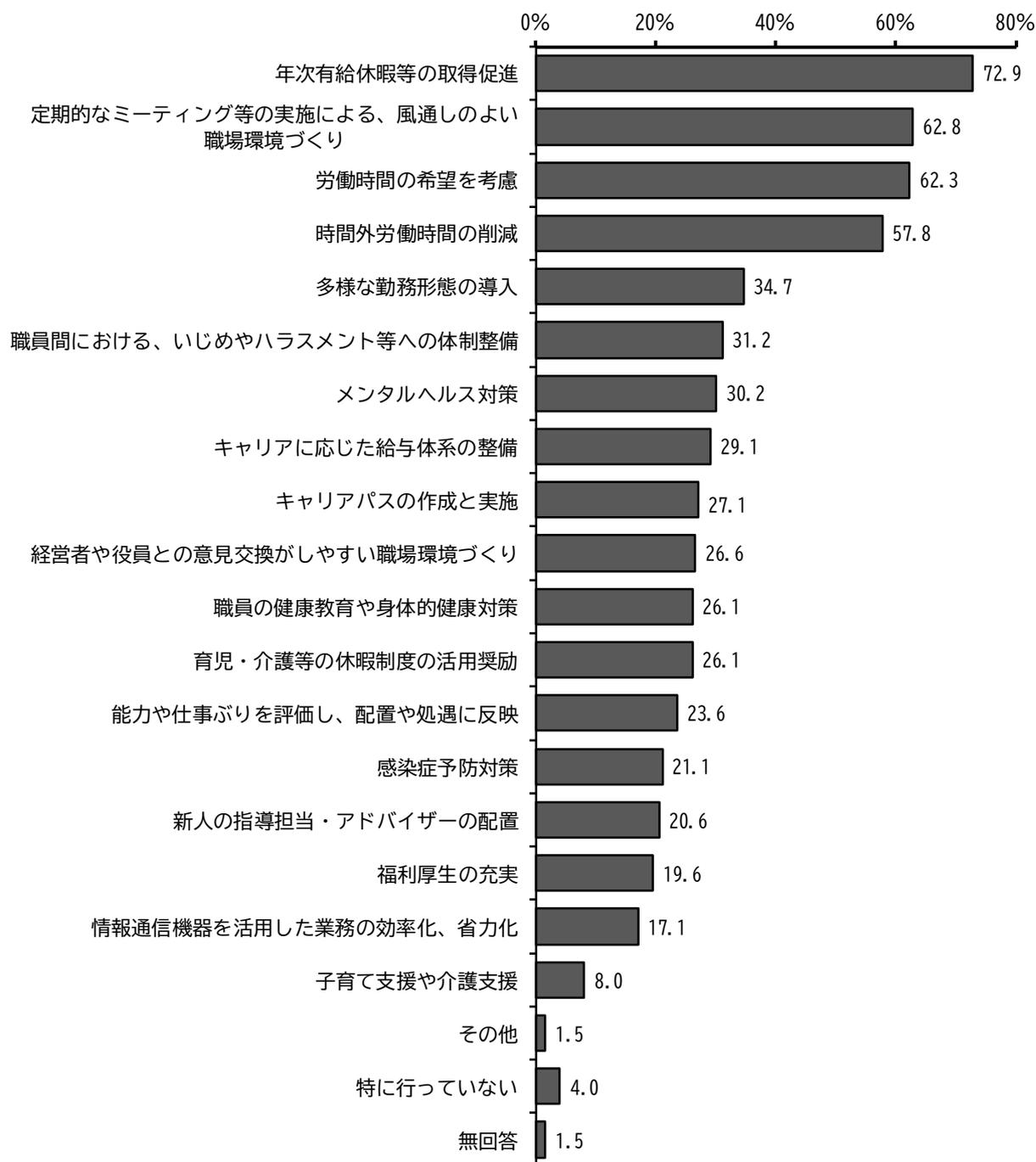
(2) 把握している範囲で結構ですので、離職理由についてお答えください。(いくつでも○)

- ・「心身の不調、高齢」(23.6%)が最も多く、次いで「収入が少ない」と「いろいろな職場の経験希望」(ともに16.1%)、「職場の人間関係に問題」(14.1%)、「家族等の介護・看護」(12.6%)と続いている。



(3) 離職者が出ないようにしている工夫について、お答えください。(いくつでも○)

- ・「年次有給休暇等の取得促進」(72.9%)が最も多く、次いで「定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり」(62.8%)、「労働時間の希望を考慮」(62.3%)、「時間外労働時間の削減」(57.8%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は4.0%となっている。

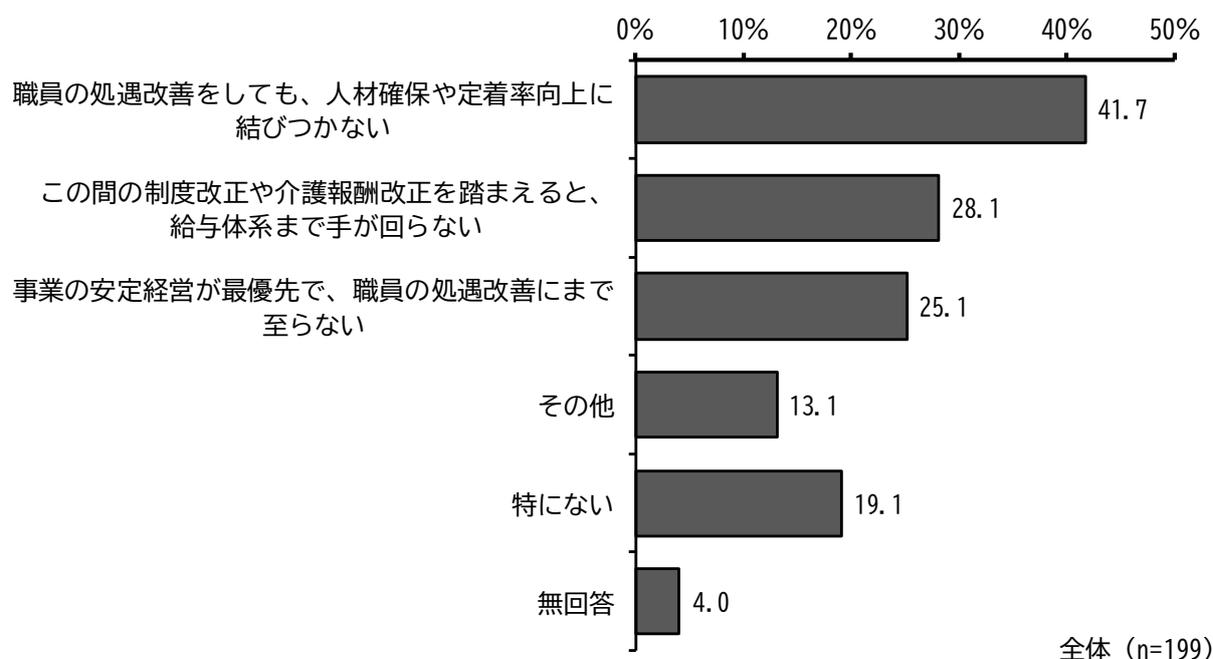


全体 (n=199)

問4 貴事業所では、職員の処遇改善を行ううえで、どのような課題があると考えていますか。

(いくつでも○)

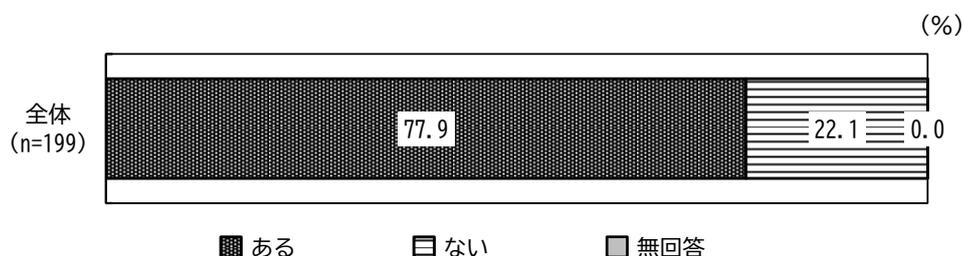
- ・「職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」(41.7%)が最も多く、次いで「この間の制度改正や介護報酬改正を踏まえると、給与体系まで手が回らない」(28.1%)、「事業の安定経営が最優先で、職員の処遇改善にまで至らない」(25.1%)となっている。
- ・一方、「特にない」は19.1%となっている。



(3) サービス提供における課題について

問5 サービス提供で困難だったケースがありましたか。(1つに○)

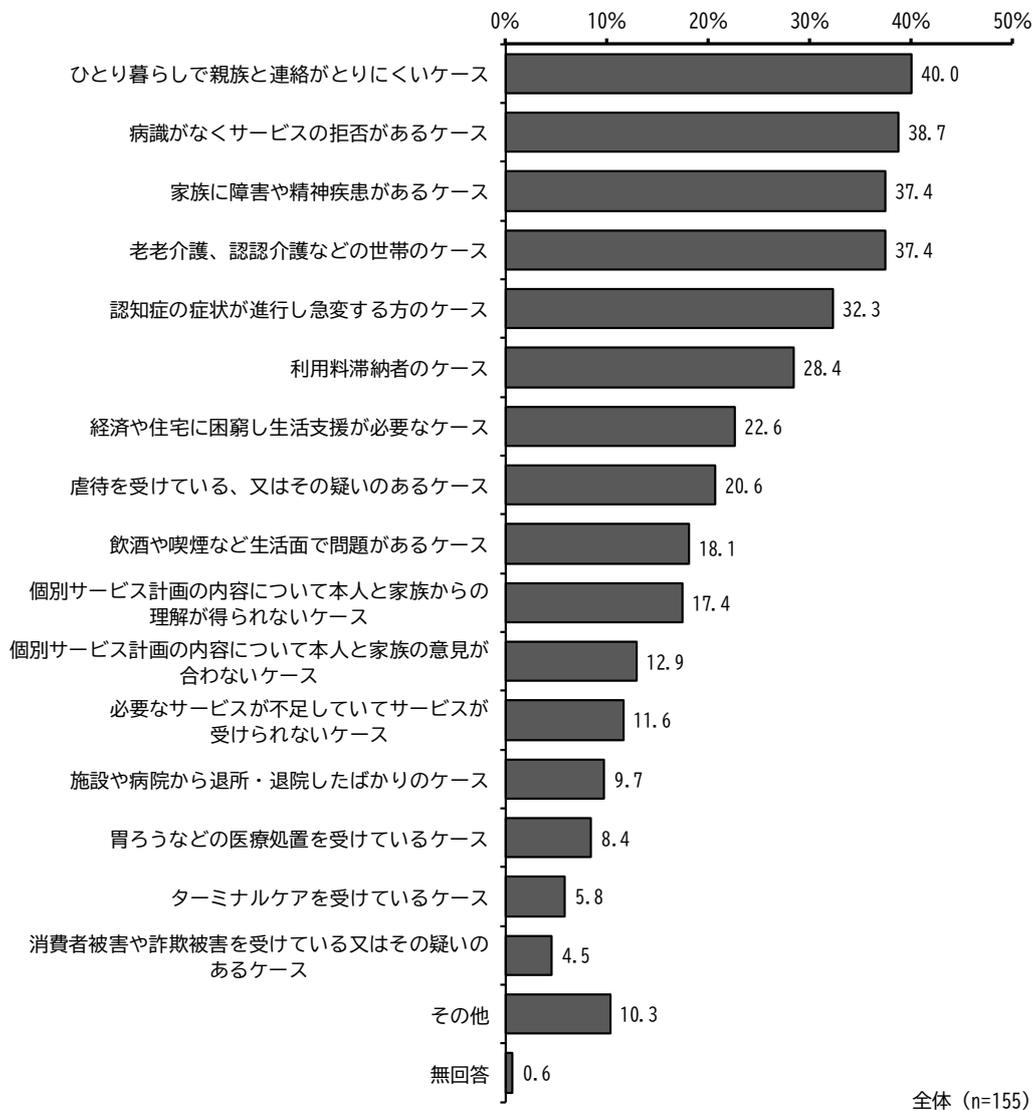
- ・「ある」が77.9%、「ない」が22.1%となっている。



「問5で「1. ある(あった)」とお答えの事業所におたずねします」

問5-1 それはどのようなケースですか。(いくつでも○)

- ・「ひとり暮らしで親族と連絡がとりにくいケース」(40.0%)が最も多く、次いで「病識がなくサービスの拒否があるケース」(38.7%)、「家族に障害や精神疾患があるケース」と「老老介護、認認介護などの世帯のケース」(37.4%)、「認知症の症状が進行し急変する方のケース」(32.3%)と続いている。



問5-2 前記のケース対応にあたり、必要な行政支援としてどのようなことが考えられますか。具体的にお書きください。

※集計中

問6 貴事業所では介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）のサービスを提供していますか。（1つに○）

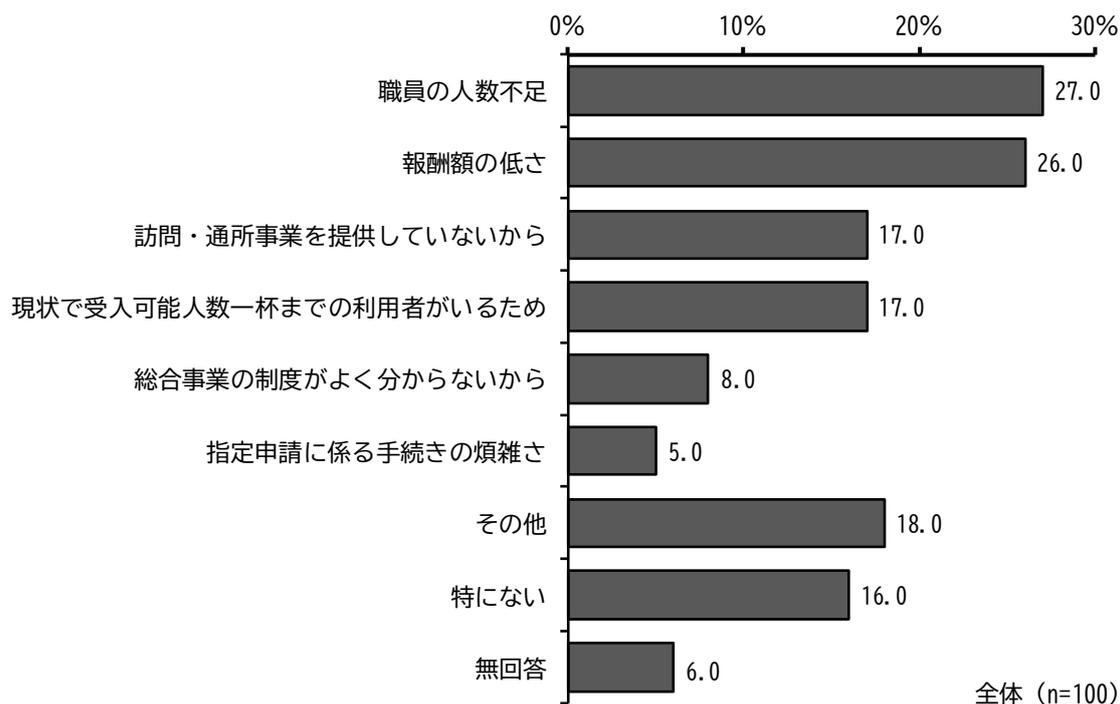
- ・「訪問型」が25.1%、「通所型」が20.1%、「提供していない」が50.3%となっている。



«問6で「3. 提供していない」とお答えの事業所におたずねします»

問6-1 総合事業のサービスを提供しない理由は何ですか。（いくつでも○）

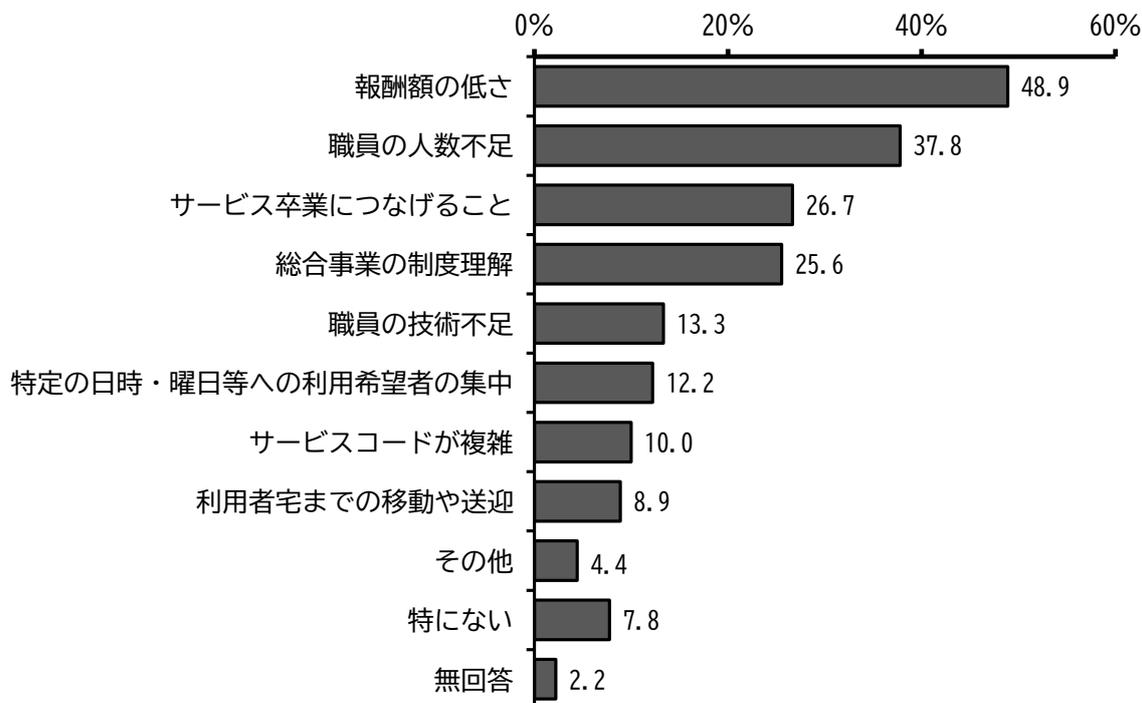
- ・「職員の人数不足」(27.0%)が最も多く、次いで「報酬額の低さ」(26.0%)、「訪問・通所事業を提供していないから」「現状で受入可能人数一杯までの利用者があるため」(ともに17.0%)、と続いている。
- ・一方、「特にない」は16.0%となっている。



「問6で「1」又は「2」(提供している)とお答えの事業所におたずねします」

問6-2 総合事業のサービスを提供していくうえで、どのような課題がありますか。

- ・「報酬額の低さ」(48.9%)が最も多く、次いで「職員の人数不足」(37.8%)、「サービス卒業につなげること」(26.7%)、「総合事業の制度理解」(25.6%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は7.8%となっている。

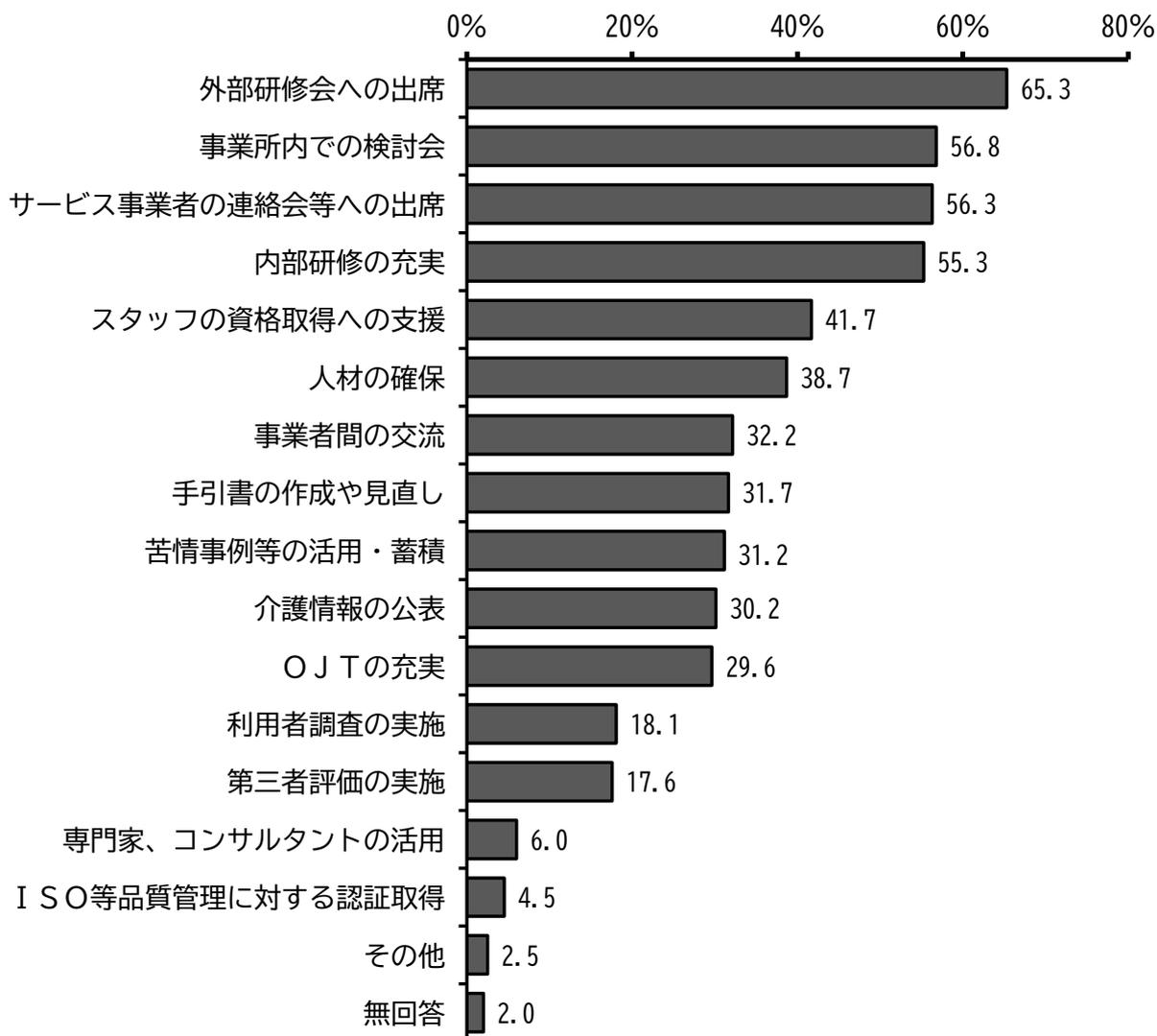


全体 (n=90)

(4) サービスの質の向上と人材確保に向けた取組について

問7 貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(いくつでも○)

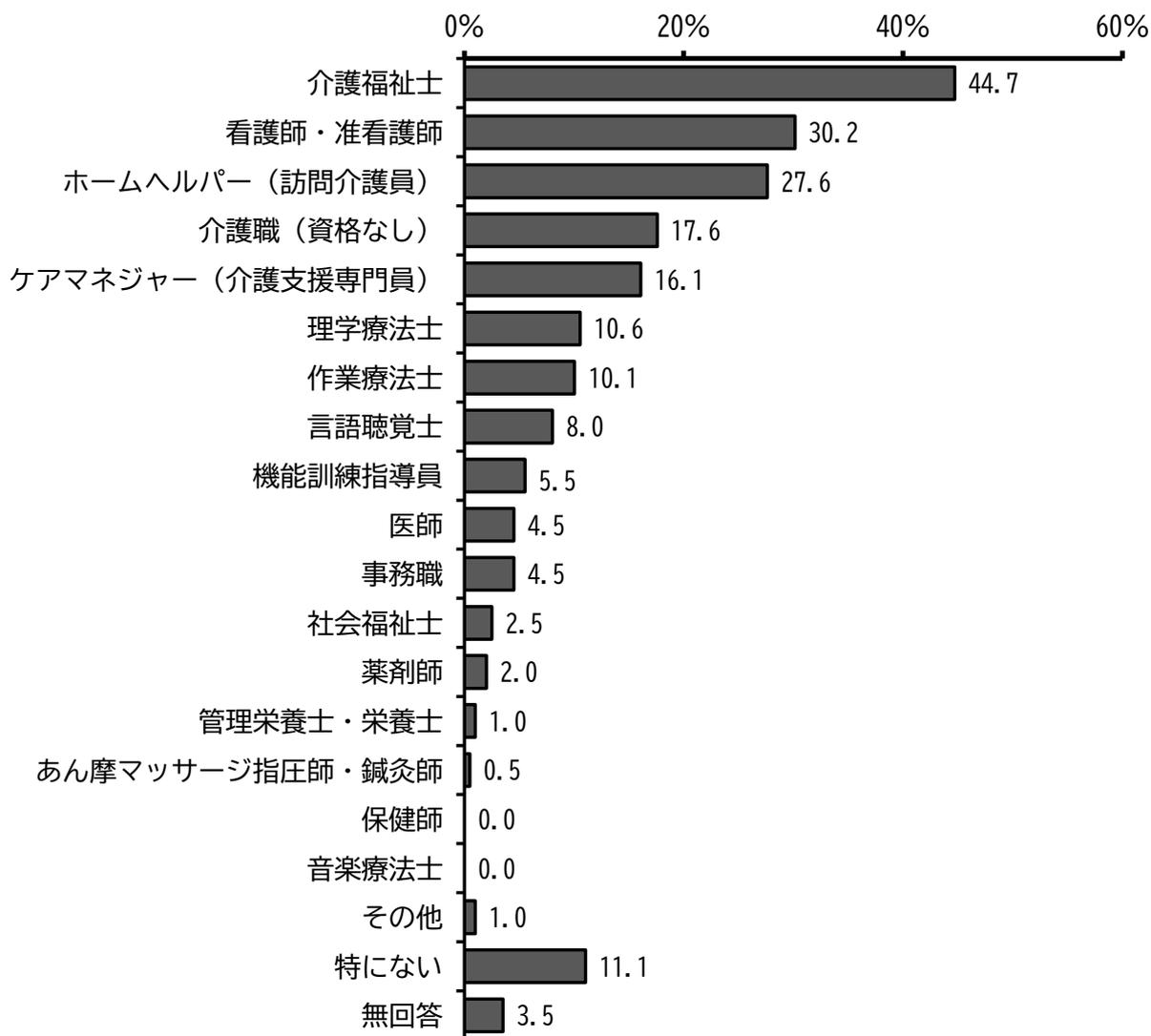
- ・「外部研修会への出席」(65.3%)が最も多く、次いで「事業所内での検討会」(56.8%)、「サービス事業者の連絡会等への出席」(56.3%)、「内部研修の充実」(55.3%)、「スタッフの資格取得への支援」(41.7%)と続いている。



全体 (n=199)

問8 貴事業所において、特に人材確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも○)

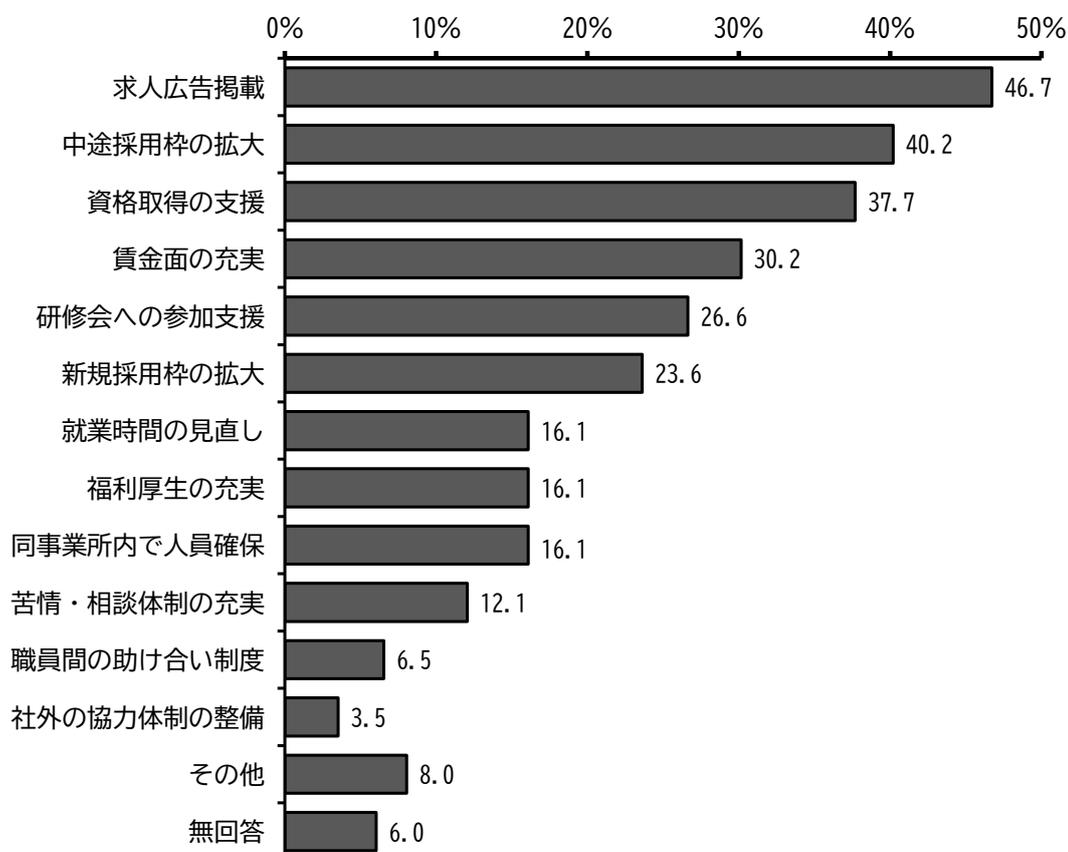
- ・「介護福祉士」(44.7%)が最も多く、次いで「看護師・准看護師」(30.2%)、「ホームヘルパー(訪問介護員)」(27.6%)、「介護職(資格なし)」(17.6%)、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」(16.1%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は11.1%となっている。



全体 (n=199)

問9 人材を確保するためにどのような取組を行っていますか。(いくつでも○)

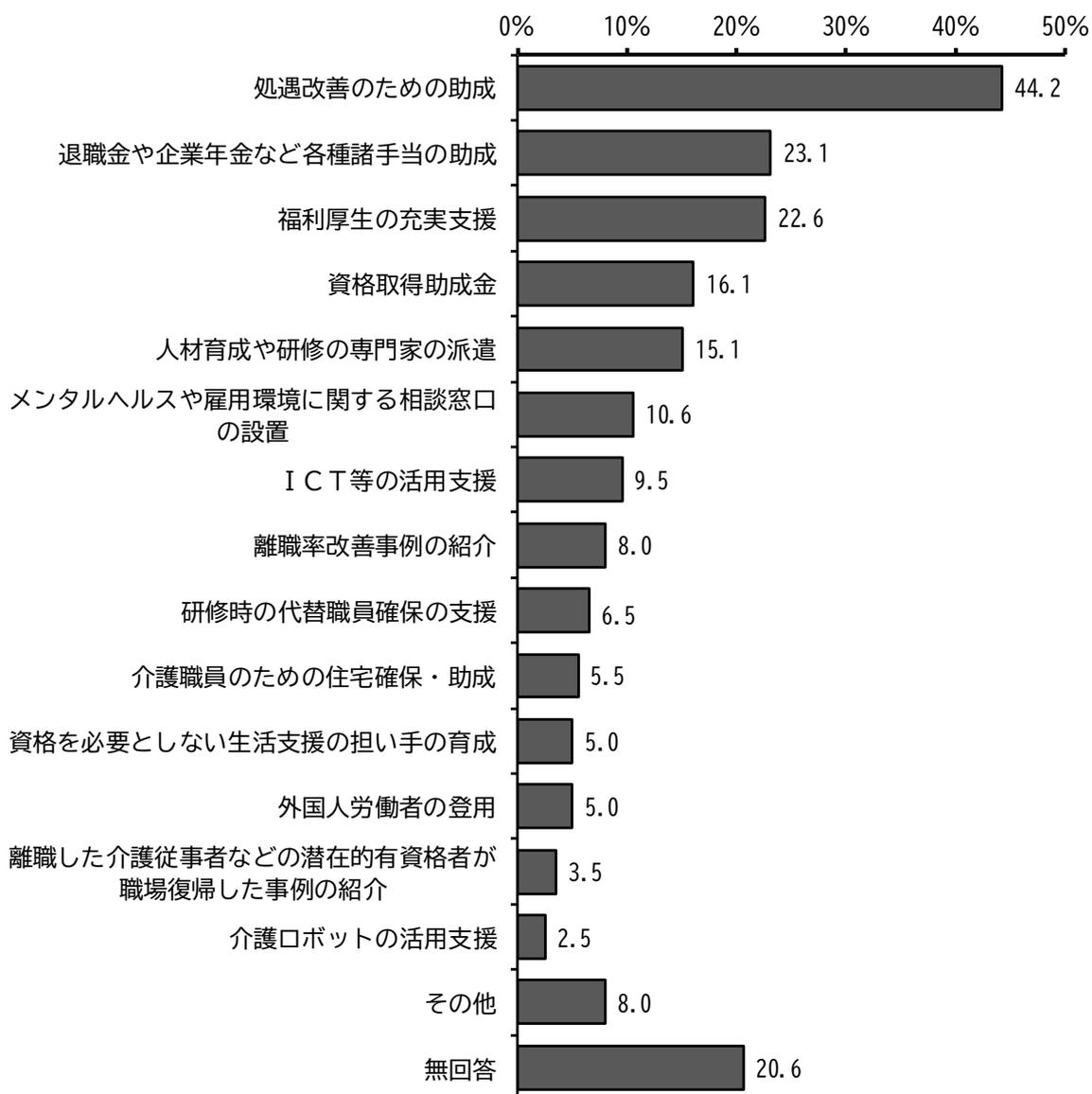
・「求人広告掲載」(46.7%)が最も多く、次いで「中途採用枠の拡大」(40.2%)、「資格取得の支援」(37.7%)、「賃金面の充実」(30.2%)、「研修会への参加支援」(26.6%)と続いている。



全体 (n=199)

問 10 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、様々な支援策がありますが、有効と考えられるものは何ですか。（3つまでに○）

- ・「処遇改善のための助成」(44.2%)が最も多く、次いで「退職金や企業年金など各種諸手当の助成」(23.1%)、「福利厚生の充実支援」(22.6%)、「資格取得助成金」(16.1%)、「人材育成や研修の専門家の派遣」(15.1%)と続いている。

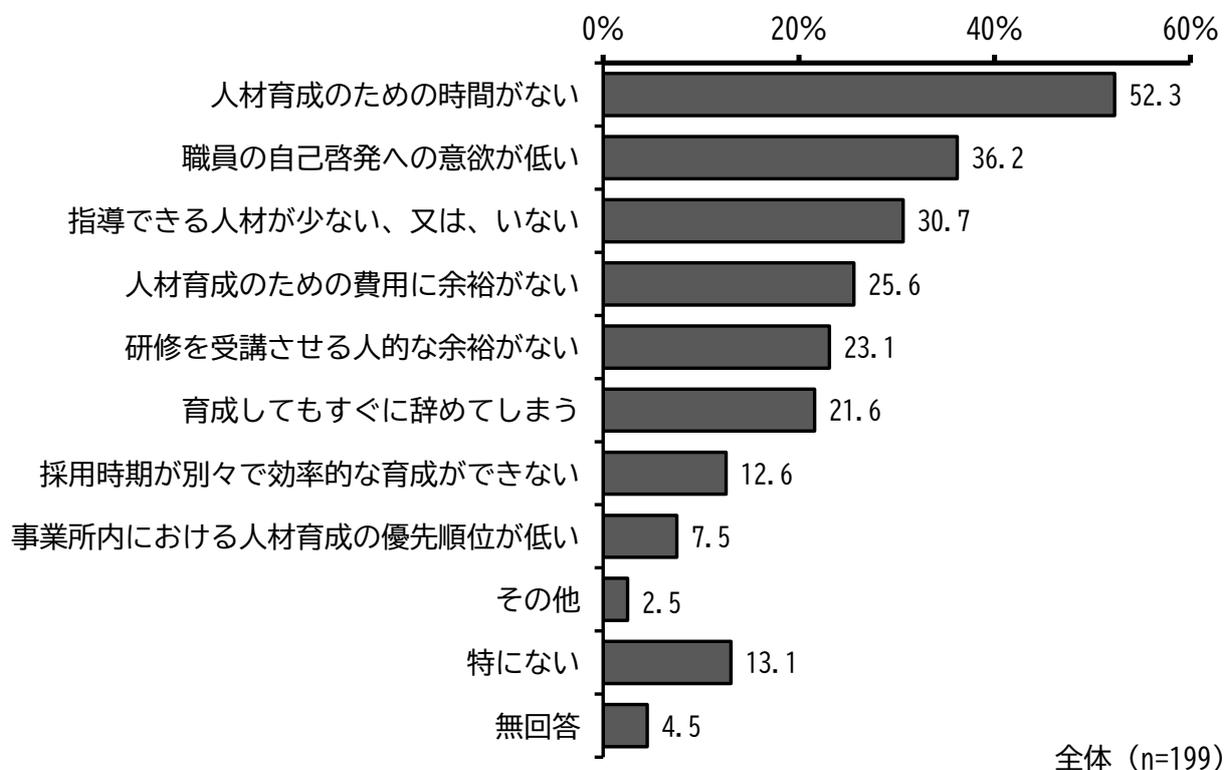


全体 (n=199)

問 11 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも○)

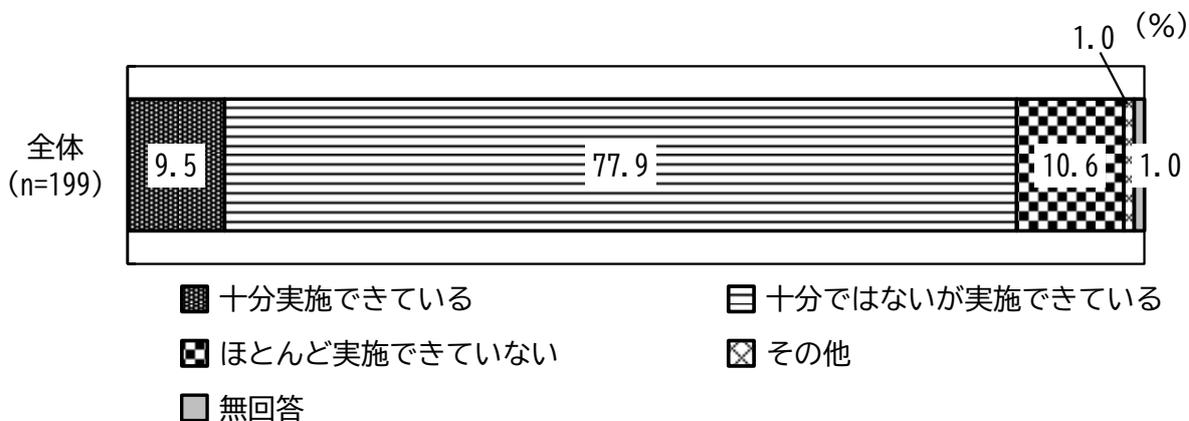
・「人材育成のための時間がない」(52.3%)が最も多く、次いで「職員の自己啓発への意欲が低い」(36.2%)、「指導できる人材が少ない、又は、いない」(30.7%)、「人材育成のための費用に余裕がない」(25.6%)と続いている。

・一方、「特にない」は13.1%となっている。



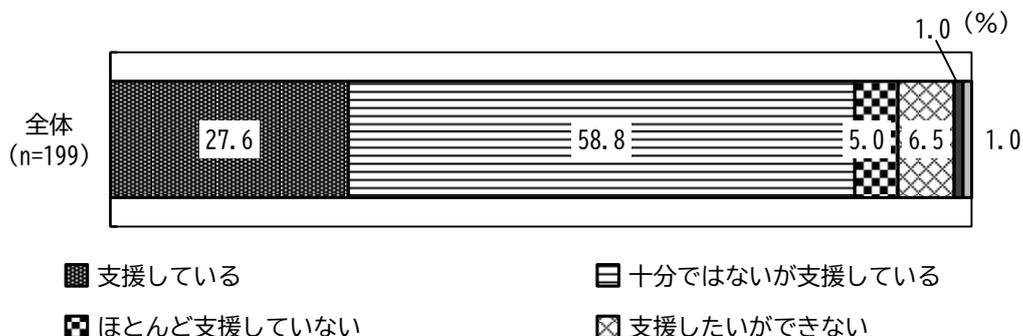
問 12 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

・「十分実施できている」が9.5%、「十分ではないが実施できている」が77.9%、「ほとんど実施できていない」が10.6%となっている。



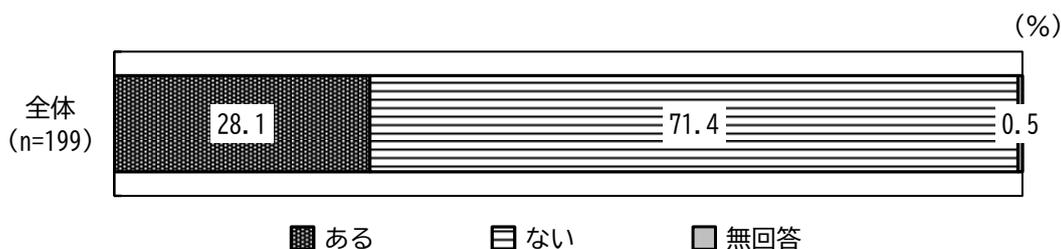
問 13 外部の研修や事例検討、勉強会について、非常勤を含む職員が積極的に参加できるよう支援していますか。支援していない場合は、その理由を具体的にお書きください。（1つに○）

- ・「支援している」(27.6%)、「十分ではないが支援している」(58.8%)を合わせた割合は86.4%となっている。
- ・一方、「ほとんど支援していない」(5.0%)、「支援したいができない」(6.5%)を合わせた割合は11.5%となっている。



問 14 貴事業所では福祉サービス第三者評価を受審したことがありますか。（1つに○）

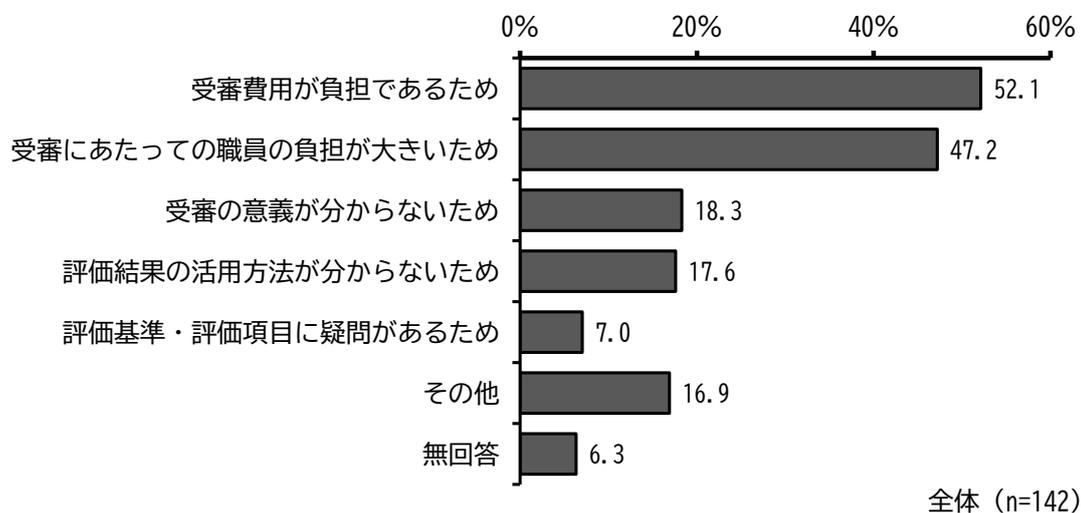
- ・「ある」が28.1%、「ない」が71.4%となっている。



「問 14 で「2. ない」とお答えの事業所におたずねします」

問 14-1 受審をしたことがないのはなぜですか。（いくつでも○）

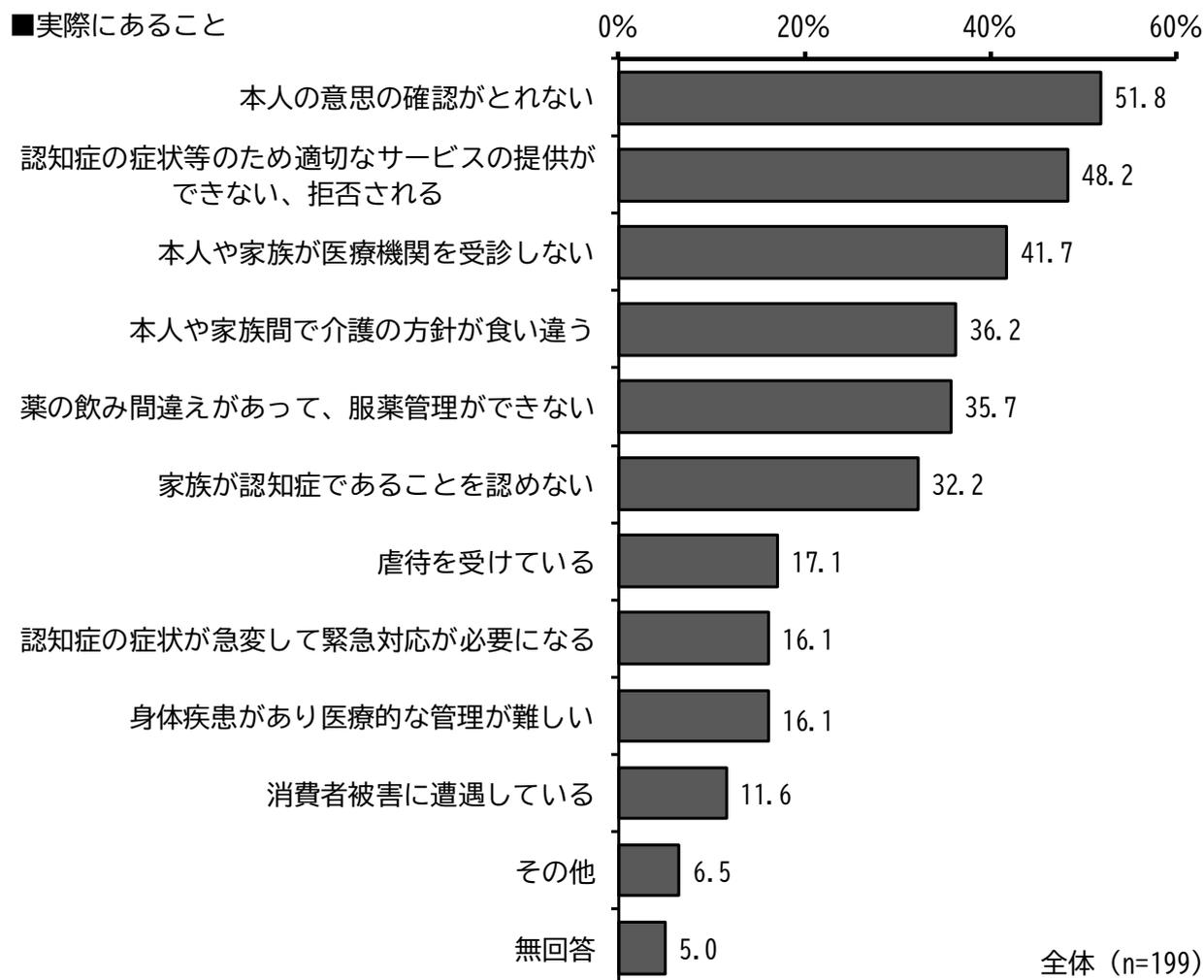
- ・「受審費用が負担であるため」(52.1%)が最も多く、次いで「受審にあたっての職員の負担が大きいため」(47.2%)、「受審の意義が分からないため」(18.3%)、「評価結果の活用方法が分からないため」(17.6%)と続いている。



(5) 認知症患者のサービス利用について

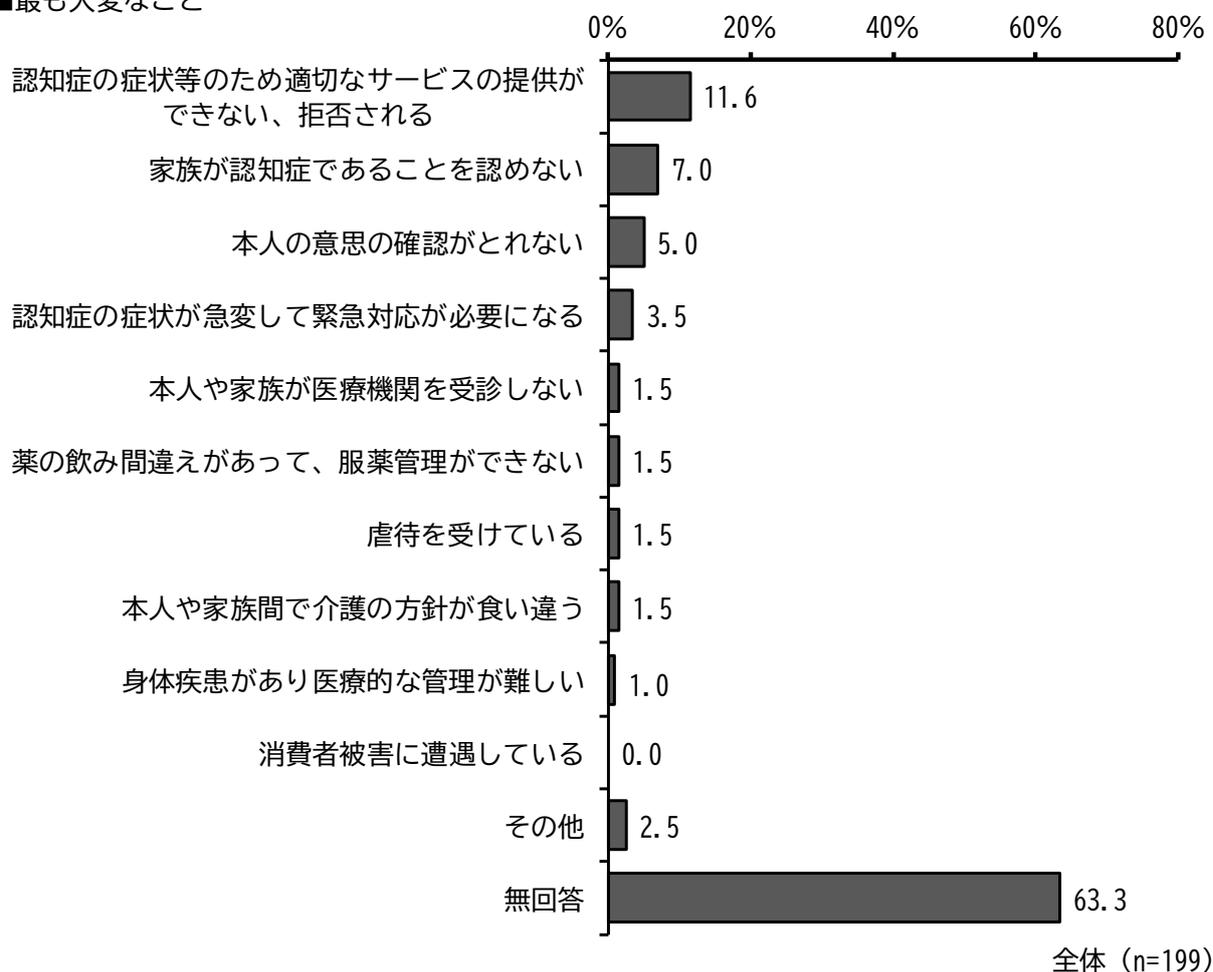
問 15 認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも○、最も大変なことに◎)

- ・実際にあることは、「本人の意思の確認がとれない」(51.8%)が最も多く、次いで「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(48.2%)、「本人や家族が医療機関を受診しない」(41.7%)、「本人や家族間で介護の方針が食い違う」(36.2%)、「薬の飲み間違いがあつて、服薬管理ができない」(35.7%)と続いている。



- ・最も大変なことは、「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(11.6%)が最も多く、次いで「家族が認知症であることを認めない」(7.0%)、「本人の意思の確認がとれない」(5.0%)、「認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる」(3.5%)と続いている。

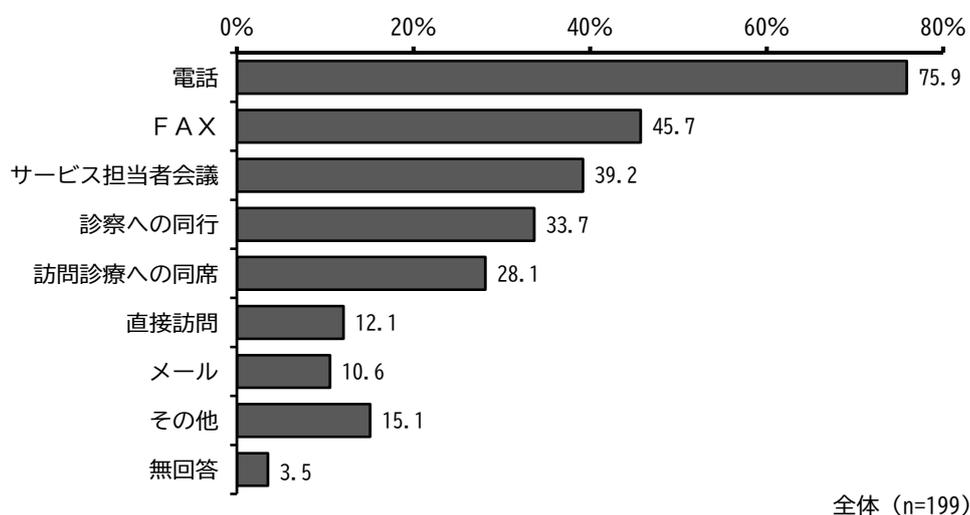
■最も大変なこと



問 16 貴事業所では、医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。

(いくつでも○)

- ・「電話」(75.9%)が最も多く、次いで「FAX」(45.7%)、「サービス担当者会議」(39.2%)、「診察への同行」(33.7%)、「訪問診療への同席」(28.1%)と続いている。



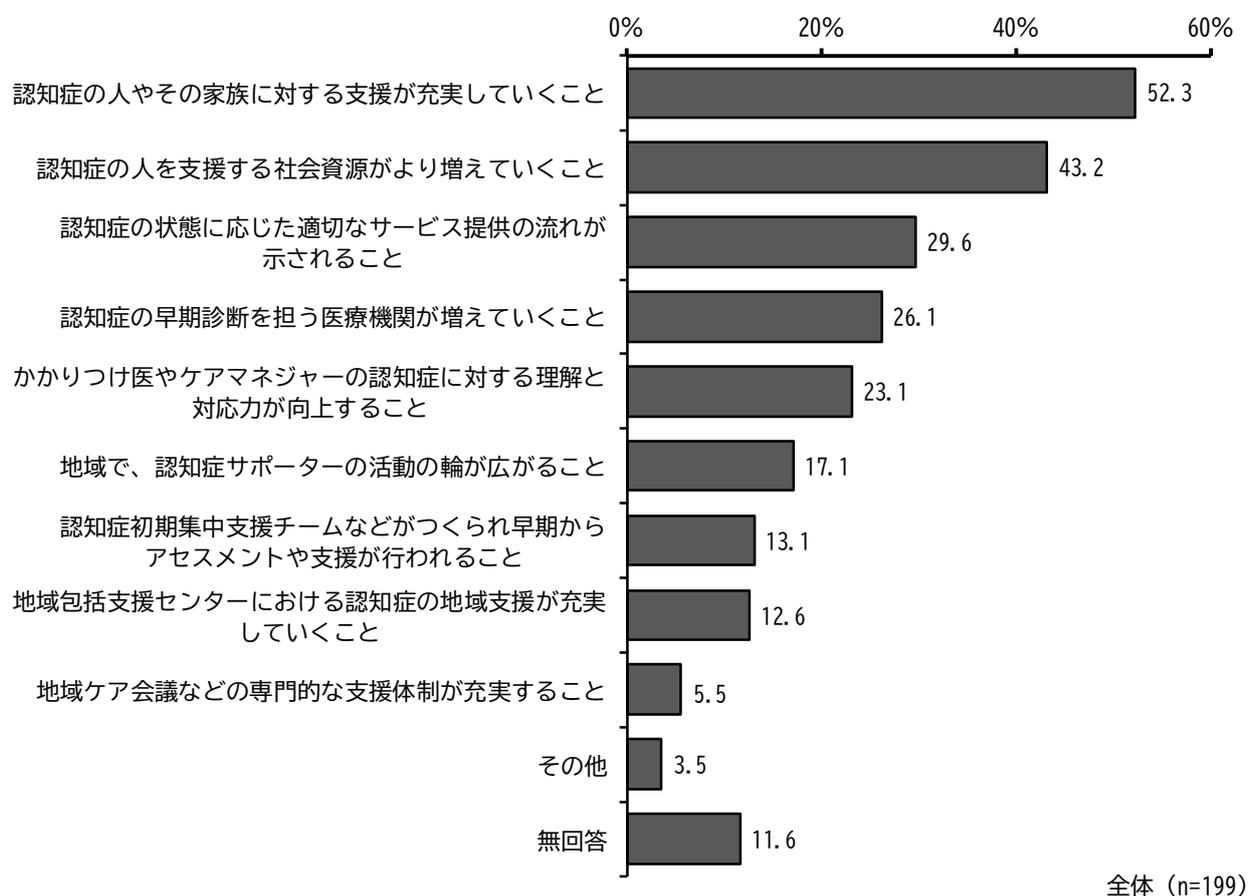
問 17 貴事業所では、認知症患者の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。（1つに○）

- ・「とれている」(12.1%)、「まあまあとれている」(37.7%)を合わせた割合は49.8%となっている。一方、「あまりとれていない」(38.2%)、「とれていない」(10.1%)を合わせた割合は48.3%となっている。



問 18 今後、認知症患者の支援にあたり、必要になることは次のどれですか。（3つまでに○）

- ・「認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと」(52.3%)が最も多く、次いで「認知症の人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」(43.2%)、「認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること」(29.6%)、「認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと」(26.1%)、「かかりつけ医やケアマネジャー（介護支援専門員）の認知症に対する理解と対応力が向上すること」(23.1%)と続いている。

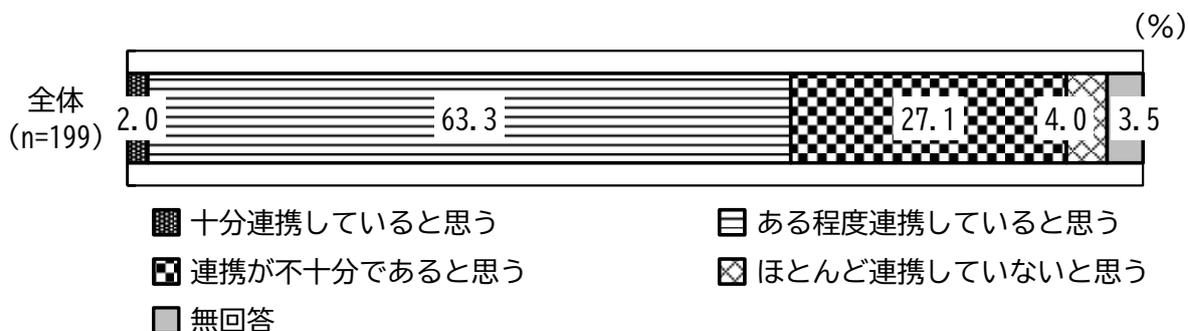


(6) 医療と介護の連携の状況について

問 19 市内の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。

(1つに○)

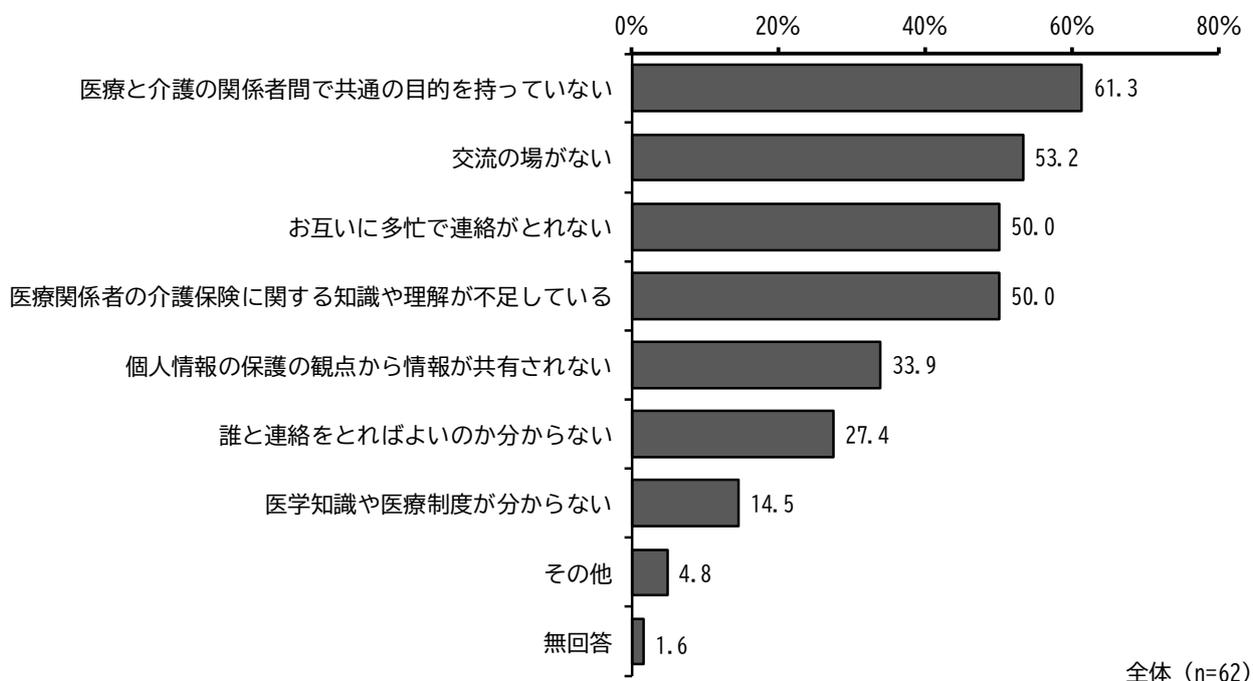
- ・「十分連携していると思う」(2.0%)、「ある程度連携していると思う」(63.3%)を合わせた割合は 65.3% となっている。一方、「連携が不十分であると思う」(27.1%)、「ほとんど連携していないと思う」(4.0%) を合わせた割合は 31.1%となっている。



«問 19 で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします»

問 19-1 そのように思う理由は何ですか。(いくつでも○)

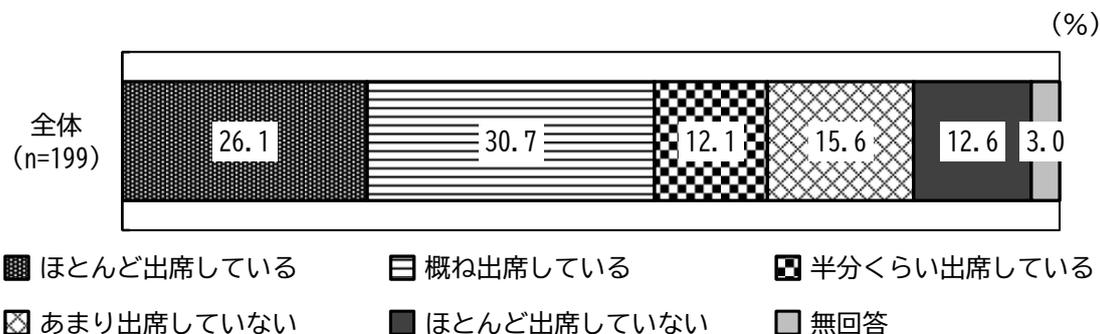
- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない」(61.3%)が最も多く、次いで「交流の場がない」(53.2%)、「お互いに多忙で連絡がとれない」「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」(ともに 50.0%)、「個人情報の保護の観点から情報が共有されない」(33.9%)と続いている。



問 20 貴事業所では、退院前（時）カンファレンスにどれくらいの頻度で出席していますか。

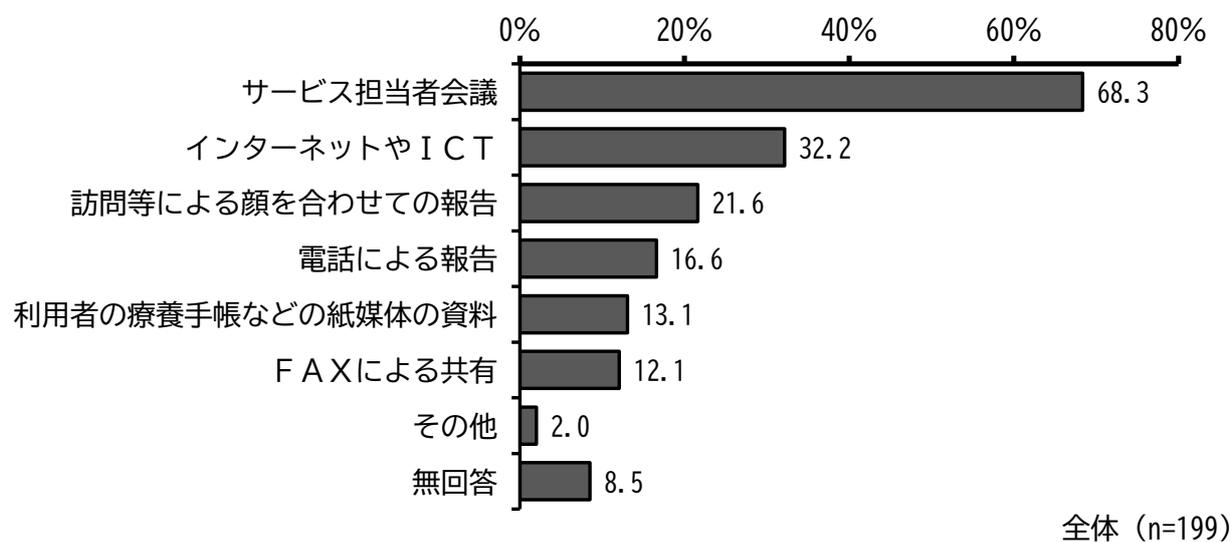
（1つに○）

- ・「ほとんど出席している」(26.1%)、「概ね出席している」(30.7%)を合わせた割合は56.8%となっている。一方、「あまり出席していない」(15.6%)、「ほとんど出席していない」(12.6%)を合わせた割合は28.2%となっている。



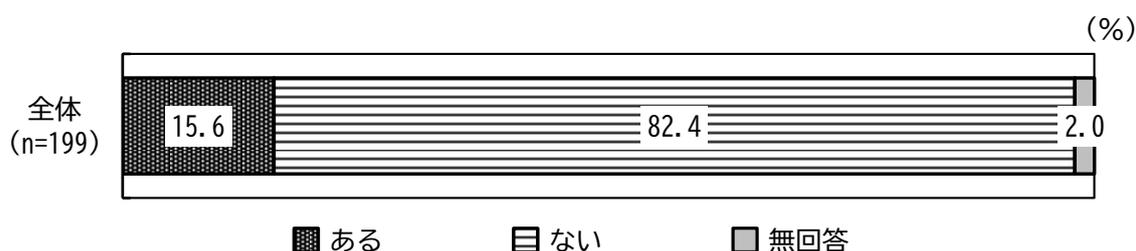
問 21 貴事業所では、医療と介護の連携を図るうえで利用者の情報の共有化をどのような方法で進めると良いとお考えですか。（2つまでに○）

- ・「サービス担当者会議」(68.3%)が最も多く、次いで「インターネットやICT（情報ネットワークシステム）」(32.2%)、「訪問等による顔を合わせての報告」(21.6%)と続いている。



問 22 貴事業所では、医療機関（診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに○）

- ・「ある」が15.6%、「ない」が82.4%となっている。



《問 22 で「1」とお答えの事業所におたずねします》

問 22-1 どのような問題やトラブルが発生しましたか。具体的にお書きください。

※集計中

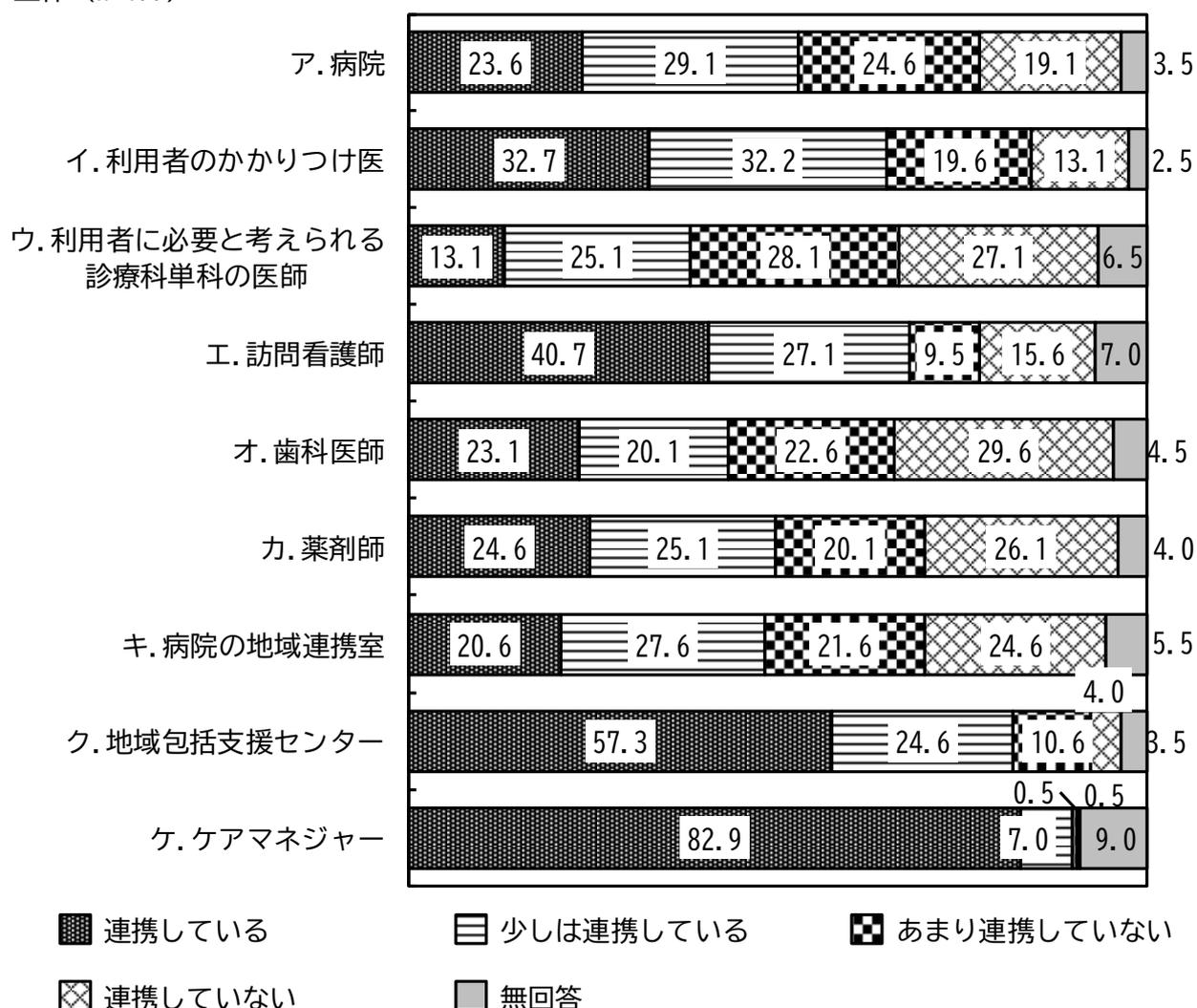
問 23 貴事業所のサービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。

(ア～ケそれぞれ1つに○)

- ・利用者について関係機関・職種との連携状況は、「連携している」「少しは連携している」を合わせた割合は、『ケ. ケアマネジャー』(89.9%)、が最も多く、次いで『ク. 地域包括支援センター』(81.9%)、『工. 訪問看護師』(67.8%)、『イ. 利用者のかかりつけ医』(64.9%)、『ア. 病院』(52.7%)と続いている。
- ・一方、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた割合は、『ウ. 利用者が必要と考えられる診療科単科の医師』(55.2%)、が最も多く、次いで『オ. 歯科医師』(52.2%)、『カ. 薬剤師』、『キ. 病院の地域連携室』ともに(46.2%)、『ア. 病院』(43.7%)と続いている。

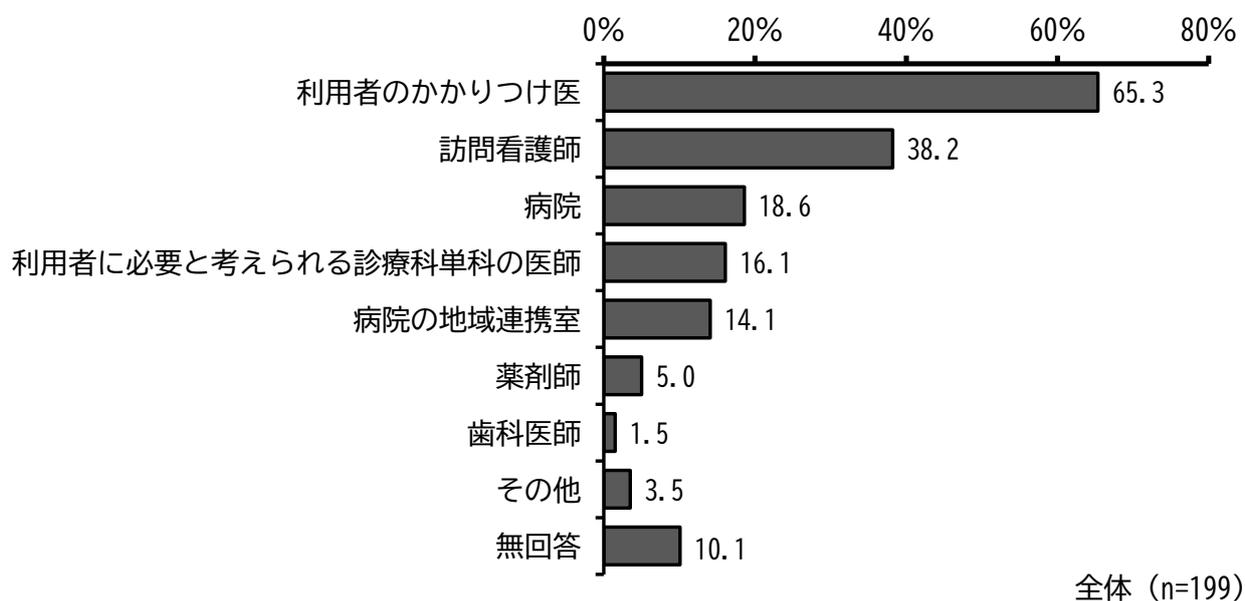
全体 (n=199)

(%)



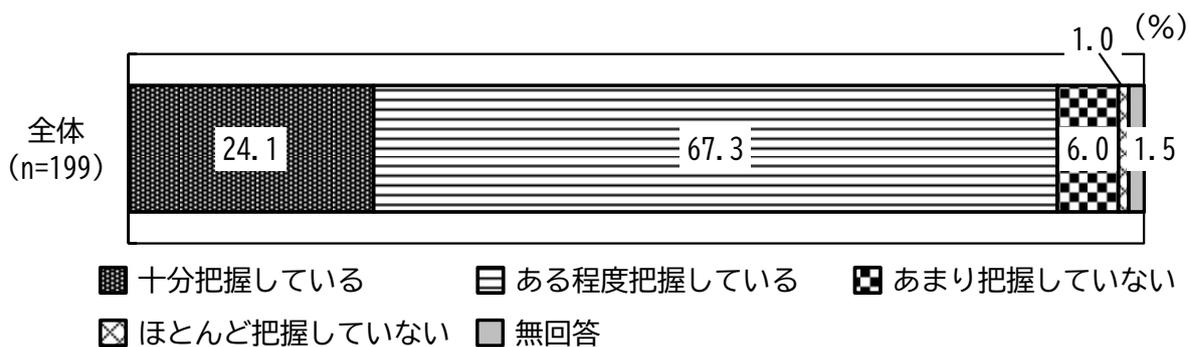
問 24 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職は何ですか。（2つまでに○）

- ・「利用者のかかりつけ医」(65.3%)が最も多く、次いで「訪問看護師」(38.2%)、「病院」(18.6%)、「利用者が必要と考えられる診療科単科の医師」(16.1%)、「病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）」(14.1%)と続いている。



問 25 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。（1つに○）

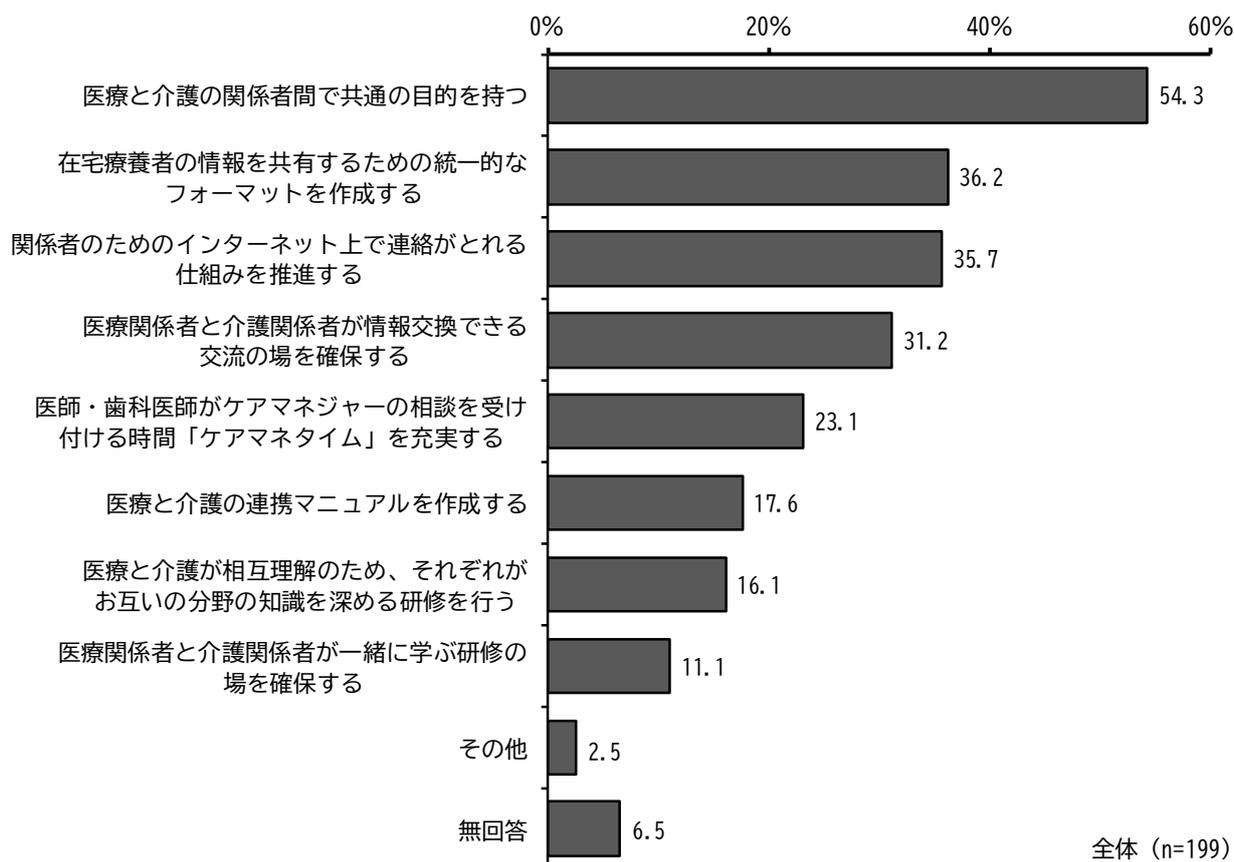
- ・「十分把握している」(24.1%)、「ある程度把握している」(67.3%)を合わせた割合は91.4%となっている。
- ・一方、「あまり把握していない」(6.0%)、「ほとんど把握していない」(1.0%)を合わせた割合は7.0%となっている。



問 26 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。

(3つまでに○)

- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」(54.3%)が最も多く、次いで「在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する」(36.2%)、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する」(35.7%)、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」(31.2%)と続いている。



問 27 貴事業所では、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

※集計中

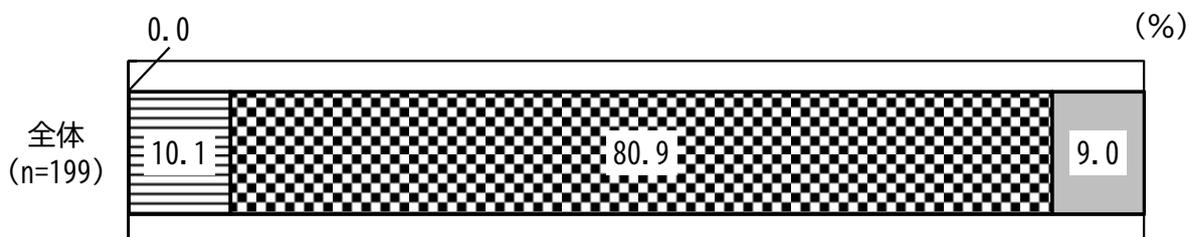
問 28 貴事業所では、医療機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

※集計中

(7) 共生型サービスについて

問 29 介護保険法では、高齢者や障害のある人がともに利用できる「共生型サービス」(新設されましたが、貴事業所では共生型サービスの提供についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- ・「提供する準備をしている」が0.0%、「提供について検討したい」が10.1%、「特に考えていない」が80.9%となっている。

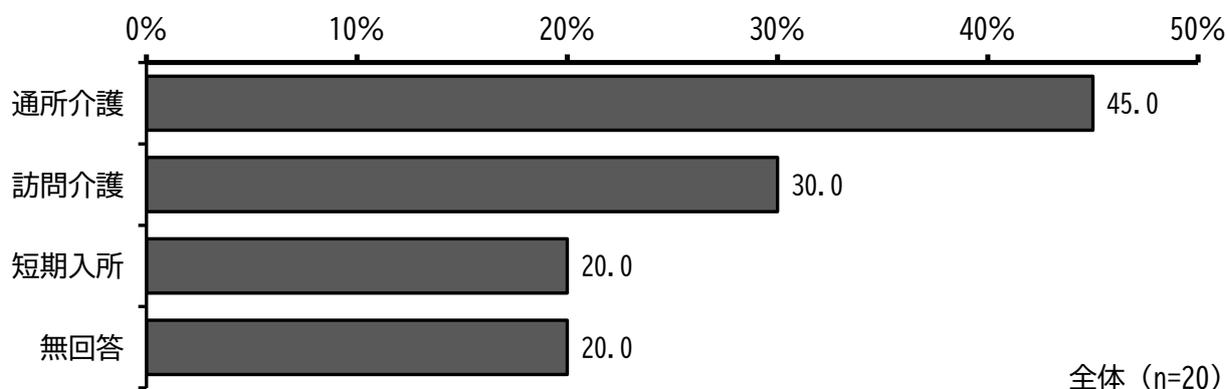


■ 提供する準備をしている □ 提供について検討したい ▣ 特に考えていない □ 無回答

«問 29 で「1」又は「2」とお答えの事業所におたずねします»

問 29-1 準備又は検討している共生型サービスの種類は何ですか。(いくつでも○)

- ・「通所介護」(45.0%)が最も多く、次いで「訪問介護」(30.0%)、「短期入所」(20.0%)と続いている。



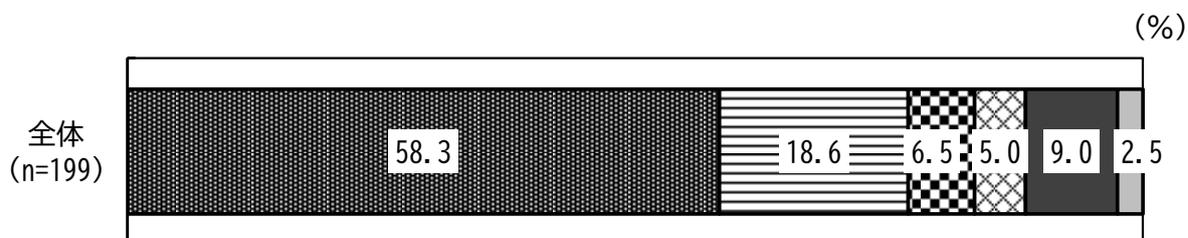
問 29-2 共生型サービスを提供するにあたって、課題等があれば、ご自由にお書きください。

※集計中

(8) 災害時等の体制について

問 30 災害弱者に対する対策が重要となっていますが、貴法人では、災害時のマニュアルを作成していますか。(1つに○)

- ・「法人全体で共通のものを作成している」(58.3%)が最も多く、次いで「部門ごとに作成している」(18.6%)、「作成している部門もあるが、作成していない部門もある」(6.5%)と続いている。
- ・一方、「作成していない」は9.0%となっている。

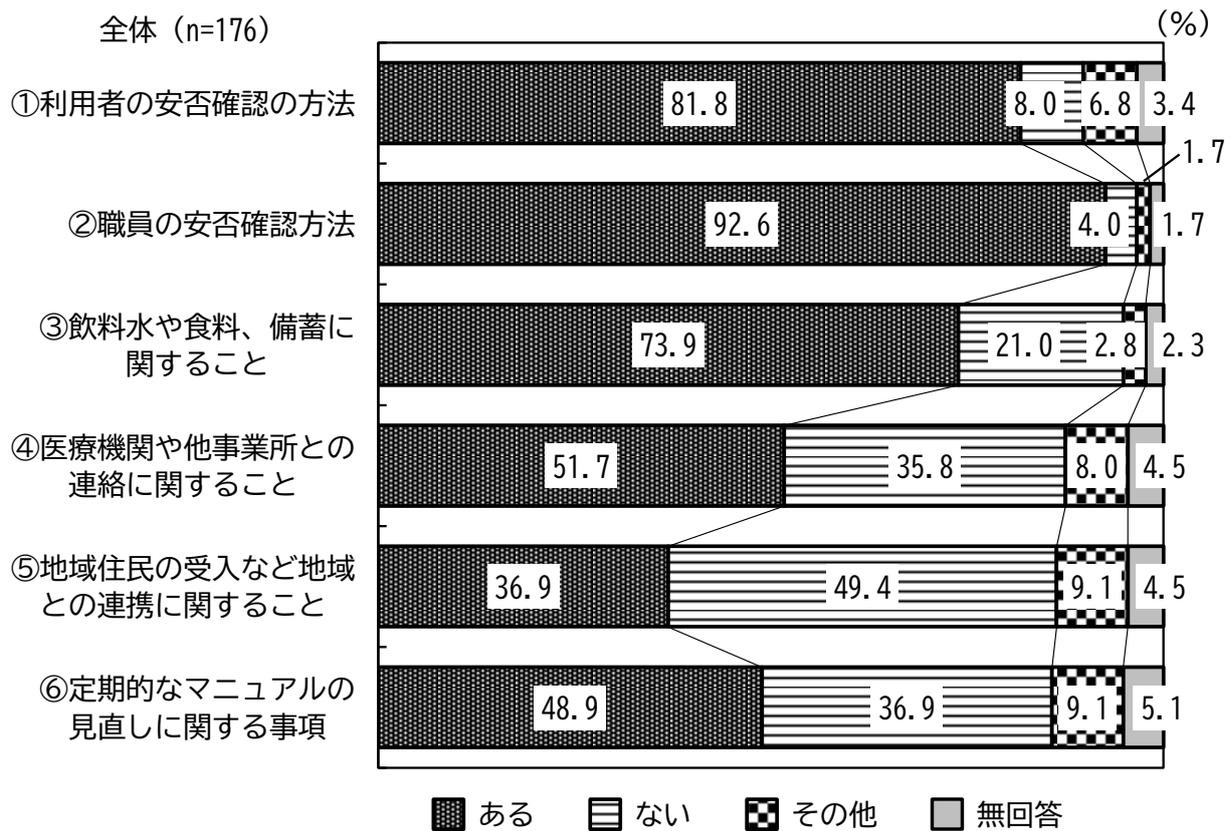


- 法人全体で共通のものを作成している
- ▨ 部門ごとに作成している
- ▣ 作成している部門もあるが、作成していない部門もある
- ▤ その他
- 作成していない
- 無回答

「問 30 で「1」～「4」とお答えの事業所におたずねします」

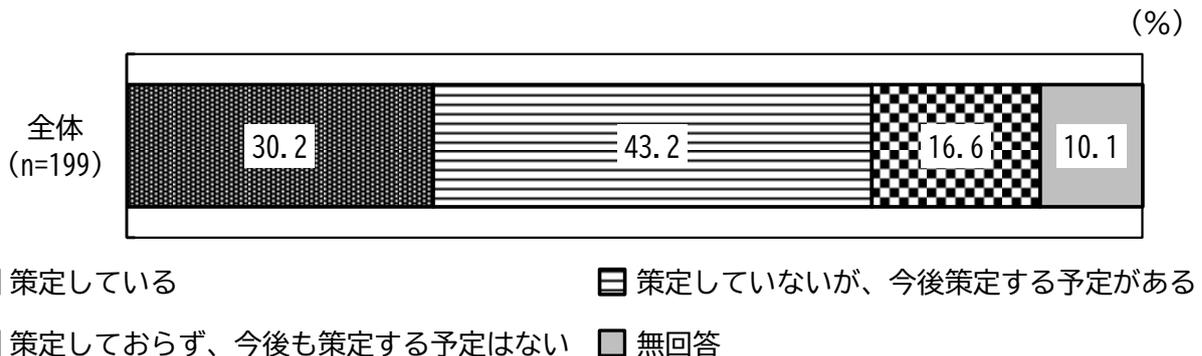
問 30-1 マニュアルに次の内容は含まれていますか。(それぞれ1つに○)

- ・「ある」は、『②職員の安否確認方法』(92.6%)が最も多く、『①利用者の安否確認の方法』(81.8%)、『③飲料水や食料、備蓄に関すること』(73.9%)、『④医療機関や他事業所との連絡に関すること』(51.7%)、『⑥定期的なマニュアルの見直しに関する事項』(48.9%)と続いている。
- ・一方「ない」は、『⑤地域住民の受入など地域との連携に関すること』(49.4%)が最も多く、『⑥定期的なマニュアルの見直しに関する事項』(36.9%)、『④医療機関や他事業所との連絡に関すること』(35.8%)、『③飲料水や食料、備蓄に関すること』(21.0%)、と続いている。



問 31 貴事業所では、BCP (災害時の事業継続計画) を策定していますか。(1つに○)

- ・「策定していないが、今後策定する予定がある」(43.2%)が最も多く、次いで「策定している」(30.2%)、「策定しておらず、今後も策定する予定はない」(16.6%)となっている。



問 32 貴事業所では地震等の災害が発生したときの避難訓練や安否確認の訓練を実施していますか。

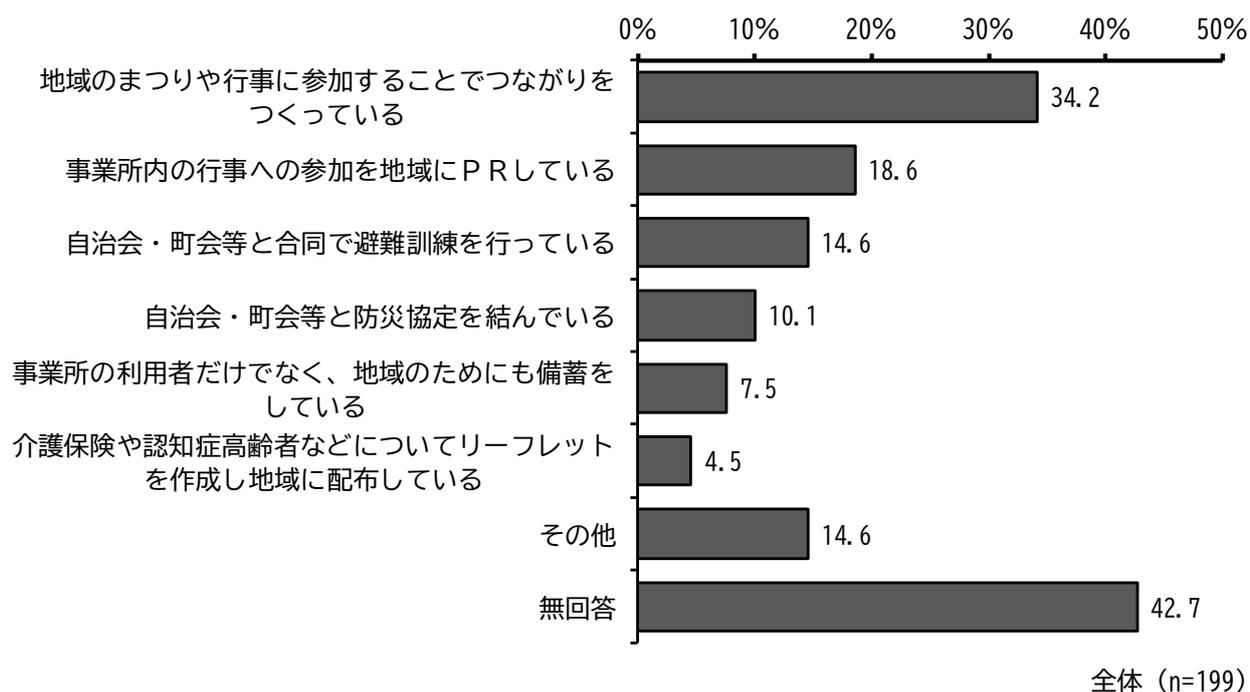
(1つに○)

・「実施している」が68.3%、「実施していない」が29.1%となっている。



問 33 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○)

・「地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている」(34.2%)が最も多く、次いで「事業所内の行事への参加を地域にPRしている」(18.6%)、「自治会・町会等と合同で避難訓練を行っている」(14.6%)、「自治会・町会等と防災協定を結んでいる」(10.1%)と続いている。



問 34 災害発生時における貴事業所が抱える課題などについてお書きください。

※集計中

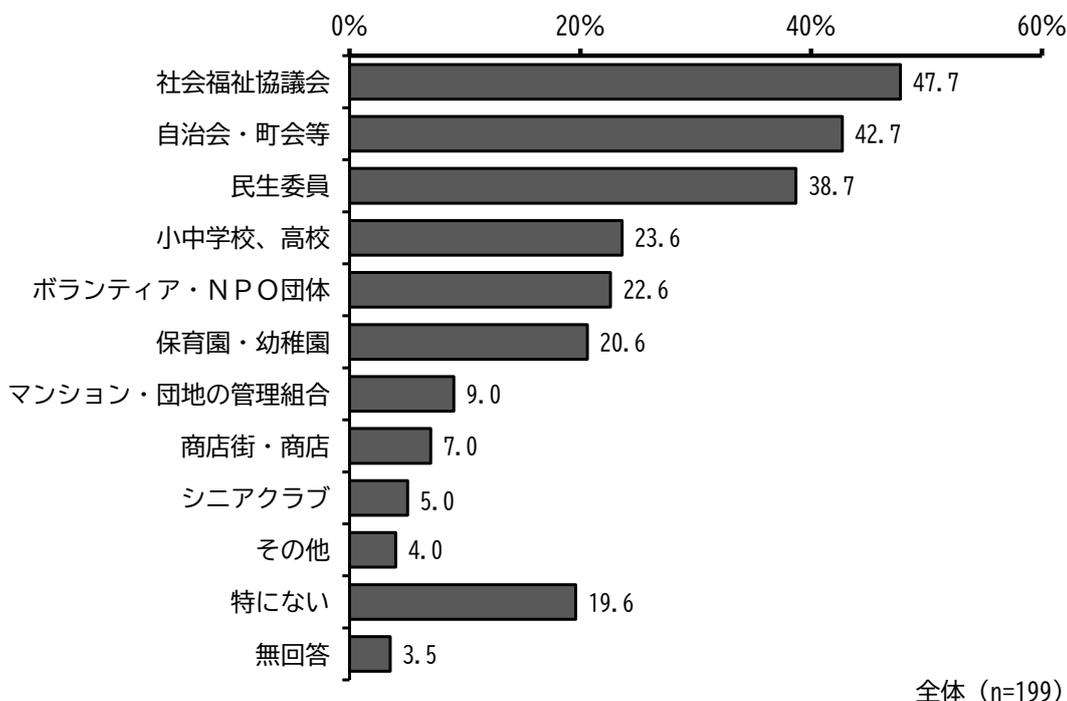
問 35 感染症防止のために貴事業所が取り組んでいることをお書きください。

※集計中

(9) 地域との関わりについて

問 36 貴事業所では、以下のような地域の各団体や組織との関わりはありますか。(いくつでも○)

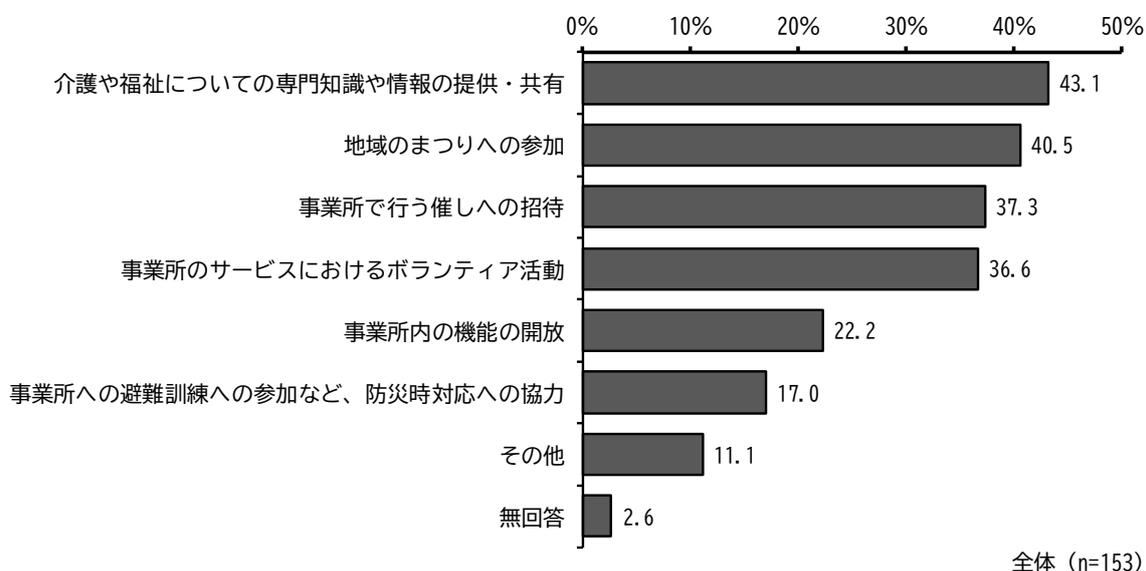
- ・「社会福祉協議会」(47.7%)が最も多く、次いで「自治会・町会等」(42.7%)、「民生委員」(38.7%)、「小中学校、高校」(23.6%)、「ボランティア・NPO団体」(22.6%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は19.6%となっている。



「問 36 で「1」～「10」とお答えの事業所におたずねします」

問 36-1 どのような関わりがありますか。(いくつでも○)

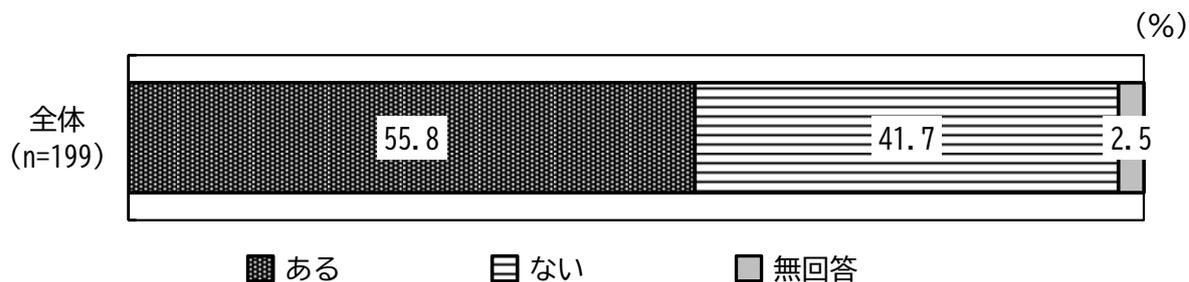
- ・「介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有」(43.1%)が最も多く、次いで「地域のまつりへの参加」(40.5%)、「事業所で行う催しへの招待」(37.3%)、「事業所のサービスにおけるボランティア活動」(36.6%)と続いている。



問 37 貴事業所では、地域包括支援センターが実施する地域ケア会議に参加したことはありますか。

(1つに○)

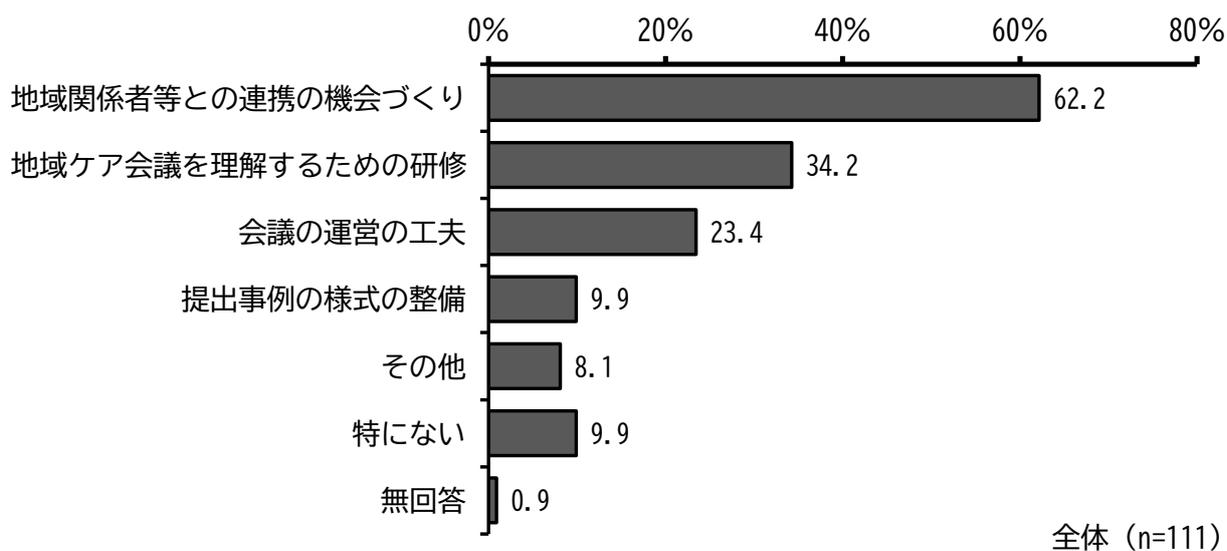
- ・「ある」が55.8%、「ない」が41.7%となっている。



«問 37で「1. ある」とお答えの事業所におたずねします»

問 37-1 地域ケア会議を活発にするために必要と思われることは何ですか。(2つまでに○)

- ・「地域関係者等との連携の機会づくり」(62.2%)が最も多く、次いで「地域ケア会議を理解するための研修」(34.2%)、「会議の運営の工夫」(23.4%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は9.9%となっている。

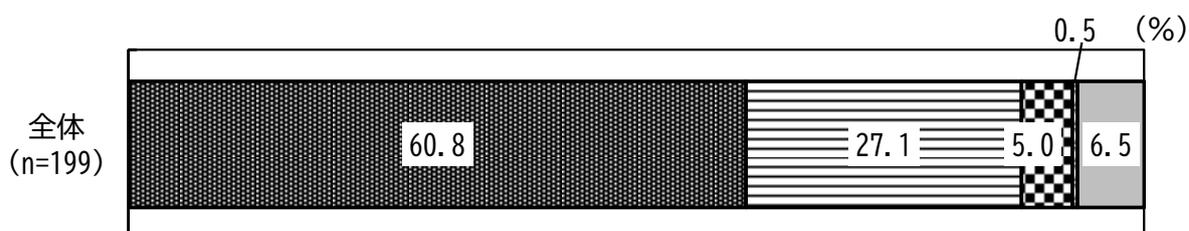


(10) 事故やトラブルの対応策について

問 38 貴事業所には、ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の決まった様式がありますか。

(1つに○)

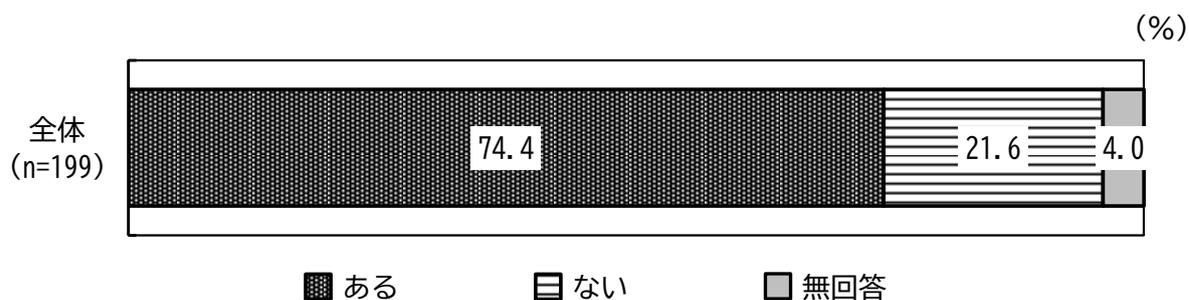
- ・「ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の専用の様式がある」(60.8%)、「事故報告書と兼用のヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の様式がある」(27.1%)となっている。



- ヒヤリハット報告書の専用の様式がある
- 事故報告書と兼用のヒヤリハット報告書の様式がある
- ヒヤリハット報告書の様式はない
- その他
- 無回答

問 39 貴事業所には、ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の報告基準や報告手順のマニュアルがありますか。(1つに○)

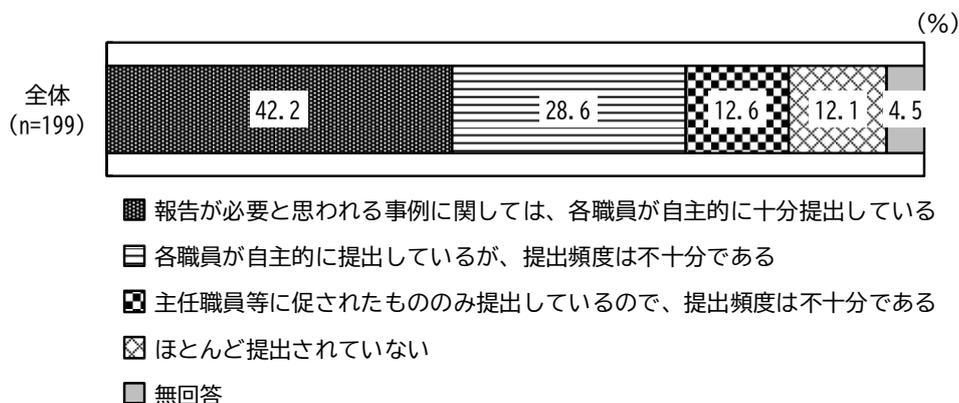
- ・「ある」が74.4%、「ない」が21.6%となっている。



- ある
- ない
- 無回答

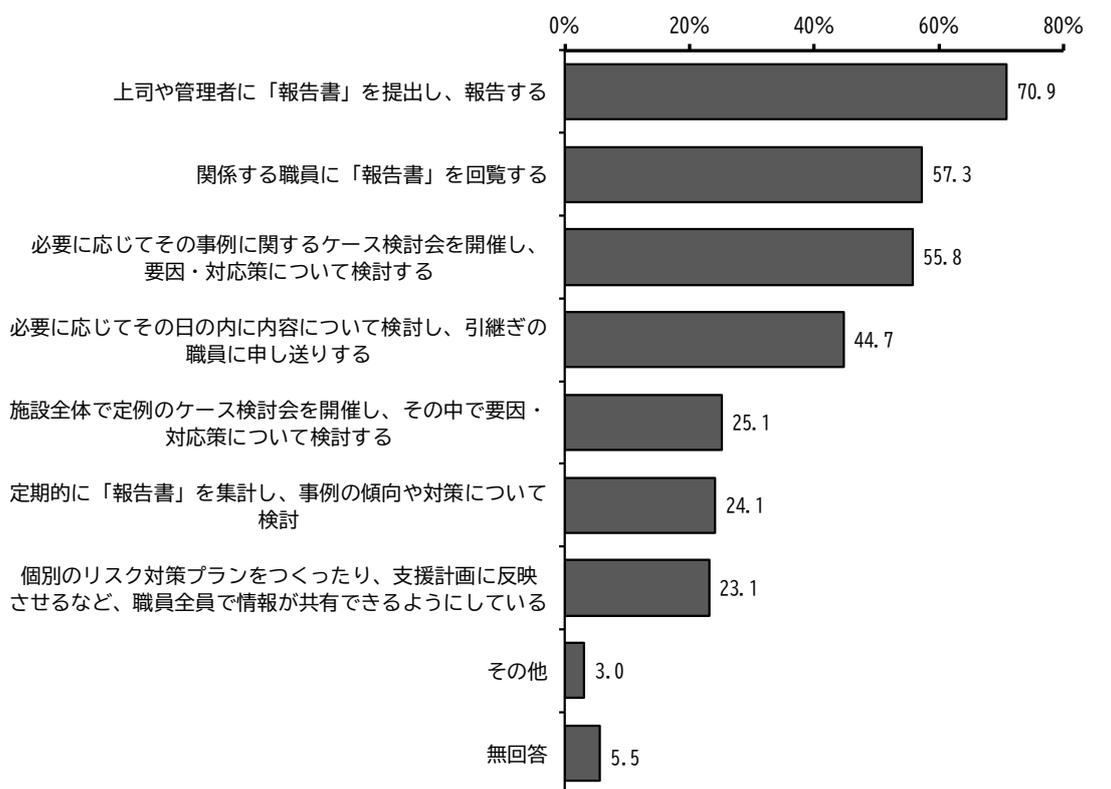
問 40 貴事業所では、「ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）」がどの程度提出されていると感じますか。（1つに○）

- ・「報告が必要と思われる事例に関しては、各職員が自主的に十分提出している。」(42.2%)が最も多く、次いで「各職員が自主的に提出しているが、提出頻度は不十分である」(28.6%)、「主任職員等に促されたもののみ提出しているので、提出頻度は不十分である」(12.6%)、「ほとんど提出されていない」(12.1%)となっている。



問 41 報告のあがった「ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）」をどのように活用していますか。（いくつでも○）

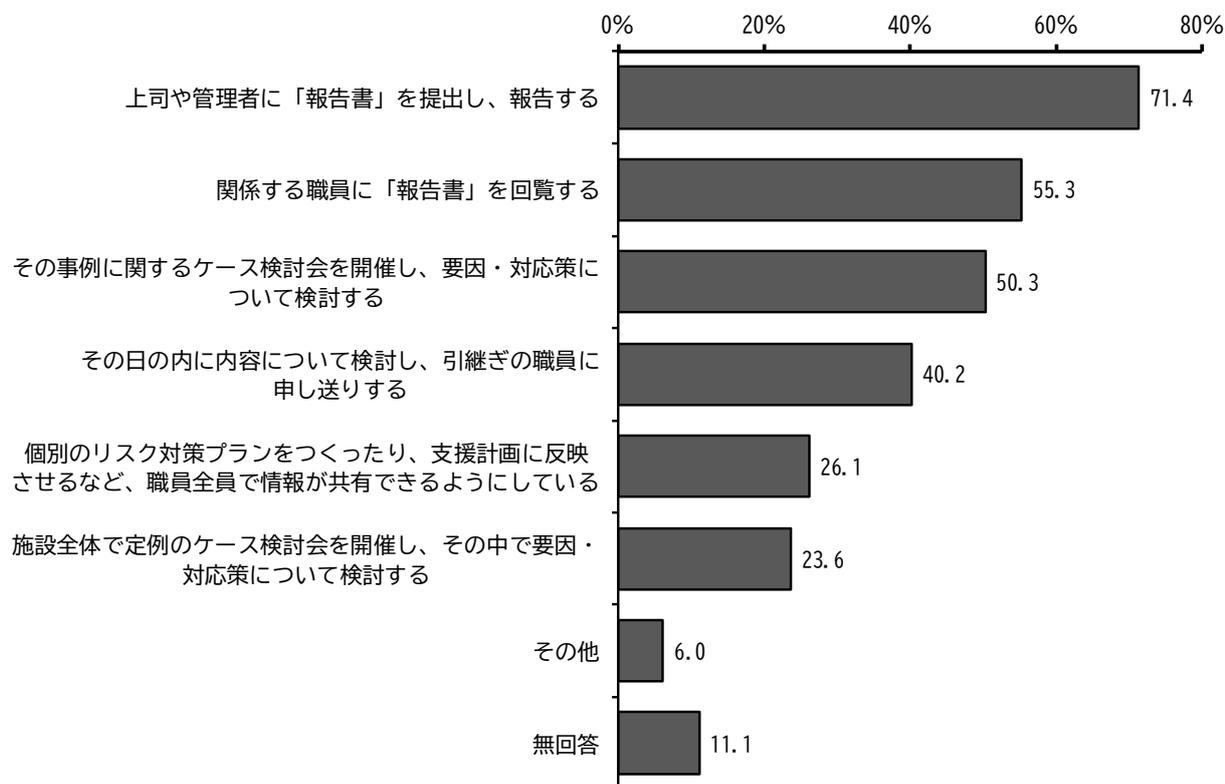
- ・「上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する」(70.9%)が最も多く、次いで「関係する職員に「報告書」を回覧する」(57.3%)、「必要に応じてその事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する」(55.8%)、「必要に応じてその日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする」(44.7%)と続いている。



全体 (n=199)

問 42 行政報告をした事故に関して、事業所内での情報共有や再発防止の取組をどのように行っていますか。(いくつでも○)

- ・「上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する」(71.4%)が最も多く、次いで「関係する職員に「報告書」を回覧する」(55.3%)、「その事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する」(50.3%)、「その日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする」(40.2%)と続いている。

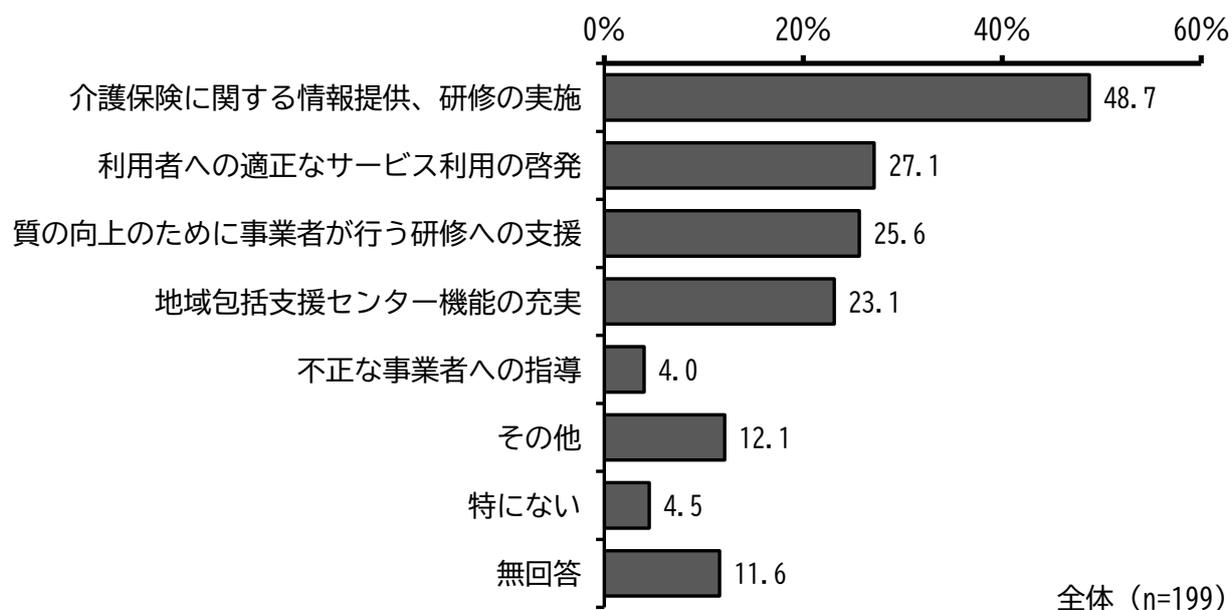


全体 (n=199)

(11) 府中市への意向について

問 43 今後、保険者としての府中市に対し、事業者として望むことは何ですか。(2つまでに○)

- ・「介護保険に関する情報提供、研修の実施」(48.7%)が最も多く、次いで「利用者への適正なサービス利用の啓発」(27.1%)、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」(25.6%)、「地域包括支援センター機能の充実」(23.1%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は4.5%となっている。



問 44 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

※集計中